

Panasonic

マトリクススイッチャー

取扱説明書 工事説明付き

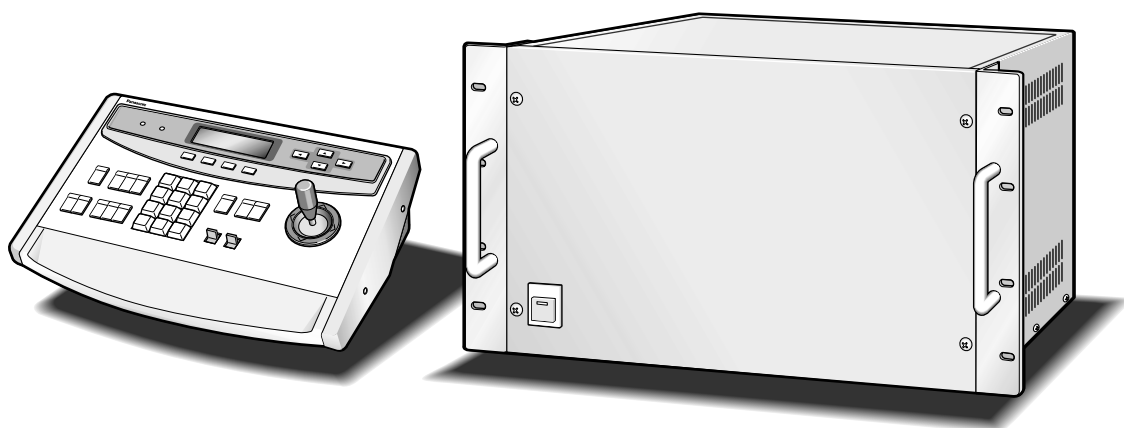
品番 **WJ-SX550B**

WJ-AD550
WV-CU550B
WV-PB5504A
WV-PB5508
WV-PB5548
WV-PB5564

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。そのあと保存し、必要なとき
にお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必
ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

このたびは、マトリクススイッチャーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本システムは、映像監視を行うためのシステムです。増設ユニットWJ-AD550を接続することによって最大128台のカメラと16台のモニターを用いて監視を行えます。

- システムコントローラーで周辺機器をリモートコントロール

システムコントローラーでカメラやレンズ、回転台、周辺機器をリモートコントロールできます。

- パスワード、レベルによるシステムセキュリティ

パスワードを登録できます。オペレーターごとにパスワードを登録することによって、不正利用者のシステム侵入を防止できます。また、利用者ごとに使用可能レベルを設定することによって利用できる機能を限定できます。

- 監視機能が豊富

映像を監視しやすいように、カメラとモニターを対応付けしたり、1台のモニターに複数台のカメラ映像を順々に表示したりできます。例えば、入り口など人の出入りが多い所では、カメラとモニターテレビを1対1に対応付けし、常にモニターテレビにカメラ映像を表示する運用ができます。

- カメラの映像をどのモニターに表示するかを定義できます（スポット）。また、複数台のカメラ映像をモニターテレビに表示するとき、その順番（シーケンス）を定義できます。
- 4けたの番号（カメラポジション番号）で任意のカメラを任意のプリセット位置に旋回できます。
- 監視システムの運用スケジュールを登録できます。スケジュールとシーケンス組み合わせた運用ができます。
- センサーなどからアラーム入力があったときの動作（アラームモード1から3）を選択できます。アラーム運用スケジュールを登録し、時間によってアラームモードを変更することができます。カメラ映像とモニターの対応付けや起動するシーケンスを定義できます。
- 利用者を5段階のレベルに分けて登録できます。レベル分けすることによって、下位利用者が利用できる機能を限定できます。また、カメラやモニターなどの競合を防止できます。
- カメラ映像をタイムラプスVTRに録画できます。

付属品をお確かめください

コネクター（25ピン/ビデオ出力ボード用）.....	1
取扱説明書（本書）.....	1
保証書.....	1

本書の構成

お使いになる前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上お使いください。
本書は、システムの操作方法や設定方法を記載した取扱説明書と、システムの設置方法や接続のしかたを記載した工事説明書に分かれています。

取扱説明

システムの操作のしかたや、各種機能の設定方法を記載しています。システムを操作する人や、システム動作を設定する人はお読みください。操作を始める前に「安全上のご注意」に記載している注意事項を必ずお読みください。

はじめに

システムの概要などを記載しています。必ずお読みください。

第1編 操作

システムの操作方法を記載しています。システムを操作する人（オペレーター）や、システムの設定を行う人は、お読みください。

第2編 設定

システムを使用するためには、セットアップメニューと呼ばれる画面で、あらかじめ動作のしかたをシステムに記憶させる必要があります。ここでは、システムの設定方法を説明しています。「第1編 操作」を読んでから、この編をお読みください。

工事説明

システムを設置したり、接続したりする人はお読みください。工事を始める前に「安全上のご注意」に記載されている注意事項を必ずお読みください。

1. ボードの設定

カメラの台数やシステムの構成によって、ビデオ入力ボードやセンサーボードを追加する必要があります。システム構成にあったボード枚数の選択方法や、ボード上のスイッチの設定方法について記載しています。

2. 設置のしかた

システムコントローラーとマトリクススイッチャーのラックマウントのしかたについて記載しています。

3. 接続のしかた

モニターやカメラ、アラームなどの接続のしかたを記載しています。

もくじ

はじめに
お読みください

商品概要	i
付属品をお確かめください.....	i
本書の構成.....	iii
もくじ	iv
安全上のご注意.....	xv
使用上のお願い.....	xvi

取扱説明 操作編

Chapter1
各部の名前

マトリクススイッチャー WJ-SX550B	4
増設ユニット WJ-AD550 (オプション).....	5
システムコントローラー WV-CU550B	6
ボード.....	7
CPUボード (WJ-SX550B内蔵).....	7
コントロールボード (WJ-SX550B内蔵).....	7
ビデオ入力ボード WV-PB5508 (増設可能).....	8
ビデオ出力ボードWV-PB5504A (増設可能).....	8
アラームボード WV-PB5564 (オプション)	9
エクステンションボード (WJ-AD550付属).....	9
データボード WV-PB5548 (オプション)	10

Chapter2
システムの機能

システムのしくみ.....	12
クロスポイントスイッチの開閉	13
映像監視機能の概要	14
各種の制御.....	15
基本機能を組み合わせた使用例	16

Chapter3
操作を
始める前に

電源の入れかた	20
ログイン (Log-in) 時のメニューの遷移	21
メニューの構成	21
操作メニューの流れ	21
操作メニューの遷移.....	22
操作の基本.....	23
モニターに表示される情報	24

Chapter4 システム操作の 開始	ログイン (Log-in) の前に.....	28
	ログインのしかた.....	29
	オートログインのしかた.....	31
Chapter5 モニターの 操作	モニターの選択.....	34
	カメラタイトル、日付、時刻の表示.....	35
Chapter6 映像の操作	スポットによる映像監視のしかた.....	38
	モニターの選択.....	38
	カメラの選択 (その1).....	38
	カメラの選択 (その2).....	39
	電動ズームレンズの操作.....	40
	ズームを操作する.....	40
	フォーカス (ピント) を調節する.....	40
	アイリス (明るさ) を調節する.....	41
	回転台を手動で操作する.....	42
	回転台の操作.....	42
	プリセット番号で操作する.....	43
	操作中にプリセット位置を設定する.....	44
	カメラポジション番号で操作する.....	45
	自動パンニングによる映像の監視.....	46
	自動パンニングを行う.....	47
パトロールランによる映像の監視.....	48	
カメラ電源とハウジングの操作.....	50	
電子シャッターの使いかた.....	51	
カメラ機能の操作.....	51	
電子感度アップのしかた.....	52	
電子ズームの操作.....	53	
カラー映像の白黒切り換え.....	55	
ショートカットによるカメラ機能の操作.....	55	
ホームポジションに戻す.....	56	
逆光補正 (BLC) モードの選択.....	57	
ビデオ出力ボードに入力した映像の表示(拡張映像入力).....	58	
コンビネーションカメラのクリーニング.....	59	

Chapter7 シーケンスの 使いかた	シーケンスの種類.....	62
	プログラムシーケンス	62
	ツアーシーケンス.....	63
	グループシーケンス.....	64
	プログラムシーケンスの使いかた.....	65
	ツアーシーケンスの使いかた.....	68
	グループシーケンスの使いかた	71
Chapter8 アラーム入力時 の操作	アラーム入力時のモニターの映像.....	76
	アラームモード1で運用している場合.....	76
	アラームモード2で運用している場合.....	77
	アラーム入力先の変更.....	78
	アラームモード3で運用している場合.....	78
	アラーム信号入力による動作の解除.....	79
	モニターごとに、アラーム信号入力を解除する.....	79
	アラーム信号入力による動作を一括して解除する	80
Chapter9 外部機器 の操作	外部機器の操作	82
	優先権の設定と解除	83
	プライオリティロックの解除のしかた	84
Chapter10 優先権の設定 と解除	プライオリティロックのしかた	84
	液晶ディスプレイの調節.....	85
Chapter11 液晶ディスプレ イの調節	液晶ディスプレイの調節のしかた.....	86
	コントラスト、バックライト調節用メニューの表示.....	86
	コントラストの調節.....	86
	バックライトの調節.....	86
Chapter12 カメラの状 態表示	カメラの状態表示.....	88

Chapter13	システムの終了	89
システムの終了	電源の切りかた	90
	ログアウト (Log-out) のしかた	90

取扱説明 設定編

Chapter1	セットアップを始める前に	93
セットアップを 始める前に	セットアップメニューの構成	94
	設定操作に使用する主なキー	95
	画面の構成	95
	設定操作の流れ	96
	設定例	97
セットアップの開始	98
	操作のしかた	99
	セットアップを終了するには	99
セットアップメニュー	99	

Chapter2	シーケンスの設定	101
シーケンスの 設定	プログラムメニュー	102
	プログラムシーケンス	104
	ツアーシーケンス	106
	グループシーケンス	108
	シーケンスの設定の初期化	110

Chapter3	スケジュールの設定	111
スケジュールの 設定	タイマーメニュー	112
	タイマーイベントメニュー	113
	タイマーイベントスケジュール	114
	特定日の設定	116

<p>Chapter4</p> <p>アラーム入力時の動作の設定</p>	アラーム入力時の動作の設定.....	119
	アラームメニュー.....	120
	アラームモードの選択.....	122
	アラームモード1の設定.....	124
	アラームモード2の設定.....	126
	アラームモード3の設定.....	128
	アラーム運用スケジュールの設定.....	132
<p>Chapter5</p> <p>オペレーター登録</p>	オペレーターの登録.....	135
	概要.....	136
	オペレーターメニュー.....	137
	オペレーターレベルの設定.....	138
	オペレーター属性の設定.....	140
<p>Chapter6</p> <p>カメラタイトルの設定</p>	カメラタイトル設定メニューの表示.....	144
<p>Chapter7</p> <p>システムの基本設定</p>	システムメニュー.....	148
	モニターとシステムコントローラーの対応付け.....	150
	外部タイミングの設定.....	152
	ケーブル補正、VD2、データ設定.....	154
	データボード（RS-485）通信の設定.....	156
	通信ルールの設定.....	158
	時刻の設定.....	160

<p>Chapter8</p> <p>カメラ機能の 設定</p>	<p>カメラ機能の設定.....164</p> <p>プリセット位置の設定 (WV-CS500専用).....166</p>
<p>Chapter9</p> <p>カメラポジショ ンの登録</p>	<p>カメラポジションの登録.....171</p>
<p>Chapter10</p> <p>システム情報の 表示・印刷</p>	<p>アラーム入力履歴の表示.....178</p> <p>システムの動作状態表示.....179</p> <p>各種情報の印刷.....180</p> <p>データの消去.....181</p>
<p>Chapter11</p> <p>カメラ クリーニング</p>	<p>コンビネーションカメラのクリーニング.....184</p>

工事説明

<p>工事を始める前 にお読みくださ い</p>	安全上のご注意	188
	はじめに（設置上のお願い）.....	191
<p>Chapter1 ボードの設定</p>	増設ユニットとボード枚数の選択.....	194
	CPUボードのスイッチ設定.....	197
	コントロールボードのスイッチ設定.....	199
	ビデオ入力ボードのスイッチ設定.....	200
	ビデオ出力ボードのスイッチ設定.....	201
	アラームボードのスイッチ設定.....	203
	データボードのスイッチの設定.....	205
	エクステンションボードのスイッチ設定.....	207
<p>Chapter2 設置のしかた</p>	システムコントローラーのラック組み込み.....	210
	ボードの組み込み.....	211
	マトリクススイッチャーのラック組み込み.....	213

Chapter3

接続のしかた

システム接続例216

カメラの接続217

モニター及びタイムラプスVTRの接続218

システムコントローラーの接続219

 モードスイッチの設定219

 ホームラン接続（1対1接続）.....220

 バス接続（デジチェーン接続）.....221

 1対1とバス接続（デジチェーン）との複合接続222

 ケーブルの延長223

アラーム（センサー）との接続224

 ピン番号と機能の割り当て224

 アラーム接続例224

増設ユニットとの接続225

 エクステンションケーブルの接続225

ビデオ出力ボードの連結226

データボードを使用する場合227

コネクタの組み立てかた230

付 録



Appendix1 仕 様	マトリクススイッチャー (WJ-SX550B).....	234
	増設ユニット (WJ-AD550).....	236
	システムコントローラー (WV-CU550B).....	238
	ビデオ入力ボード (WV-PB5508).....	240
	ビデオ出力ボード (WV-PB5504A).....	241
	アラームボード (WV-PB5564).....	242
	データボード (WV-PB5548).....	243
Appendix2 ボードの詳細	CPUボード	246
	コントロールボード	248
	ビデオ入力ボード	249
	ビデオ出力ボード	250
	アラームボード	251
	データボード	253
Appendix3 補足説明	起動状態とシステム動作内容	256
	操作メニューの流れ	257
	こんなときには	258
	索 引.....	262

安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

異常があるときは、すぐ使用を止める



煙が出る、臭いが出るなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

- 乾いた布で手をふいてください。

警告

電源コードは、必ずプラグ 本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、 ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで 確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ケーブルを傷つけない



重い物を載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

禁止

配線は正しく行う



ショートや誤配線により火災の原因となります。

⚠ 注意

落とさない、強い衝撃を与えない



けがや火災の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所に設置しない



火災や感電の原因となります。

禁止

指定以外の装置を接続しない



けがなどの原因になることがあります。

禁止

周囲に物を置かない



非常時の操作の妨げになり、火災、災害の拡大の原因となります。

禁止

- 指定範囲は常に整理、整頓してください。

定期的に点検する



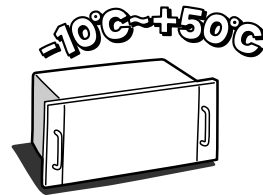
金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。

- 点検は販売店に依頼してください。

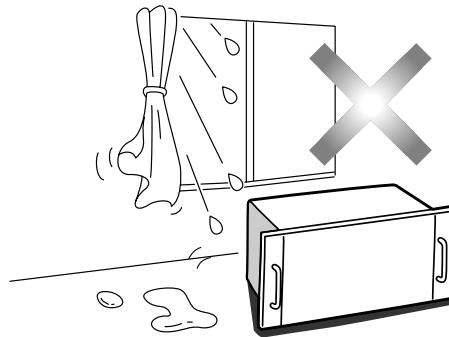
使用上のお願い

- 周囲温度は、-10 から +50 で、湿度は90%未満の場所に設置してください。

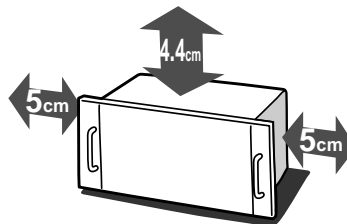
ラックに取り付けるときは、ラック内の温度が+45 以上にならないように他の機器と充分に間を空けてください。または、冷却ファンを取り付けてください。



- 故障の原因になりますので、雨や水などが入るところには設置しないでください。また、湿気の多いところには、設置しないでください。



- 機器の側面及び後面は、壁から5cm以上間隔を空けて設置してください。また、上面は4.4cm以上の空間を確保してください。



- 同軸ケーブルを電灯線などに近づけて引き回すと、映像が乱れることがあります。そのときは、配線の位置を変えてください。

- テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランスなどの強い電界、磁界の近くでお使いになると、影響を受けて雑音が入ったり映像が曲がったりすることがあります。このような場合、同軸ケーブルに専用の薄銅電線管をもうけて通線してください。

- ボードを扱う前に、マトリクススイッチャーの金属ケース部に手で触れて、人体の静電気を「放電」させてください。静電防止の「リストストラップ」(手首の輪)を装着すればより完全です。

- ラックについて

本機を取り付けるラックは次のいずれかをご使用ください。

スタンダードラック : WU-RS71 (収納ユニット数 29U)

ロングラック : WU-RL76 (収納ユニット数 41U)

EIA規格相当品 : EIA19型奥行き450mm以上

- ラックに取り付けるときは

- 車載用など、振動の激しい場所では使用しないでください。
- ラックの内部温度が +45 以上にならないよう、十分に換気をしてください。

- ていねいにお取り扱いください。

落としたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因になります。

- 電源スイッチについて

本機の電源スイッチは電源スイッチを「OFF」にしても、電源からは遮断されません。

電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、または電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

- 厨房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所での使用は避けてください。

- お手入れについて

電源プラグを電源コンセントから抜いてか乾いた布でふいてください。

ほこりがとれにくいときは、薄めた中性台所用洗剤を柔らかい布に染み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。ベンジン、シンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。

化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってご使用ください。

- 表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をお読みください。

第1編 操作

マトリクススイッチャーシステム（以下システムと呼びます）は、映像監視を行うために必要な各種機能を提供しています。ここでは、各機能の使いかたを説明します。

1. 各部の名前

2. マトリクススイッチャーシステムの機能

3. 操作を始める前に

操作の基本となる事項を説明しています。初めてお使いになるときにお読みください。

4. システム操作の開始

システムを操作するには、ログインと呼ばれる操作を行う必要があります。ログインの方法について説明しています。

5. モニターの操作

6. 映像の操作

映像監視の基本となるスポット監視の方法について説明しています。また、カメラの各機能の操作方法を説明しています。

7. シーケンスの使いかた

映像監視方法の種類にシーケンスによる監視があります。シーケンスは用途によってプログラム、ツアー、グループの3種類があります。各操作方法を説明しています。

8. アラーム入力時の操作

9. 外部機器の操作

10. 優先権の設定と解除

11. 液晶ディスプレイの明るさの調節

システムコントローラーの液晶ディスプレイの明るさ（コントラスト）の調節方法を説明していません。

12. カメラの状態表示

現在使用しているカメラの動作状態をモニターに表示して確認できます。

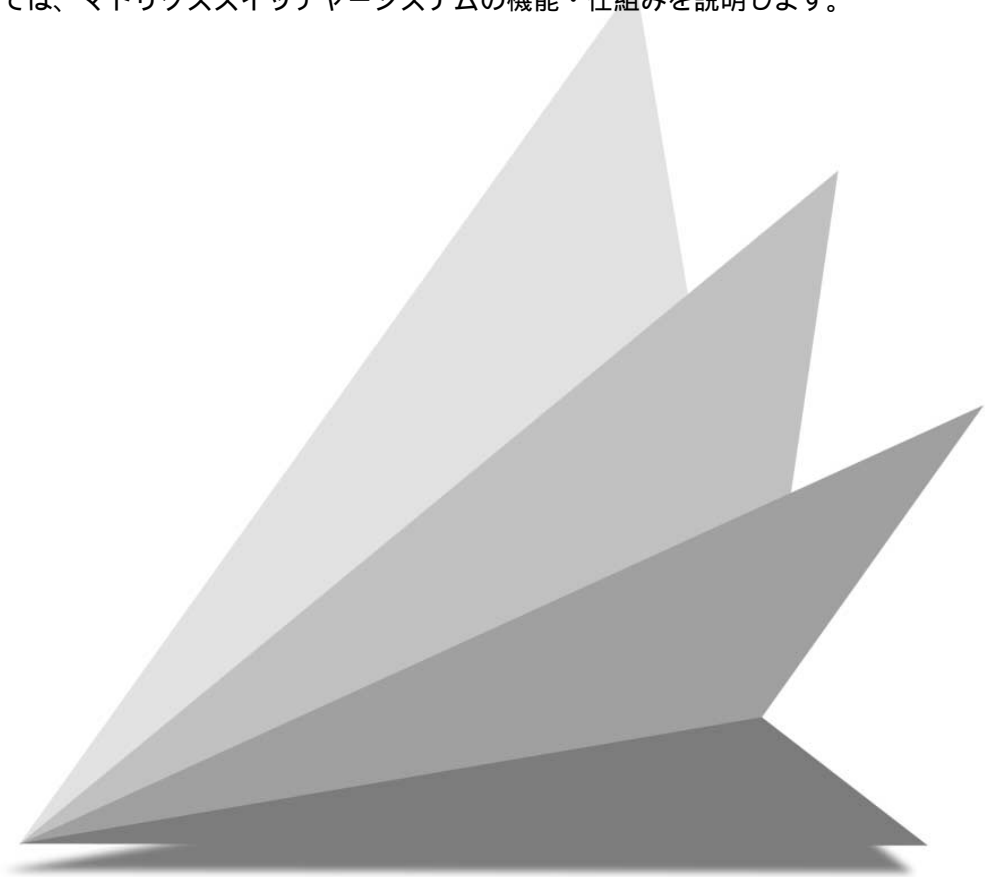
13. システムの終了

システムの終了方法について説明しています。

Chapter 1

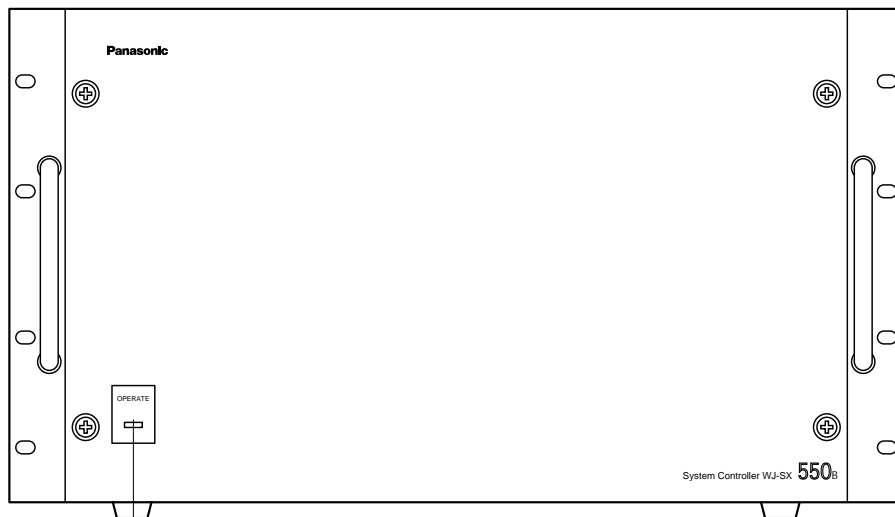
各部の名前

ここでは、マトリクススイッチャーシステムの機能・仕組みを説明します。

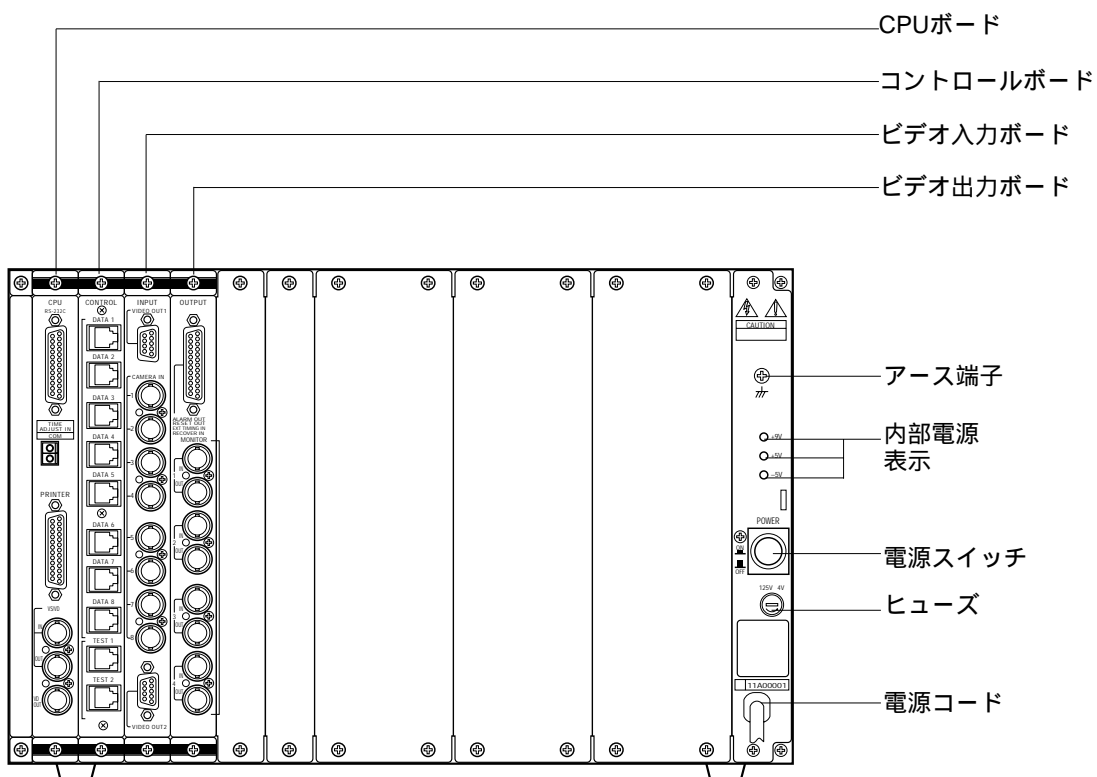


マトリクススイッチャー WJ-SX550B

マトリクススイッチャーは、システムを構成する上で中心となる機器です。各種ボードを追加して、適切なシステムを構築することができます。



電源表示



CPUボード

コントロールボード

ビデオ入力ボード

ビデオ出力ボード

アース端子

内部電源
表示

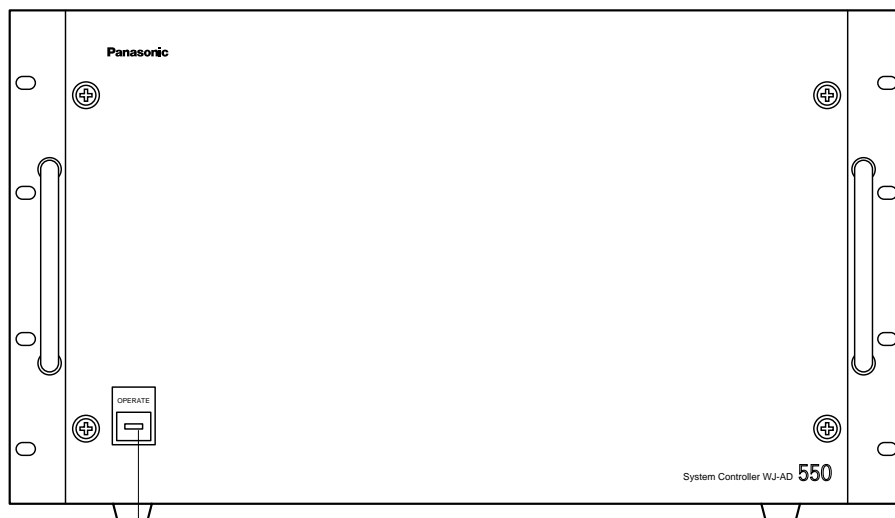
電源スイッチ

ヒューズ

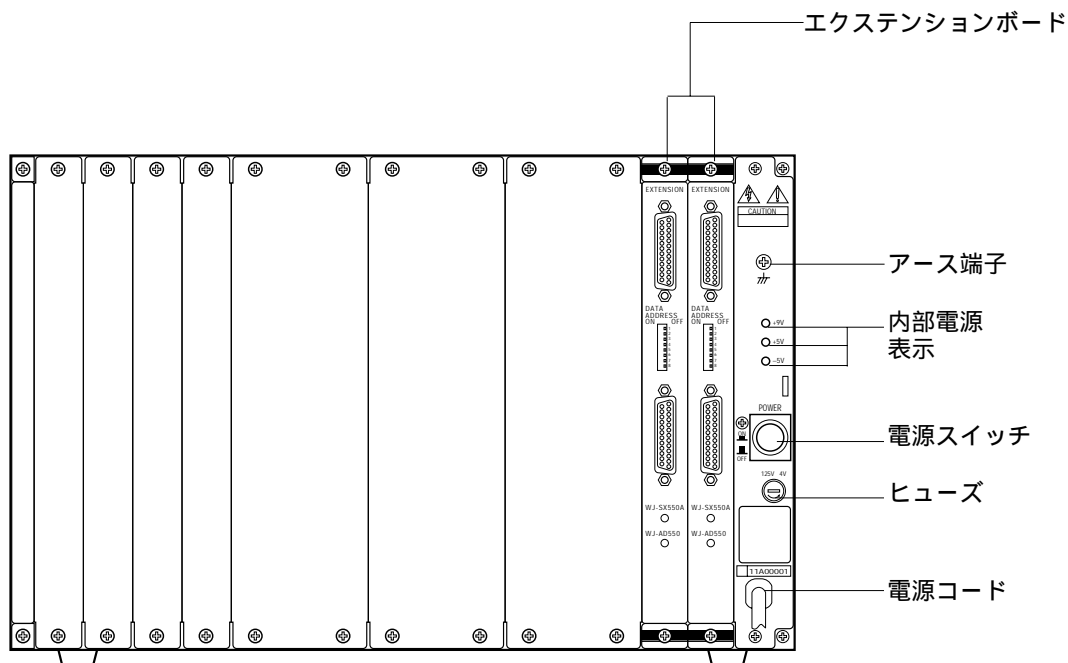
電源コード

増設ユニット WJ-AD550 (オプション)

増設ユニットは、128台以上のカメラを使用して監視する場合に必要です。別売りのビデオ入力ボード、ビデオ出力ボード、データボードを追加することができます。



電源表示



エクステンションボード

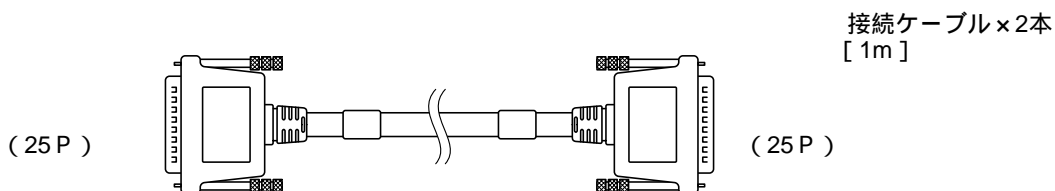
アース端子

内部電源表示

電源スイッチ

ヒューズ

電源コード



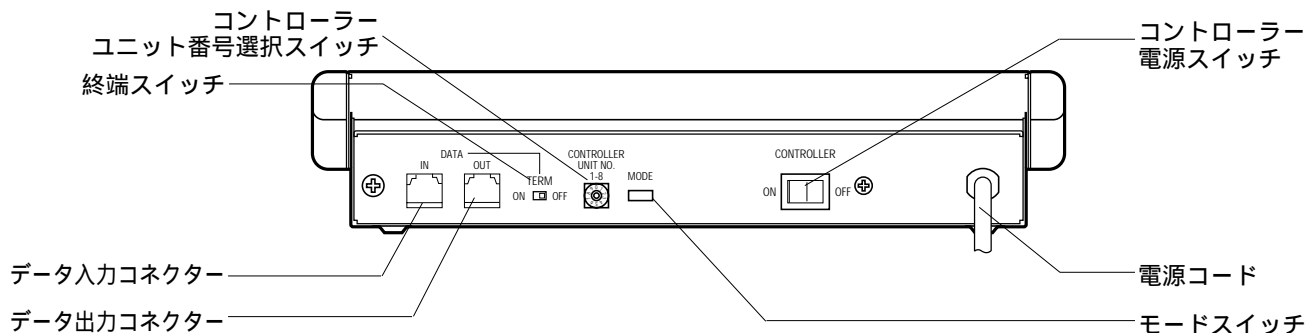
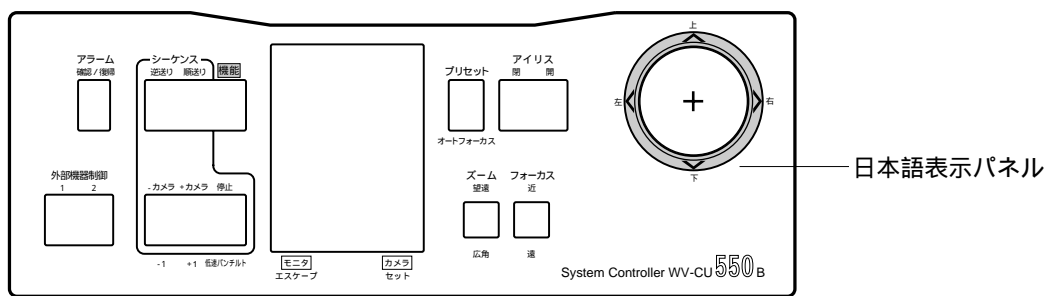
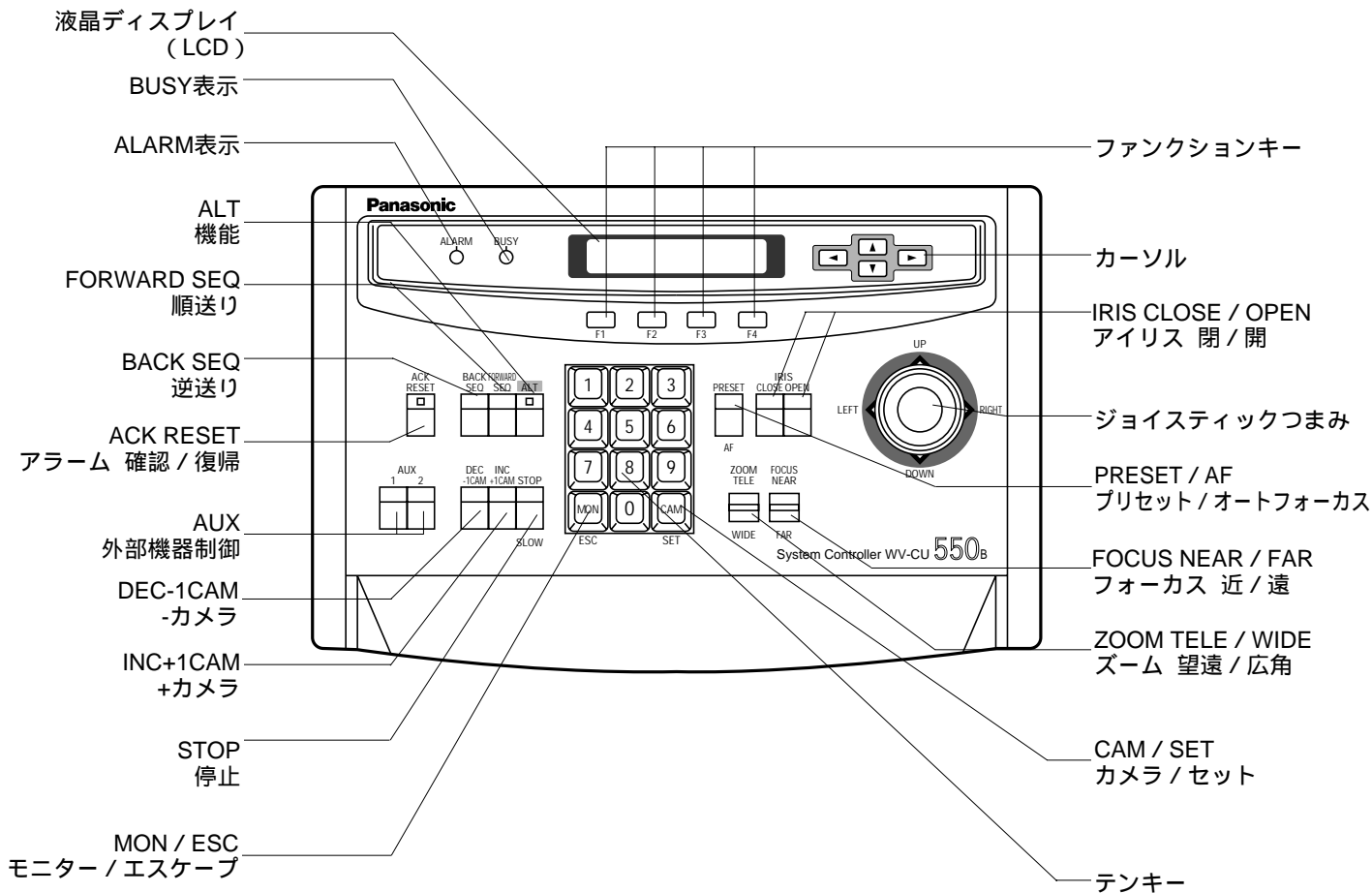
接続ケーブル×2本
[1m]

(25 P)

(25 P)

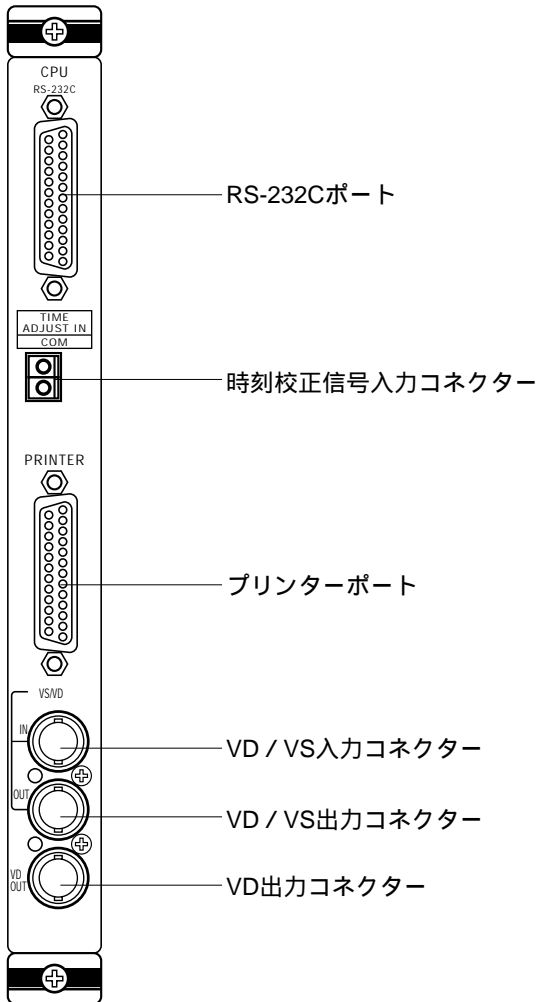
システムコントローラー WV-CU550B

システムコントローラー（別売り）はシステムを操作するために必要です。1システムに最低1台必要です。

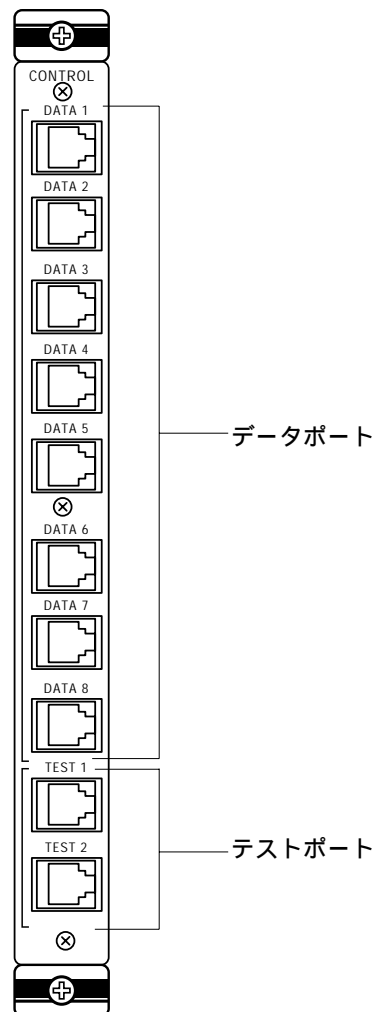


ボード

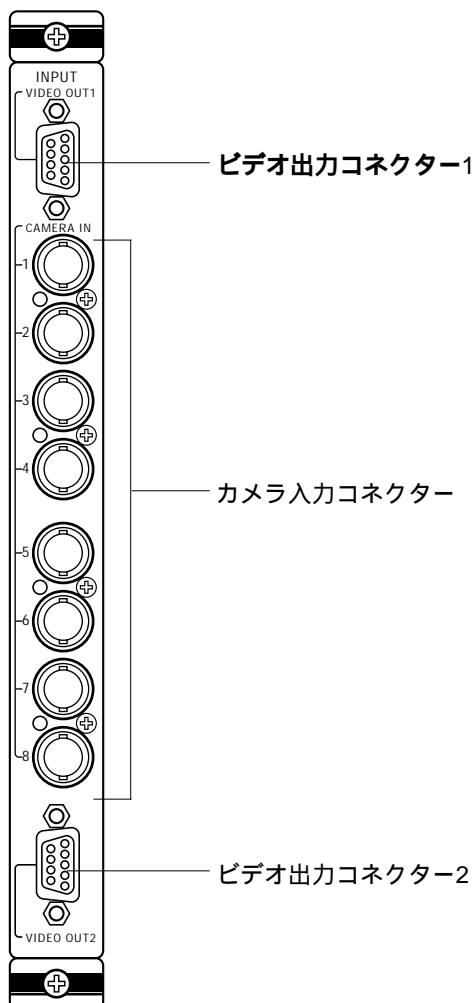
CPUボード (WJ-SX550B内蔵)



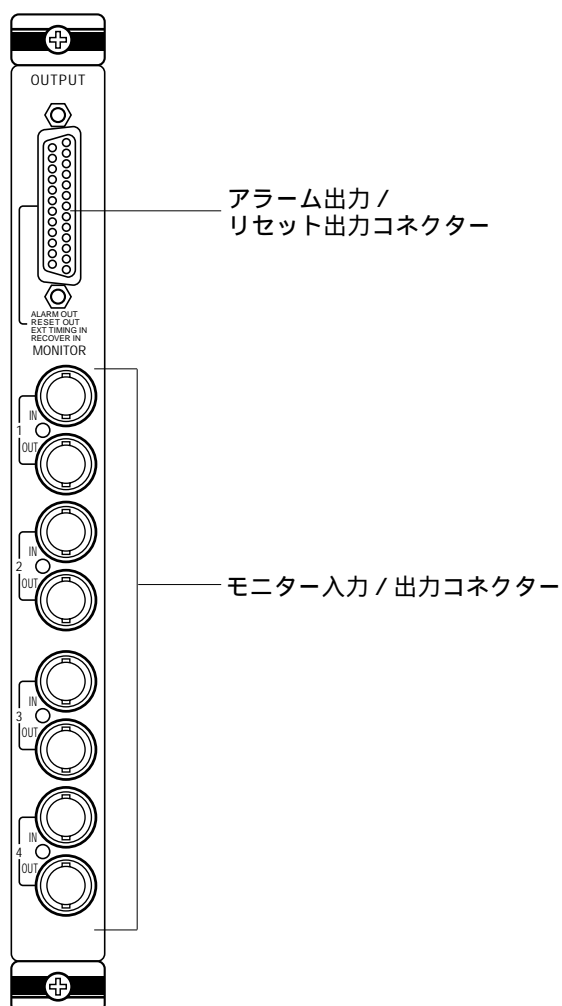
コントロールボード (WJ-SX550B内蔵)



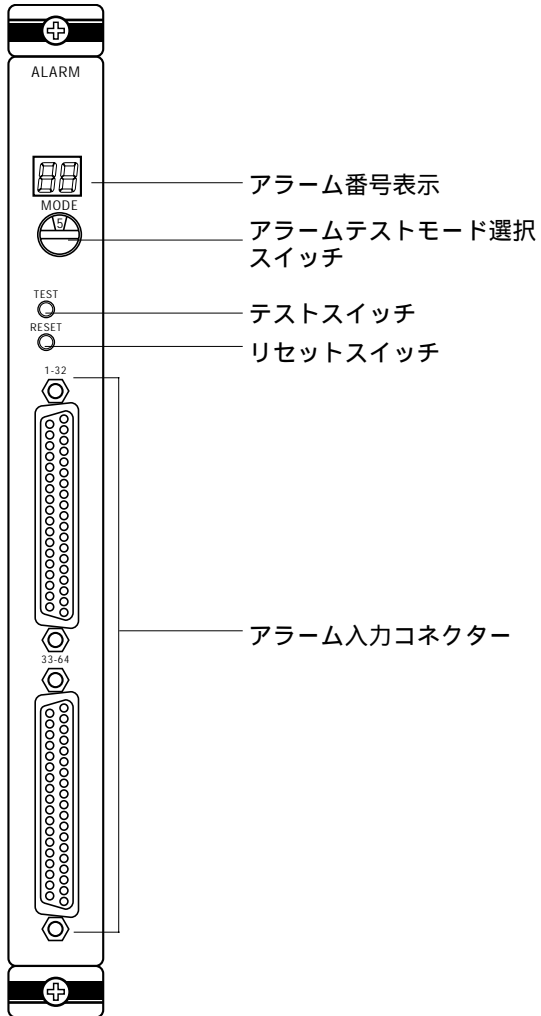
ビデオ入力ボード WV-PB5508 (増設可能)



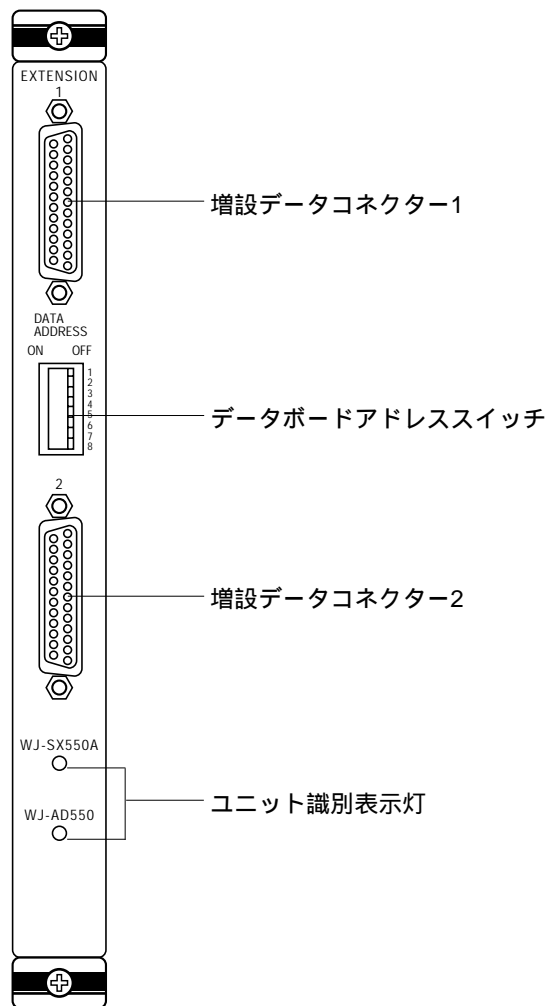
ビデオ出力ボード WV-PB5504A (増設可能)



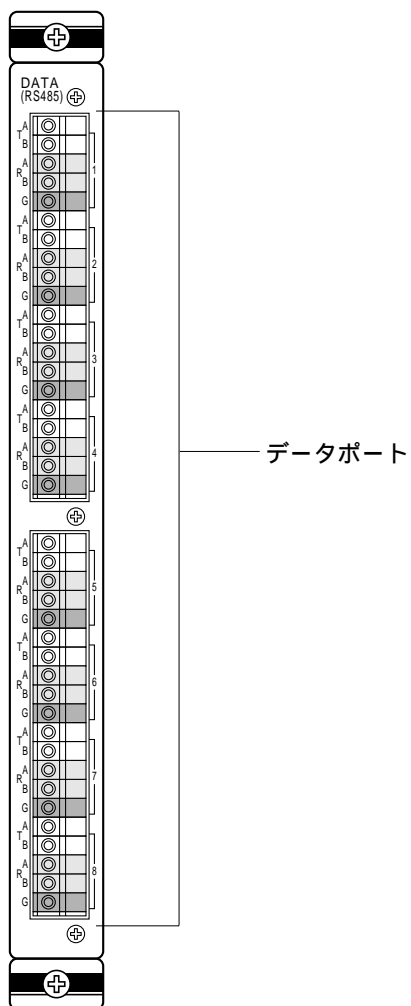
アラームボード WV-PB5564 (オプション)



エクステンションボード (WJ-AD550付属)



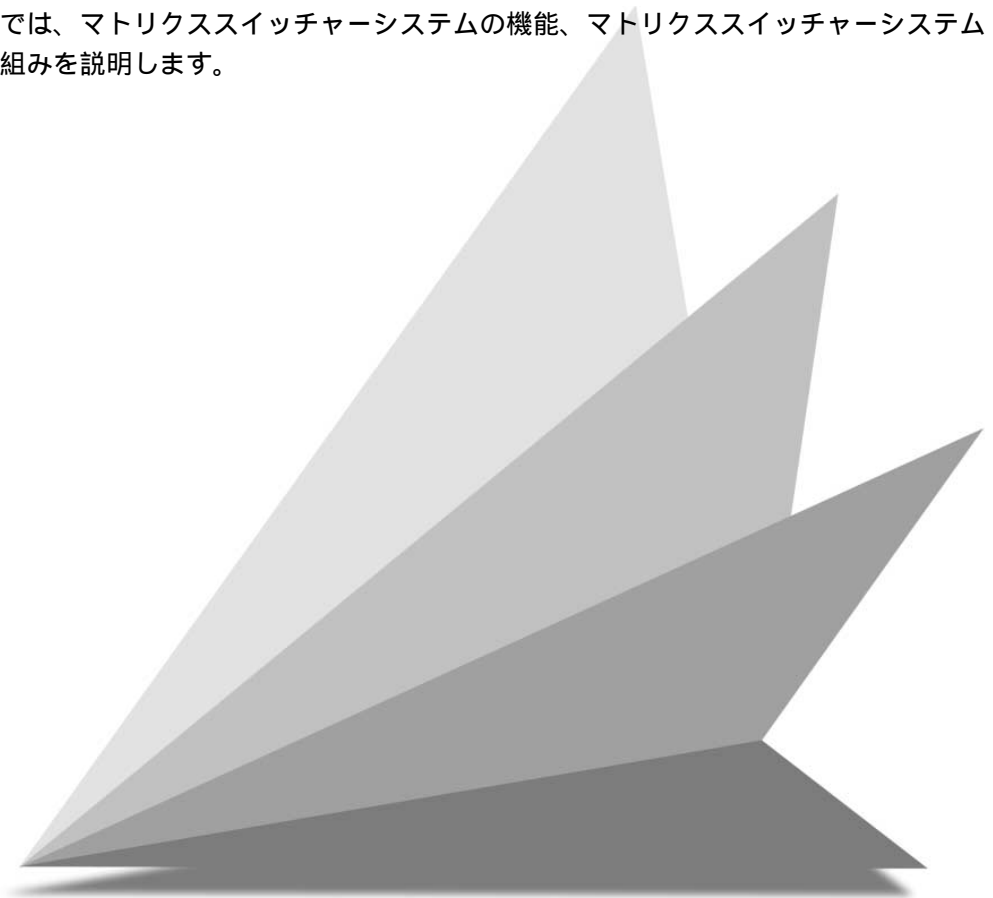
データボード WV-PB5548 (オプション)



Chapter 2

システムの機能

ここでは、マトリクススイッチャーシステムの機能、マトリクススイッチャーシステムの仕組みを説明します。



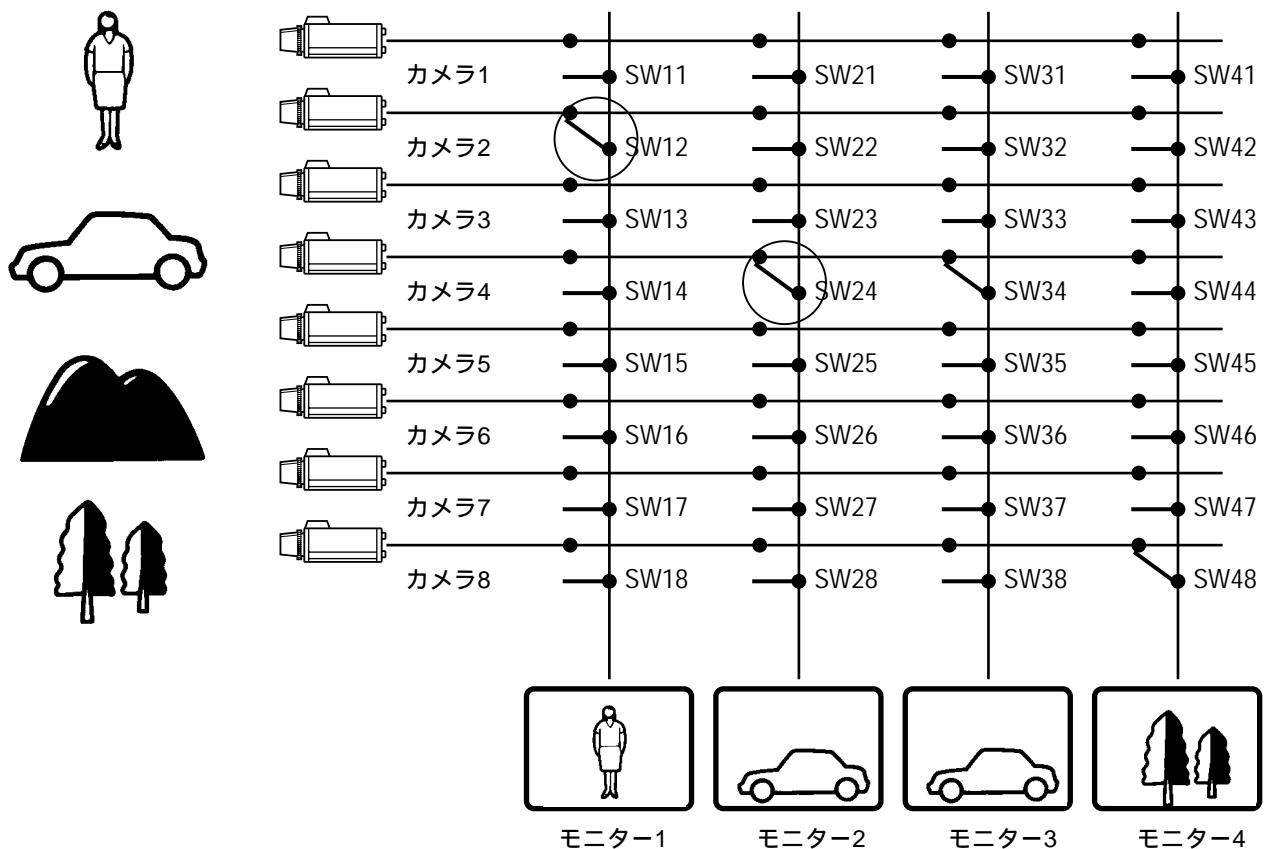
システムのしくみ

マトリクススイッチャーは、内部にあるクロスポイントスイッチを動作させて映像を切り換えます。カメラを行方向に、モニターを列方向の配列したとき、その二つを結ぶものが、クロスポイントスイッチです。

クロスポイントスイッチの概要を下図に示します。

図の例では、SW12をONにすれば、カメラ2の映像をモニター1に表示できます。同様にSW24で、カメラ4の映像をモニター2に表示できます。また、SW34でカメラ4の映像をモニター3に、SW48でカメラ8の映像をモニター4に表示できます。

マトリクススイッチャーは、このクロスポイントスイッチを意識しないで操作できるようにした装置です。



クロスポイントスイッチの開閉

クロスポイントスイッチは、マトリクススイッチャー内のマイクロプロセッサに次の入力があったとき開閉します。

- システムコントローラーによる開閉

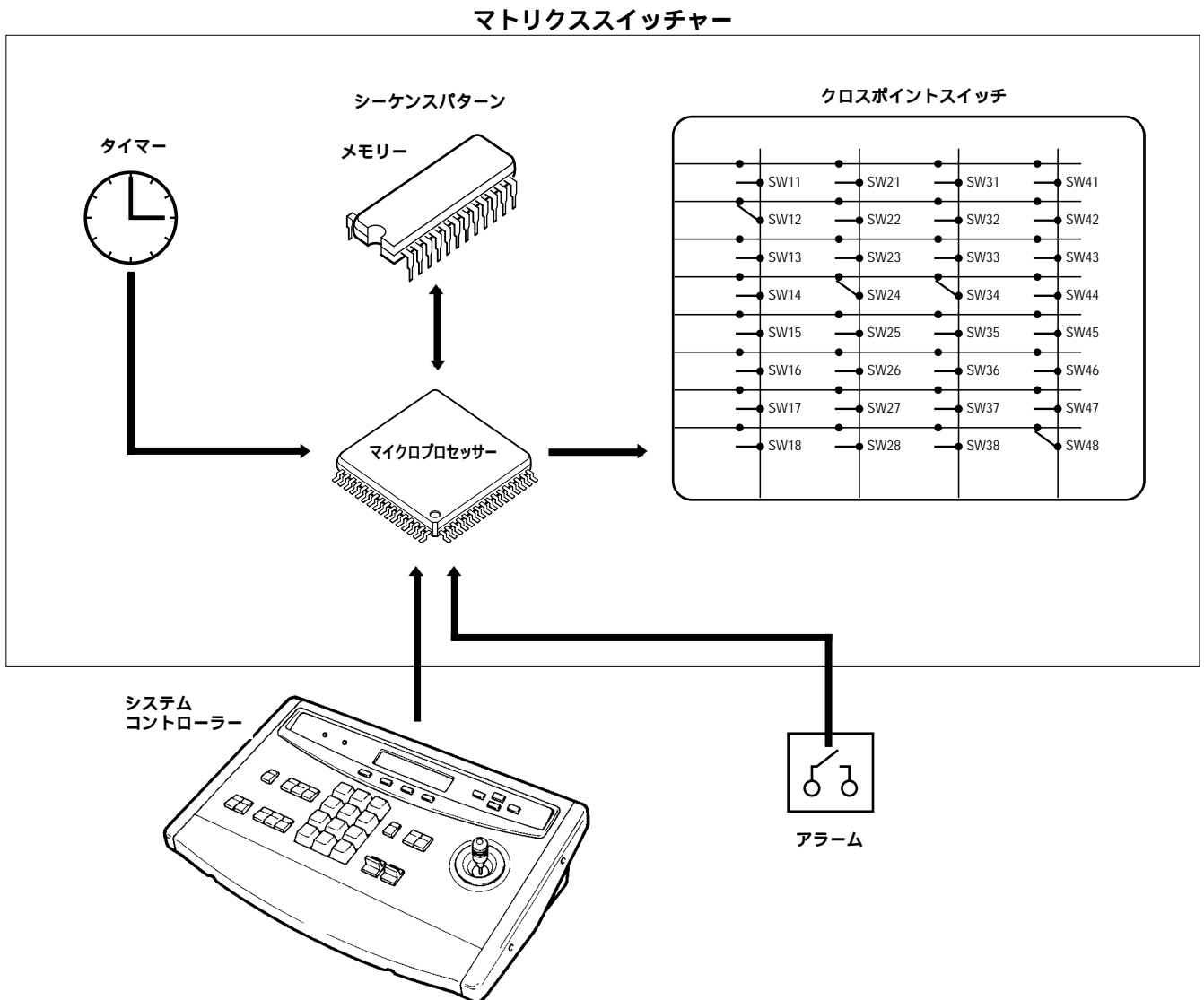
マイクロプロセッサは、入力されたシステムコントローラーの操作内容に従い、クロスポイントスイッチを開閉し、指定のカメラ映像を指定のモニターに表示します。

- 外部アラーム入力による開閉

アラーム入力があると、マイクロプロセッサはあらかじめ登録されたパターン（アラームモード）に従って、クロスポイントスイッチを開閉し、指定されたモニターにカメラ映像を表示します。

- 内部タイマーによる入力

内部タイマーに設定した時間になると、マイクロプロセッサは登録されたパターン（タイマーイベントモード）に従ってクロスポイントスイッチを開閉し、指定されたモニターにカメラ映像を表示します。



映像監視機能の概要

本システムは、映像監視を容易にするために次の機能を提供しています。

スポットとシーケンス

モニター出力は「スポット」と「シーケンス」の2つがあります。

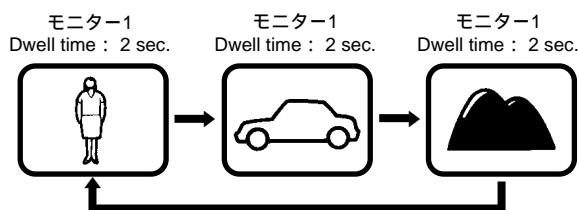
(a) スポット

特定のカメラを特定のモニターに連続的に表示する機能です。

(b) シーケンス

カメラ映像を一定時間表示した後、順に次のカメラ映像に切り換えて表示する機能です。図の例は、モニター1にカメラ2 カメラ4 カメラ6の映像を繰り返して順次表示する場合を示します。表示する時間は2秒に設定されています。

カメラの選択、モニターの選択、表示時間の設定などシーケンスのパターンはマトリクススイッチャーのメモリーに登録することによって使用できます。



シーケンスで1つのカメラ映像を表示する期間を「表示時間 (Dwell Time)」と呼びます。

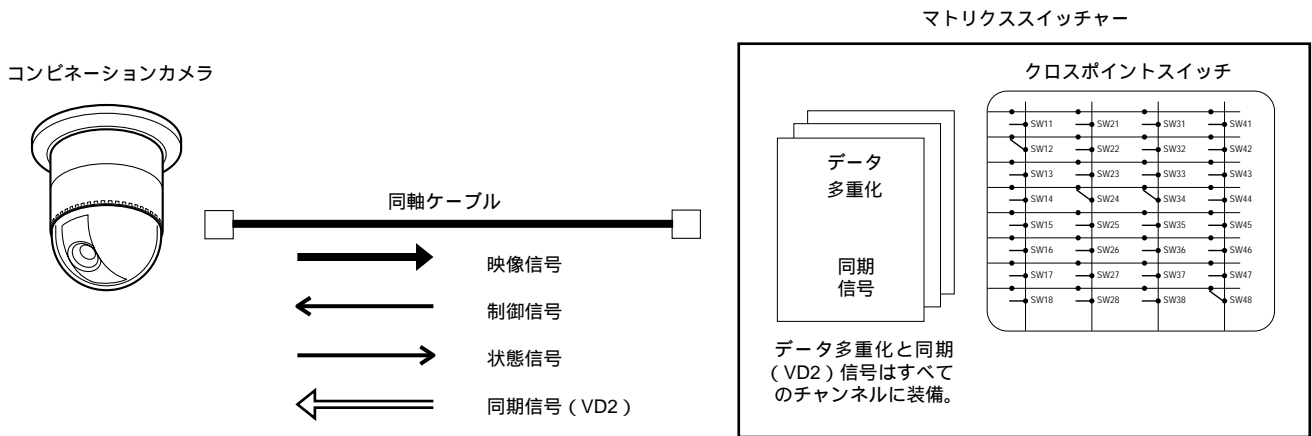
上の例のように自動的に繰り返すシーケンスのパターンは、マトリクススイッチャーのメモリーに設定しておきます。

各種の制御

マトリクススイッチャーは、クロスポイントスイッチの他に、カメラとその周辺機器（回転台、ズームレンズ、その他補助機器）を制御できます。

図のように、制御信号はカメラ映像信号に重畳されて同軸ケーブル上を伝送します。マトリクススイッチャーは、カメラに制御信号とVD2同期信号を送ります。カメラ側からマトリクススイッチャーに、カメラ映像信号とカメラ状態信号を送ります（マトリクススイッチャーに、映像信号と制御信号とを重畳／分離する回路を各チャンネルに標準装備されています）。このようにしてシステムコントローラからカメラとその周辺機器の制御を可能にしています。

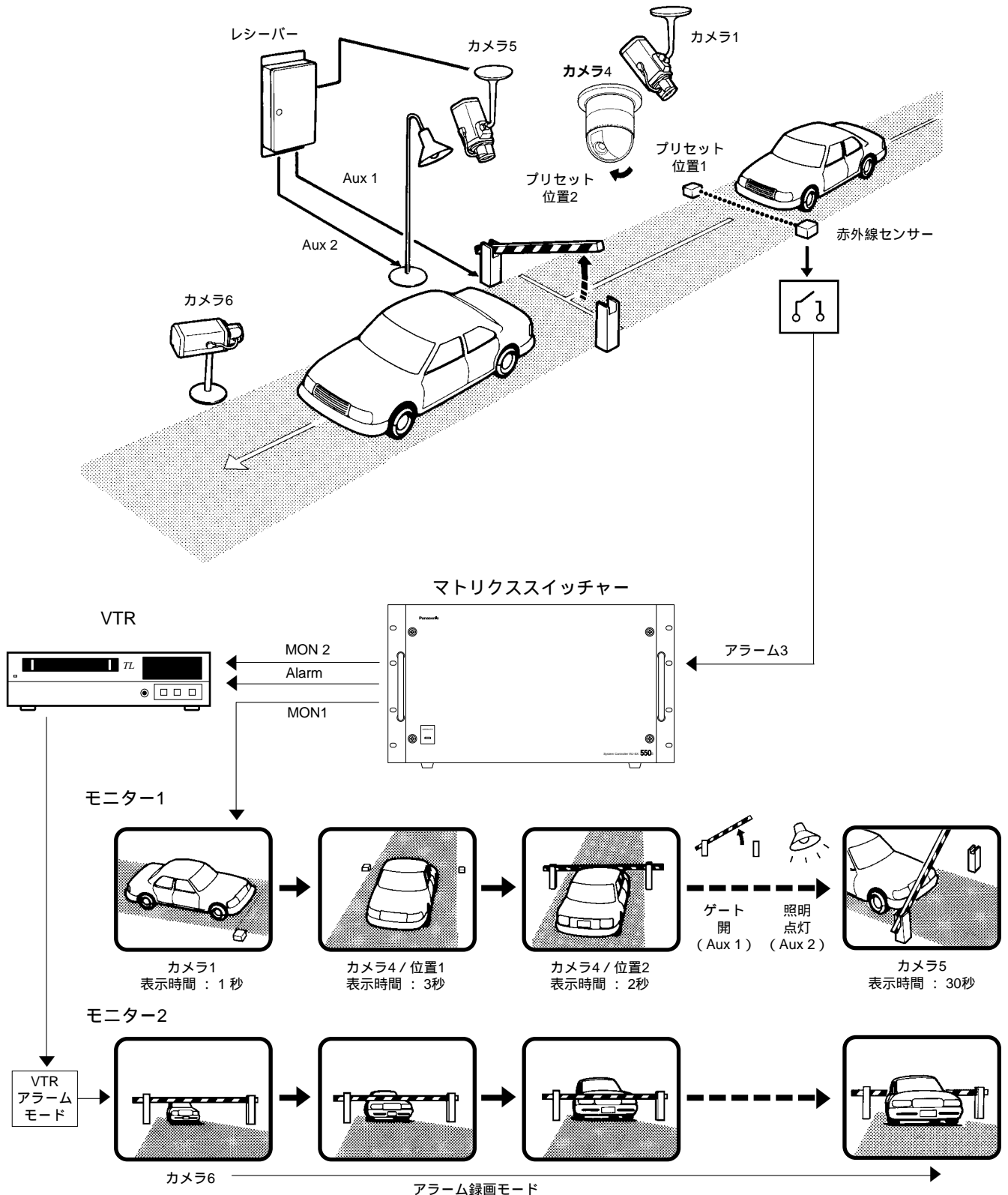
VD2同期信号の働きは、複数のカメラに同じ位相の同期信号を供給することで、シーケンスしたときに画面が乱れるのを防ぎます。



信号	機能				
制御信号	パン、チルト、ズーム、フォーカス、絞り、シャッター速度、逆光補正、プリセット位置、レシーバー周辺機器、ワイパー、霜取りを制御する信号				
状態信号	カメラの状態信号				
同期信号 (VD2)	<p>マトリクススイッチャーから各カメラに供給します。図は同期信号の有無とシーケンスしたときモニター画像の乱れの様子を示します。</p> <table border="1"> <tr> <td>同期なし (VD2 OFF)</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>同期あり (VD2 ON)</td> <td> </td> </tr> </table>	同期なし (VD2 OFF)		同期あり (VD2 ON)	
同期なし (VD2 OFF)					
同期あり (VD2 ON)					

基本機能を組み合わせた使用例

マトリクススイッチャーと周辺機器とを組み合わせ、駐車場を監視するためのシステム例を示します。



- ①車の進入を検知した赤外線センサーは、マトリクススイッチャーにアラーム信号を出力します。
- ②マトリクススイッチャーは、モニター1に設定されたシーケンスを開始します。
モニター1には、次のようなシーケンスが設定されています。
カメラ1映像表示 カメラ4（位置1）映像表示 カメラ4（位置2）映像表示
AUX1,2制御 カメラ5映像表示
- ③カメラ4は、シーケンスの進行に伴いプリセット位置1からプリセット位置2に向きを変えます。
- ④レシーバーは、シーケンス進行に伴いAUX1制御でゲートを開き、AUX2で照明ランプを点灯させます。
- ⑤モニター2にはカメラ6映像がスポットで一貫して表示されます。駐車場の管理事務所内では、これらの映像をモニターで見ながら監視します。
- ⑥マトリクススイッチャーは、VTRに対してタイムラプス録画モードからアラーム録画モードに変更するよう命令します。

セットアップについて

使用例に示した動作を行うには、アラーム入力時の動作やカメラなどの動作をあらかじめマトリクススイッチャーに設定し記憶させる（セットアップ）必要があります。セットアップの概要を説明します。

●使用例におけるセットアップ概要

セットアップは、モニターに表示される画面を見ながらシステムコントローラーを操作して行います。

設定の内容はシーケンス、タイマー、アラーム、オペレーター登録などがあります。詳細は「第2編 設定」をお読みください。

使用例の動作を行うために必要なツアーシーケンスとアラームの設定例を示します。

ツアーシーケンスの例

Step	01	02	03	04
CAM	01	04	04	05
PRE		01	02	
DWELL	01	03	02	30
AUX1				<input type="checkbox"/>
AUX2				<input type="checkbox"/>

カメラ番号
カメラプリセット位置
映像表示時間（秒）
外部機器（ゲート）制御
外部機器（照明）制御

アラーム設定の例

Auto RST			AUX	1	2	3	4	5
AL	Mode	CAM	1 2	T	S			
03	T 01							
03	S	06		<input type="checkbox"/>				

アラームモード
スポット
ツアーシーケンス1
カメラ番号6
モニター1にツアーシーケンス割り当て
モニター2にスポットを割り当て
モニター1でツアーシーケンス1を開始
カメラ6の映像をモニター2にスポット表示

Chapter 3

操作を始める前に

ここでは、マトリクススイッチャーシステムを操作するための基本的な事項について説明します。

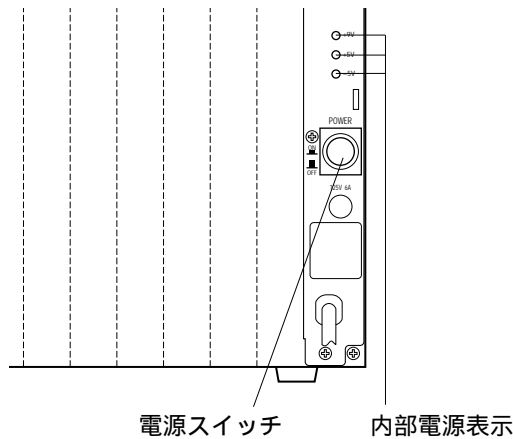
電源の入れかた

- ①マトリクススイッチャーの電源スイッチをONにします。マトリクススイッチャー後面の内部電源表示と前面の電源表示が点灯します。

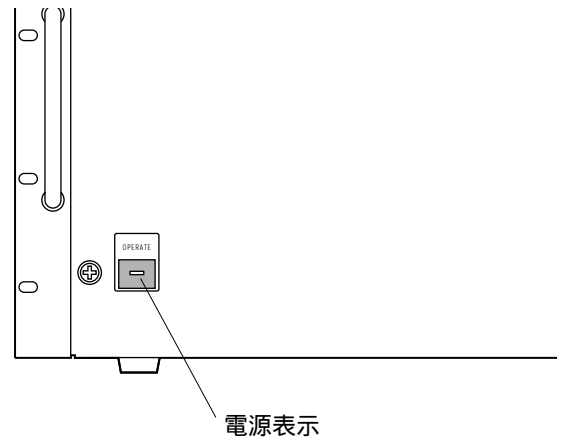
増設ユニットの電源を先に入れる!

増設ユニットを使用しているときは、増設ユニットの電源スイッチを先にONにし、後からマトリクススイッチャー本体の電源スイッチをONにします。

<マトリクススイッチャー後面>



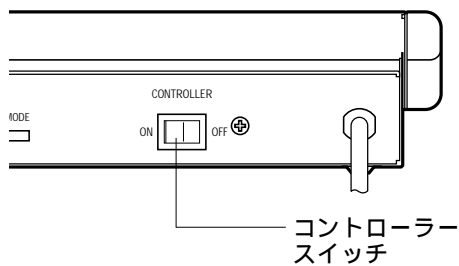
<マトリクススイッチャー前面>



- ②システムコントローラーのコントローラースイッチをONにします。

- ・オンスクリーンディスプレイには初期画面が表示されます（下図）。
- ・システムコントローラーの液晶ディスプレイにLog-inを要求するメッセージが表示されます。（オートログイン機能がONになっているときは、液晶ディスプレイに [Connect Check] と表示され自動的にログインします。オートログイン機能の設定・確認方法は「13. システムの終了」をお読みください。）

<システムコントローラー後面>



<液晶ディスプレイの遷移>

Initial Check
9600 BPS

Log-in

初期画面

Matrix Switcher
Model WJ-SX550B
"Normal Start"

CPU Board SW.	Position
Unit No.	01
Video	NTSC
Character Type	0
VD/VS	VS

ROM	Ver.
CPU	X.XX
Control	X.XX
Output No.1	X.XX

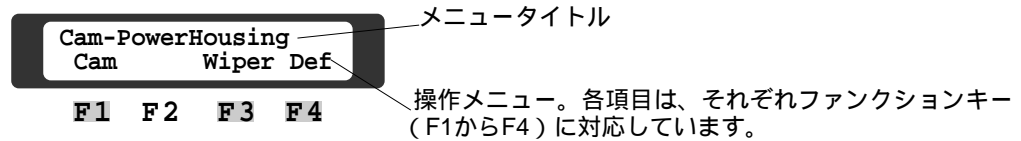
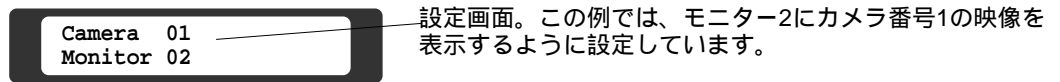
起動方法を表示

操作メニューの流れ

マトリクススイッチャーは、システムコントローラーの液晶ディスプレイに表示されるメニューで操作します。

液晶ディスプレイには次のようなメニューが表示されます。

メニューの構成

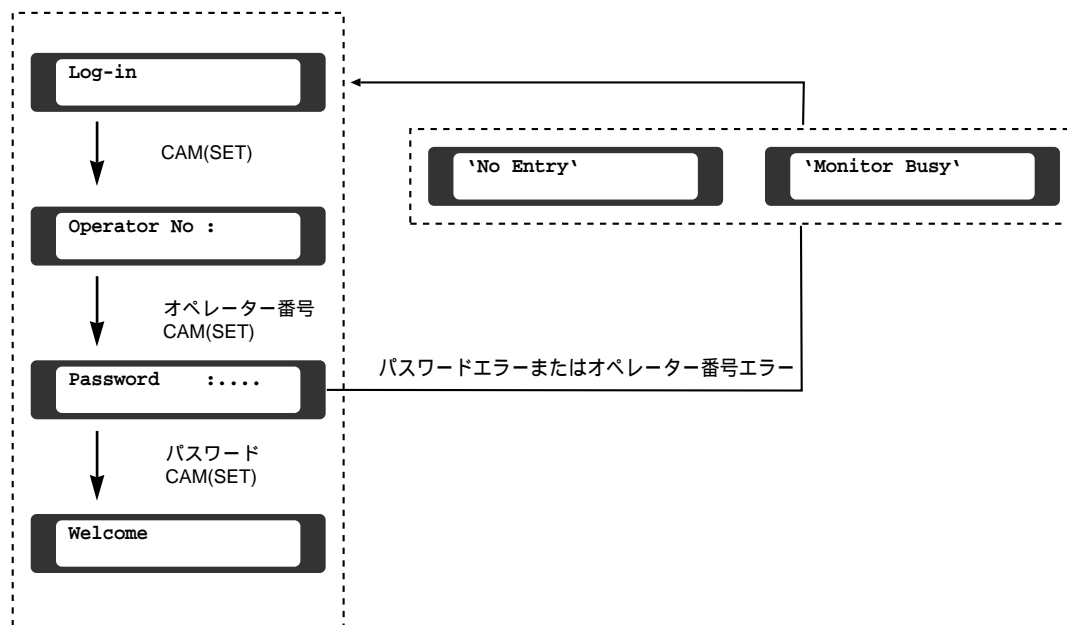


ログイン（Log-in）時のメニューの遷移

オートログイン機能がOFFの場合、システムの電源をONにすると、システムは正当な利用者であるかどうかを判断するためにログインを要求するメニュー（Log-in）を表示します。ログイン時のメニューの遷移は、下図のとおりです。

Log-inの方法については、「4. システム操作の開始」をお読みください。

メニュー遷移 (Log-in時)



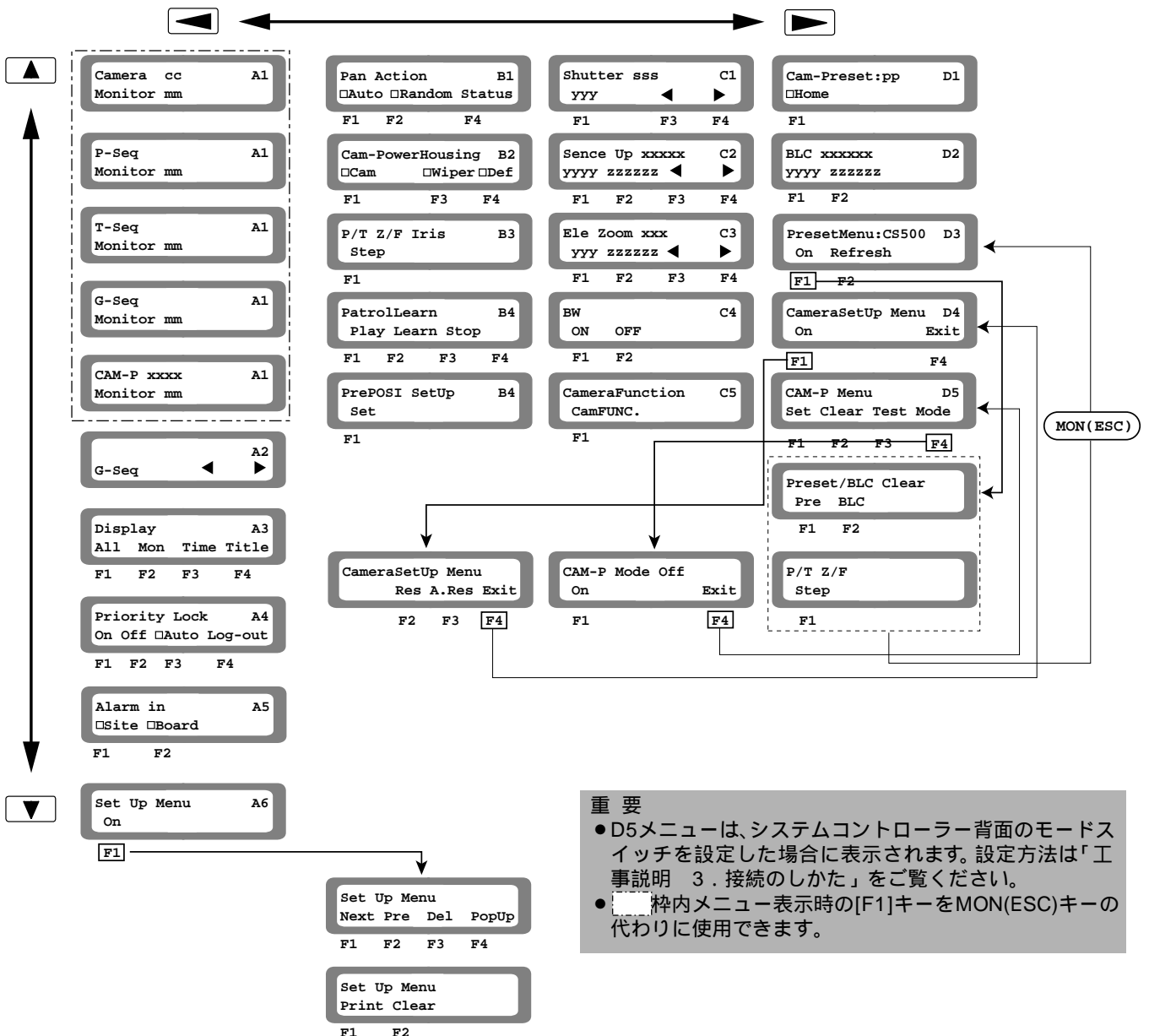
操作を始める前に

操作メニューの遷移

メモ

- 操作メニューの切り換えは、カーソルキー（ ◀ ▶ ）やファンクションキー（F1からF4）で行います（下図参照）。例えば、A1からA2に移るには、 ◀ を押します。
- どの操作メニューからでも、◀を押しながら▶を押すとA1メニューに戻ります。
- メニュー番号（A1、C1など）はメニュー画面遷移後、約2秒表示されます。メニュー番号は、以降の説明でひんぱんに引用されます。不明なときは下の操作メニュー遷移図を参照してください。このメニュー遷移図は、付録にも記載しています。コピーしてお使いください。

● 操作メニュー遷移



重要

- D5メニューは、システムコントローラー背面のモードスイッチを設定した場合に表示されます。設定方法は「工事説明 3. 接続のしかた」をご覧ください。
- 枠内メニュー表示時の[F1]キーをMON(ESC)キーの代わりに使用できます。

操作の基本

ここでは、システムの操作をするうえで、基本となる操作の流れを説明します。
詳しくは、各操作のしかたをお読みください。

- モニターの選択

モニター番号入力 (テンキー) MON (ESC) キー
(カメラポジションモード「On」時は [F1] キー)

- カメラの選択

- カメラ番号入力 (テンキー) CAM (SET) キー
- [INC+1CAM] スイッチ
- [DEC-1CAM] スイッチ

- ズームの操作

[ZOOM] スイッチ。広角にする (WIDE) または望遠 (TELE) にする。

- ピントの調節

[FOCUS] スイッチ。手前に合わせる (NEAR) または遠くに合わせる (FAR)。

- オートフォーカスの起動

[PRESET / AF] スイッチ。

- カメラの旋回

ジョイスティックつまみを動かす。

- プリセット操作

プリセット番号入力 (テンキー) [PRESET / AF] スイッチ。

- カメラ選択と同時にプリセット位置に旋回 (カメラポジションモードOn時)

カメラポジション番号 (テンキー) MON (ESC) キー

- アイリス調節

[IRIS] スイッチ。画面を明るくする (OPEN) または暗くする (CLOSE)。

- プログラムシーケンスの実行

モニターの選択 0 (テンキー) [FORWARD SEQ] スイッチ。

- ツアーシーケンスの実行

シーケンス番号 (テンキー、0以外) [FORWARD SEQ] スイッチ。

- グループシーケンスの実行

A2メニュー (カーソルキー) シーケンス番号入力 (テンキーまたは [F3 / F4] キー) [F1] キー

- アラームの解除 (手動)

[ACK RESET] スイッチを2回押す。

- 外部機器の操作

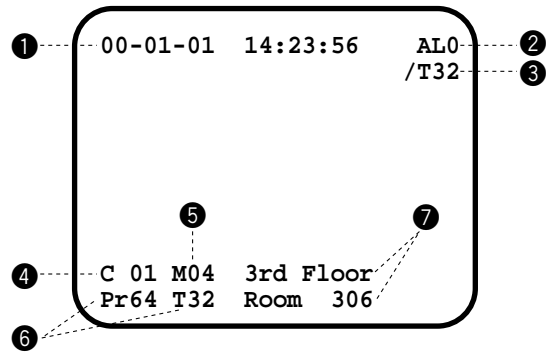
[AUX1] または [AUX2] スイッチを押す。

モニターに表示される情報

システム運用中に、日付やカメラタイトルなどの情報やシステムやカメラの動作に関する情報をモニターに表示して確認することができます。

- 日付、カメラタイトル、実行中のシーケンスなどの情報

通常モニターに表示される情報です。これらの情報を表示したり消去したりできます。詳細は、「5.モニターの操作」をお読みください。



- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| ①年月日時分秒 | ⑥監視モード |
| ②アラーム動作中 | Sp : スポット |
| AL0 : カメラ側から同軸多重でアラーム入力。 | Seq : プログラムシーケンス |
| AL1 : アラームボード経由でアラーム入力。 | Tnn : ツアーシーケンス。nnはツアーシーケンス番号 |
| ③タイマーイベント | Gmm : グループシーケンス。 |
| ④カメラ番号 | mmはグループシーケンス番号 |
| ⑤モニター番号 | Prxx : プリセット。xxはプリセット番号 |
| | ⑦カメラタイトル |

メモ

モニターによっては、文字の一部が表示できない場合があります。

- カメラ側機器の状態

電子ズームや電子シャッターのOn/Offやパンニング機能の有無など、設定されているカメラ側機能に関する状態を表示できます。詳細は、「12. カメラの状態表示」をお読みください。

```

Site Status
Ele Zoom:
Shutter :
Sens Up :
Random :
Auto Pan:
Camera :
Wiper :
Def :
AUX1 :
AUX2 :
C 01 M16
    
```

- アラーム履歴、システム動作状態

これらの情報は、セットアップメニューの操作を許可されたオペレーターだけが表示できます。詳細は、「設定編 10.システム情報の表示・印刷」をお読みください。

- アラーム履歴

システムに入力されたアラーム情報を履歴として確認できます。

Set Up		AL REC	
Alarm Recall			
No.	Date	Alarm	Monitor
53	06-14 23:09:11	1-009	01 02 03 04 05 06 07 08>
52	06-11 10:32:37	1-021	06
51	05-05 01:12:08	0-062	10
50	03-03 21:59:00	1-012	10 11 12
49	03-03 12:00:00	1-026	04 16
48	03-03 11:59:20	1-108	01
47	03-26 23:59:00	0-008	09
46	02-25 00:00:00	0-117	16
45	02-02 12:47:32	0-047	11 15
44	01-11 02:00:00	1-010	Mode 2
43	01-01 00:00:01	1-063	Mode 2
42	12-25 23:00:00	1-059	Mode 2
41	11-15 08:28:59	1-042	Mode 1
40	08-21 09:07:16	1-039	Mode 1
39	08-11 21:09:37	1-011	Mode 1
38	06-31 11:13:11	1-106	06

F1:Next Page F2:Pre Page F3:-- F4:--

- システム動作状態

システム全体の動作状態をモニターごとに確認できます。例えば、モニター1に表示しているカメラ番号やロケインしているオペレーター、使用しているシステムコントローラー番号などを確認できます。また、状態表示用のモニター（CPUボードに接続）に常に表示しておくこともできます。

Set Up		Status			
Status					
MONITOR	CAMERA	MODE	CTRL	OPERATOR	PRIORITY
01	in	11	T 01 F	1	01
02	in	21	SPOT		00
03		09	T 08 F		--
04		48	G 2 S		--
05		63	G 2 S		--
06		17	G 2 S		--
07		10	CAW	2	11
08		03	SET	8	02
09		35	T 64 F		00
10		09	SPOT	4	26
11		49	T 11 F		03
12		53	G 1 B		02
13		49	G 1 B		02
14		26	G 1 B		02
15		30	P	5	21
16		51	F		30

F1:-- F2:-- F3:-- F4:--

操作を始める前に

Chapter 4

システム操作の開始

システムの操作を開始するには、システムコントローラーからオペレーター番号、およびパスワードを入力する必要があります。システムは、入力されたオペレーター番号やパスワードを登録済みデータと照合します。照合した結果が正しければシステムを操作することができます。正しいパスワードを入力しない限り、システムを操作することはできません。このように、パスワードによる照合作業をログイン (Log-in) と呼びます。

システムの設定によっては、ログインが不要な場合があります (オートログイン機能使用時)。

ログイン（Log-in）の前に

ログインを行う前に以下の項目を確認してください。

- オペレーター番号

オペレーターを認識するための番号です。

- パスワード

正当な利用者かどうか判断するための暗証番号です。オペレーター番号ごとに設定されています。

- 操作範囲と優先順位

オペレーターごとにシステムの操作範囲や優先順位が設定されています。操作範囲を越えてシステムの操作はできません。また、操作範囲内でも上位優先順位者が使用している装置は操作できません。

これらは、事前にシステムにセットアップしておく必要があります。詳細は、「設定編 5. オペレーターの登録」をお読みください。

ログインのしかた

オートログイン機能がOFFになっているときは、以下の手順でログインします。

- ①システムに接続している各機器の電源スイッチをONにします。
- ②増設ユニットを使用しているときは、増設ユニットの電源スイッチをONにします。
- ③マトリクススイッチャーとシステムコントローラーの電源スイッチをONにします。

液晶ディスプレイに [Log-in] と表示されます。

- ④CAM (SET) キーを押します。

[Operator No :] が表示されます。

- ⑤テンキーで登録済みのオペレーター番号を入力し、CAM (SET) キーを押します。

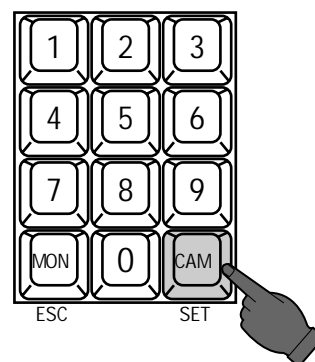
入力したオペレーター番号が表示されます。

オペレーター番号が表示されたらカーソルキーを押します。

Initial Check
9600 BPS

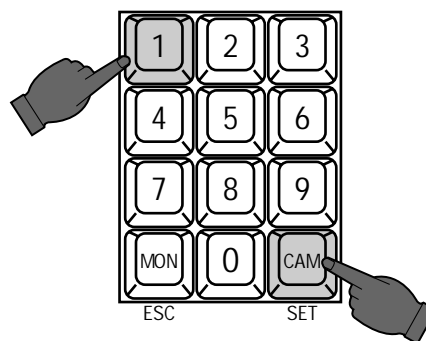


Log-in



Operator No : █

Operator No : █



Operator No :01

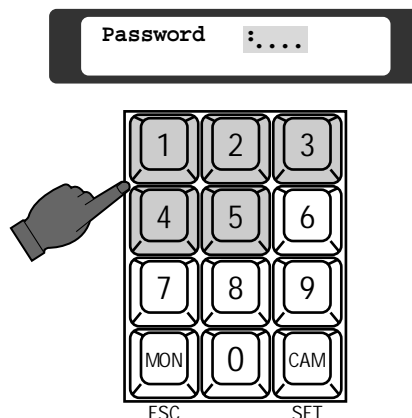


カーソルキー

システム操作の
開始

⑥ [Password :]メニューが表示
されます。

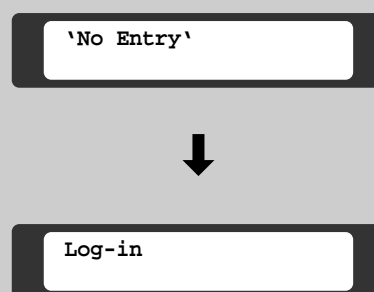
- テンキーで登録済みのパスワード
(オペレーター番号に対応した5けた
の数字)を入力します。
- 正しいパスワードを入力すると液晶
ディスプレイの表示が [Welcome]
に変わります。



オペレーター番号またはパスワードの入力
を間違えた場合

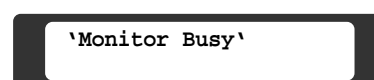
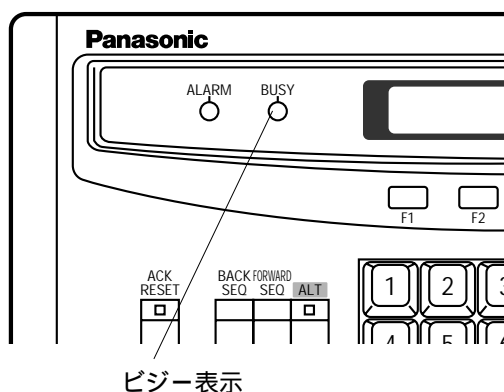
間違ったオペレーター番号またはパスワードを
入力すると、['No Entry']に続いて [Log-in]
が表示されます。ログインの最初の状態に戻り
ます。

正しく入力し直してください。



● 優先順位が高いオペレーターが既に同じモニターやカメラを操作している場合

- ログインしたオペレーターが使用す
るモニターやカメラを、優先順位が
高いオペレーターが既に操作してい
るとき、システムコントローラーの
ビジー表示が点灯しログインできま
せん。
- ビジー表示は優先順位が高いオペ
レーターが操作を終了するまで点滅し
続けます。この間このシステムコン
トローラーの操作は無視されます。



メモ

優先順位の関係で、
操作できないときは、
ビジー表示が消えてから操作し
てください。

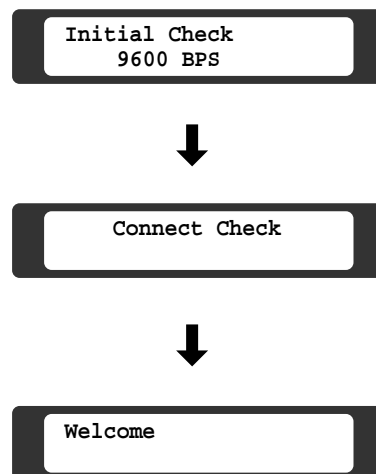
このとき、液晶ディスプレイに
['Monitor Busy']に続いて [Log-in]
と表示され、ログインの最初の状態に
戻ります。

オートログインのしかた

オートログイン機能がONになっているときは、直前に操作をしていたオペレータとして自動的にログインします。

- ①システムに接続している各機器の電源スイッチをONにします。
- ②増設ユニットを使用しているときは、増設ユニットの電源スイッチをONにします。
- ③マトリクススイッチャーとシステムコントローラーの電源スイッチをONにします。

液晶ディスプレイに [Connect Check] と表示され (最大15秒間) 続いて [Welcome] と表示されます。



メモ

工場出荷時、オートログイン機能はOFFになっています。オートログイン機能の設定・確認方法は「13. システムの終了」をお読みください。

重要

正常に終了(「13. システムの終了」参照)しなかった場合、オートログイン機能がONになっていてもオートログインができないことがあります。この場合、['No Entry'] に続いて [Log-in] が表示されます。オートログインができない場合は、登録済みのオペレータ番号とパスワードを用いてログインしてください。

Chapter 5

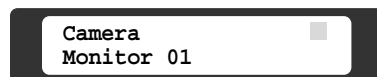
モニターの操作

ここでは、カメラの映像を表示するモニターの選択のしかた、およびモニターに表示される情報について説明します。

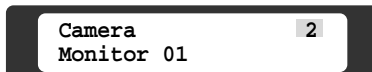
モニターの選択

①カーソルキーを操作してA1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

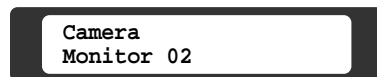
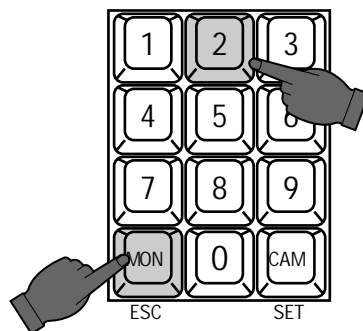
A1



②テンキーでモニター番号を入力します。数字が液晶ディスプレイの上段右端に表示されます。

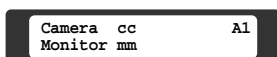


③MON (ESC) キーまたは [F1] キーを押します。数字が下段に移動して [Monitor 02] と表示され、モニターが選択されます。

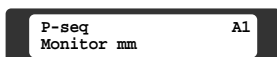


メモ

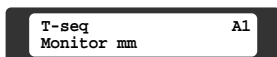
- A1はメニューの起点です。カーソルキーのtを押しながらsを押すと、どのメニューからでもA1に戻ることができます。
- システムの状態によってメニューの内容は異なります。



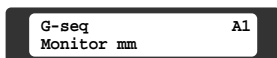
: スポット監視時



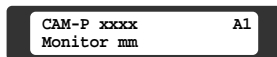
: プログラムシーケンス実行中



: ツアーシーケンス実行中



: グループシーケンス実行中



: CAM-Pメニュー (D5) で「Mode On」時

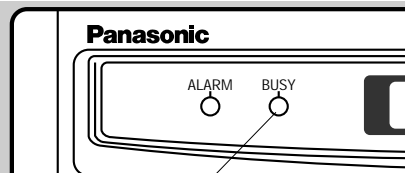
• ビジー表示が点灯したとき

選択したモニターを優先順位が高いオペレーターが既に操作しているとき、ビジー表示が点灯し、液晶ディスプレイに「Busy」が表示されます。そのモニターは選択できません。

他のモニターを選択するか、モニターを使用しているオペレーターの操作が終了してから操作してください。

• MON (ESC) キーについて

CAM-Pメニュー (D5) で「Mode」を「On」にした場合、MON (ESC) キーは、カメラポジションキーになっています。この場合、モニターを変更するには、A1メニュー表示後、モニター番号を入力し、[F1] キーを押します ([F1] キーをMON (ESC) キーの代わりに使用できます)。



ビジー表示



カメラタイトル、日付、時刻の表示

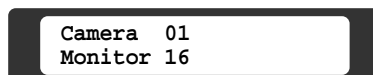
カメラタイトル、日付、時刻の表示

セットアップメニューで登録したカメラタイトルや日付、時刻をモニターに表示したり、消去したりできます。登録のしかたは「設定編」をお読みください。

①カメラとモニターの選択

カメラとモニター番号を選択します。カメラの選択のしかたは、「6. 映像の操作」をお読みください。

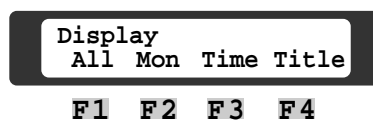
A1



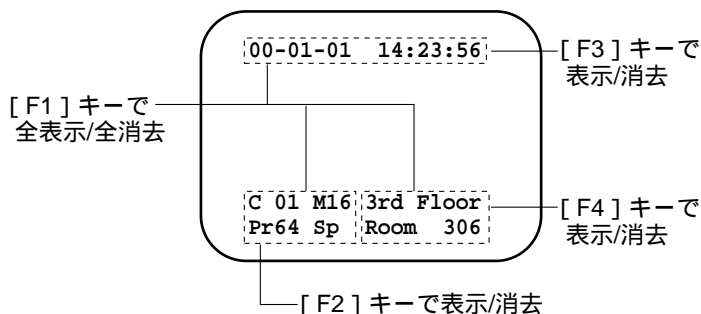
②メニューの呼び出し

カーソルキーを操作して、A3メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。モニターには図のように表示されます。

A3

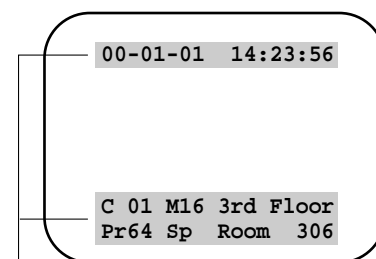


モニターの状態



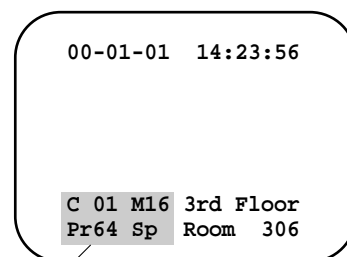
③各タイトルを表示するかどうか 選択する

[F1] キーを押します。キーを押す度にタイトル表示 / 消去が切り換わります。



-
- モニター状態の表示 / 消去を選択する

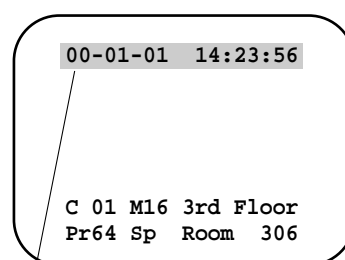
[F2] キーを押します。キーを押す度に表示 / 消去が切り換わります。



[F2] キーを押す度に表示/消去が切り換わる

- 日付と時刻の表示 / 消去を選択する

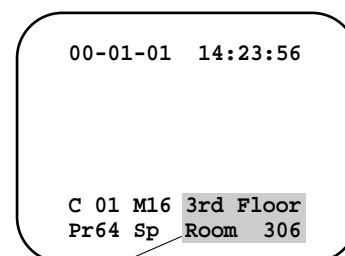
[F3] キーを押します。キーを押す度に表示 / 消去が切り換わります。



[F3] キーを押す度に表示/消去が切り換わる

- カメラタイトルの表示 / 消去を選択する

[F4] キーを押します。キーを押す度に表示 / 消去が切り換わります。



[F4] キーを押す度に表示/消去が切り換わる

Chapter 6

映像の操作

システムの基本機能には、スポットによるカメラ映像表示とシーケンスによるカメラ映像表示があります。スポットは、オペレーターがその場でモニターやカメラを指定して操作します。シーケンスは、システムに登録されている内容を基にカメラや外部機器を動作させ、モニターにカメラの映像を表示します(シーケンスを行うためには、別途設定作業が必要です)。

シーケンス実行中に、スポット監視に切り換えたり、またその逆もできます。シーケンスの操作方法は「7. シーケンスの使いかた」をお読みください。

スポットによる映像監視のしかた

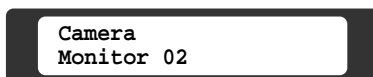
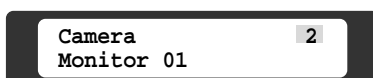
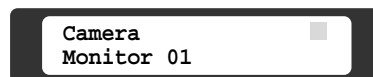
スポットとは、オペレーターが映像の監視に使用するカメラとモニターを指定し、操作する機能です。

スポットで映像を監視する場合、初めに映像を表示するモニターを指定します。その後、カメラを指定します。

モニターの選択

- ①カーソルキーを操作してA1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。
- ②テンキーでモニター番号を入力します。数字が液晶ディスプレイの上段右端に表示されます。
- ③MON (ESC) キーを押します。数字が下段に移動して [Monitor 02] と表示され、モニターが選択されます。

A1



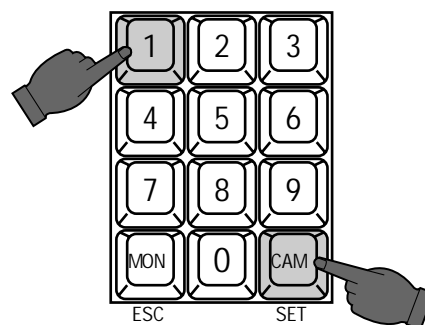
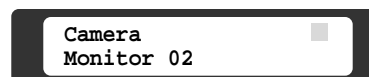
メモ

- A1はメニューの起点です。カーソルキーのtを押しながらsを押すと、どのメニューからでもA1に戻ることができます。
- システムの状態によってメニューの内容は異なります。
- Cam-Pメニュー (D5) で「Mode」を「On」にした場合、MON (ESC) キーの代わりに、[F1] キーを押してください。

カメラの選択 (その1)

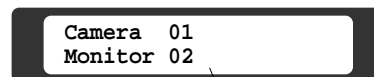
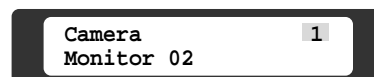
テンキーを使う操作方法です。

- ①カーソルキーを操作してA1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。



②テンキーでカメラの番号を入力します。数字が液晶ディスプレイの上段右端に表示されます。

③CAM (SET) キーを押します。数字が左に移動して [Camera 01] と表示されます。



映像はこのモニターに表示される。

メモ

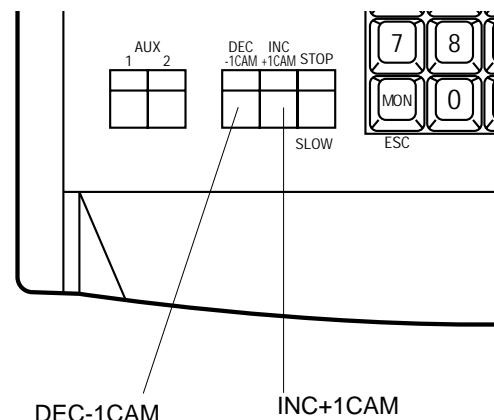
カメラの映像は、選択されているモニターに表示されます。

カメラの選択 (その2)

[INC + 1CAM] [DEC - 1CAM] スイッチを使う操作方法です。

①カメラ番号にプラス1したカメラの映像に切り換えるとき、[INC + 1CAM] スイッチを押します。このスイッチを押す度にカメラ番号にプラス1されたカメラ番号の映像に切り換わります。

②カメラ番号にマイナス1したカメラの映像に切り換えるとき、[DEC - 1CAM] スイッチを押します。このスイッチを押す度にカメラ番号にマイナス1されたカメラ番号の映像に切り換わります。



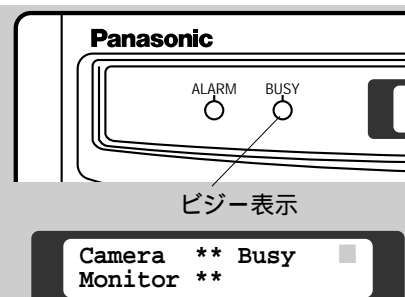
メモ

- A1はメニューの起点です。カーソルキーのtを押しながらsを押すと、どのメニューからでもA1に戻ることができます。
- システムの状態によってメニューの内容は異なります。
- Cam-Pメニュー (D5) で「Mode」を「On」にした場合、MON (ESC) キーの代わりに、[F1] キーを押してください。

ビジー表示が点灯したとき

選択したモニターを優先順位が高いオペレーターが既に操作しているとき、ビジー表示が点灯し、液晶ディスプレイに「Busy」が表示されます。そのモニターは選択できません。

他のモニターを選択するか、モニターを使用しているオペレーターの操作が終了してから操作してください。



電動ズームレンズの操作

重要

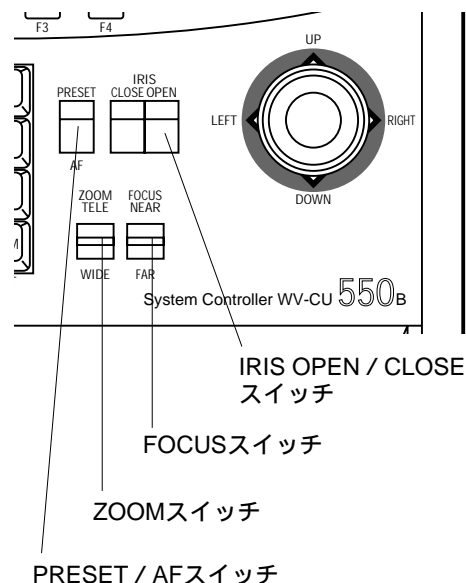
- 電動ズームレンズを制御するには、レシーバー（WV-RC100またはWV-RC150）またはコンビネーションカメラが必要です。
- この機能は、カメラに電子ズームレンズが装着されているときにだけ有効です。システム構成を確認してください。
- カメラのレンズ選択スイッチ（DC / VIDEO）は、DCに設定されていることを確認してください。
- カメラによっては、使用できない機能があります。ご使用になるカメラの取扱説明書を確認してください。

フォーカス（ピント）を調節する

①操作するカメラを選択します。

②フォーカスを調節します。

モニターを見ながら [FOCUS] スイッチをNEARまたはFARに動かし、ピントを調節します。
ワンプッシュオートフォーカス機能付きカメラをご使用の場合 [PRESET / AF] スイッチを押すと自動的にピントが合います。



ズームを操作する

①操作するカメラを選択します。

②ズームを操作します。

モニターを見ながら [ZOOM] スイッチをTELEまたはWIDEに動かしズームを操作します。

アイリス（明るさ）を調節する

①操作するカメラを選択します。

②アイリスを調節します。

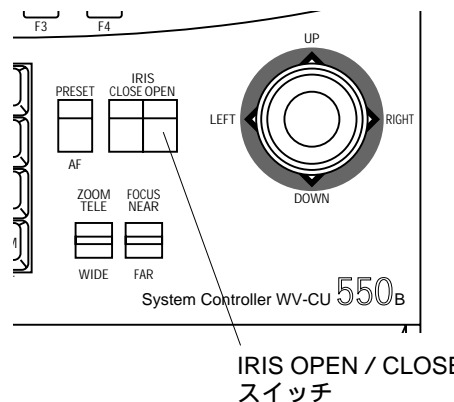
モニターを見ながら [IRIS] スイッチ（ OPENまたはCLOSE ）を操作して、明るさを調節します。

•OPENスイッチ

押す度に絞りが開き映像が明るくなります。

•CLOSEスイッチ

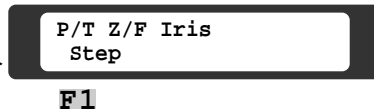
押す度に絞りが閉じ映像が暗くなります。



工場出荷状態に戻すには
OPENスイッチを押しながらCLOSEスイッチ
を約3秒間押し続けると、工場出荷設定状態
に戻すことができます。

メモ

- 自動絞りレンズを装着している場合で、カメラのAGC切 B3
換スイッチがONになっているとき、アイリス開閉操作
の反応が非常に遅くなることがあります。このような場合
は、スイッチの操作を断続的に行ってください。



- フォーカス、ズーム、アイリスを微調節するには

①操作するカメラを選択します。

②カーソルキーを操作しB3メニューを表示します。

③ [F1] キーを押しながら [FOCUS] [ZOOM] [IRIS] スイッチを操作、調節します。

回転台の操作

回転台を操作する方法には次の2つがあります。

- ジョイスティックつまみで操作する（手動操作）
- プリセット番号で操作する

プリセット番号で操作する場合は、あらかじめ回転台を旋回する位置に番号を付けてカメラに登録（プリセット）しておく必要があります。

重要

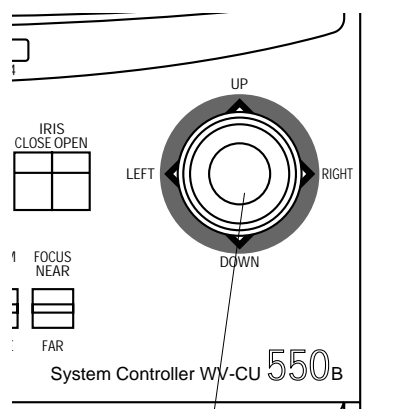
- システムにレシーバー（WV-RC100またはWV-RC150）またはコンビネーションカメラが接続されている場合に、回転台を操作できます。
- プリセットまたはカメラポジションで操作する場合、プリセットコンビネーションカメラが必要です。
- システムの構成によってはプリセット番号やカメラポジション番号で操作できないことがあります。

回転台を手動で操作する

①操作するカメラを選択します。

②ジョイスティックつまみを希望する方向に動かします。

ジョイスティックつまみの動きに応じて、カメラが旋回します



ジョイスティックつまみ

パン、チルトの速度を調節するには

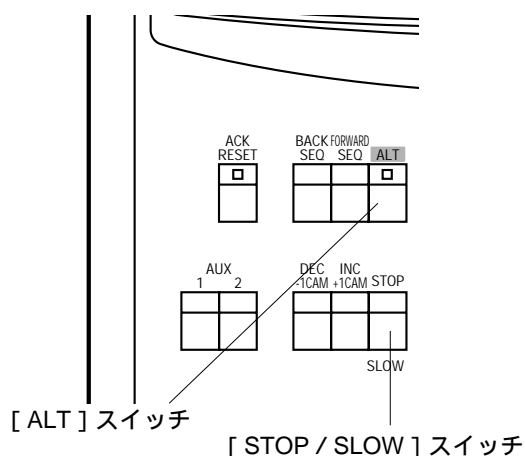
- ジョイスティックつまみによるパン、チルトの速度が速すぎる場合

パン、チルトの速度が速すぎる場合は、[STOP/SLOW]スイッチを押しながらジョイスティックつまみを操作してください。パン、チルトの速度が低速になります（[ALT]スイッチのLEDが消灯している場合）。

- パン、チルト位置を微調節する場合

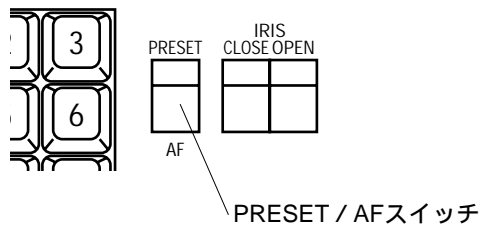
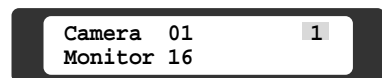
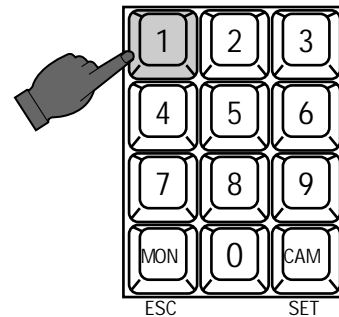
回転台を少しだけ移動した後、停止させることで、監視位置の微調節ができます。微調節する場合、はじめに[ALT]スイッチを押して、[ALT]スイッチのLEDを点灯させます。その後、[STOP/SLOW]スイッチを押しながら

ジョイスティックつまみを操作してください。ジョイスティックつまみを操作した方向に1ステップだけ旋回した後、自動的に停止します。



プリセット番号で操作する

- ①操作するカメラを選択します。
- ②テンキーで、登録済のプリセット番号を入力します。
- ③ [PRESET / AF] スイッチを押すと、カメラが登録されているプリセット位置に旋回します。



メモ

プリセット操作を行うには、あらかじめプリセット機能のあるカメラにプリセット位置を登録しておく必要があります。登録方法は「設定編 8. カメラ機能の設定」をお読みください。

操作中にプリセット位置を設定する

使用するコンビネーションカメラによっては、操作中にプリセット番号を設定できる機種があります。操作中にプリセット位置を登録する場合は、次の手順で操作してください。

- ①操作するカメラを選択します。
- ②登録したいプリセット位置にコンビネーションカメラを旋回し、ズームおよびアイリスなどを調節します。
- ③カーソルキーを操作して、B5メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。
- ④テンキーで登録するプリセット番号を入力し、[F1]キーを押します。テンキーで入力した番号でプリセットが登録されます。

既にプリセットが登録されている番号を入力すると上書きされますので注意してください。

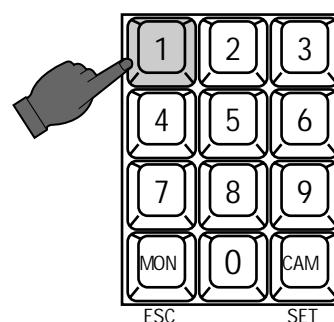
プリセットできる操作は次のとおりです。

- パン、チルト
- アイリス (OPEN / CLOSE)
- フォーカス (NEAR / FAR)
- ズーム (TELE / WIDE)

登録できる操作の詳細は、使用するカメラの取扱説明書をお読みください。

B5

PrePOSI SetUp
Set

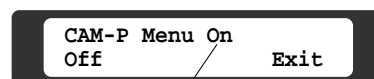
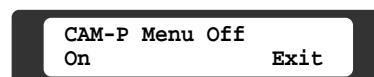
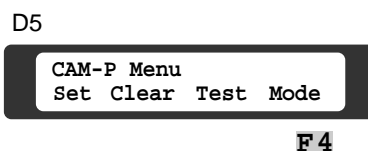


PrePOSI SetUp
Set

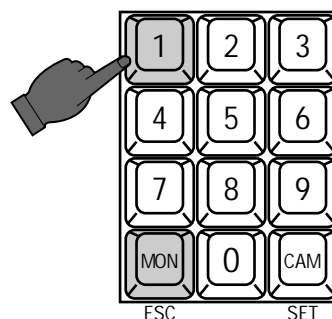
F1

カメラポジション番号で操作する

- ①操作するモニターを選択します。
- ②カーソルキーを操作してD5メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。
- ③ [F4] キーを押します。
右のメニューに変わります。
- ④ [F1] キーを押し、液晶ディスプレイの上段に「On」を表示させます。
[F1] キーを押す度に「On」と「Off」が交互に切り換わります。
- ⑤ [F4] キーを押し、D5メニューに戻ります。
- ⑥テンキーで、登録済のカメラポジション番号を入力します。
- ⑦MON (ESC) キーを押すと、カメラポジション番号に登録されているカメラが、設定されているプリセット位置に旋回します。



[F1] キーを押して
Onにする。



重要

カメラポジション番号で操作するには、あらかじめカメラポジション番号とカメラ番号、プリセット番号の対応を登録しておく必要があります。登録方法は「第2編 9. カメラポジションの登録」をお読みください。

メモ

「On」にするとMON (ESC) キーの機能がカメラポジション確定キーに変わります。「On」にした後、モニターを選択を確定するときは [F1] キーで行います。

自動パンニングによる映像の監視

自動パンニングとは、カメラを水平方向に自動回転させる機能です。自動パンニングには次の5つの機能があります。

- オートパンニング

自動的に、コンビネーションカメラまたは回転台に設定したリミットスイッチの区間をパンニングし続けます。

- オートシーケンス

自動的に、コンビネーションカメラに設定されているプリセット番号をプリセット番号の小さい順番で切り換えます。

- オートソート

自動的に、設定されているプリセット位置をカメラの原点位置から左回りに切り換えます。

- ランダムパンニング (Random-1, Random-2)

Random-1 : 自動的に、コンビネーションカメラまたは回転台側で設定した時間 (n 秒) 自動的に回転した後、 $2 \times n$ 秒停止します。

Random-2 : 自動的に、移動方向と時間が不規則 (ランダム) な動きになるように動作します。

これらの機能を使用するためには、使用するカメラまたは回転台が各機能をサポートしている必要があります。また、使用する機能によっては、カメラまたは回転台の設定が必要です。使用可能な機能と機種への対応例は下表を参照してください。詳しくは、使用するカメラまたは回転台の取扱説明書をお読みください。

品名	品番	オートパンニング	オートソート	オートシーケンス	ランダムパンニング	
					Random-1	Random-2
コンビネーションカメラシリーズ	WV-CS300		×	×	×	
	WV-CS400		×	×	×	×
	WV-CS500		×	×		
	WV-CS600				×	×
	WV-CS600A				×	×
	WV-CS650				×	×
	WV-CS850				×	×
回転台	WV-7220D		×	×		
	WV-7225		×	×		
	WV-7230D		×	×		
	WV-7260D		×	×		

凡例 : 動作可能 : レシーバー使用時のみ動作可能 × : 動作不可能

自動パンニングを行う

①自動パンニングを行うカメラを選択します。

②カーソルキーを操作して、B1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

• オートパンニングで映像を監視する場合

[F1] キーを押します。[1] キーを押してから [F1] キーを押して実行することもできます。

• オートソートで映像を監視する場合

[2] キーを押してから [F1] キーを押します。

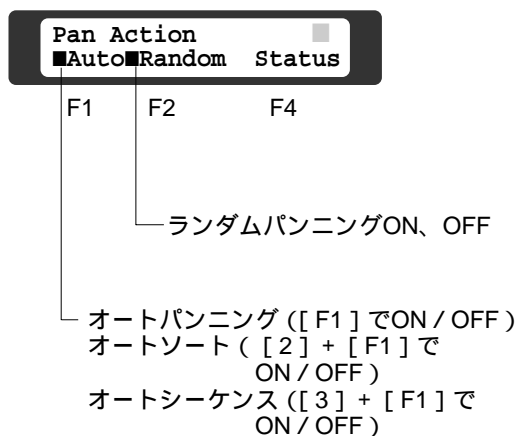
• オートシーケンスで映像を監視する場合

[3] キーを押してから [F1] キーを押します。

• ランダムパンニングで映像を監視する場合

[F2] キーを押します

B1



液晶ディスプレイの表示について

- オートパンニング、オートソート、オートシーケンスのいずれかを実行している場合、Autoの左が反転表示されます。
 - : オートパンニング、オートソート、オートシーケンスのいずれかがON
 - : OFF
- ランダムパンニングを実行している場合、Randomの左が反転表示されます。
 - : ON
 - : OFF
- 1台のカメラに対し、オートパンニング、オートソート、オートシーケンス、ランダムパンニングのいずれか一つだけ実行できます。複数の機能を組み合わせて実行することはできません。

パトロールランによる映像の監視

使用するコンビネーションカメラによっては、操作した内容を学習できる機種があります。学習した操作を再現する機能をパトロールランと呼びます。パトロールランは次の手順で操作できます。

コンビネーションカメラに操作内容を記憶させる

コンビネーションカメラに操作内容を学習させる方法には次の2つの方法があります。

- カメラ操作中に学習させる。
- カメラのセットアップメニューで学習させる。

ここでは、カメラ操作中に記憶させる方法について説明します。

①操作するカメラを選択します。

パトロールランに対応しているカメラを選択してください。

②カーソルキーを操作して、B4メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

③記憶を開始します。

記憶を開始するには、[F2] キーを押します。モニターにLEARNと表示されます。

④カメラを操作します。

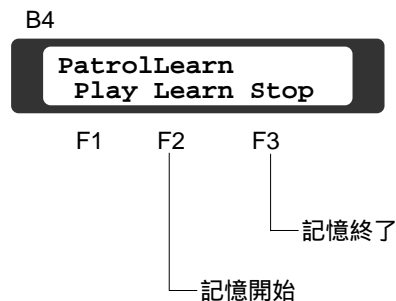
コンビネーションカメラに記憶させることができる操作は、次のとおりです。

- パン、チルト（ジョイスティックつまみによる操作）
- アイリス（OPEN / CLOSE）
- フォーカス（NEAR / FAR）
- ズーム（TELE / WIDE）
- プリセット番号による操作
- ホームポジション

記憶させることができる操作の詳細は、使用するカメラの取扱説明書をお読みください。

⑤記憶を終了します。

[F3] キーを押します。



記憶した内容を再現する

①操作するカメラを選択します。

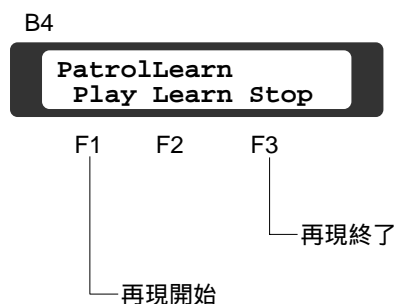
②カーソルキーを操作して、B4メニューを液晶ディスプレイに呼び出します

③学習した内容を再現します。

パトロールランで学習した内容を再現する場合、[F1] キーを押します。

④再現を終了するときは [F3] キーを押します。

パン、チルトなど、他の操作をして、終了することもできます。



カメラ電源とハウジングの操作

カメラの電源、カメラハウジングのワイパーやデフロスターを操作します(レシーバー(WV-RC100、WV-RC150)または、コンビネーションカメラ)。

①操作するカメラとモニターを選択します。

②カーソルキーを操作して、B2メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

③カメラの電源とハウジングの操作

- カメラの電源を操作するには、[F1]キーを押します。キーを押す度にCamの左が反転します。

: ON
: OFF

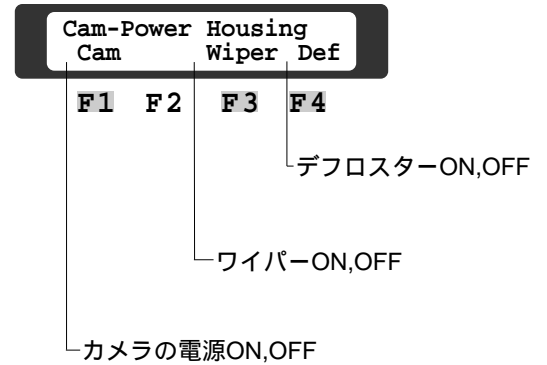
- ワイパーを操作するには、[F3]キーを押します。キーを押す度にWiperの左が反転します。

: ON
: OFF

- デフロスターを操作するには、[F4]キーを押します。キーを押す度にDefの左が反転します。

: ON
: OFF

B2



重要

ワイパーブレードの磨耗を防ぐため、不要なときは必ずOFFにしてください。OFFにするまでワイパーは動き続けます。

カメラ機能の操作

電子シャッター、電子的感度アップ、電子ズーム、ホームポジションへの移動、逆光補正を操作します。操作は、モニタ上のカメラ映像を見ながら行ないます。

これらは該当する機能を備えているカメラでだけ使用できます。接続しているカメラと周辺機器の機能を確認してください。電子シャッターの速度や、電子感度の倍率は、「12. カメラの状態表示」に記載されている手順で確認できます。

電子シャッターの使いかた

①希望するカメラとモニター番号を選択します。

②カーソルキーを操作してC1メニューを表示します。

③電子シャッターモードのOn/Offを選択します。

[F1]キーを押す度に液晶ディスプレイに「On」または「Off」が表示されます。電子シャッターを使用する場合、「On」を表示します。

④シャッタースピードを選択します。

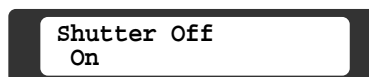
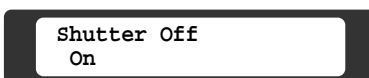
- [F3] または [F4] キーでシャッター速度を設定します。

- [F3] を押す度にシャッター速度が遅く、[F4] を押す度に速くなります。希望する速度を選択します。

[F3] : 1/10 000秒 1/4 000
1/2 000 1/1 000
1/500 1/250 1/100秒

[F4] : 1/100秒 1/250
1/500 1/1 000
1/2 000 1/4 000
1/10 000秒

C1



F1 F2 F3 F4



F1 F2 F3 F4

[F3]または[F4]キーを押し、シャッター速度を設定する。

[F1]キーを押し、ONにする。

メモ

選択できる速度の範囲は、カメラによって異なります。

電子感度アップのしかた

感度を電子的にアップできます。感度をアップする場合、システムが自動で感度を調節する「Auto」または、手動で設定する「Manual」を選択できます。電子感度アップを使用しない場合、「Off」にします。

①電子感度アップするカメラとその映像を表示するモニターを選択します。

②カーソルキーを操作してC2メニューを表示します。

•自動感度アップモードに設定する

[F1]キーを押す度に、液晶ディスプレイに「Auto」または「Off」が表示されます。感度アップを自動にする場合、「Auto」を表示します。

次に[F3]または[F4]キーを押して最大感度を設定します。

[F3] : 10倍 6倍 4倍 2倍 1倍

[F4] : 1倍 2倍 4倍 6倍 10倍

•マニュアル感度アップに設定する

[F2]キーは押す度に、液晶ディスプレイの表示が「Manual」または「Off」に切り換わります。手動で感度を調節する場合、「Manual」を表示します。


次に[F3]または[F4]キーを押して感度を設定します。

[F3]を押す度に倍率が低く、[F4]を押す度に高くなります。

[F3] : 32倍 16倍 10倍 6倍 4倍
2倍 1倍

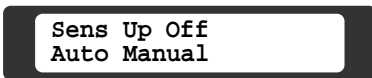
[F4] : 1倍 2倍 4倍 6倍 10倍
16倍 32倍

C2



Sens Up Off
Auto Manual

F1 F2 F3 F4



Sens Up Off
Auto Manual

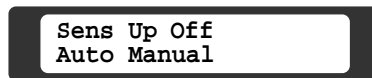
F1 F2 F3 F4



Sens Up Auto
Off Manual < >

F1 F2 F3 F4

[F1]キーを押してAutoにする。



Sens Up Off
Auto Manual

F1 F2 F3 F4



Sens Up Manual
Auto Off < >

F1 F2 F3 F4

[F2]キーを押してManualにする。

メモ

選択できる倍率は、カメラによって異なります。

電子ズームの操作

カメラ映像の中で希望する位置をズームアップ（拡大）します。
2とおりの操作方法があります。

ズームアップ後にズーム位置を選択するとき

- ①電子ズームを行うカメラとその映像を表示するモニターを選択します。

希望するカメラとモニター番号を選択します。

- ②カーソルキーを操作して、C3メニューを液晶ディスプレイに表示します。

- ③電子ズームを「On」にします。

[F1] キーを押す度に液晶ディスプレイの表示が「On」または「Off」に切り換わります。

電子ズームを使用する場合、「On」を表示します。「On」にすると、以前に選択した位置がズームアップされて、モニターに表示されます。

- ④ズーム位置を選択します。

ズームする位置を[F3]または[F4]キーで選択します。中央、左上、右上、左下、右下の順に拡大された映像がモニターに表示されます（右図参照）。

[F3] : ⑤ ④ ③ ② ①

[F4] : ① ② ③ ④ ⑤

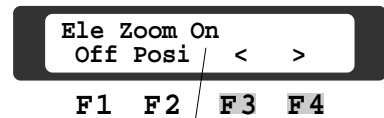
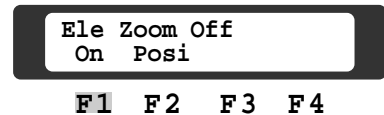
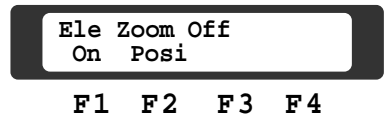
- ⑤モニターに選択した位置に対応する映像がズームアップされます。

- ⑥電子ズームの終了

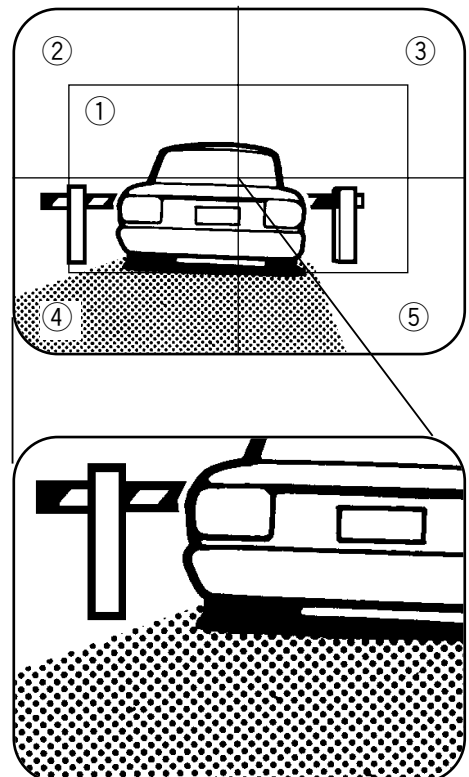
ズーム中に、[F1] キーを押し「Off」にすると電子ズームは解除されます。

C3メニューに戻ります。

C3



[F1] キーを押してONにする。

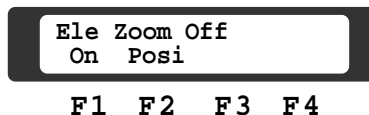


ズームアップ前に位置を選択するとき

- ①カメラとモニターを選択します。

希望するカメラとモニター番号を選択します。

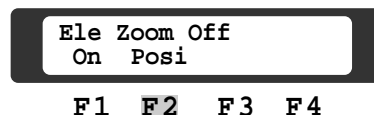
C3



- ②カーソルキーを操作して、C3メニューを液晶ディスプレイに表示します。

- ③位置選択モード [F2] キーを押して「Posi」を上段に表示させます。

再度押すと「Off」になります。

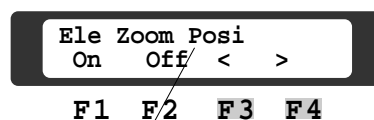


- ④ズーム位置を選択します。

ズームする位置を[F3]または[F4]キーで選択します。ズーム選択位置がモニターにグレー表示されます。

[F3] : ⑤ ④ ③ ② ①

[F4] : ① ② ③ ④ ⑤



[F2] キーを押してPosiにする。

- ⑤ [F1] キーを押します。押す度に液晶ディスプレイの表示が「On」または「Off」に切り換わります。

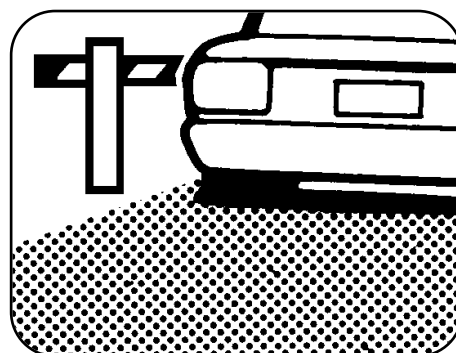
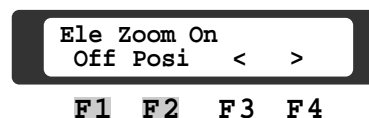
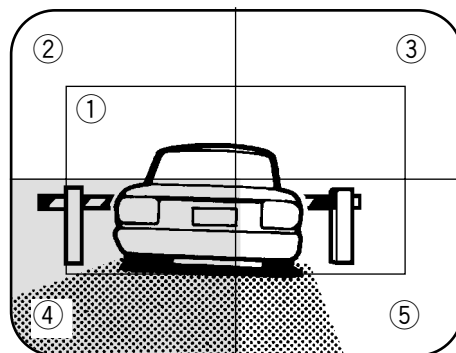
電子ズームを行う場合、「On」を表示させます。

- 「On」にすると、モニターに指定された場所がズームアップされて表示されます。

- [F2] キーを押すと電子ズームを行わないでC3メニューに戻ります。

- ⑥電子ズームの終了

ズーム中に [F1] キーを押し「Off」にすると、電子ズームは解除されます。C3メニューに戻ります。



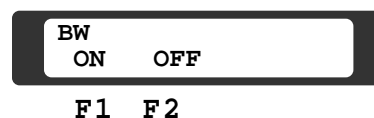
カラー映像の白黒切り換え

使用するコンビネーションカメラによっては、カラー映像を白黒映像に切り換えることができる機種があります。操作中にカラー映像を白黒映像に切り換える場合は、次の手順で操作してください。

- ①操作するカメラを選択します。

C4

- ②カーソルキーを操作して、C4メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。



- ③カラー映像を白黒映像にします。

[F1] キーを押すとカラー映像が白黒映像になります。白黒映像をカラー映像に戻すときは [F2] キーを押します。

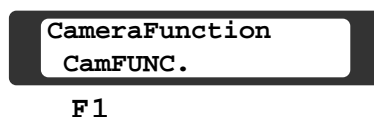
ショートカットによるカメラ機能の操作

使用するコンビネーションカメラによっては、ショートカットでカメラ機能を実行できる機種があります。ショートカットでカメラ機能を実行する場合は、次の手順で操作してください。

- ①操作するカメラを選択します。

C5

- ②カーソルキーを操作して、C5メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。



- ③テンキーで登録する実行したい機能のショートカット番号を入力し、[F1] キーを押します。

ショートカットで実行できるカメラ機能の一例を示します。詳しくは、お使いになるカメラの取扱説明書をお読みください。

- ・スーパーダイナミック ON (84) / OFF (85)
- ・電子シャッターON (171) / OFF (172)、電子シャッター速度の調節 増加 (173) / 減少 (174)
- ・AGC (Auto Gain Control) ON (175) / OFF (176)
- ・電子感度アップON (177) / OFF (178)、電子感度の調節 増加 (179) / 減少 (180)
- ・カメラリスタート (100)

ホームポジションに戻す

プリセット式コンビネーションカメラで基準となるカメラ位置（ホームポジション）に戻りたいとき操作します。

- ①カメラとモニターを選択します。

希望するカメラとモニター番号を選択します。

- ②カーソルキーを操作して、D1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

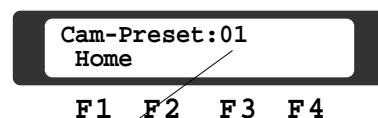
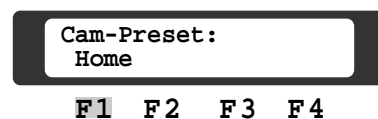
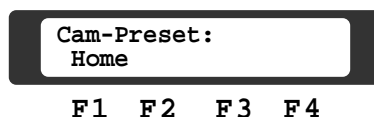
- ③ホームポジションに戻すには、[F1] キーを押して、Homeの左を にします。

このとき、液晶ディスプレイにホームポジションに対応するプリセット番号が表示され、カメラがプリセット位置に旋回します。

： Homeポジションにいることを示す。

： Homeポジションにいないことを示す。

D1



ホームポジションに設定されているプリセット番号。

メモ

プリセット式コンビネーションカメラにホームポジションが設定されていない場合、動作しません。設定のしかたは、「設定編 8. カメラ機能の設定」をお読みください。

逆光補正 (BLC) モードの選択

被写体の背景に極端に明るい光源があるとき、逆光補正を行うと被写体が見やすくなります。逆光補正モードには、次の2つの方法があります。

- システムが自動的に補正を行う自動モード (AUTO)。
- あらかじめプリセット位置ごとに設定する補正方法 (プリセットモード: PRESET)。

設定方法は、「設定編 8. カメラ機能の設定」をお読みください。

①カメラとモニターを選択します。

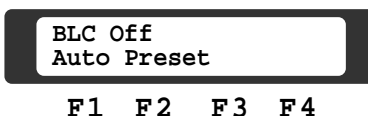
逆光補正を行うカメラとモニター番号を選択します。

②カーソルキーを操作して、D2メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

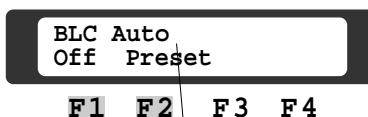
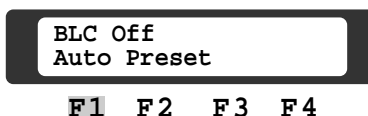
③逆光補正モードを選択します。

- 自動モードにする場合、[F1] キーを押して、液晶ディスプレイの表示を「Auto」にします。[F1] キーを押す度に「Auto」と「Off」が交互に切り換わります。
- プリセット位置に設定されている逆光補正方法を使用する場合、[F2] キーを押して、液晶ディスプレイの表示を「Preset」にします。[F2] キーを押す度に「Preset」または「Off」に切り換わります。

D2

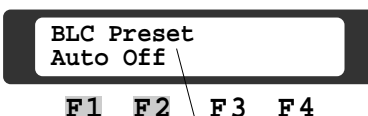


- 自動モードにする場合



[F1] キーを押して、AUTOにする。

- プリセットモードにする場合



[F2] キーを押して、Presetにする。

ビデオ出力ボードに入力した映像の表示 (拡張映像入力)

下図のようにシステムを構成したとき、ビデオ出力ボードの映像入力コネクターに入力した映像をモニターに表示できます。この場合モニターには、マトリクススイッチャーが表示しているカメラタイトルや日付け、時刻などは表示されません。

①モニターを選択します。

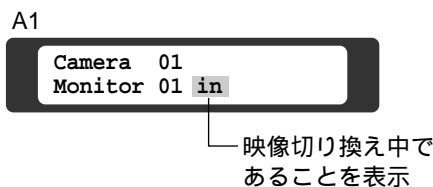
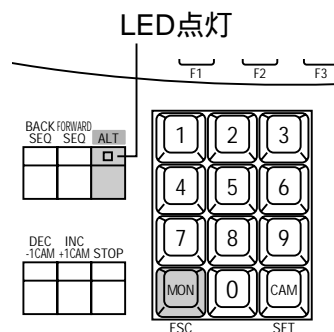
映像を入力したコネクターと同系統の映像出力に接続されているモニターを選択します。

② [ALT] スイッチを押します (LED点灯)

③ MON (ESC) キーを押します。

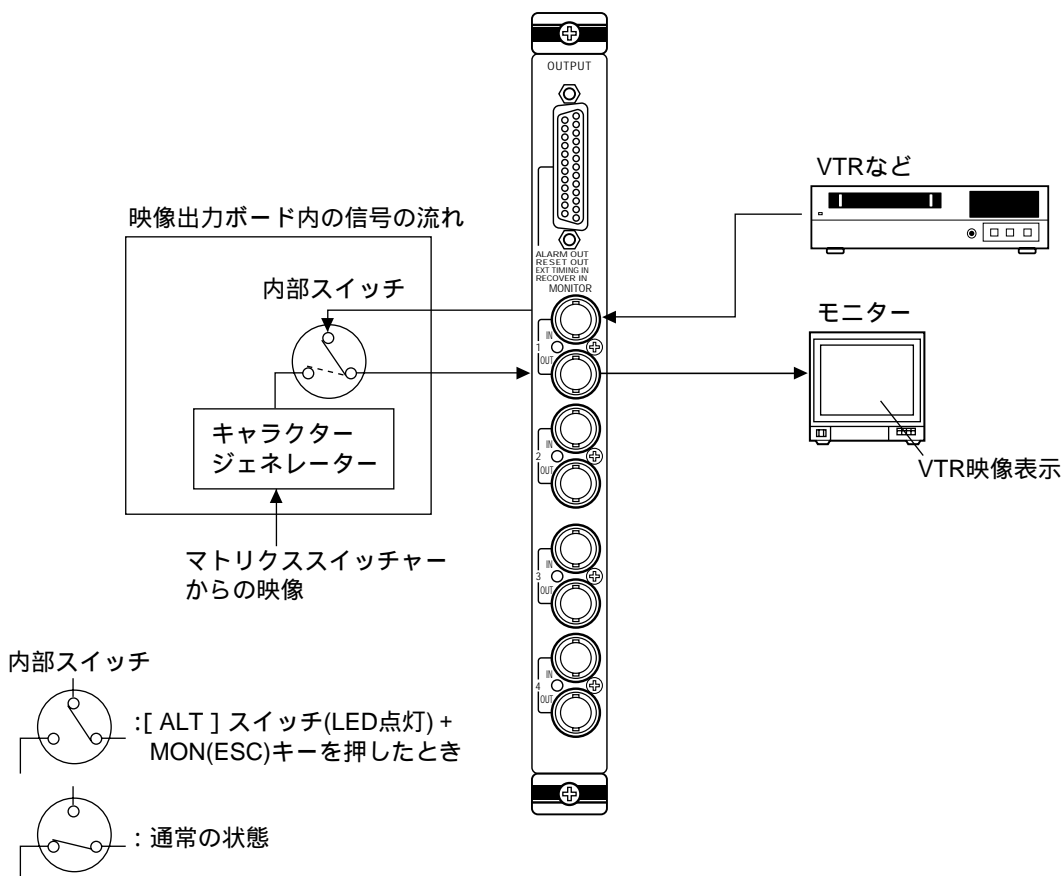
モニター - の映像が映像出力ボードの入力コネクターに入力されている映像に切り換わりA1メニューに「in」が表示されます。

④再度 [ALT] スイッチを押し、MON (ESC) キーを押すと、通常の状態に戻ります。



メモ

A1メニューを表示中は、MON (ESC) キーの代わりに、[F1] キーが使用できます。



コンビネーションカメラのクリーニング

コンビネーションカメラを使用している場合、長期間使用しているとモニターにノイズが入ることがあります。このようなときは、コンビネーションカメラをクリーニングする必要があります。

コンビネーションカメラのクリーニングは、セットアップメニューのオートクリーニングメニューで設定した曜日・時間で自動的に行うことができます。必要に応じて手動でクリーニングすることもできます。

なお、クリーニングを実行できるモニターは、16番モニターだけです。また、クリーニング実行中、16番モニターは黒画となり、文字（T00）が表示されます。

オートクリーニングメニューの使いかたは「設定編 10. コンビネーションカメラのクリーニング」をお読みください。

重要

- コンビネーションカメラのクリーニング中は映像を監視することはできません。クリーニングを実行するときは、営業終了後など映像の監視を中断しても良い時間帯を選んで設定してください。
- コンビネーションカメラのクリーニングはカメラ番号1から順に実行されます。ただし、次の条件に該当するカメラのクリーニングは実行されません。
 - ・映像監視に使用中のカメラ
 - ・アラーム発生中で、かつアラームによるシーケンスで使用されるカメラ
- クリーニングに要する時間は、カメラ1台あたり約30秒です。
- クリーニング中のカメラを選択すると、直ちにクリーニングを中断し、監視操作を行うことができます。MON（ESC）キーを押して、クリーニングを中断することもできます。
- クリーニングを実行してもノイズが解消されない場合は、機器の故障が考えられます。使用を中止し、販売店にご連絡ください。

Chapter 7

シーケンスの使いかた

シーケンスの種類

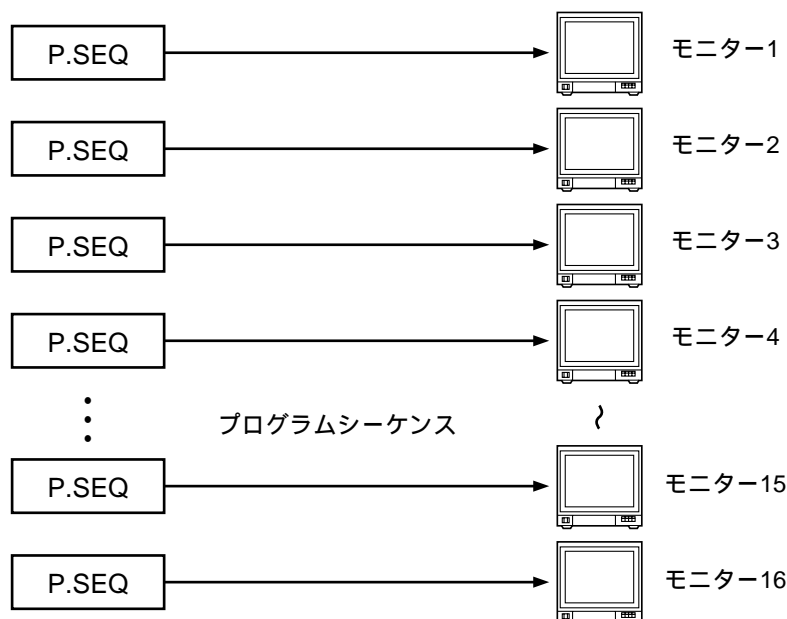
シーケンスには、次の3種類があります。各シーケンスは複数のステップで構成されています。

- プログラムシーケンス
- ツアーシーケンス
- グループシーケンス

シーケンスは、あらかじめシステムに動作内容を登録する必要があります。登録方法は、「第2編 設定」をお読みください。

プログラムシーケンス

個々のモニターに対応した16種類のシーケンスを設定できます。1シーケンス当たり64ステップまで動作を登録（プログラム）できます。1ステップの映像表示時間は1シーケンスで1つ（1から30秒）設定できます。



• オートスキップ機能

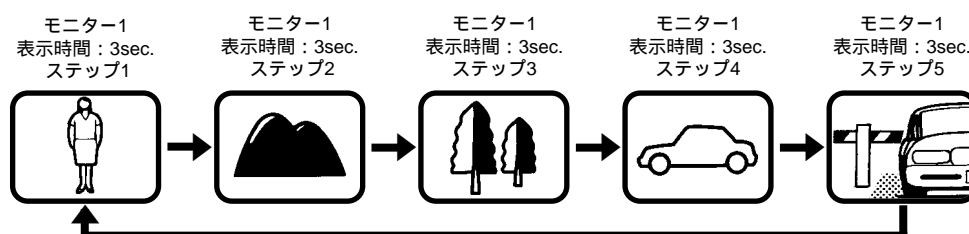
そのステップで映像がないとき自動的に次のステップに移るように設定することができます。

• 表示時間

プログラムシーケンスでは1シーケンスに1つの時間だけ設定できます（ステップごとに時間設定を変えられません）。

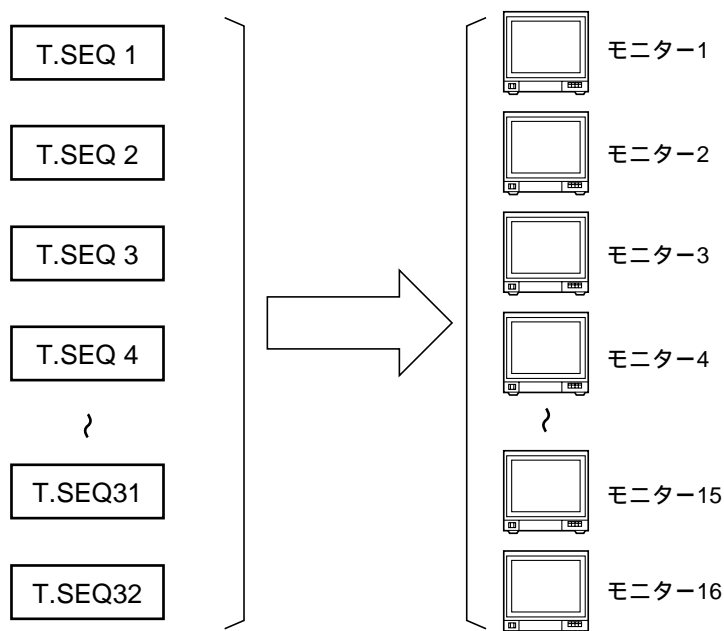
時間は1秒単位で最小1秒から最大30秒まで設定できます。

設定した時間は、タイムラプスVTRを起動するための外部制御タイミング信号をONに設定すると無視されます。

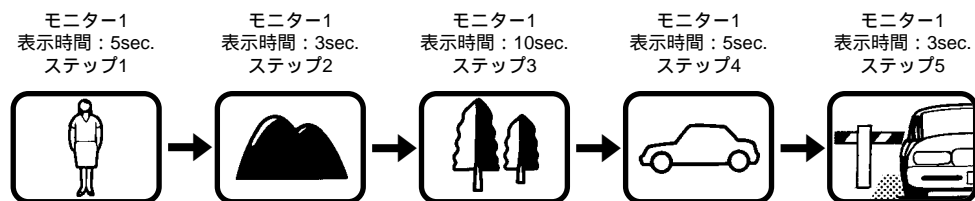


ツアーシーケンス

128台(最大)のカメラ映像のうち64個を希望する順番で望むモニターに表示します。
1シーケンスは64ステップで構成され、32シーケンスまで設定できます。
シーケンスごとにオートスキップ機能を使用できます。ステップごとにプリセット位置呼出、表示時間、レシーバー外部機器制御を設定できます。



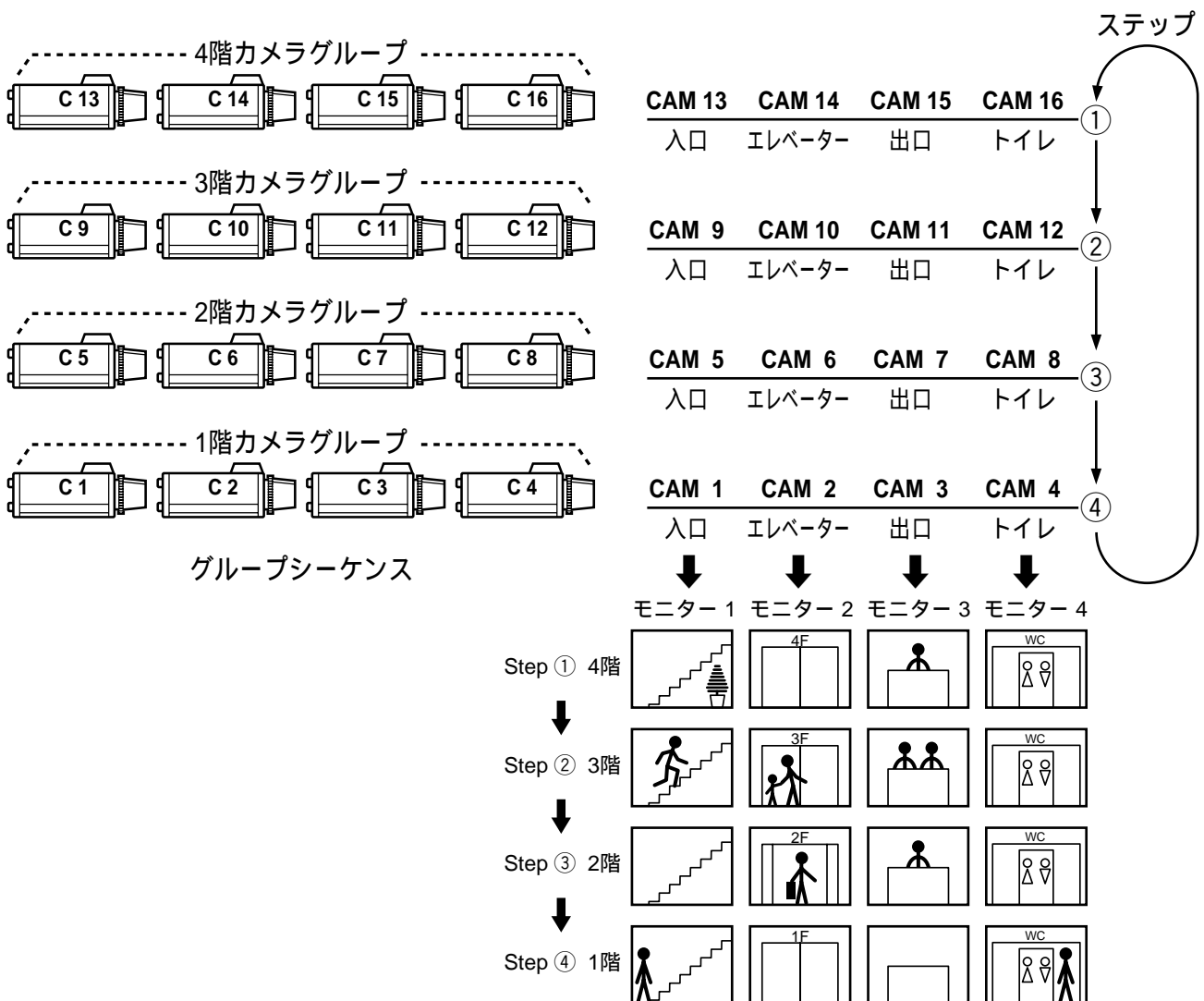
32ツアーを任意のモニターに表示します



グループシーケンス

任意の16台（最大）のカメラを1グループとして構成し、16台（最大）のモニターに同時に表示できます。1シーケンスは64ステップから成り、8シーケンスまで登録可能です。例えばビルフロア監視で階別にグルーピングした4台のカメラ映像を4台のモニターに同時に表示し、次のステップで他の階（グループ）のカメラ映像を表示するなどの使い方ができます。

例：1フロアに4台ずつ設置したカメラを4台のモニターで監視する例



プログラムシーケンスの使いかた

モニターごとに登録されたシーケンスを実行して、映像監視を行います。

プログラムシーケンスの開始

①モニターの選択

プログラムシーケンスの映像を表示するモニターを選択します。「5. モニターの操作」をお読みください。

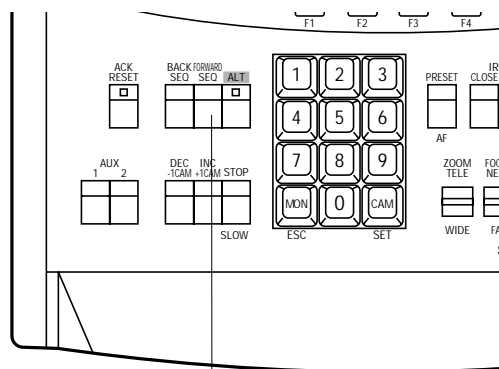
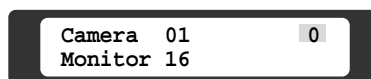
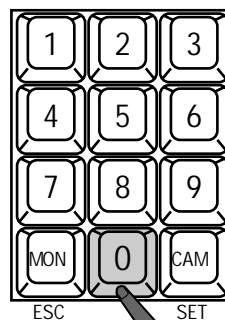
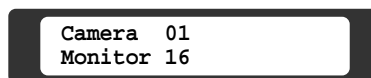
②プログラムシーケンスの選択

テンキーで0を入力します。液晶ディスプレイ上段右端に0が表示されます。0は、プログラムシーケンスの意味です。

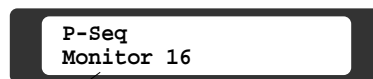
③プログラムシーケンスの実行

[FORWARD SEQ] スイッチを押すと、そのシーケンスが実行されます。液晶ディスプレイには図のように表示されます。

A1



FORWARD SEQスイッチ

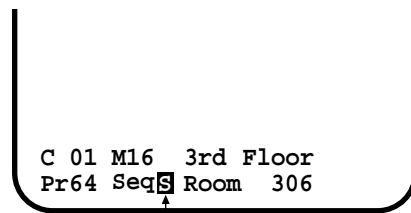


モニター16に対しプログラムシーケンスを実行していることを表している。

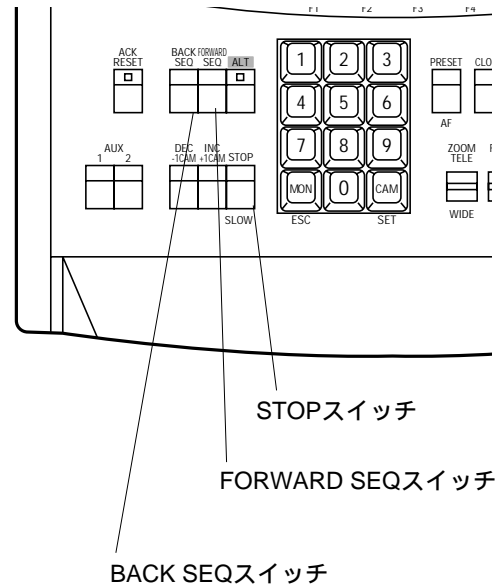
プログラムシーケンスの実行を停止する

- 実行中のシーケンスを停止するには、[STOP]スイッチを押します。
- モニターにはプログラムシーケンス記号の後にS（反転表示）が付加されます。

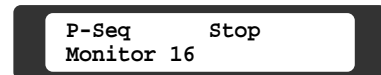
モニターの表示



Sが反転表示され
停止中であることを表示

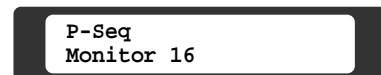


- 液晶ディスプレイには図のように表示されます。



次のステップから順方向に実行する

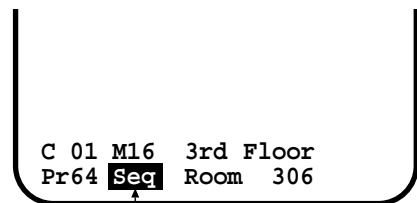
- 停止したあと、[FORWARD SEQ]スイッチを押すと、停止した次のステップから再開します。
- 液晶ディスプレイには図のように表示されます。



前のステップから逆方向に実行する

- 停止したあと、[BACK SEQ]スイッチを押すと、停止した前のステップから逆方向に再開します。
- 液晶ディスプレイの表示は、[FORWARD SEQ]スイッチを押したときと同じです。
- モニターには、プログラムシーケンス記号が反転して表示されます。

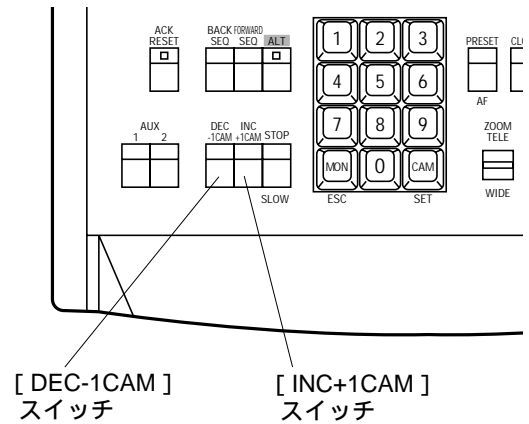
モニターの表示



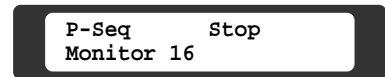
反転表示され、逆方向に
実行中であることを表示

次のステップだけ実行する

- 停止したあと、[INC+1CAM] スイッチを押すと、次の1ステップだけ実行して停止します。



- 液晶ディスプレイには図のように表示されます。



前のステップだけ実行する

- 停止したあと、[DEC -1CAM] スイッチを押すと、前の1ステップだけ実行して停止します。液晶ディスプレイの表示は [INC+1CAM] スイッチを押したときと同じです。

最初のステップから順方向に実行する

- 停止したあと、[ALT] スイッチを押し (LED点灯) [FORWARD SEQ] スイッチを押すと、最初のステップから再開します。

スポットに戻る

- テンキーでカメラ番号を、入力しCAM (SET) キーを押すと、スポットに戻ります。

ツアーシーケンスの使いかた

ツアーシーケンスは合計32種類登録できます。32種類のツアーシーケンスを任意の16台のモニターに割り当てるができます。

ツアーシーケンスの開始

①モニターの選択

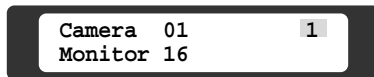
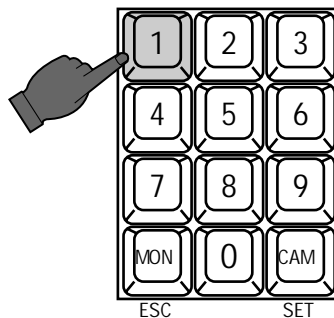
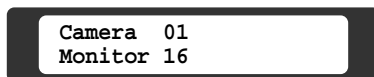
制御するモニターを選択します。操作方法は、「5. モニターの操作」をお読みください。

②ツアーシーケンス番号の選択

テンキーで、希望するツアーシーケンス番号を入力します。

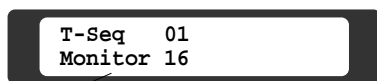
液晶ディスプレイ上段右端に1が表示されます。

A1

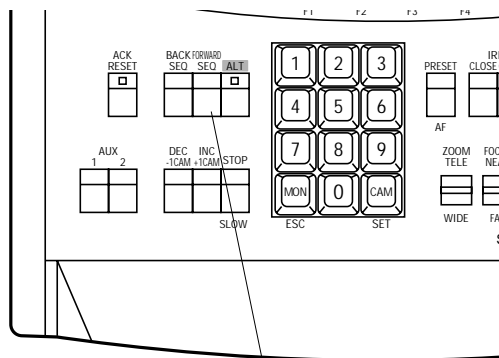


ツアーシーケンスの実行

[FORWARD SEQ] スイッチを押すと、シーケンスが実行されます。液晶ディスプレイには、下図のように表示されます。



モニター16にツアーシーケンス1の映像を表示していることを表している。

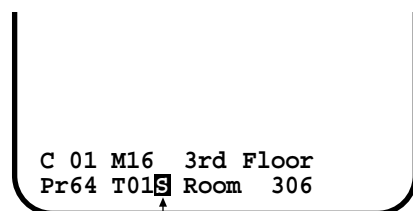


FORWARD SEQスイッチ

ツアーシーケンスの実行を停止する

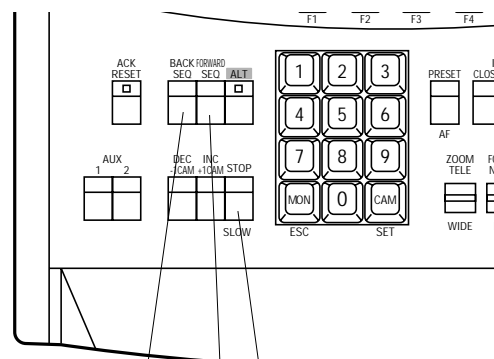
- 実行中のシーケンスを停止するには、[STOP]スイッチを押します。
- モニターにはツアーシーケンス番号の後にS（反転表示）が付加されます。

モニターの表示



Sが反転表示され
停止中であることを表示

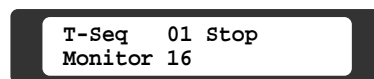
- 液晶ディスプレイには図のように表示されます。



STOPスイッチ

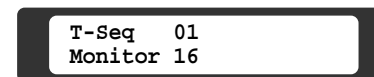
FORWARD SEQスイッチ

BACK SEQスイッチ



次のステップから順方向に実行する

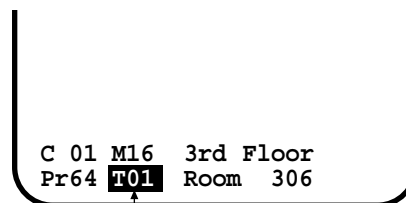
- 停止したあと、[FORWARD SEQ]スイッチを押すと、停止した次のステップから再開します。
- 液晶ディスプレイには図のように表示されます。



前のステップから逆方向に実行する

- 停止したあと、[BACK SEQ]スイッチを押すと、停止した前のステップから逆方向に再開します。
- 液晶ディスプレイの表示は、[FORWARD SEQ]スイッチを押したときと同じです。
- モニターには、ツアーシーケンス番号が反転して表示されます。

モニターの表示

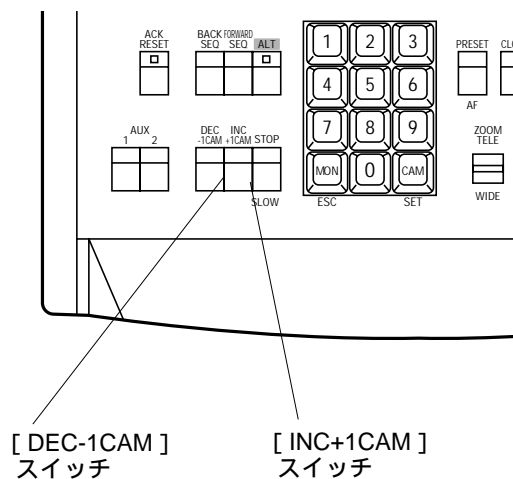


反転表示され、逆方向に
実行中であることを表示

次のステップだけ実行する

- 停止したあと、[INC+1CAM] キーを押すと、次の1ステップだけ実行して停止します。
- 液晶ディスプレイには下図のように表示されます。

T-Seq 01 Stop
Monitor 16



前のステップだけ実行する

停止したあと、[DEC -1CAM] スイッチを押すと、前の1ステップだけ実行して停止します。液晶ディスプレイの表示は [INC+1CAM] スイッチを押したときと同じです。

最初のステップから順方向に実行する

停止したあと、[ALT] スイッチを押し (LED点灯) [FORWARD SEQ] スイッチを押すと、最初のステップから再開します。

スポットに戻る

テンキーでカメラ番号を、入力しCAM (SET) キーを押すと、スポットに戻ります。

グループシーケンスの使いかた

グルーピングしたカメラの映像をグループごとに順次モニターに表示します。
シーケンスの登録数は最大8です。

グループシーケンスの開始

①モニターの選択

制御するモニターを選択します。操作方法は、「5. モニターの操作」をお読みください。

A2



②メニューの呼び出し

カーソルキーを操作して、A2メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

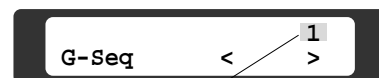
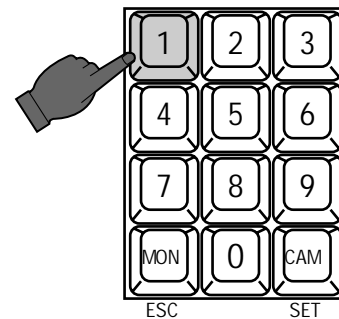


F1 F2 F3 F4

③グループシーケンス番号の呼び出し

[F3] [F4] キーまたはテンキーを押して、希望するグループシーケンス番号を選択します。

選択した番号が液晶ディスプレイの上段右端に表示されます。



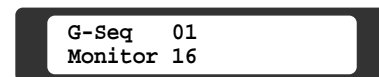
選択した番号が表示される。

④グループシーケンスの実行

[F1] キーを押すとそのシーケンスが実行されます。液晶ディスプレイは、図のように表示されます。



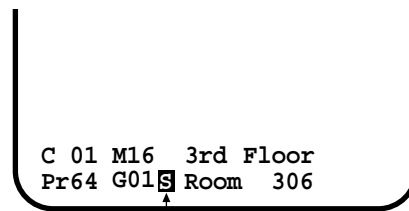
F1 F2 F3 F4



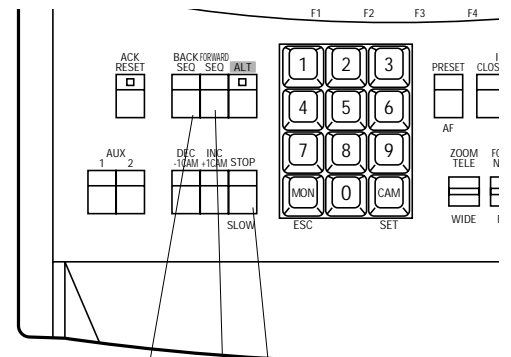
グループシーケンスの実行を停止する

- 実行中のシーケンスを停止するには、[STOP]スイッチを押します。
- モニターにはグループシーケンス番号の後にS（反転表示）が付加されます。

モニターの表示



Sが反転表示され
停止中であることを表示

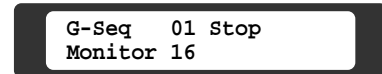


STOPスイッチ

FORWARD SEQスイッチ

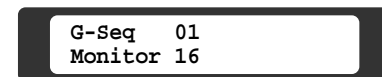
BACK SEQスイッチ

- 液晶ディスプレイには図のように表示されます。



次のステップから順方向に実行する

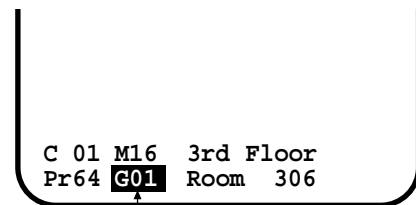
- 停止したあと、[FORWARD SEQ]スイッチを押すと、停止した次のステップから再開します。
- 液晶ディスプレイには図のように表示されます。



前のステップから逆方向に実行する

- 停止したあと、[BACK SEQ]スイッチを押すと、停止した前のステップから逆方向に再開します。
- 液晶ディスプレイの表示は、[FORWARD SEQ]スイッチを押したときと同じです。
- モニターには、グループシーケンス番号が反転して表示されます。

モニターの表示

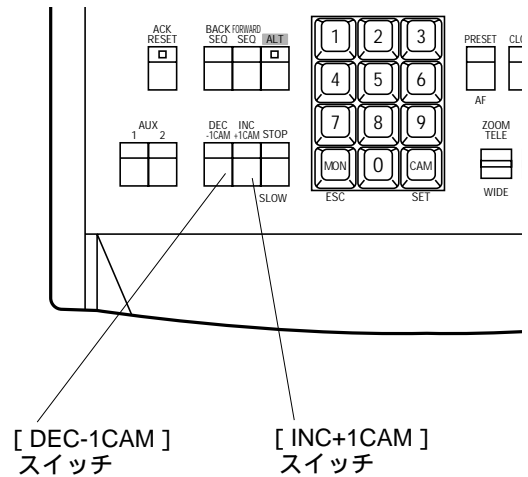


反転表示され、逆方向に
実行中であることを表示

次のステップだけ実行する

- 停止したあと、[INC+1CAM] スイッチを押すと、次の1ステップだけ実行して停止します。
- 液晶ディスプレイには図のように表示されます。

G-Seq 01 Stop
Monitor 16



前のステップだけ実行する

停止したあと、[DEC -1CAM] スイッチを押すと、前の1ステップだけ実行して停止します。液晶ディスプレイの表示は [INC+1CAM] スイッチを押したときと同じです。

最初のステップから順方向に実行する

停止したあと、[ALT] スイッチを押し (LED点灯) [FORWARD SEQ] スイッチを押すと、最初のステップから再開します。

スポットに戻る

テンキーでカメラ番号を、入力しCAM (SET) キーを押すと、スポットに戻ります。

Chapter 8

アラーム入力時の操作

システムには、アラームボード経由によるアラーム信号とカメラ側からのアラーム信号（同軸多重）を入力ができます。システムの設定（アラームモード）によって、モニター1～16にアラーム信号に対応した映像を表示できます。また、アラーム信号の（アラーム映像）入力先を変更できます。

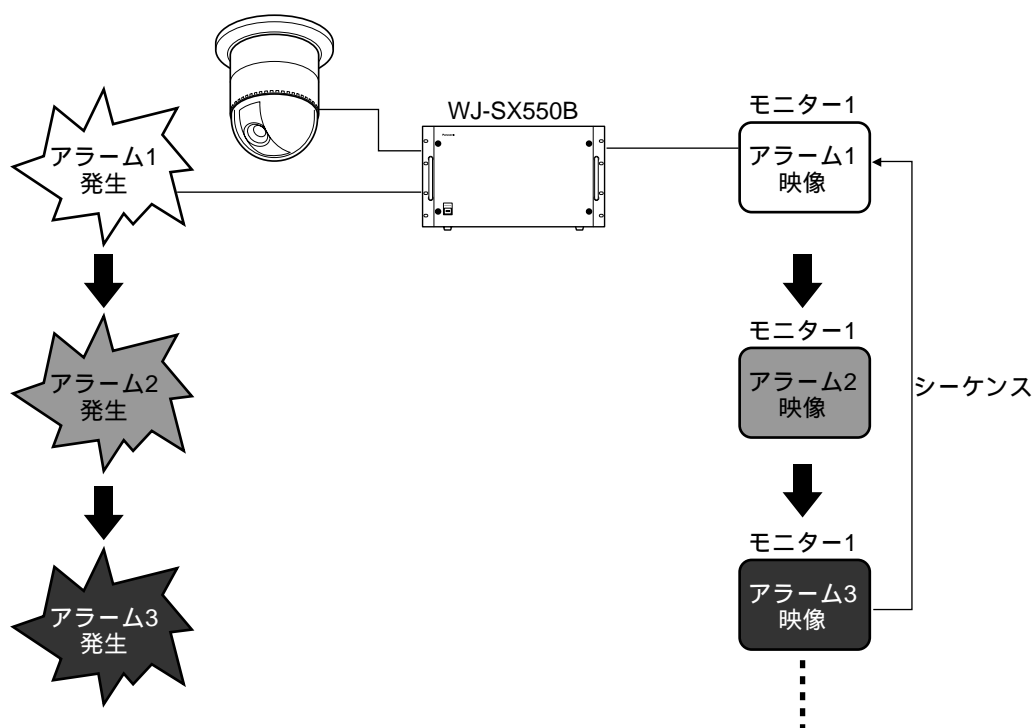
アラームに関する設定のしかたについては「第2編 4. アラーム入力時の動作の設定」をお読みください。

アラーム入力時のモニターの映像

アラーム入力時、モニターにアラームが発生した場所の映像が表示されます。
モニターに表示される映像は設定されているアラームモードによって異なります。

アラームモード1で運用している場合

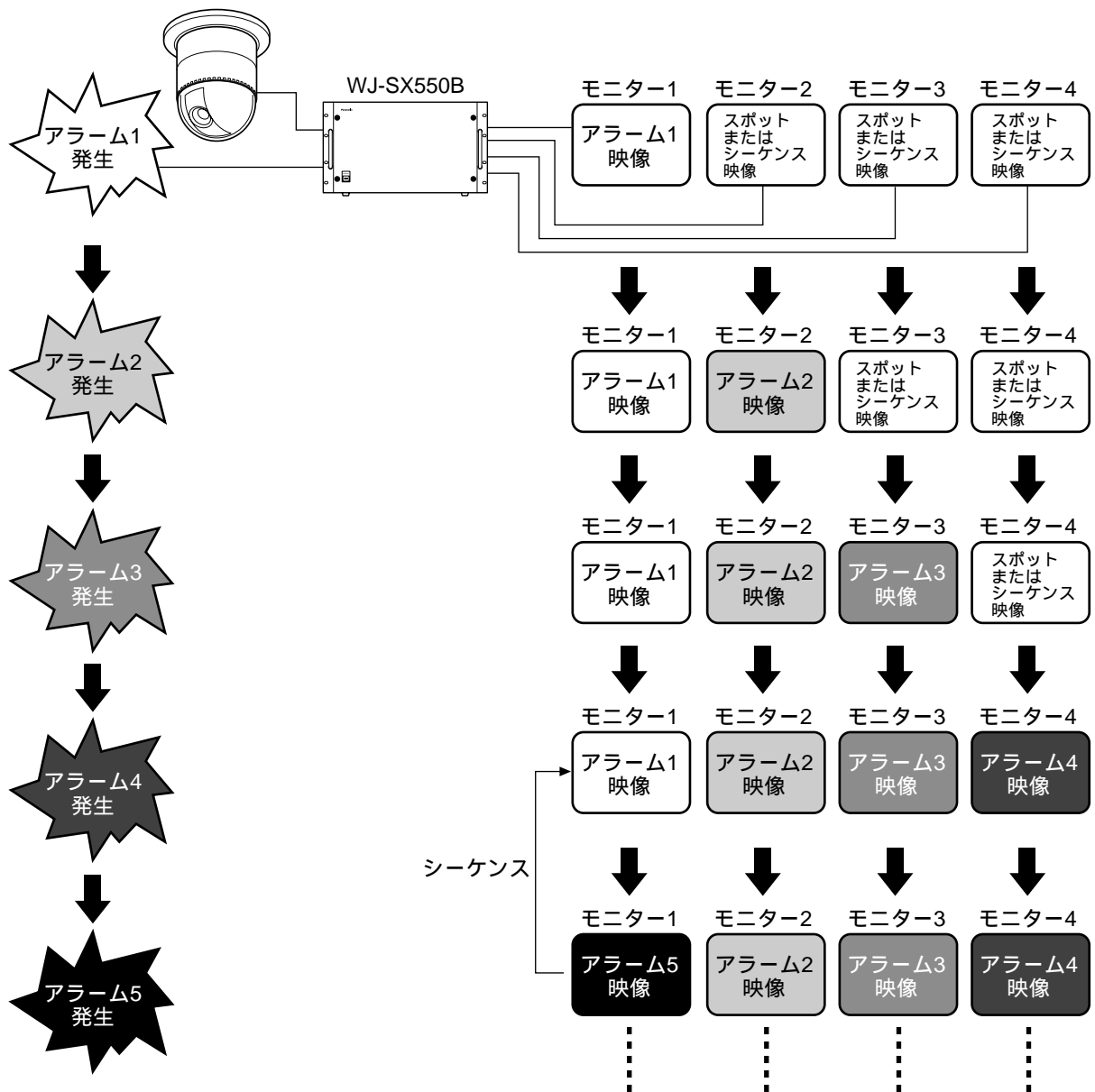
アラームモード1で運用しているときにアラーム信号がシステムに入力されると、モニター1にアラーム映像が表示されます。複数のアラーム信号がシステムに入力された場合、システムに入力された順番にモニター1に表示されます。



アラームモード2で運用している場合

アラームモード2で運用しているときにアラーム信号がシステムに入力されると、モニター1から4にアラーム映像が表示されます。

複数のアラーム信号がシステムに入力された場合、システムに入力された順番にカメラ映像を表示します。



アラームモード3で運用している場合

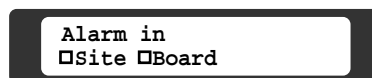
あらかじめ、1から128のアラーム番号に対し、個別にアラーム入力時の動作を設定しておきます。アラーム起動時の映像を任意のモニターに表示したり、プリセット位置へカメラ映像を切り換えたり、外部機器1、2の制御などができます。詳細は、「設定編 4. アラーム入力時の動作の設定」をお読みください。

アラーム入力先の変更

セットアップメニューで設定したアラーム信号入力先をシステムコントローラ - の操作メニューで変更できます。変更した内容は、自動的にセットアップメニューに反映され、電源スイッチを切っても、そのまま保存されます。

- ①カーソルキーを操作してA5メニュー - を液晶ディスプレイに呼び出します。

A5



F1 F2

- ②カメラサイトからのアラーム信号の入力を変更するときは [F1] キーを押します。

アラームボードからのアラーム信号の入力を変更するときは [F2] キーを押します。

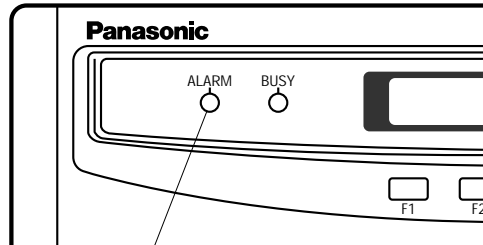
キーを押すたびにON、OFFが切り換わります。

: ON

: OFF

アラーム信号入力による動作の解除

アラーム信号が入力されると、解除するまでシステムコントローラーのALARM表示が点灯し続けます。



アラーム入力解除されるまで点灯し続ける。

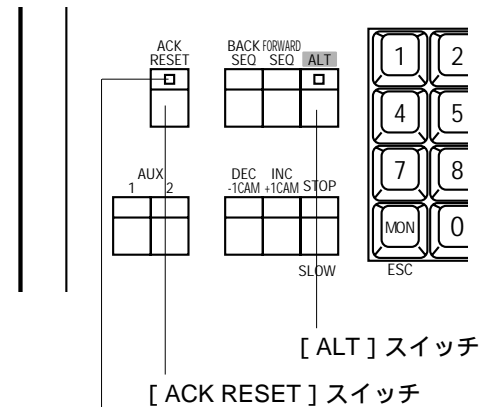
メモ

アラーム表示は、アラームメニューでアラームモードを設定しているときだけ点滅します。「設定編 4. アラーム入力時の動作の設定」をお読みください。

アラーム信号入力による動作を解除すると、アラーム動作前のカメラまたはシーケンスの映像に戻ります。解除のしかたには、手動で解除（リセット）する方法とあらかじめセットアップされている時間経過後自動的に解除（Auto Reset）する方法があります。自動解除の設定方法については「設定編」をお読みください。ここでは、手動での解除方法について説明します。

モニターごとに、アラーム信号入力を解除する

- ① アラーム信号が入力されたモニターを選択します。
- ② [ACK RESET] スイッチを押すと、[ACK RESET] スイッチのLEDは、高速で点滅します。
アラームを確認（ACK）した状態になります。
- ③ もう一度、[ACK RESET] スイッチを押すと、LEDは消えアラームは解除されます。



[ACK RESET] スイッチを一回押すと点滅する。再度押すと消える。

アラーム信号が入力されたモニターの確認はアラーム信号が入力されたモニターの右上部には、[AL0] または [AL1] と表示されています。

00-01-01 14:23:56 AL0

C 01 M16 3rd Floor
Room 306

アラーム信号入力による動作を一括して解除する

アラームモード1または2で運用しているとき、アラーム信号入力による動作を一括して解除できます。

①モニターを選択

アラームモード1のときはモニター1を選択します。

アラームモード2のときはモニター1から4のいずれかを選択します。

② [ALT] スイッチを押して [ALT] スイッチのLEDを点灯させます。

③ [ACK RESET] スイッチを押して確認状態 ([ACK RESET] スイッチLED高速点滅) にします。

重要

アラームを解除するときは、アラーム確認後 (ACK状態) 9秒以内に [ACK RESET] スイッチを押してください。ACK状態で10秒以上経過するとアラームは確認されなかったものとして解除されません。

④もう一度 [ACK RESET] スイッチを押すと、LEDは消え、アラームは一括して解除されます。

メモ

- アラーム確認状態にしてから、[ALT] スイッチを押し、もう一度 [ACK RESET] スイッチを押しても一括解除になります。
- アラームモード3で、アラームから起動したグループシーケンスは、そのグループシーケンスが動作しているいずれかのモニターからアラームの解除を行うと該当モニターのアラームが一括して解除されます。

Chapter 9

外部機器の操作

システムコントローラーで、照明の入り/切りやブザーなどの外部機器を操作できます。操作する外部機器は、レシーバー（WV-RC100またはWV-RC150）を經由して接続されている必要があります。システムの構成を確認してから操作してください。外部機器の操作は、システムコントローラーの [AUX1] または [AUX2] スイッチで行います。

外部機器の操作

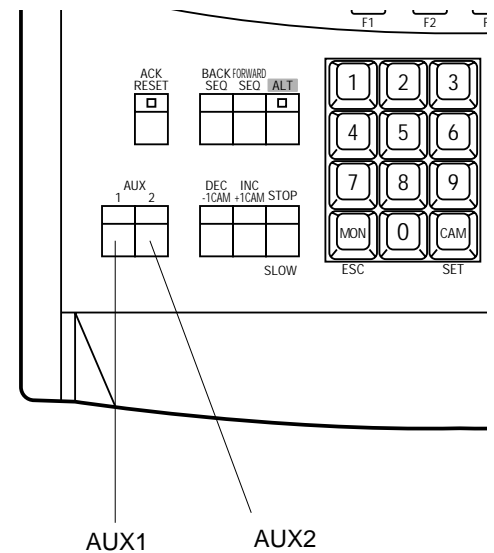
システムに、レシーバーなどの外部機器が接続されている場合に操作できます。

①カメラとモニターを選択

希望するカメラとモニター番号を選択します。「4. モニターの操作」をお読みください。

②外部機器の操作

システムコントローラーの [AUX1] または [AUX2] スイッチを押して外部機器を操作します。スイッチを押す度に動作ONまたはOFFに切り換わります。



優先権の設定と解除

Log-outした後も、そのモニターを操作していたオペレーター以外操作できないように設定できます。これをプライオリティロックと呼びます。プライオリティロックをすると、解除するまで他のオペレーターはそのモニターを使用できません。

プライオリティロックのしかた

重要

- プライオリティロックの解除は、ロックをしたオペレーターまたは、ロックをしたオペレーター以上のプライオリティを有するオペレーターだけ解除できます。解除されるまで、他のオペレーターは使用できません。
- ロックをしたオペレーターが、ログアウトしてもプライオリティロックは解除されません。不要なときは、プライオリティロックを解除してください。

①カーソルキーを操作して、A4メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

②プライオリティロックをするときは、[F1]キーを押して、ONにします。このとき操作しているモニターに、モニター番号が反転文字で表示されます。

A4

PriorityLock
On Off Auto Log-Out

F1 F2 F3 F4

00-01-01 14:23:56

C 01 **M16** 3rd Floor
Room 306

モニター番号が反転表示される。

プライオリティロックの解除のしかた

A4メニューで[F2]キーを押して、OFFにします。モニター番号は反転しない文字で表示されます。

Chapter 11

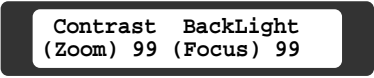
液晶ディスプレイの調節

システムコントローラーの液晶ディスプレイのコントラストやバックライトを調節できます。

液晶ディスプレイの調節のしかた

コントラスト、バックライト調節用メニューの表示

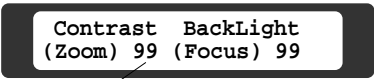
[]キーを押しながら[◀]と[▶]キー3つを押すと、液晶ディスプレイに表示状態を調節するための操作メニューが表示されます。



Contrast BackLight
(Zoom) 99 (Focus) 99

コントラストの調節

- [] [◀] [▶] キー3つを押しながら、[ZOOM] スイッチを TELE または WIDE にします。
- コントラストが変化します。見やすい位置に設定してください。
TELE : 押し続けると、00から99方向にコントラストを増やします。
WIDE : 押し続けると、99から00方向にコントラストを減らします。

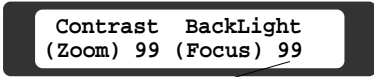


Contrast BackLight
(Zoom) 99 (Focus) 99

ズームスイッチを操作すると値が変化する

バックライトの調節

- [] [◀] [▶] キー3つを押しながら、[FOCUS] スイッチを NEAR または FAR にします。
- バックライトの明るさが変化します。見やすい位置に設定してください。
NEAR : 押し続けると、00から99方向にバックライトを明るくします。
FAR : 押し続けると、99から00方向にバックライトを暗くします。



Contrast BackLight
(Zoom) 99 (Focus) 99

フォーカススイッチを操作すると値が変化する

Chapter 12

カメラの状態表示

カメラの状態をモニターに表示して確認できます。
ここでは、カメラ側機器の動作状態の表示方法について説明します。

カメラの状態表示

①状態を確認したいカメラと状態を表示するモニターの番号を選択します。

「6. 映像の操作」をお読みください。

②カーソルキーを操作して、B1メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

③ [F4] キーを押すと、モニターにカメラの状態が表示されます。

再度押すと、元に戻ります。

画面に表示される記号の意味は次のとおりです。

On : 使用中

Off : 停止中

Uncontrol : 機能なし

--- : 使用不可

A1

```
Camera 01
Monitor 16
```

B1

```
Pan Action
■Auto■Random Status
F1 F2 F3 F4
```

カメラの状態表示

```
Site Status
Ele Zoom:Uncontrol
Shutter :Off
Sens Up :Off
Random :Off
Auto Pan:Off
Camera :On
Wiper :---
Def :---
AUX1 :---
AUX2 :---
C 01 M16
```

メモ

カメラの状態の他に、アラーム履歴やシステム全体の動作状態をモニターに表示したり、プリンターに印刷することができます。これらはセットアップメニューの操作が許可されたオペレーターだけが操作できます。詳細は、「設定編 10. システム情報の表示・印刷」をお読みください。

Chapter 13

システムの終了

操作を終了するときや、操作の必要が無くなったときは、オートログインの設定をしてからログアウト (Log-out) します。オートログインの設定をONにしておく、次に電源を入れたときに、直前に操作をしていたオペレータとして自動的にログインします。

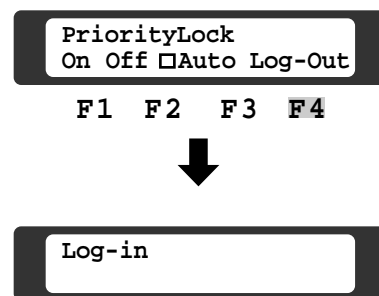
ログアウト (Log-out) のしかた

重要

- 操作を終了するときは、必ずログアウトを行ってください。
- 操作しているシステムコントローラーの電源を切ってもログアウトされません (ログインされ続けます)。
- オートログイン設定をONにしていると、ログアウトしてもマトリクススイッチャーやシステムコントローラーの電源を入れ直すことで、誰でも直前に操作をしていたオペレーターとしてログインできます。セキュリティ上、問題がある場合はオートログインの設定をOFFにしてください。

- ①カーソルキーを操作して、A4メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。
- ② [F3] キーを押してオートログインのON、OFFのON、OFFを切り換えます。
: オートログインON
: オートログインOFF
- ③ [F4] キーを押します。
ログアウトします。
液晶ディスプレイは、ログイン (Log-in) を要求するメニューに変わります。

A4



電源の切りかた

重要

- システムコントローラーの電源は、ログアウトを行ってから切ってください。
- マトリクススイッチャーの電源は、すべてのオペレーターがログアウトしてから切ってください。

- ①システムコントローラーの電源を切ります。
システムコントローラー後面のコントローラー電源スイッチをOFFにします。
長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
- ②マトリクススイッチャーの電源を切ります。
マトリクススイッチャー後面の電源スイッチをOFFにします。

第2編 設定

各種機能を利用するためには、運用を開始する前に次に示す内容をシステムに登録（セットアップ）する必要があります。ここでは、各内容の設定方法を説明します。

1. セットアップを始める前に

セットアップメニューの構成や設定操作の流れなどを説明しています。

2. シーケンスの設定

プログラムシーケンス、ツアーシーケンス、グループシーケンスの動作をプログラムし、登録します。

3. スケジュールの設定

1日の監視スケジュールを事前に登録することによって、オペレーターの操作を容易にすることができます。

4. アラーム入力時の動作の設定

5. オペレーターの登録

オペレーター（利用者）ごとにオペレーター番号、パスワード、優先順位、操作レベルを登録します。この作業は必須です。

6. カメラタイトルの設定

各カメラごとにカメラタイトルを設定します。

7. システムの基本設定

システムが動作するために必要な基本的な事項を設定します。

8. カメラ機能の設定

カメラ側のセットアップメニューをシステムコントローラーで操作、設定します。

9. カメラポジションの登録

カメラポジション番号による操作を行うために必要なカメラ番号とプリセット番号の対応を登録します。

10. システム情報の表示・印刷

アラームの入力履歴や、操作している時点でのシステムの動作状態をモニターに表示し、確認できます。また、モニターに表示した内容をプリンターに印刷したり、消去したりできます。

11. カメラクリーニング

コンビネーションカメラを使用している場合、長期間使用しているとモニターにノイズが入ることがあります。このようなときは、メニュー画面を表示し、コンビネーションカメラをクリーニングする必要があります。

コンビネーションカメラのクリーニングは、実行する曜日や時間を設定しておくことで、自動的に行うことができます。

Chapter 1

セットアップを始める前に

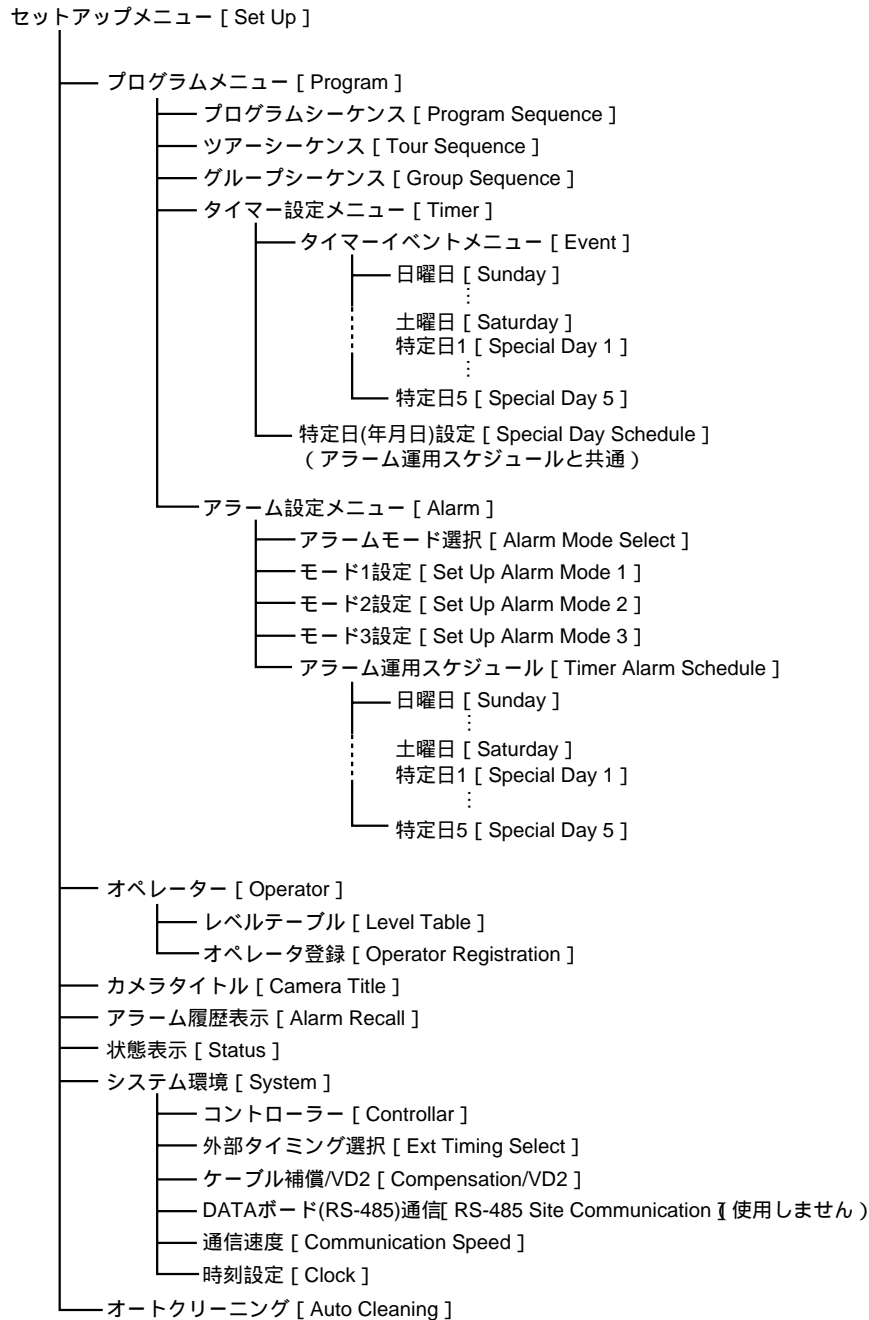
セットアップメニューを使って各種機能を設定することで、運用方法にあったシステムに設定できます。

- シーケンス、タイマー、アラーム、オペレーターの属性、カメラタイトル、システムの各項目を設定します。設定した内容はマトリクススイッチャーに記憶され、変更しない限り変わりません。
- 設定操作は、セットアップ画面を見ながら、システムコントローラーで行います。セットアップ画面はモニターに表示されます。
- セットアップ画面でシステム全体の動作状態を確認できます。システム全体の動作状態は、状態表示用モニターに表示することもできます。
また、カメラ側のセットアップ画面をシステムコントローラーで操作、設定することもできます。

セットアップメニューの構成

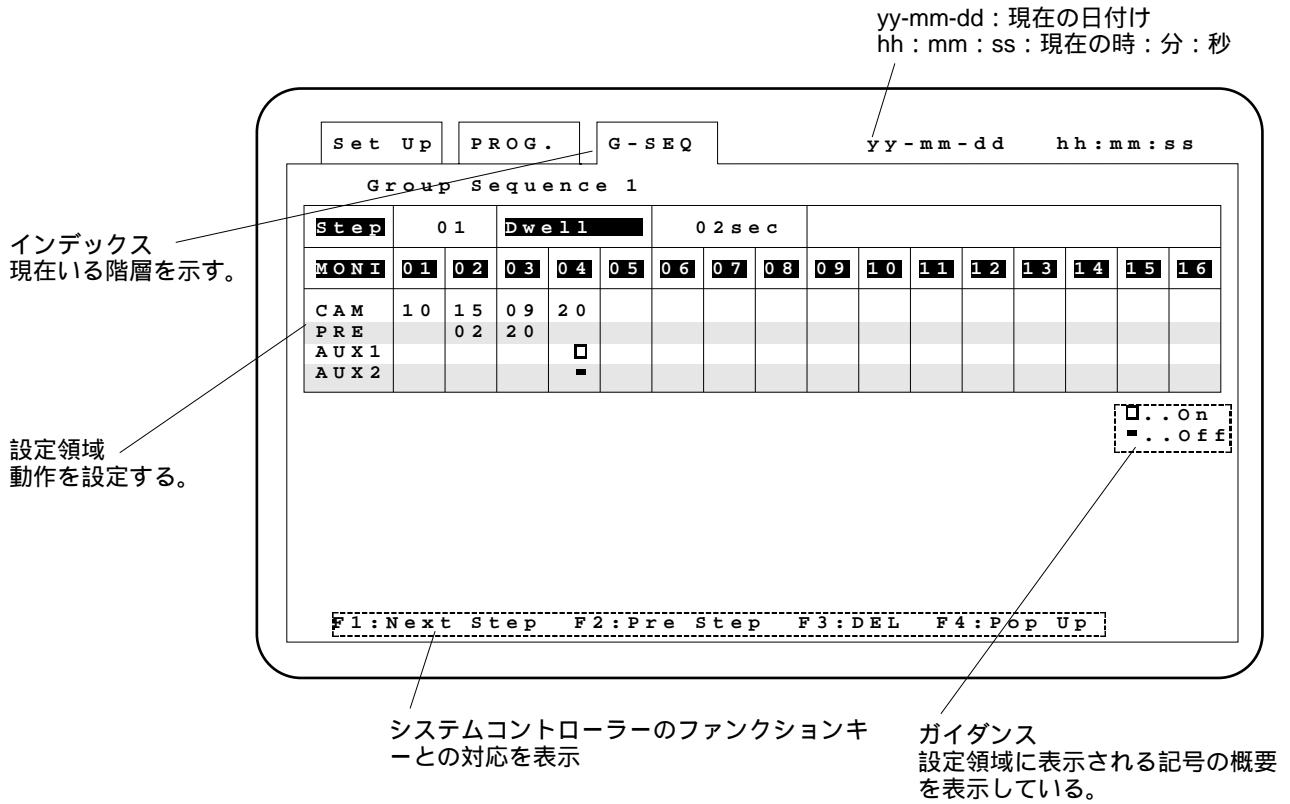
セットアップメニューは図のように7つの大項目と、その下位の13の中項目、更に下位の小項目から構成されています。

セットアップ
メニュー体系



画面の構成

グループシーケンス設定画面を例に画面の構成を説明します。



設定操作に使用する主なキー

表示されているメニューや設定画面を操作する場合、主に次に示すキーを使用します。

カーソルキー : 液晶ディスプレイ上のメニューを操作します。

[F1] キー : 次ページを選択します。

液晶ディスプレイ上の [:Next] に対応しています。

[F2] キー : 前ページを選択します。

液晶ディスプレイ上の [:Pre] に対応しています。

[F3] キー : モニター上でカーソルがある位置の項目を消去または初期化します。

液晶ディスプレイ上の [:Del] に対応しています。

[F4] キー : ポップアップウィンドウをモニターに呼び出します。

液晶ディスプレイ上の [:PopUp] に対応しています。

テンキー : 数値を設定するときを使用します。

[INC+1CAM] スイッチ : ポップアップウィンドウを呼び出さずに選択するとき

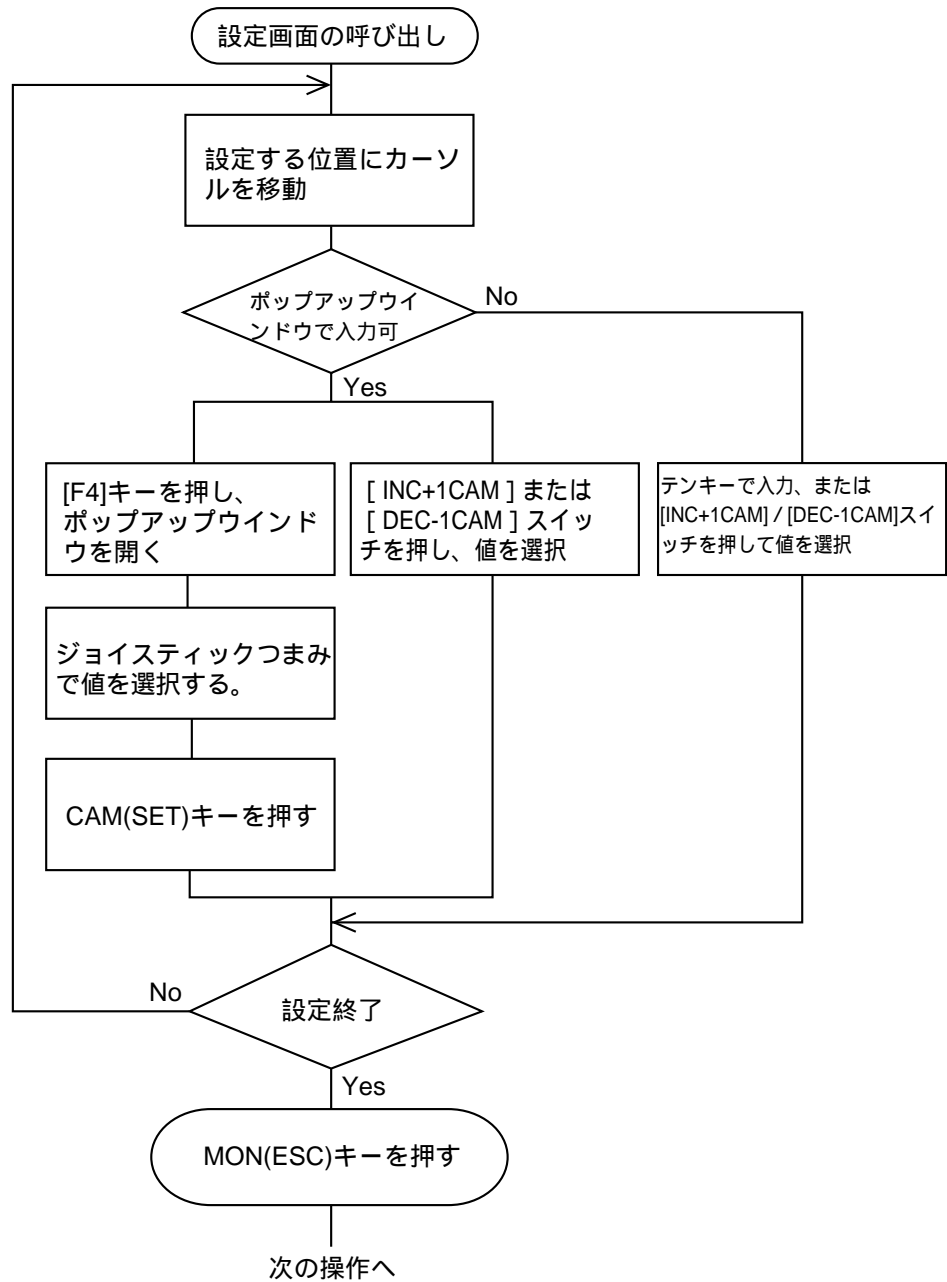
[DEC-1CAM] スイッチ 使用します。

ジョイスティックつまみ : セットアップメニューや設定画面上の項目にカーソルを移動するとき使用します。インデックスにカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押すと、そのメニュー画面に切り換わります。

CAM (SET) キー :
選択項目を決定するときを使用します。

MON (ESC) キー :
前の画面や項目に戻るときを使用します。

設定操作の流れ



設定例

設定のしかたを例を用いて説明します。

テンキーで入力します。
CAM (SET) キーを押す必要はありません。
ジョイスティックつまみを操作して次の欄に移動します。

設定画面の上にある項目で数値を入力する必要がある場合、テンキーで入力します。
入力後CAM (SET) キーを押すと確定されます。
数値入力が必要なものは、CAM (SET) キーだけ押してください。
カーソルが次の設定項目に移動します。

S Up PROG. T-SEQ
Page 1 / 2

Auto skip		On															
Step	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	
CAM	10	15	09	00	04	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
PRE		20	64	11	09												
DWELL	03	00	01	02	05	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
AUX1			<input type="checkbox"/>														
AUX2				-													
Step	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
CAM	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
PRE																	
DWELL	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
AUX1																	
AUX2																	

.. On .. Off

F Next Page
F2: Pre Page
F3: DEL
F4: Pop Up

入力内容がシステムで決められているものは、[INC+1CAM] [DEC-1CAM] スイッチまたはポップアップウィンドウを呼び出して設定します。

- ポップアップウィンドウの操作

- ① [F4] キーを押すとポップアップウィンドウ (右図) が画面の上に表示されます。
- ② ジョイスティックつまみで、項目を選択します。
- ③ CAM (SET) キーを押すとポップアップウィンドウが消えて、画面上に設定されます。

[INC+1CAM] [DEC-1CAM] スイッチを押すとポップアップウィンドウに表示される内容が、画面上で順に切り換わります。

AUX

On

Off

ポップアップウィンドウについて

ポップアップウィンドウには、そのセットアップ画面上で設定できる値が表示されます。セットアップ中に設定方法が分からないときに使用すると便利です。

セットアップの開始

重要

- セットアップ画面は、許可されたオペレーターだけが呼び出し、操作できます。
- 不正使用を防止するために、工場出荷時のパスワードは必ず変更してください（「5. オペレーターの登録」参照）。

- ①セットアップを実行できるオペレーター番号で、ログインします。

工場出荷時、セットアップ用に次に示す番号とパスワードが登録されています。

オペレーター番号：1

パスワード：12345

- ②セットアップメニューを表示するモニターを選択します。

「操作編 5. モニターの操作」をお読みください。

- ③カーソルキーを操作してA6メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

- ④ [F1] キーを押します。

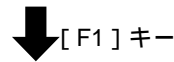
モニターにセットアップメニュー（次ページ）が表示されます。

液晶ディスプレイの表示も右図のように変わります。

A6



F1 F2 F3 F4



[F1] キー



F1 F2 F3 F4

メモ

モニターにセットアップメニューが表示されないときは、液晶ディスプレイに“PROHIBITED”が表示されていないか確認してください。これは、オペレーターにセットアップ権限がないときに表示されます。MON (ESC) キーを押してセットアップ権限のあるオペレーター番号で再度ログインしてください。

セットアップメニュー

セットアップ
メニュー



セットアップを行うとき、最初に表示される画面です。6項目の中から設定したい項目を選択すると、各項目に対する詳細を設定する画面に切り換わります。

操作のしかた

①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。

Program	各種シーケンスに関する設定
Operator	オペレーターに関する設定
Camera title	カメラタイトルの設定
Alarm Recall	アラーム履歴の表示
Status	システム状態の表示
System	システム基本設定
Auto Cleaning	コンビネーションカメラのクリーニング

②CAM (SET) キーを押します。選択した項目の画面が表示されます。

セットアップを終了するには

セットアップを中止または終了するときは、MON (ESC) キーを押します。カメラ映像の画面に戻ります。

Chapter 2

シーケンスの設定

プログラムメニュー

プログラムメニュー



メニュー画面の表示方法

- ①セットアップメニューから「Program」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにプログラムメニューが表示されます (上図)。

操作のしかた

このメニュー画面で、設定項目を選択します。

重要

ツアーシーケンス及びグループシーケンスを設定する場合、このメニュー画面で「Alarm」を選択し、アラームモードを「Off」にしてから設定してください。「4. アラーム入力時の動作の設定」をお読みください。

①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。

Program Sequence	プログラムシーケンスに関する設定。
Tour Sequence	ツアーシーケンスに関する設定。 アラームモードを「Off」にしてから設定してください。
Group Sequence	グループシーケンスに関する設定。 アラームモードを「Off」にしてから設定してください。
Timer	内蔵タイマーを利用したイベント（運用スケジュール）の設定。
Alarm	アラーム入力時の動作や、アラーム運用スケジュールなどを設定。

②CAM（SET）キーを押すと、選択した項目の画面が表示されます。

③設定を中止または終了するときは、MON（ESC）キーを押します。セットアップメニューに戻ります。

プログラムシーケンス

プログラムシーケンス
設定画面

		Auto Skip				Dwell				02 sec							
Step		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
CAM		01	10	27	43	21	60	33	09	18	25	42	39	03	22	50	41
Step		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
CAM		53	20	12	07	00											
Step		33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
CAM																	
Step		49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
CAM																	

F1:-- F2:-- F3:DEL F4:Pop Up

設定画面の表示方法

- ①プログラムメニューで「Program Sequence」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにプログラムシーケンス設定画面が表示されます。

この表を使ってプログラムシーケンスの新規設定や変更を行います。
プログラムシーケンスは16台のモニター個々に対応した16種類のシーケンスを設定できます。各シーケンスごとに64ステップまで設定できます。

設定のしかた

①プログラムシーケンス番号の設定

カーソルを①に移動します。テンキーでモニター番号の数字を入力します。
CAM (SET) キーを押して確定すると、画面にモニター番号が表示されます。

②自動スキップの設定 (Auto Skip)

カーソルを②「Auto Skip」に移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。
ポップアップウィンドウで「On」または「Off」のうち希望する位置へカーソルを移動した後、CAM (SET) キーを押して確定すると、ポップアップウィンドウは消え、画面の②に「On」または「Off」が表示されます。

③表示時間の設定 (Dwell)

カーソルを③「Dwell」に移動します。テンキーで1秒から30秒の表示時間を入力します。

④ステップの選択とカメラ番号の設定 (CAM)

カーソルを設定するステップ番号に移動します。
各ステップごとに、そのステップで表示するカメラ番号をテンキーで入力します。

⑤一つのシーケンスの設定終了

一つのシーケンスの設定が完了したら、MON (ESC) キーを押します。カーソルが①に移動します。

⑥次のシーケンスの設定

①から⑤を繰り返して同様に設定します。

⑦設定を終了するときは

- 再度MON (ESC) キーを押します。プログラムメニューに戻ります。
- インデックス部にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押すとそのメニュー画面に切り換わります。

ツアーシーケンス

ツアーシーケンス
設定画面

Tour Sequence 01 Page 1 / 2

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

Auto Skip	On															
Step	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
CAM	10	15	09	00	04	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
PRE		20	64	11	09											
DWELL	03	00	01	02	05	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
AUX1			<input type="checkbox"/>													
AUX2				<input type="checkbox"/>												
Step	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
CAM	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
PRE																
DWELL	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
AUX1																
AUX2																

□...On ■...Off

F1:Next Page F2:Pre Page F3:DEL F4:Pop Up

設定画面の表示方法

- ①プログラムメニューで「Tour Sequence」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにツアーシーケンス設定用の画面が表示されます。
 - この画面を使ってツアーシーケンスの新規設定や変更を行います。
 - ツアーシーケンスは、1シーケンス64ステップで32シーケンスまで設定できます。各ステップのなかではカメラ番号、プリセット番号、表示時間、外部機器制御1、外部機器制御2を設定します。

重要

- ツアーシーケンスの設定や変更を行う場合は、あらかじめアラームモードを「Off」にしてください。「4. アラーム入力時の動作の設定」をお読みください。
- 1シーケンスは64ステップありますが、一画面には32ステップが表示されます。33ステップ以降を設定するときはカーソルを②以降に移してから [F1] キーを押してください。

設定のしかた

① ツアーシーケンス番号の設定

カーソルを①に移動します。設定するシーケンス番号（1から32）をテンキーで入力します。CAM (SET) キーを押して確定すると、画面にシーケンス番号が表示されます。

② 自動スキップの設定 (Auto Skip)

- カーソルを②に移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。
- ポップアップウィンドウで「On」または「Off」のうち希望する位置へカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押します。ポップアップウィンドウが消え、画面に「On」または「Off」が表示されます。

③ カメラ番号の設定 (CAM)

カーソルを設定するステップの③「CAM」に移動します。テンキーで希望するカメラ番号を入力します。

④ プリセット番号の設定 (PRE)

カーソルを設定するステップの④「PRE」に移動します。プリセット番号をテンキーで入力します。プリセット式コンビネーションカメラだけ設定できます。

⑤ 表示時間の設定 (DWELL)

カーソルを設定するステップの⑤「DWELL」に移動します。テンキーで0秒から30秒の表示時間を入力します。

重要

プリセット式コンビネーションカメラの場合、プリセット位置に移動するまでの時間を見込んで表示時間を設定してください。

⑥ 外部機器制御1,2の設定 (AUX1, 2)

- カーソルを⑥または⑦に移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウで、「On」または「Off」にカーソルを移動します。セットCAM (SET) キーを押すと、ポップアップウィンドウが消え、(ON)または(OFF)マークが表示されます。
- 33ステップ以降を設定するときは、[F1] キーを押して次ページを呼び出します。同様の操作で後半の設定を行います。[F2] キーを押すと前のページに戻ります。

⑦ 一つのシーケンスの設定終了

一つのシーケンスの設定が完了したら、MON (ESC) キーを押します。カーソルが①に移動します。

⑧ 次のシーケンスの設定

①から⑧を繰り返して同様に設定します。

⑨ 設定を終了するときは

- 再度MON (ESC) キーを押します。プログラムメニューに戻ります。
- インデックス部にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押すとそのメニュー画面に切り換わります。

グループシーケンス

グループシーケンス
設定画面

Step	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
CAM	10	15	09	20												
PRE		02	20													
AUX1				<input type="checkbox"/>												
AUX2				<input checked="" type="checkbox"/>												

□...On
■...Off

F1:Next Step F2:Pre Step F3:DEL F4:Pop Up

設定画面の表示方法

- ①プログラムメニューで「Group Sequence」を選択し、CAM(SET)キーを押します。
- ②モニターにグループシーケンス設定用の画面が表示されます。
 - この画面を使ってグループシーケンスの新規設定や変更を行います。
 - グループシーケンスは、1シーケンス64ステップで8シーケンスまで設定できます。各ステップのなかでは16台のモニターに表示するカメラ番号、プリセット番号、外部機器制御1、外部機器制御2を設定します。

設定のしかた

①グループシーケンス番号の設定

カーソルを①に移動します。設定するシーケンス番号（1から8）をテンキーで入力します。CAM（SET）キーを押して確定すると、画面にシーケンス番号が表示されます。

②ステップ番号の設定（Step）

カーソルを②に移動します。テンキーでステップ番号（1から64）を入力します。CAM（SET）キーを押すと画面にステップ番号が表示されます。

③表示時間の設定（Dwell）

カーソルを③に移動します。テンキーで表示時間（0から30秒）を入力します。

④カメラ番号の設定（CAM）

カーソルを設定するモニターの④に移動します。テンキーでモニターに表示するカメラの番号（1から128）を入力します。

⑤プリセット番号の設定（PRE）

カーソルを設定するモニター及びカメラの⑤に移動します。テンキーでプリセット番号を入力します。

⑥外部機器制御1,2の設定（AUX1, 2）

カーソルを⑥または⑦に移動します。[F4]キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウで、「On」または「Off」にカーソルを移動します。CAM（SET）キーを押すと、ポップアップウィンドウは消え、（ON）または（OFF）マークが表示され確定します。

⑦次のステップの設定

[F1]キーを押すと次のステップが選択されます。上記の③から⑥を繰り返して同様に設定します。

⑧前のステップの設定

[F2]キーを押すと前のステップが選択されます。上記の③から⑥を繰り返して同様に設定します。

⑨一つのシーケンスの設定終了

一つのシーケンスの設定が完了したら、MON（ESC）キーを押します。カーソルが①に移動します。

⑩次のシーケンスの設定

①から⑨を繰り返して同様に設定します。

⑪設定を終了するとき

- 再度MON（ESC）キーを押します。プログラムメニューに戻ります。
- インデックス部にカーソルを移動し、CAM（SET）キーを押すとそのメニュー画面に切り換わります。

シーケンスの設定の初期化


各シーケンスの設定内容を初期化（消去）できます。

重要

初期化を行うと、再度元の内容に戻すことはできません。よく確認してから操作してください。

操作のしかた

- ①各シーケンスの設定画面でカーソルを①に移動して初期化するシーケンス番号を入力します。
CAM (SET) キーを押してシーケンス番号を確定します。
- ②カーソルキーの [] または [] を押して、右図のメニューを液晶ディスプレイに呼び出します。
- ③ [F2] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。カーソルを「Yes」に移動して、CAM (SET) キーを押します。モニター上の一覧表の設定済データが初期化されます。
- ④MON (ESC) キーを押します。カーソルが①に移動します。



Set Up Menu
Print Clear

F1 F2 F3 F4

Chapter 3

スケジュールの設定

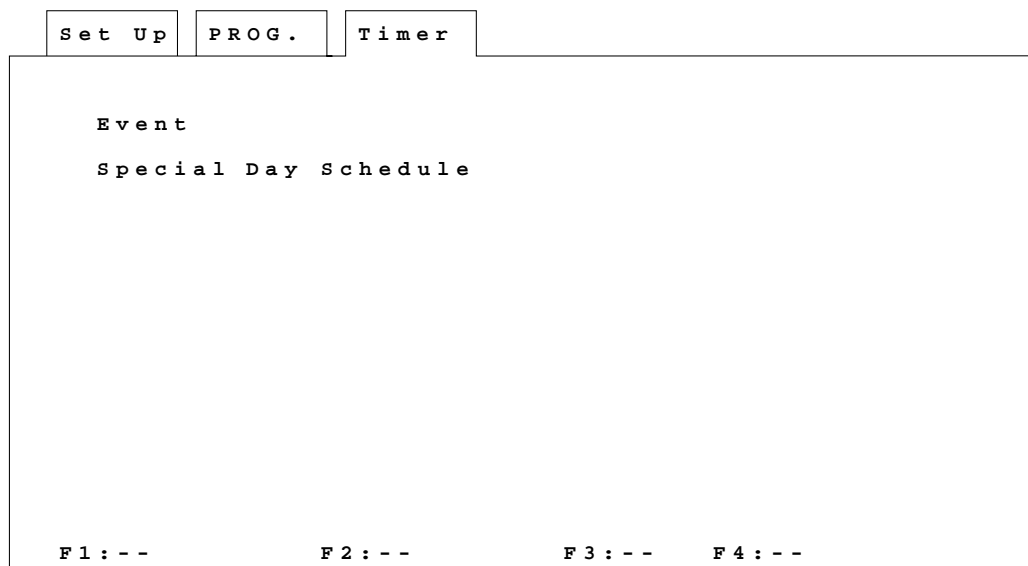
内部タイマーを使用して自動的にシーケンスの起動/終了を設定できます。曜日ごとに設定する方法と、特定の日を指定して設定する方法があります。この設定は、タイマーメニューで行います。アラーム入力時のスケジュールを設定する方法については「4. アラーム入力時の動作の設定」をお読みください。

タイマーメニュー

重要

内部タイマーによって起動したシーケンスは、終了時間経過後も他の操作を行わないかぎり続行されます。

タイマーメニュー



メニュー画面の表示方法

- ①プログラムメニューから「Timer」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにタイマーメニューが表示されます。

操作のしかた

このメニューで、設定項目を選択します。

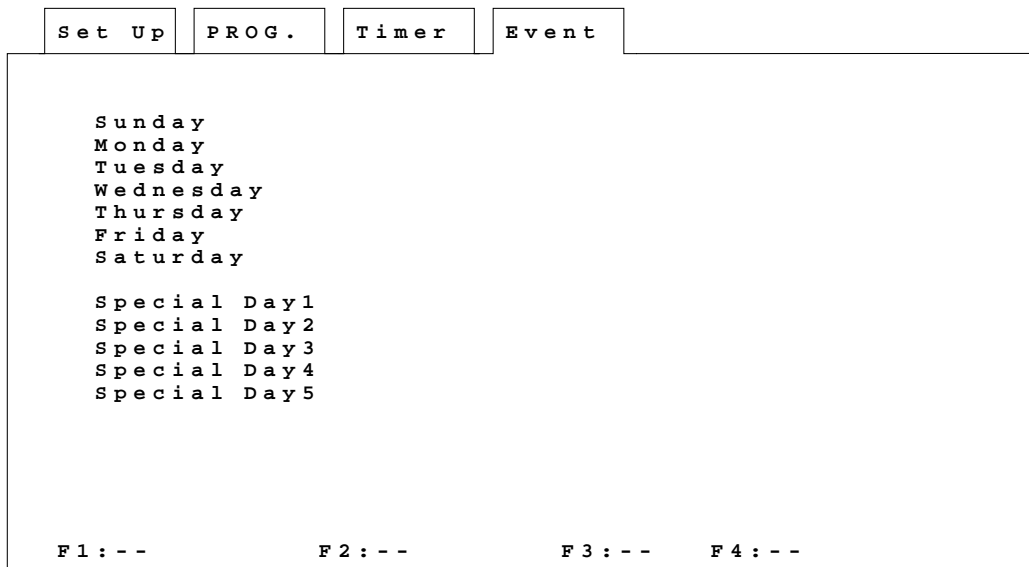
- ①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。

Event	• 曜日ごとにスケジュールを設定。 • Special Day Scheduleで設定する特定日のイベントスケジュールを設定。
Special Day Schedule	特定日の年、月、日の設定。
- ②CAM (SET) キーを押すと、選択した項目の画面が表示されます。
- ③設定を中止するまたは終了するときは、MON (ESC) キーを押します。プログラムメニューに戻ります。

タイマーイベントメニュー

各曜日や特定日1～5の運用スケジュールを設定できます。

タイマーイベント
メニュー



スケジュールの
設定

メニュー画面の表示方法

- ①タイマーメニューから「Event」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにタイマーイベントメニューが表示されます。

操作のしかた

このメニュー画面で設定項目の選択をします。

- ①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。

Sunday...Saturday	各曜日ごとにスケジュールを設定。
Special Day1...5	特定日1から5のスケジュールを設定。
- ②CAM (SET) キーを押すと、スケジュール設定画面 (タイマーイベントスケジュール) に切り換わります。
- ③設定を中止または終了するときは、MON (ESC) キーを押します。タイマーメニューに戻ります。

インデックス部にカーソルを移動しCAM (SET) キーを押すとそのメニュー画面に切り換わります。

タイマーイベントスケジュール

- この画面で、特定の時間になったとき、ツアーシーケンスやグループシーケンスを起動したり停止したりする設定や、既に登録されている内容を変更したりできます。
- 一日で45のイベントが設定できます。
- 特定日1から5を設定する場合、特定日設定画面で、適用する日（特定日：年月日）を設定してください。本章の「特定日の設定」をお読みください。

タイマーイベント
スケジュール
設定画面

①

Set Up
PROG.
Timer
Event
SUN.

Timer Event Schedule Page 1 / 3

Start	Stop	<	M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8	M9	>
00:00	01:00		T 64			T 01			T 01			
00:30	09:00											
10:00	10:10			T 17								
10:10	10:50		G 1	G 1	G 1	G 1		T 36				
11:00	11:30						T 01		T 32			
11:00	11:40											
11:30	11:50											
11:50	12:00									G 3	G 3	
12:00	12:30											
12:30	13:31							T 08				
13:30	14:30											
15:00	16:00								T 11			
16:00	17:00				T 21							
17:00	17:30											
17:30	19:00						T 43			T 52		

F1: Next Page
F2: Pre Page
F3: DEL
F4: Pop Up

②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧

T..Tour G..Group

設定画面の表示方法

- ① タイマーイベントメニューで設定したい曜日または、特定日のスケジュールを選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ② モニターにタイマーイベントスケジュール設定画面が表示されます。

メモ

- 1画面には15イベント表示されます。16イベント以降を設定する場合、[F1] キーを押して次のページを呼び出します。前のページへは [F2] キーで戻れます。
- 画面には9台のモニターが表示されます。表示されていないモニターを呼び出す場合、⑥または⑧にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押してください。

設定のしかた

①タイマーイベントスケジュールの確定

ジョイスティックつまみでカーソルを①「Timer Event Schedule」に移動します。
CAM (SET) キーを押します。

②開始終了時刻の設定 (Start / Stop)

カーソルを②から⑤の順に移動して、開始時刻 (Start)、終了時刻 (Stop) をテンキーで入力します。時間は24時間制です。

③シーケンスの設定

- カーソルを⑦の希望する位置に移動して [F4] キーを押しポップアップウィンドウを呼び出します。
- ポップアップウィンドウでシーケンスのタイプを選択します。次にシーケンス番号をテンキーで入力し、CAM (SET) キーを押して確定します。
- モニター番号10以上のモニターのスケジュールを設定する場合、⑧にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押します。⑥に移動し、CAM (SET) キーを押すと戻ります。
- この画面で15イベントまで設定できます。16イベント以降を設定する場合、[F1] キーを押して次ページ [Next Page] を呼び出します。同様の操作で次ページの設定を行います。[F2] キーを押すと前のページへ戻ります。

④設定の終了

一日の設定が終了したら、MON (ESC) キーを押します。カーソルは①の位置に戻ります。設定した内容が時間順に並び換えられます。

⑤他の曜日または特定日のスケジュール設定

- 他の曜日や特定日のスケジュールを設定する場合、再度MON (ESC) キーを押してタイマーイベントメニュー画面に戻り①から④の操作を繰り返します。
- インデックス部にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押すとそのメニュー画面に切り換わります。

曜日をまたがって設定するには

曜日をまたがってタイマーイベントスケジュールを設定するには、2日に分けて設定する必要があります。

例えば、シーケンスを月曜日23 : 00 ~ 火曜日7 : 00まで動作させるには次のように分けて設定してください。

Monday ...23 : 00 ~ 24 : 00

Tuesday...0 : 00 ~ 7 : 00

特定日の設定

この画面でタイマーイベントスケジュールとアラーム運用スケジュール（「4. アラーム入力時の動作の設定」を参照）で設定したSpecial Day 1 ~ 5のスケジュールと特定日との対応付けを行います。

特定日設定画面

Set Up
PROG.
Timer
SPE.

Special Day Schedule

SPE	Y	M	D	SPE	Y	M	D	SPE	Y	M	D
S1	00	10	5	S4	00	12	9				
S5	00	11	9	S4	00	12	10				
S2	00	12	10	S4	00	12	11				
S3	01	10	1	S4	00	12	12				
				S4	00	12	13				
				S4	00	12	14				
				S4	00	12	15				
				S4	00	12	16				
				S4	00	12	17				

F1:--
F2:--
F3:DEL
F4:Pop Up

1

2

3

4

5

設定画面の表示方法

- ①タイマーメニューから「Special Day Schedule」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターに特定日設定画面が表示されます。
この画面を使ってSpecial Day1から5に設定したスケジュールと特定日との関連付けを行います。

重要

暦は2000年から2093年まで設定できます。西暦の下2けたを入力してください。西暦2000年は00と入力してください。

設定のしかた

①特定日の設定

- 特定日を設定する前に、カーソルを①「Special Day Schedule」に移動して、CAM(SET)キーを押します。
- 特定日は、合計48日まで設定できます。

②特定日1から5の選択

- タイマーイベントスケジュール設定画面で設定した特定日の運用スケジュールの番号を選択します。
- カーソルをwに移動し、[F4]キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。S1からS5の中から希望する番号を選択します。CAM(SET)キーを押して確定します。なお、S1からS5は、タイマーイベントメニューのSpecial Day1から5に対応しています。

③年月日の設定

- ③から⑤にカーソルを移動し、年、月、日、の順に特定日を設定します。「年」は、西暦の下2けたで設定します。2000年は00と入力します。
- 月は、ポップアップウィンドウまたはテンキーで設定できます。年と日は、テンキーで入力してください。
- 年月日のいずれかを省略することによって、毎年または、毎月と同じ日に設定したスケジュールで運用できます。下表を参照してください。

特定日	年	月	日	起動
S1	-	12	24	毎年12月24日
S2	00	-	-	2000年の毎日

④設定を終了するとき

- MON(ESC)キーを押します。①「Special Day Schedule」に戻ります。再度MON(ESC)キーを押すとタイマーメニューに戻ります。
- インデックス部にカーソルを移動しCAM(SET)キーを押すとそのメニュー画面に切り替わります。

Chapter 4

アラーム入力時の動作の設定

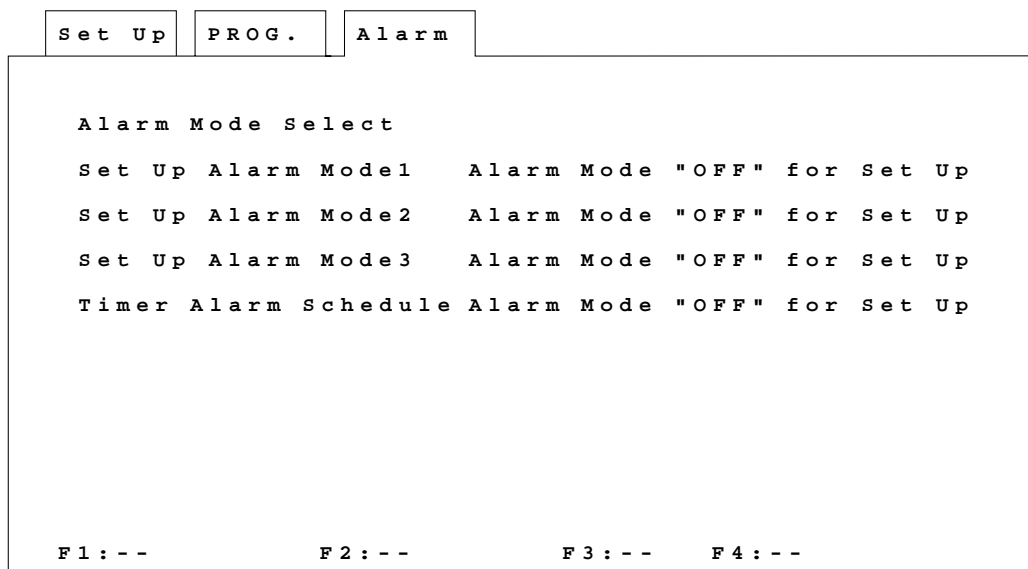
アラーム信号がシステムに入力されたときの動作を3つのモードの中から選択し、設定します。モードの選択は、アラームメニューで行います。

アラームメニュー

重要

アラームモードとアラーム運用スケジュールの変更を行う場合、アラームモード設定画面（次ページ）でアラームモードを「Off」にしてください。変更後、再度アラームモード設定画面でアラームモードを設定してください。

アラームメニュー



メニュー画面の表示方法

- ①プログラムメニューから「Alarm」を選択し、CAM（SET）キーを押します。
- ②モニターにアラームメニューが表示されます。

設定のしかた

このメニューでアラームモードを選択します。アラームモードを変更するときは、「Alarm Mode Select」を選択し、アラームモードを「Off」にしてから再度この画面で選択してください。

アラームモード3を使用すれば、1から128のアラーム番号に対して、アラーム起動時の動作を個別に設定できます。

①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。

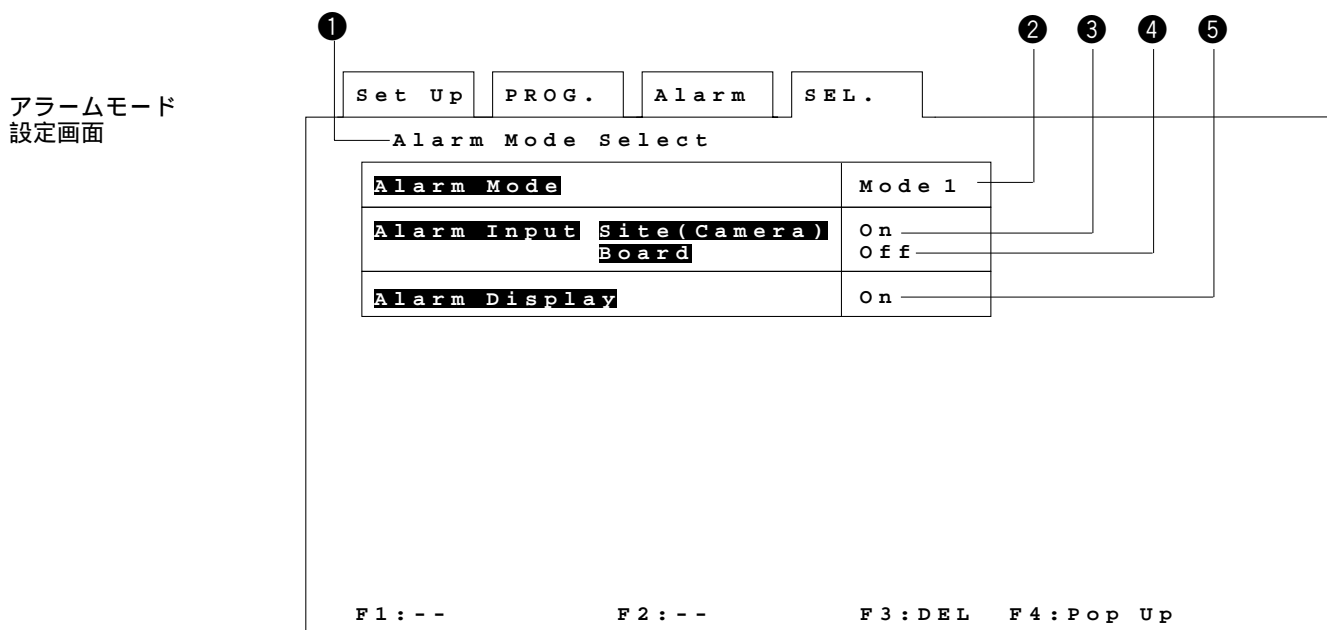
Alarm Mode Select	アラーム入力時の動作モード(アラームモード)を選択。
Set Up Alarm Mode1 ~ Mode3	アラームモード1 ~ 3の動作内容を設定。
Timer Alarm Schedule	内蔵タイマーを利用し、アラーム運用スケジュールを設定。

②CAM (SET) キーを押すと、選択した項目の画面に切り換わります。

設定を中止または終了するときは、MON (ESC) キーを押します。プログラムメニューに戻ります。

アラームモードの選択

この画面で、アラーム入力時の動作モードの選択します。また、アラーム信号の入力先、アラーム表示のOn/Offを設定します。



設定画面の表示方法

- ①アラームメニューで「Alarm Mode Select」を選択し、CAM(SET)キーを押します。
- ②モニターにアラームモード設定画面が表示されます。

設定のしかた

①「アラームモード」設定の開始

ジョイスティックつまみでカーソルを①「Alarm Mode Select」に移動し、CAM (SET) キーを押します。

②アラームモードの選択 (Alarm Mode)

カーソルを②に移動して、[F4]キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。「Mode 1」～「Mode 3」, 「Timer」または「Off」を選択し、CAM (SET) キーを押します。動作モードの概要は下表を参照してください。

モード	動作概要
Mode1	モニター1にアラームを起動したカメラの映像が表示されます。 アラームが複数起動された場合、マトリクススイッチャーに入力された順番にカメラ映像が表示されます。
Mode2	モニター1から4に、アラームを起動したカメラの映像が表示されます。 アラームが複数起動された場合、マトリクススイッチャーに入力された順番にカメラ映像を表示します。
Mode3	1から128のアラーム番号に対し、個別にアラーム起動時の動作を設定します。アラーム起動時の映像を任意のモニターに表示したり、プリセット位置へカメラ映像を切り換えたり、外部機器1,2の制御などができます。
Timer	アラームメニューの「Timer Alarm Schedule」で設定したアラーム運用スケジュールでアラーム監視を行うモードです。
Off	アラーム監視を行わないときに選択します。「Off」のときにアラーム信号が入力されるとアラーム履歴は保存されません。

③アラーム信号入力先の設定 (Alarm Input)

カーソルを③または④に移動して[F4]キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。アラームを入力する (On) または入力しない (Off) を選択し、CAM (SET) キーを押します。各アラームモード共通です。アラーム信号をカメラ側から入力するときは、「Site (Camera)」をOnにします。また、アラームボードから入力する場合、「Board」をOnにします。

④アラームマークの表示または非表示の設定 (Alarm Display)

アラーム発生時、モニターに「AL」マークを表示するかどうか設定します。
カーソルを④に移動して、[F4]キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。アラームマークを表示する (On) または表示しない (Off) を選択し、CAM (SET) キーを押します。各アラームモード共通です。

⑥設定を終了するときは

MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「Alarm Mode Select」に戻ります。再度押すと、アラームメニューに戻ります。

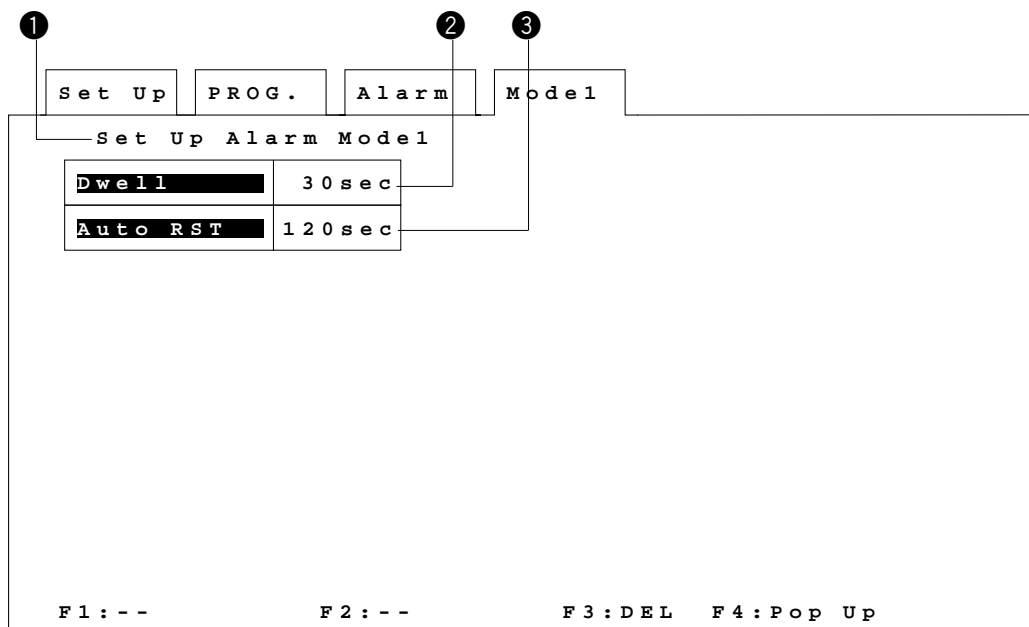
メモ

アラーム信号入力先の設定は、システムコントローラーの液晶ディスプレイの操作で変更することもできます。操作方法は [操作編 8. アラーム入力時の操作] をお読みください。

アラームモード1の設定

この画面でモニター1にカメラ映像を表示する時間を設定します。また、アラームを自動リセットするまでの時間を設定します。

アラームモード1
設定画面



設定画面の表示方法

- ①アラームメニューで、「Set Up Alarm Mode1」を選択しCAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにアラームモード1設定画面が表示されます。

設定のしかた

①アラームモード1の確定

カーソルを①「Set Up Alarm Mode1」に移動して、CAM (SET) キーを押します。

②表示時間の設定 (Dwell Time)

カーソルを②に移動して複数のアラームが入力されたときの表示時間 (1から30秒) を入力します

③自動リセット時間の設定 (Auto Reset)

カーソルを③に移動して [F4] キーを押し、ポップアップウィンドウを呼び出します。自動リセットするまでの時間をポップアップウィンドウから選択し、CAM (SET) キーを押して設定します。選択した時間がモニターに表示されます。

ポップアップウィンドウで設定できる時間 (秒) : 30、60、90、120、150、180、--- (OFF)

([INC + 1CAM] スイッチまたは、[DEC - 1CAM] スイッチを使うと1から60秒の間で1秒単位で設定できます。)

④設定を終了するとき

MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「Set Up Alarm Mode1」に戻ります。

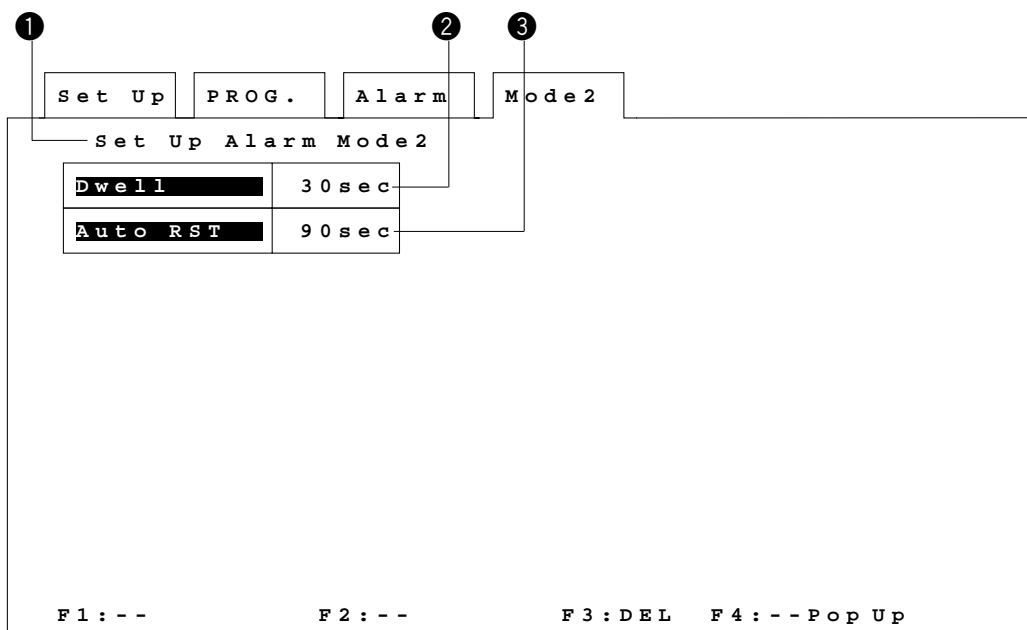
⑤アラームモードの設定

MON (ESC) キーを押し、アラームメニューに戻ります。アラームメニューで「Alarm Mode Select」を選択し、アラームモード (Mode1) を設定します。

アラームモード2の設定

この画面でモニター1から4にカメラ映像を表示する時間を設定します。また、アラームを自動リセットするまでの時間を設定します。

アラームモード2
設定画面



設定画面の表示方法

- ①アラームメニューで、「Set Up alarm Mode2」を選択しCAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにアラームモード2設定画面が表示されます。

設定のしかた

①アラームモード2の確定

カーソルを①「Set Up Alarm Mode2」に移動し、CAM (SET) キーを押します。

②表示時間の設定 (Dwell Time)

アラームが5つ以上入力されたとき、モニター1から4に映像を表示する時間を設定します。

カーソルを②に移動して複数のアラームが入力されたときの表示時間 (1から30秒) を入力します

③自動リセット時間の設定 (Auto Reset)

カーソルを③に移動して [F4] キーを押し、ポップアップウィンドウを呼び出します。自動リセットするまでの時間をポップアップウィンドウから選択し、CAM (SET) キーを押して設定します。選択した時間がモニターに表示されます。

ポップアップウィンドウで設定できる時間 (秒) : 30、60、90、120、150、180、--- (OFF)

([INC + 1CAM] スイッチまたは、[DEC - 1CAM] スイッチを使うと1から60秒の間で1秒単位で設定できます。)

④設定を終了するとき

MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「Set Up Alarm Mode2」に戻ります。

⑤アラームモードの設定

MON (ESC) キーを押し、アラームメニューに戻ります。アラームメニューで「Alarm Mode Select」を選択し、アラームモード (Mode2) を設定します。

アラームモード3の設定

アラームモード3
設定画面

1から128のアラーム番号に対し、個別にアラーム起動時の動作を設定します。
アラーム起動時の映像を任意のモニターに表示したり、プリセット位置へカメラ映像を切り換えたり、外部機器1,2の制御などができます。

モニター番号

①		②		③																			
Set Up		PROG.		Alarm		Mode3																	
Set Up Alarm Mode3										Page 01/10													
Auto RST				60sec		AUX		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16															
AL	Mode	CAM	PRE	Dwell	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16			
1	01	S	01	01	10	<input type="checkbox"/>																	
	02	S	02		05	<input type="checkbox"/>																	
2	03	T01					<input type="checkbox"/>																
3	04	G01						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>														
4	05	S	03	02	10				<input type="checkbox"/>														
	05	T02								<input type="checkbox"/>													
	05	G02									<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
5	06	T03										<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	E									
6	07	G03													E		E	E					
	08	G04													<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				

S...Spot ...On
 T...Tour ...Off
 G...Group
 F1:Next Page F2:Pre Page F3:DEL F4:Pop Up
...OK
 E...Error
 *...Set

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

設定画面の表示方法

- ①アラームモードメニューで、「Set Up Alarm Mode3」を選択しCAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにアラームモード3設定画面が表示されます。

設定のしかた

①アラームモード3の確定

カーソルを①「Set Up Alarm Mode 3」に移動し、CAM (SET) キーを押します。

②自動リセット時間の設定 (Auto Reset)

カーソルを②に移動して [F4] キーを押し、ポップアップウィンドウを呼び出します。自動リセットするまでの時間をポップアップウィンドウから選択し、CAM (SET) キーを押して設定します。選択した時間がモニターに表示されます。

ポップアップウィンドウで設定できる時間 (秒) : 30、60、90、120、150、180、--- (OFF)

([INC + 1CAM] スイッチまたは、[DEC - 1CAM] スイッチを使うと1から60秒の間で1秒単位で設定できません。)

③モニターと映像表示モードの関係

- カーソルをアラーム起動時に映像を表示するモニター番号の下③に移動し、モニターと映像表示モードの関係を設定します。
- [F4] キーを押してポップアップウィンドウを表示します。ポップアップウィンドウに、スポットまたはシーケンスの種類が表示されます。カーソルを希望するスポットまたはシーケンスに移動し、CAM (SET) キーを押します。

④アラーム番号の入力 (AL)

カーソルを④に移動し、アラーム番号をテンキーで入力します。入力できるアラーム番号は1から128までです。

⑤アラームと表示モードの選択 (Mode)

- カーソルを⑤に移動しアラーム起動時に使用する映像表示モードを設定します。
- [F4] キーを押してポップアップウィンドウを表示します。ポップアップウィンドウに、スポットまたはシーケンスの種類が表示されます。カーソルを希望するスポットまたはシーケンスに移動し、CAM (SET) キーを押します。
- グループまたはツアーシーケンスを選択した場合、テンキーでシーケンス番号を入力します。

⑥カメラ番号の入力 (CAM)

アラーム起動時スポットで映像監視を行うとき、カーソルを⑥に移動しカメラ番号を入力します。カメラ番号の入力はテンキーで行います。

⑦プリセット番号の入力 (PRE)

- アラーム起動時スポットで映像監視を行う場合で、撮影個所をプリセット登録しているとき、そのプリセット番号を入力します。
- カーソルを⑦に移動しプリセット番号を入力します。プリセット番号の入力はテンキーで行います。

⑧表示時間の入力 (Dwell)

- アラーム起動時にスポットで映像監視を行う場合、1台のモニターに複数のアラームが入力されたとき、切り換える時間を設定します。1台のモニターに複数のアラームを入力しない場合でも、この設定は必要です。
- カーソルを⑧に移動し映像表示時間を1から30秒の間で1秒単位で入力します。映像表示時間の入力はテンキーで行います。

⑨外部機器の設定 (AUX1, 2)

- アラームが起動したとき、外部機器 (例えば照明のOn / Off) を制御するときに設定します。
- カーソルを⑨に移動します。[F4] キーを押します。
- [F4] キーを押しポップアップウィンドウを表示します。ポップアップウィンドウの「On」または「Off」にカーソルを移動してCAM (SET) キーを押して確定します。

⑩モニター番号とアラーム番号の関連付け

- カーソルを⑩に移動します。
- [F4] キーを押しポップアップウィンドウを表示します。ポップアップウィンドウの「Set」にカーソルを移動して、CAM (SET) キーを押して確定します。取り消すときは「DEL」にカーソルを移動して、CAM (SET) キーを押します。
このとき、tとeで設定する映像表示モードは、一致している必要があります。

⑪設定を終了するときは

- MON (ESC) キーを押します。カーソルはq「Set Up Alarm Mode3」に戻ります。
- 設定した内容に誤りがあると、画面に、E,(エラー)が表示されます。再度CAM (SET) キーを押して、エラー箇所を修正してください (次ページ参照)。

⑫アラームモードの設定

MON (ESC) キーを押し、アラームメニューに戻ります。アラームメニューで「Alarm Mode Select」を選択し、アラームモード (Mode3) を設定します。

設定例

128ページのアラームモード3設定画面の 1 ~ 6を例に、その動作を説明します。

①スポット (S)

個別のアラーム入力に対して、任意のスポット映像を任意のモニターに表示させることができます。
設定例 1では、アラーム1が入力されると、カメラ1によるプリセット位置1の映像をモニター1に表示します。そのあとで、アラーム2が入力されると、モニター1はカメラ2の映像に切りかわります。この場合、モニター1にはカメラ2の映像を5秒表示した後、再びカメラ1の映像が10秒表示し、これを繰り返します。

メモ

- 1つのアラーム信号によって、1つのモニターに複数のスポットを起動させる場合は、あらかじめその内容をツアーシーケンスにプログラムしておいて、ツアーシーケンスとして設定してください。
- 複数のアラーム入力があったときに、最新のアラーム入力によるスポットを常に1台のモニターに維持させるには次の方法があります。
 - ①表示時間 (Dwell) と自動リセット時間 (Auto RST) を、共に30秒に設定する。ただしこの設定の場合、非常に短時間に続けて複数のアラームが入力されると、スポットの切換え時に前のスポットが一瞬表示されることがあります。
 - ②表示時間 (Dwell) よりも自動リセット時間 (Auto RST) を短く設定する。ただしこの設定の場合、2つ目以降のアラームが入力される前に自動リセット時間 (Auto RST) が経過すると、アラーム動作が解除されアラーム動作前のカメラまたはシーケンスに戻ります。

② ツアーシーケンス (T)

個別のアラーム入力に対して、任意のツアーシーケンスを任意のモニターに起動させることができます。ツアーシーケンスの動作内容は、あらかじめ設定しておく必要があります。設定方法は、「2. シーケンスの設定」をお読みください。

設定例 2では、アラーム3が入力されると、番号1のツアーシーケンスをモニター2に起動します。

③ グループシーケンス (G)

個別のアラーム入力に対して、任意のグループシーケンスを、あらかじめ設定されているモニターに起動させることができます。起動モニター及び動作は、あらかじめ設定しておく必要があります。設定方法は、「2. シーケンスの設定」をお読みください。

設定例 3では、アラーム4が入力されると、番号1のグループシーケンスをモニター3, 4に起動します。

重要

あらかじめ該当するグループシーケンスに設定してあるモニター以外には、関連付けできません。「2. シーケンスの設定」を参照して、あらかじめグループシーケンスを設定してください。

④ 組合せ

1つのアラーム番号により、複数の動作を起動できます。

設定例 4では、アラーム5が入力されると、カメラ3によるプリセット位置2の映像をモニター5に表示し、ツアーシーケンス2をモニター6に、グループシーケンス2をモニター7, 8に起動します。

エラー “E” が表示されるとき

次の場合、アラームモード3設定画面に “E” が表示されエラーになります。本節の「設定のしかた」を参照して修正してください。

- アラーム番号に対して設定したモードと、モニターに対して設定したモードが異なっている場合。

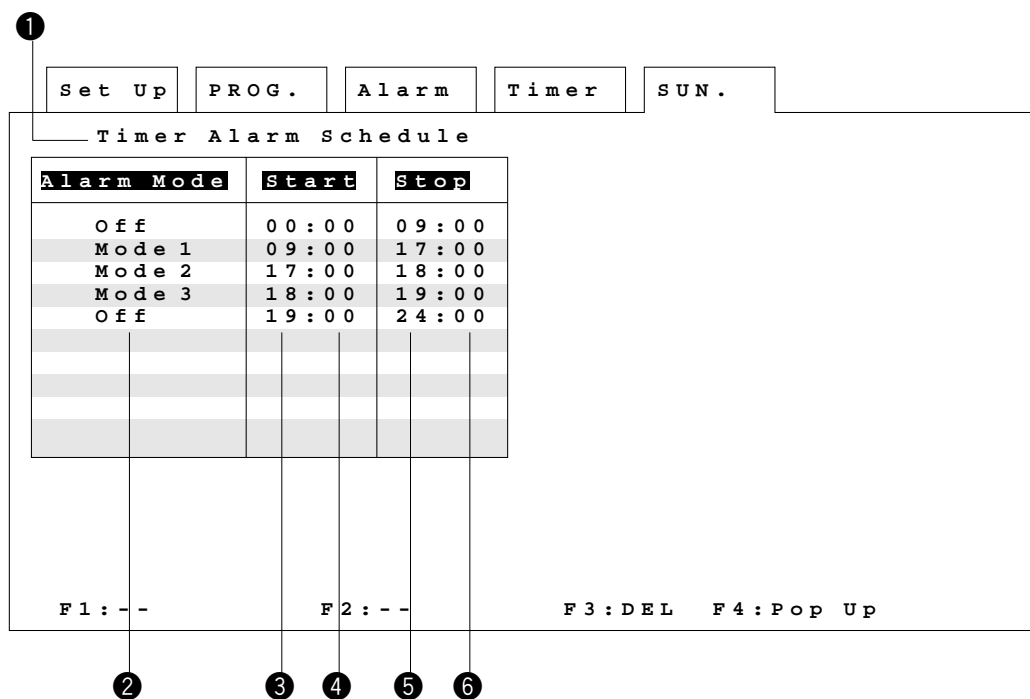
設定例 5は、アラーム6に対して設定したモード (T) と、モニター9に対して設定したモード (S) が異なっているため、“E” (エラー) になります。
- 1つのモニターに複数のツアーシーケンスまたはグループシーケンスを関連付けている場合。

設定例 6では、1つのモニターに2つのグループシーケンスを関連付けているため、そのうちの一方だけが有効になり、その他は “E” (エラー) になります。

アラーム運用スケジュールの設定

各曜日や特定日の1~5のアラーム運用スケジュールを設定します。時間帯によってアラームモードを変更することができます。

アラーム運用
スケジュール
設定画面



設定画面の表示方法

- ①アラームメニューで「Timer Alarm Schedule」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにタイマーイベントメニュー画面が表示されます。設定する曜日または特定日 (Special Day 1~5) にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押します。
- ③モニターにアラーム運用スケジュール設定画面が表示されます。

重要

Special Day1~5は、特定日設定画面 (「3. スケジュールの設定」を参照) で設定した日に適用されます。

設定のしかた

①「アラーム運用スケジュール設定」の開始

ジョイスティックつまみでカーソルを①「Timer Alarm Schedule」に移動し、CAM (SET) キーを押します。

②アラームモードの選択 (Alarm Mode)

カーソルを②のエリアに移動して、[F4] キーを押しポップアップウィンドウを呼び出します。「Mode 1」～「Mode 3」または「Off」を選択し、CAM (SET) キーを押します。

③開始、終了時刻の設定 (Start / Stop)

カーソルを③から⑥の順に移動して、開始時刻 (Start) 終了時刻 (Stop) をテンキーで入力します。時間は24時間制です。

④設定の終了

1日の設定が終了したら、MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「Timer Alarm Schedule」に戻り、設定内容が時間順に並べ換えられます。

⑤他の曜日または特定日のアラームスケジュール設定

他の曜日や特定日のアラームスケジュールを設定する場合、再度MON (ESC) キーを押して、タイマーイベントメニュー画面に戻り、②から④の操作を繰り返します。

メモ

曜日をまたがってアラーム運用スケジュールを設定するには、タイマーイベントスケジュールと同様に、2日に分けて設定する必要があります。

例えば、アラームモードを月曜日23:00～火曜日7:00まで「Off」にするには、右表のように分けて設定してください。

曜日	Alarm Mode	Start	Stop
Monday	Off	23:00	24:00
Tuesday	Off	00:00	07:00

Chapter 5

オペレーターの登録

本システムを使用する場合、あらかじめオペレーターをシステムに登録しておく必要があります。ここでは、オペレーターの登録のしかたについて説明します。

概要

システムを操作する場合、オペレーターをシステムに登録する必要があります。オペレーターは30人まで登録でき、オペレーター番号で管理されます。オペレーターの属性に登録することによって、操作の競合を防止することができます。属性には次のものがあります。

- レベルの設定

30人のオペレーターをレベル1（最上位）からレベル5（下位）に分類して登録します。上位のオペレーターは操作できる範囲が広く下位にいくほど狭くなります。

- パスワード

5けたの数字で登録します。操作を開始するときにオペレーター番号とパスワードがチェックされ、正しければ操作を続行できます。

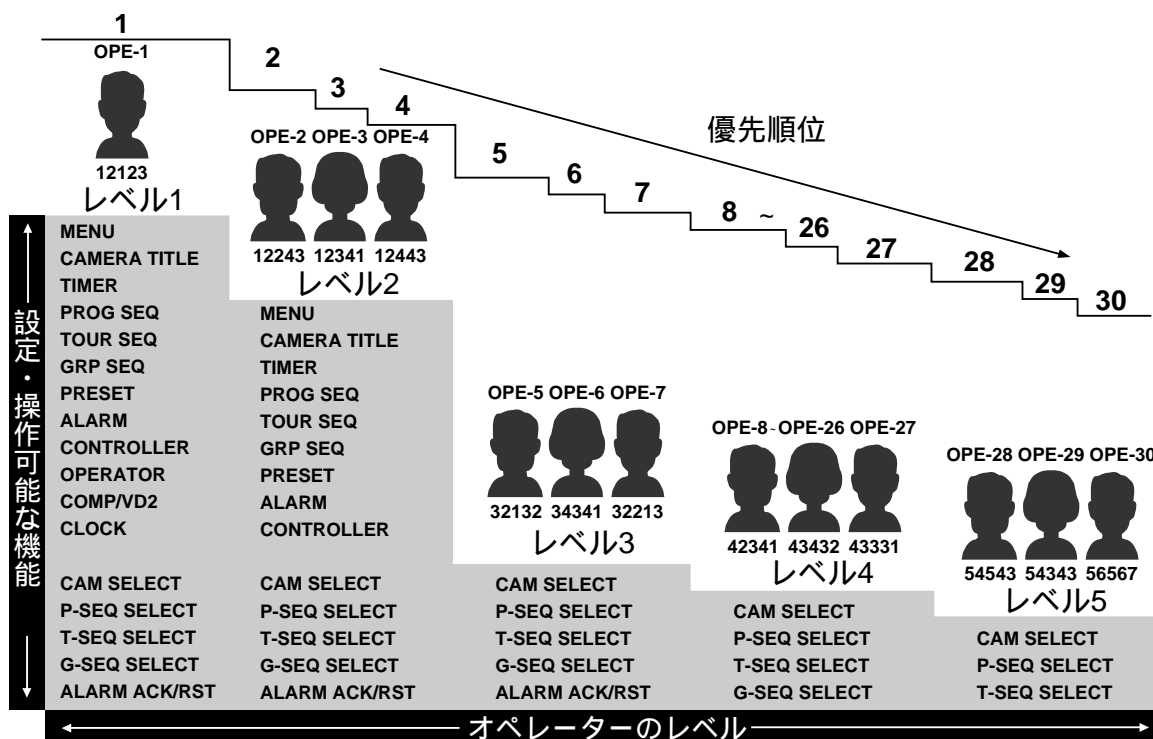
- 優先権

優先権はオペレータごとに1（上位）から30（下位）の番号で設定します。オペレータが所属するレベルで決まる操作範囲の他に、操作が競合したとき、優先権が上位のオペレーターの操作が優先されます。

- 操作可能カメラ、操作可能シーケンス

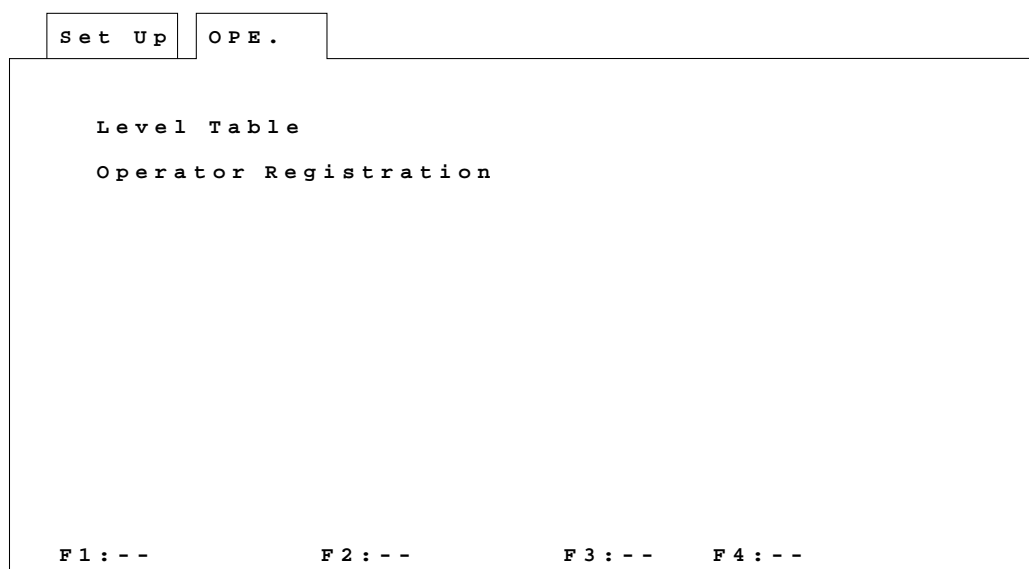
オペレーターのレベルに応じて、操作可能なカメラ番号またはシーケンスを設定します。

オペレーターと各属性の
関係の例



オペレーターメニュー

オペレーター
メニュー



メニュー画面の表示方法

- ①セットアップメニューから「Operator」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにオペレーターメニューが表示されます。

操作のしかた

このメニュー画面で、設定する項目を選択します。

- ①ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。

Level Table	各レベルでの操作範囲設定
Operator Registration	オペレーターごとにパスワード、レベル、優先順位、操作範囲を設定

- ②CAM (SET) キーを押すと、選択した項目の画面が表示されます。
- ③設定を中止または終了するときは、MON (ESC) キーを押します。

セットアップメニューに戻ります。インデックス部にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押すと、そのメニュー画面に切り換わります。

オペレーターレベルの設定

各レベルごとに操作範囲を設定します。レベル1（最上位）からレベル5（最下位）の各レベルで操作できる項目を、レベル設定画面で設定します。

レベル設定画面

①

Set Up	OPE.	Level									
Level Table											
Set Up	1	2	3	4	5	Operation	1	2	3	4	5
Set Up Menu	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Camera Set Up	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P-SEQ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Cam Select	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
T-SEQ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	P-SEQ Select	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
G-SEQ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	T-SEQ Select	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Timer	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	G-SEQ Select	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Alarm	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Alarm ACK/RST	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Operator	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Priority Lock	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Camera Title	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	MONI in Select	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Controller	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
EXT Timing	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
COMP/VD2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
RS-485 Site	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
commu. Speed	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
Clock	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
Camera Cleaning	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						

F1:-- F2:-- F3:-- F4:Pop Up ..OK ..NG

②

設定画面の表示方法

- ①オペレーターメニューで「Level Table」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにレベル設定画面が表示されます。
 - この画面を使って各レベルの操作範囲を設定します。
 - 下位のレベルの操作項目を設定するとき、上位のレベルで操作できる必要があります。例えば、「Set Up Menu」をレベル2で操作できるように設定するには、レベル1でもその項目を操作可に設定する必要があります。

設定のしかた

①モードの確定

カーソルを①「Level Table」に移動してCAM (SET) キーを押します。

②許可 / 不許可の定義

- カーソルを対応する操作項目の②に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出します。表示されたポップアップウィンドウに設定パターン一覧が表示されます。どのレベルまで許可するか検討し、希望する位置にカーソルを移動します。CAM (SET) キーを押して確定します。
- 同様に各項目の操作レベルを設定します。

③設定を終了するとき

- MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「Level Table」に戻ります。再度MON (ESC) キーを押すとオペレーターメニューに戻ります。
- インデックス部にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押すとそのメニュー画面に切り換わります。

オペレーター属性の設定

オペレーターごと次に示すオペレーターの属性を設定します。

オペレーター属性設定画面

Level	5	Priority	10	Password	1 2 3 4 5											
CAM	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
SEL	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CAM	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
SEL	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CAM	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
SEL	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CAM	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
SEL	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

□..Video & PTZ Cont.
▲..Video Only
■..Video Lockout

F1:Next Page F2:Pre Page F3:DEL F4:Pop Up

設定画面の表示方法

①オペレーターメニューで「Operator Registration」を選択し、CAM (SET) キーを押します。

②モニターにオペレーター属性設定画面が表示されます。

この画面を使ってオペレーターごとに次の属性を設定します。

- オペレーター番号
- オペレーターレベル
- 優先順位
- パスワード
- 操作できるカメラと操作制限

タイマーのレベル設定について

- タイマーにはオペレーター番号「00」が割り当てられています。また、工場出荷時のオペレータープライオリティは「30」(最下位)になっています。
- 特定日などのタイマーイベントを優先したシステム運用をするときは、オペレータープライオリティを上位に設定すると便利です。例えば、プライオリティ「10」に設定した場合、プライオリティ「11」以下のオペレーターの操作に優先して、その時刻が来ればタイマーイベントが開始されます。
- 逆にタイマーイベントよりも通常のオペレーター操作を優先させたいときは、プライオリティを下位に設定してください。

設定のしかた

①オペレータ番号入力 (Operator)

カーソルを①に移動します。テンキーでオペレーター番号 (1から30) を入力し、CAM (SET) キーを押します。

②レベルの登録 (Level)

カーソルを②に移動します。テンキーでオペレーターレベル (1から5) を入力します。

③優先順位の登録 (Priority)

カーソルを③に移動します。テンキーで優先順位 (1から30) を入力します。

④パスワードの入力 (Password)

カーソルを④に移動します。テンキーで5けたの数字を入力します。

パスワードについて

- 設定したパスワードを忘れると、その番号でログインできなくなります。
- パスワードは、利用者以外に知られないようにしてください。
- パスワードを忘れた場合、パスワードを設定できるオペレーターに依頼して再設定してください。
- 不正使用を防止するため、工場出荷時設定されているパスワードは必ず変更してください。

⑤カメラの操作制限の選択

カーソルに対応する⑤に移動し、[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。操作の制限項目を選択し、CAM (SET) キーを押して確定します。

- ：映像を見られる。パン、チルト、ズーム制御可能。
- ：映像を見られる。パン、チルト、ズーム制御不可。
- ：映像を見られない。パン、チルト、ズーム制御不可。

⑥設定を終了するときは

- MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「Operator」に戻ります。再度MON (ESC) キーを押すと、そのメニュー画面に切り換わります。
- インデックス部にカーソルを移動しCAM (SET) キーを押すとそのメニュー画面に切り換わります。

必ずお守りください

- レベル、優先順位、パスワードの全項目を必ず設定してください。
- すべてのオペレータのパスワードを削除 (DEL) するとログインできなくなりますので絶対に行わないでください。
- すべてのオペレータのレベルを、「Set Up Menu」及び「Operator」に対して不許可にすると、変更ができなくなりますので、絶対に行わないでください。

Chapter 6

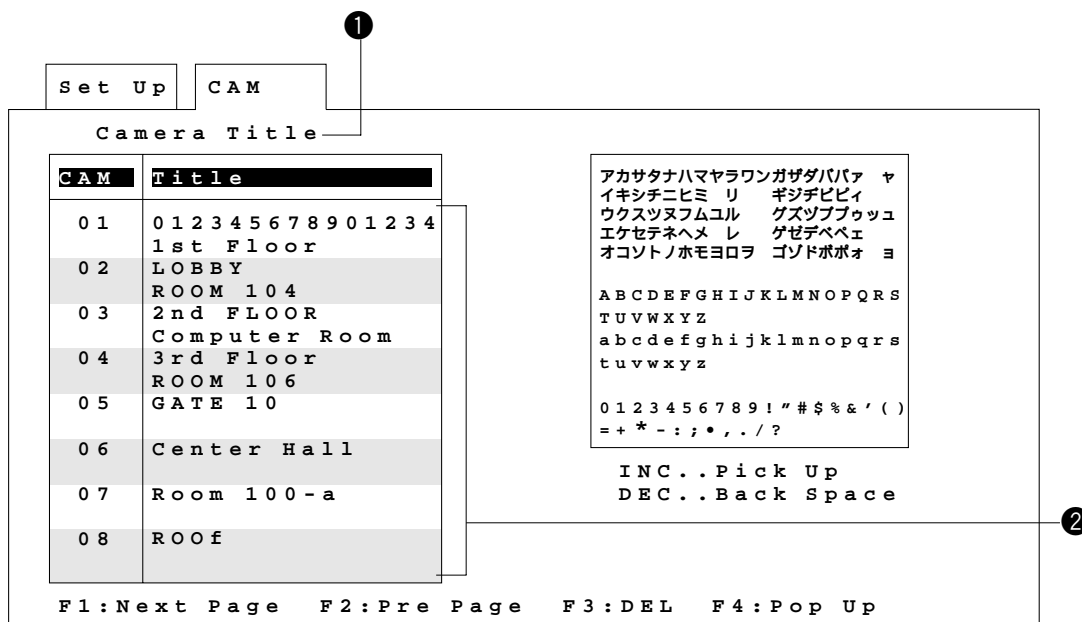
カメラタイトルの設定

カメラごとにタイトルを設定し、モニターに表示できます。カメラタイトルにカメラ設置場所を設定することによって、表示している映像がどこの場所かを把握することができます。

カメラタイトル設定メニューの表示

この画面でカメラタイトルを設定します。カメラタイトルは、ポップアップウィンドウに表示される文字を使って設定します

カメラタイトル
設定画面



設定画面の表示方法

①セットアップメニューから「Camera Title」を選択し、CAM (SET) キーを押します。

②モニターにカメラタイトル設定メニューが表示されます。

1画面で8台分のカメラタイトルを設定できます。

重要

- カメラは合計128台まで接続できます。一画面で8台分までカメラタイトルを設定できます。9台目以降のカメラタイトルを設定したい場合、[F1] キーを押してください。[F2] キーを押すと戻ります。
- カメラによっては、カメラ側でプリセット位置ごとにタイトルを設定できるものがあります。カメラ側で設定したカメラタイトルをモニターに表示するときは、次のように設定することをおすすめします。
カメラタイトル設定画面で該当するカメラのカメラタイトルをすべて空白にする。
カメラ側でカメラタイトルを表示する位置を変更する。

設定のしかた

①モードの確定

カーソルを①「Camera Title」に移動してCAM (SET) キーを押します。

②ポップアップウィンドウを開く

領域②で文字を設定または変更します。設定したい位置にカーソルを移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを開きます。ポップアップウィンドウに設定できる文字の一覧が表示されます。左図はポップアップウィンドウを開いた状態の図です。

③文字の選択

- 設定したい文字にカーソルを移動し [INC+1CAM] スイッチを押すと、その文字が②に表示されます。繰り返してカメラタイトルを設定してください。
- 間違った文字を入力した場合、カーソルを消したい文字の右隣に移動して、[DEC-1CAM] スイッチを押します。その文字が消えて、左へ文字分移動します。不要な文字を消したあと、正しい文字を入力します。
- 空白を入力したいときは、文字のない所にカーソルを移動し [INC + 1CAM] スイッチを押してください。

④タイトル文字列の決定

- ②と③を繰り返して、1画面分のカメラタイトル設定します。
- 1ページ中のカメラタイトルを設定したら、CAM (SET) キーを押します。設定した内容がシステムに登録されます。

⑤9台目以降のカメラタイトルの設定

- [F1] キーを押すとページが変わり、次のカメラ8台分を設定できます。②から④を繰り返して同様に設定します。
- [F2] キーを押すと前ページのカメラに対するカメラタイトルを設定できます。

⑥設定を終了するとき

- MON (ESC) キーを押します。①「Camera Title」に戻ります。再度MON (ESC) キーを押すと、セットアップメニューに戻ります。
- インデックス部にカーソルを移動しCAM (SET) キーを押すと、その画面に切り換わります。

Chapter 7

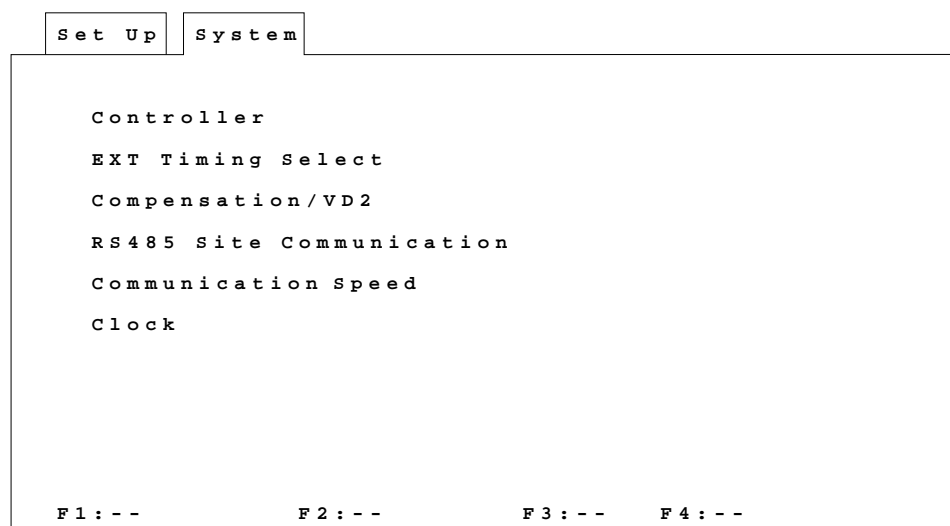
システムの基本設定

ここでは、システムの基本動作の設定方法について説明します。

システムメニュー

ここでは、システム動作の基本となる項目を設定します。

システムメニュー画面



メニュー画面の表示方法

- ①セットアップメニューで「System」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②システムメニュー画面が表示されます。この画面で、システム動作の基本となる項目を設定します

操作のしかた

① ジョイスティックつまみで選択する項目にカーソルを移動します。

Controller	システムコントローラーとモニターの対応付け
Ext Timing Select	タイムラプスVTRとの外部タイミングの定義
Compensation / VD2	ケーブル補正とVD2、データ入り切りの設定
RS485 Site Communication	データボード (RS-485) との通信ルールの定義
Communication Speed	システムコントローラーやパソコンとの通信ルールの定義
Clock	日付と時刻の設定

② CAM (SET) キーを押すと、選択した項目の画面が表示されます。

③ 設定を中止または終了するときは、MON (ESC) キーを押します。セットアップメニューに戻ります。

モニターとシステムコントローラーの対応付け

この画面で、コントロールボードのデータポート(DATA1~DATA8)ごとに、操作できるモニターを定義します。定義することによって、重要なモニターの制御を制限でき、不用意な操作で影響を受けないようにできます。

コントローラー
定義画面

①

Set Up System CTRLR

Controller

Monitor	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
CTRLR 1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CTRLR 2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CTRLR 3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CTRLR 4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CTRLR 5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CTRLR 6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CTRLR 7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CTRLR 8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
PC	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

. . OK
 . . NG

F1:-- F2:-- F3:-- F4:Pop Up

②

設定画面の表示方法

- ①システムメニューで「Controller」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにコントローラー定義画面が表示されます。

設定のしかた

①モードの確定

カーソルを①「Controller」の位置に移動し、CAM (SET) キーを押します。

②コントローラーとモニターの関連付け

- カーソルを希望するシステムコントローラーと希望するモニター番号の交点②に移動します。
- [INC+1CAM] キーまたは、[DEC-1CAM] キーを押して各システムコントローラーごとに操作許可 (OK) または禁止 (NG) を設定します。
交点に が設定されたシステムコントローラからそのモニターを利用できます。逆に特定のシステムコントローラから特定のモニターを操作できないようにしたい場合は、その交点に を設定します。
上記の操作を繰り返して、各システムコントローラーごとにモニターの関係を設定します。
- パソコンを接続している場合、システムコントローラーと同様にモニターとの関連を設定します。

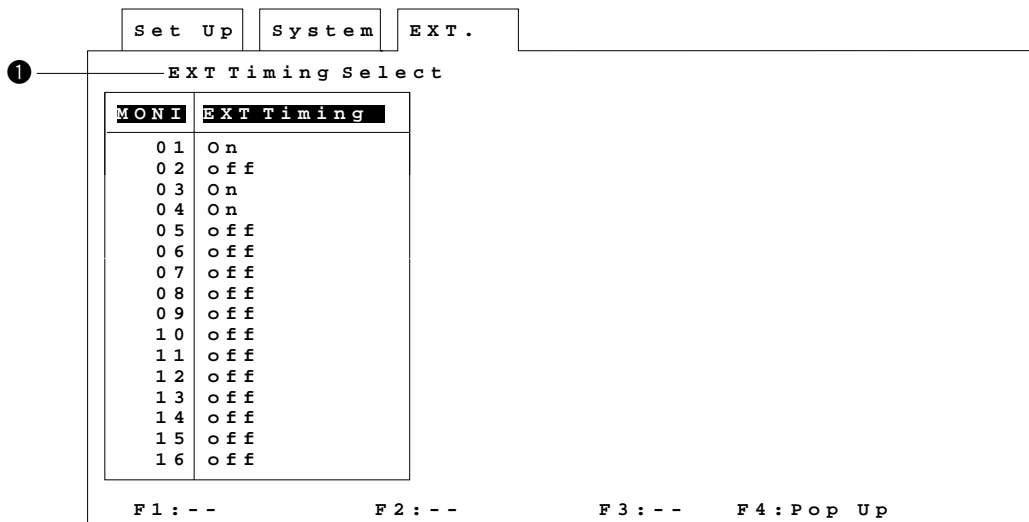
③設定を終了するときは

- MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「Controller」に戻ります。再度MON (ESC) キーを押すと、システムメニュー画面に戻ります。
- インデックス部にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押すと、そのメニュー画面に切り換わります。

外部タイミングの設定

シーケンスの切換タイミングをタイムラプスVTR（外部タイミング）に依存させるかどうかを設定します。

外部タイミング
設定画面



設定画面の表示方法

- ①システムメニューで「EXT Timing Select」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターに外部タイミング設定画面が表示されます。

設定のしかた

①モードの確定

カーソルを①「EXT Timing Select」の位置に移動し、CAM (SET) キーを押します。

②外部タイミングOn / Offの設定

カーソルを希望するモニター番号に移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウから外部タイミング「On」または「Off」を選択し、CAM (SET) キーを押します。設定した内容がモニターに表示されます。

上記の操作を繰り返して、各モニターごとに同期のOn / Offを設定します。

③設定を終了するときは

MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「EXT Timing Select」に戻ります。

メモ

外部タイミング信号の間隔は、1秒以上になるよう、外部機器側で設定してください。これより短い信号入力があっても正常に動作しません。

ケーブル補正、VD2、データ設定

この画面で、ケーブルによる伝送ロス補正の設定、VD2によるカメラ同期入り切り、データ伝送の入り切りを設定します。

距離補正、VD2
設定画面

①

Set Up System COM/VD

Compensation / VD2 Page 1 / 2

CAM	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
COMP	L	M	S	M	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
VD2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CAM	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
COMP	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
VD2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CAM	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
COMP	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
VD2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CAM	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
COMP	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
VD2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

S...Short
M...Middle VD2 & Data
L...Long

...On
...Off

F1:Next Page F2:Pre Page F3:-- F4:Pop Up

② ③

設定画面の表示方法

- ①システムメニューで「Compensation / VD2」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにケーブル補正、VD2設定画面が表示されます。

設定のしかた

①モードの確定

カーソルを①「Compensation / VD2」に移動して、CAM (SET) キーを押します。

②ケーブル補正の設定

カーソルを②に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウの「S」、「M」、「L」のいずれかにカーソルを移動してCAM (SET) キーを押します。ケーブル長と「S」、「M」、「L」の関係は次のようになっています。ケーブルは5C-2Vを使用した場合です。

S : 500m未満

M : 500-900m

L : 900-1200m

③VD2 / データ (制御信号、状態信号) の設定

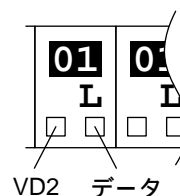
映像信号にVD2やデータを重量するかどうかを設定します。

- カーソルを③に移動します。

VD2を重量する場合、左側を (On) にします。

データを重量する場合、右側を (On) にします。重量しないときは (Off) にします。

- 他のカメラも同様の手順で繰り返し設定します。



④設定を終了するとき

- MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「Compensation / VD2」に戻ります。再度MON (ESC) キーを押すと、システムメニュー画面に戻ります。
- インデックス部にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押すと、そのメニュー画面に切り換わります。

データボード (RS-485) 通信の設定

オプションのデータボードを使用して、カメラをRS-485通信で操作する場合、この画面で、カメラとの通信方法を設定します。

データボード
(RS-485) 通信
設定画面

Camera In Number	F/H Duplex	Delay Time	Baud Rate	Wait Time	Data Bit	Parity Check	Stop Bit
# 1	Full	Off	9600	Off	8	None	1
# 2	Full	Off	9600	Off	8	None	1
# 3	Full	Off	9600	Off	8	None	1
# 4	Full	Off	9600	Off	8	None	1
# 5	Full	Off	9600	Off	8	None	1
# 6	Full	Off	9600	Off	8	None	1
# 7	Full	Off	9600	Off	8	None	1
# 8	Full	Off	9600	Off	8	None	1

When Daisy Mode is "on" only #1 will be available

F1: -- F2: -- F3: DEL F4: Pop Up

設定画面の表示方法

- ①システムメニューで「RS485 Site Communication」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにデータボード (RS485) 通信設定画面が表示されます。

設定のしかた

- ①モードの確定
カーソルを①「RS-485 Site Communication」に移動して、CAM (SET) キーを押します。
- ②設定するデータボードの確定
カーソルを②に移動します。設定したいデータボードのボードアドレス (1~8) をテンキーで入力し、CAM (SET) キーを押します。
- ③接続方式の設定
データボードに接続する機器の接続方式を設定します。
カーソルを③に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウで接続方式を選択し、CAM (SET) キーを押します。
 - ・ディジーチェーン接続の場合、 (On) にします。
 - ・ホームラン接続の場合、 (Off) にします。接続方式については「工事編 3. 接続のしかた」をお読みください。

④カメラ番号の設定

カーソルを④に移動します。データポートごとに、接続しているカメラのカメラ番号をテンキーで入力し、CAM (SET) キーを押します。

⑤通信モードの設定

データポートごとに、通信モードを設定します。カーソルを⑤に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウで通信モード (FullまたはHalf Duplex) を選択し、CAM (SET) キーを押します。

全二重通信で通信する場合：Full

全二重通信で通信する場合：Half Duplex

⑥通信時の遅延時間の設定

データポートごとに、データの遅延時間 (操作をしてからデータを送るまでの時間) を設定します。

カーソルを⑥に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウで、データの待ち時間 (単位：ms) を選択し、CAM (SET) キーを押します。

⑦通信速度の設定

データポートごとに、データの通信速度を設定します。

カーソルを⑦に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウで、データの通信速度 (単位：bps) を選択し、CAM (SET) キーを押します。

⑧通信時の待ち時間の設定

データポートごとに、操作してから、実際に動作が開始されるまでの待ち時間を設定します。

カーソルを⑧に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウで、データの待ち時間 (単位：ms) を選択し、CAM (SET) キーを押します。

⑨データ長の設定

データポートごとに、データ長を設定します。カーソルを⑨に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウで、データ長 (単位：bit) を選択し、CAM (SET) キーを押します。

⑩パリティチェックの設定

データポートごとに、パリティのチェック方法を設定します。

カーソルを⑩に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウで、パリティのチェック方法を設定し、CAM (SET) キーを押します。

パリティチェックなし：None

偶数パリティ：Even

奇数パリティ：Odd

⑨ストップビットの設定

データポートごとに、ストップビットを設定します。

カーソルを⑨に移動します。[F4] キーを押して、ポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウで、ストップビットを選択し、CAM (SET) キーを押します。

④設定を終了するときは

- MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「RS-485 Site Communication」に戻ります。再度MON (ESC) キーを押すと、システムメニュー画面に戻ります。
- インデックス部にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押すと、そのメニュー画面に切り換わります。

通信ルールの設定

この画面で、コントロールボードのデータポート（コントローラーを接続）、CPUボードのRS-232Cポート（パソコンを接続）の通信ルールを設定します。

①

通信ルール設定画面

Set Up System Speed

Communication Speed

	Baud Rate	Wait Time	Data Bit	Parity Check	Stop Bit	Flow Control	Address Control
CU1	1200	100	8	None	1	None	None
CU2	1200	100	8	None	1	None	None
CU3	1200	200	8	None	1	None	None
CU4	2400	100	8	None	1	None	None
CU5	4800	300	8	None	1	None	None
CU6	9600	300	8	None	1	None	None
CU7	1200	500	8	None	1	None	None
CU8	2400	100	8	None	1	None	None
AL	1200	1000	8	None	1	None	None
PC	9600	None	7	odd	2	RS/CS	Off

Unit No. 1

F1: -- F2: -- F3: -- F4: Pop Up

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

コントロールボードのDATA1～DATA8に対応

CPUボードのRS-232Cボード

設定画面の表示方法

- ①システムメニューで「Communication Speed」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターに通信ルール設定画面が表示されます。

設定のしかた

- ①モードの確定
カーソルを①「Communication Speed」に移動して、CAM (SET) キーを押します。
- ②通信速度の設定
カーソルを②に移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウに設定できる通信速度の一覧が表示されます。希望する通信速度にカーソルを移動して、CAM (SET) キーを押します。
設定できる通信速度 (baud) : 1200、2400、4800、9600
- ③待ち時間の設定
カーソルを③に移動します。[F4] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウに設定できる時間が表示されます。希望する時間にカーソルを移動して、CAM (SET) キーを押します。
設定できる待ち時間 (ミリ秒) : 100、200、400、1000

④データ長の設定

カーソルを④に移動します。[F4] キーを押しポップアップウインドウを呼び出します。ポップアップウインドウに設定できるデータ長が表示されます。希望するデータ長にカーソルを移動して、CAM (SET) キーを押します。

設定できるデータ長 (bit) : 7、8

⑤パリティチェックの有無の設定

カーソルを⑤に移動します。[F4] キーを押しポップアップウインドウを呼び出します。ポップアップウインドウからパリティチェックする (Odd / Even) または、しない (None) を選択し、CAM (SET) キーを押します。

設定できるパリティチェック : None、Even、Odd

⑥ストップビットの設定

カーソルを⑥に移動します。[F4] キーを押しポップアップウインドウを呼び出します。ポップアップウインドウから希望するストップビット長にカーソルを移動して、CAM (SET) キーを押します。

設定できるストップビット (bit) : 1、2

⑦アドレス制御の設定

カーソルを⑦に移動します。[F4] キーを押しポップアップウインドウを呼び出します。ポップアップウインドウからアドレス制御する (On) かしない (Off) を選択し、CAM (SET) キーを押します。

設定できるアドレス制御 : On、Off

⑧本体ユニット番号設定

カーソルを⑧に移動します。[F4] キーを押しポップアップウインドウを呼び出します。ポップアップウインドウから希望する番号を選択し、CAM (SET) キーを押します。

設定できるユニット番号 : 1 ~ 16

⑨繰り返し

他の機器についても同様に操作して設定します。

⑩設定を終了するときは

- MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「Communication Speed」に戻ります。再度MON (ESC) キーを押すと、システムメニューに戻ります。
- インデックス部にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押すと、そのメニュー画面に切り換わります。

メモ

④からは⑦はパソコンについてのみ設定、変更ができます。

⑧はパソコンとの接続時に必要な設定です。

時刻の設定

この画面で、日付と時刻を合わせます。時刻は24時間制です。

時刻設定画面

①

Year	Month	Day	Hour	Minute
2000	1	01	14	23

② ③ ④ ⑤ ⑥

F1:-- F2:-- F3:-- F4:Pop Up

設定画面の表示方法

- ①システムメニューで「Clock Set」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターに時刻設定画面が表示されます。

設定のしかた

①モードの確定

カーソルを①「Clock Set」に移動して、CAM (SET) キーを押します。

②年の入力

カーソルを②に移動します。テンキーで年（西暦：4けた）を入力します。

③月の設定

カーソルを③に移動します。[F4] キーを押しポップアップウィンドウを呼び出します。ポップアップウィンドウから希望する月を選択し、CAM (SET) キーを押します。

④日の入力

カーソルを④に移動します。テンキーで日にちを入力します。1けたの場合、先に0を押してください。

⑤時の入力

カーソルをtに移動します。テンキーで時を入力します。1けたの場合、先に0を押してください。

⑥分の入力

カーソルを⑥に移動します。テンキーで分を入力します。1けたの場合、先に0を押してください。

⑦設定を終了するとき

- MON (ESC) キーを押します。カーソルは①「Clock Set」に戻ります。再度MON (ESC) キーを押すと、システムメニューに戻ります。
- インデックス部にカーソルを移動し、CAM (SET) キーを押すと、そのメニュー画面に切り換わります。

重要

テンキー入力で、1時1分のような場合は、"01"01"と入力してください。

Chapter 8

カメラ機能の設定

カメラ側のセットアップメニューをシステムコントローラーからモニターに呼び出し、操作できます。

ここでは、カメラのセットアップメニューの表示方法と、カメラ機能の設定方法について説明します。

カメラ機能の設定

重要

- カメラ側のセットアップメニューは、許可されたオペレーター（「Camera Set Up」がOKになっているオペレーター）だけが呼び出し、操作できます。
- 特定のカメラだけシステムコントローラーからカメラ側のセットアップメニューを操作できません。各カメラの取扱説明書をあわせてお読みください。

カメラセットアップメニューの表示方法

- ①セットアップするカメラとセットアップメニューを表示するモニター番号を選択します。
- ②カーソルキーを操作して、D4メニューを表示します。
- ③カメラ側のセットアップメニューを表示する場合 [F1] キーを押します。
 - 液晶ディスプレイの表示が右図のようになり、モニターにカメラから送られてくるセットアップメニューが表示されます。
 - 操作を中止または終了するときは、[F4] キーを押してください。

D4

```
CameraSetUp Menu
On                               Exit
```

F1 F2 F3 F4

```
CameraSetUp Menu
Res A.Res Exit
```

F1 F2 F3 F4

カメラセットアップメニュー例

```
** SET UP **
CAMERA ID      OFF
ALC/MANUAL     ALC
SHUTTER        OFF
AGC             ON
SENSE UP       OFF
SYNC           INT
WHITE BAL      ATW
WIDE D-RANGE   OFF
MOTION DET     OFF
AF MODE        OFF
RET           SPECIAL
```

重要

- システムコントローラーからカメラ側のセットアップメニューを操作できないカメラ番号を選択した場合、この操作は無視されます。
- 許可されていないオペレーターが操作した場合、液晶ディスプレイにPROHIBITEDが表示されます。MON (ESC) キーを押して、許可されているオペレーター番号でLog-inしてください。
- カメラセットアップメニューの形式は、カメラによって異なります。

設定のしかた

操作のしかたや設定できる項目はカメラによって異なります。各カメラの取扱説明書をあわせてお読みください。

重要

カメラ側のセットアップメニューは、カメラ背面のスイッチを操作する方法と、システムコントローラーで操作する方法があります。これらを混在して操作しないでください。例えば、システムコントローラーでカメラ側のセットアップメニューを呼び出した場合、セットアップ中にカメラ背面のスイッチは操作しないでください。

①設定項目の選択

ジョイスティックつまみを上下に動かし、設定したい項目にカーソルを移動します。カメラ背面の上または下スイッチなどの代わりに使います。

②設定内容の変更

ジョイスティックつまみを左または右に動かすと、選択した項目の設定内容が切り換わります。例えば「CAMERA ID」を選択し、ジョイスティックつまみを左または右に動かすと「ON」または「OFF」と切り換わります。カメラ背面の左または右スイッチなどの代わりに使います。

また、カメラ背面の中央スイッチ（設定スイッチ）の代わりに、CAM（SET）キーを使います。

③セットアップの終了

設定作業を終了するときは、[F4] キーを押します。カメラ映像画面に切り換わります。また、液晶ディスプレイの表示は、D4メニューに戻ります。

重要

- 選択した項目だけを工場出荷時の状態に戻したいときは、[F2] キーを押してください。（カメラによっては、工場出荷時の状態に戻らない項目があります。）

- すべての項目を工場出荷時の状態に戻したいときは、[F3] キーを押してください。

お願い：カメラによっては、この操作を行うと液晶ディスプレイの表示がD4メニューに戻りモニターに日付・時刻、監視モード、カメラタイトルが重なって表示されるものがあります。この場合、[F4] キーを押して一度セットアップを終了してから、再度 [F1] キーを押してセットアップを行ってください。

- スペシャルメニューに入る場合は、カーソルを「SPECIAL」または「END」にあわせて [F2] キー（Res）を押してください。（「SPECIAL」、「END」の項目はカメラによって異なります。）
- カメラセットアップ中にプリセット位置設定画面を表示しているとき、「ALT」スイッチを押すと（LED点灯）、ジョイスティックつまみでなめらかに回転台を操作（パン、チルト）することができます。他の画面で項目の切り換えにジョイスティックつまみを使うときは、再度「ALT」スイッチを押してLEDを消灯させてください。
- セットアップを終了するときは、[F4] キーを押して終了してください。
カメラセットアップメニュー下の「END」にカーソルを移動し、CAM（SET）キーを押しても無視されます。

プリセット位置の設定(WV-CS500専用)

この機能は、WV-CS500だけで使用できます。システムの構成を確認してから操作してください。

プリセットに関する設定は、プリセットプログラムメニューで行います。このメニューで、カメラごとにプリセット位置、ホームポジションを設定したり、プリセット位置における逆光補正(BLC)を設定できます。また、使用中の位置ずれをリフレッシュ(初期化)することもできます。

プリセットメニューの表示方法

①モニターとカメラの選択

プリセット位置を設定するカメラとプリセットプログラムメニューを表示するモニターの番号を指定します。操作方法は「操作編 6. 映像の操作」をお読みください。

D3

PresetMenu: CS500
On Refresh

F1 F2 F3 F4

②プリセットメニューの表示

カーソルキーを操作して、D3メニューを液晶ディスプレイに呼び出します。

プリセット位置の登録

プリセットに関する情報を設定する場合、[F1]キーを押し、モニターにプリセットプログラムメニュー(*PRESET PROGRAM*)を呼び出します。

- プリセット位置などの情報を設定するときは1を選択します。
- ホームポジションを設定するときは、2を選択します。
- プリセットに関する情報をテストするときは、3を選択します。

プリセットプログラムメニュー

CAM : CameraTitle

PRESET PROGRAM

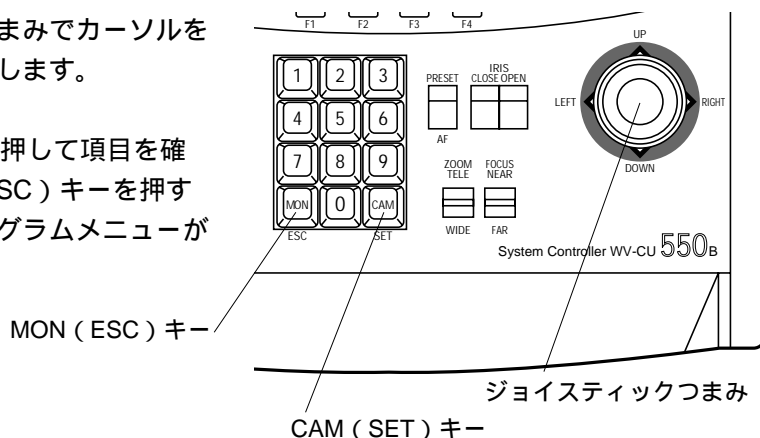
- 1 SET UP PRESET
- 2 SET HOME POSI
- 3 PRESET TEST

PRESET DATA LOADING...

プリセットプログラムメニューの項目の選びかた

①ジョイスティックつまみでカーソルを希望する項目に移動します。

②CAM (SET) キーを押して項目を確定します。MON (ESC) キーを押すと、プリセットプログラムメニューが消えます。



ホームポジションの設定

複数あるプリセット位置の中から基準となる位置(ホームポジション)を設定します。

①ホームポジション設定画面の呼び出し

プリセットプログラムメニューで「2 SET HOME POSITION」を選択し、ホームポジション設定画面を呼び出します。

②ホームポジションの設定

- 設定したプリセット番号からホームポジションにするプリセット番号を1つ選択します。
- カーソルを「1 HOME POSITION」に移動します。
- テンキーでプリセット番号を入力します。

③オートホームポジションの設定

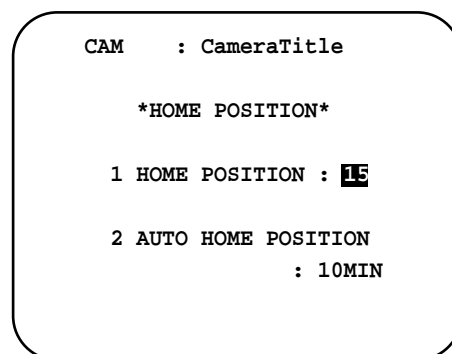
オートホームポジションを設定すると、設定した時間が経過すると自動的にカメラをホームポジションに戻すことができます。

- カーソルを「2 AUTO HOME POSITION」に移動します。
- 希望する時間を設定します。[INC +1 CAM] スイッチは押す度に時間が増え、[DEC -1CAM] スイッチは減ります。「Off」から「30 MIN」まで10分ごとに増減します。

④設定内容の確定

希望する位置の設定を終えたら、CAM (SET) キーを押します。プリセットプログラムメニューに戻ります。

ホームポジション設定画面



プリセット情報の設定

- ①プリセット番号一覧画面の呼び出し
 - プリセットプログラムメニューで「1 SET UP PRESET」を選択し、図のプリセット番号一覧を呼び出します。
 - 32番以後を設定するときは、カーソルを32に合わせてジョイスティックつまみを下に動かします。
- ②プリセット番号の選択
 - ジョイスティックつまみでカーソルを希望する番号に移動し、CAM (SET) キーを押します。
 - プリセット位置設定画面に切り換わります。

プリセット番号一覧

CAM : CameraTitle			
PRESET NUMBER SET			
1#	2#	3#	4#
5#	6#	7#	8#
9#	10#	11#	12#
13#	14#	15#H	16#
17#	18#	19#	20#
21#	22#	23#	24#
25#	26#	27#	28#
29#	30#	31#	32#

Hは、その番号がホームポジションに設定されていることを示す

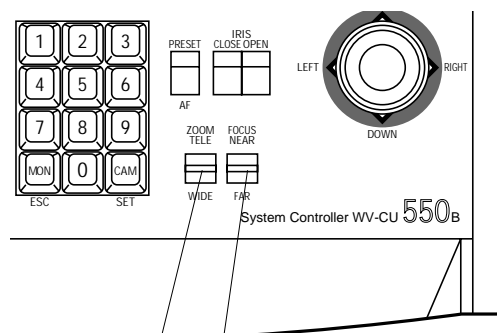
#は、プリセットが設定されていることを示す

プリセット位置設定画面

CAM : CameraTitle	
POSITION NUMBER : 12	
PAN/TILT/ZOOM/FOCUS	
SET UP POSITION	

③カメラアングルの決定

- ジョイスティックつまみを操作して、カメラを旋回し、カメラアングルを決定します。
- ズームスイッチをTELEまたはWIDEに、フォーカススイッチをNEARまたはFARに動かして、希望する画像を決定します。
- カメラアングルが決定したらCAM (SET) キーを押します。逆光補正個所設定画面に切り換わります（次ページ参照）。

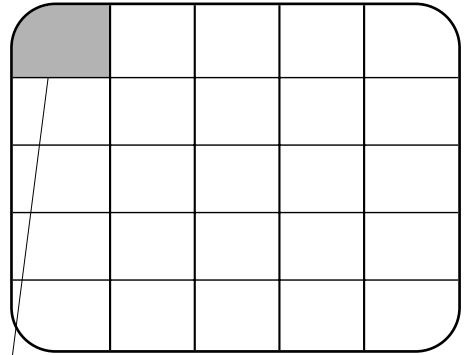


フォーカススイッチ
ズームスイッチ

④ 逆光補正 (BLC) 個所の設定

- カメラアングルを決定したあとCAM (SET) キーを押すと、モニターは逆光補正個所設定画面に切り換わります。
- ジョイスティックつまみを操作して、画面上のハイライト (極端に明るい個所) 部分にカーソルを移動します。
- カーソル位置を逆光補正する (マスク) ときは [INC+1CAM] スイッチを押します。逆光補正個所は、白く表示されます。
- 逆光補正を解除するときは、[DEC-1CAM] スイッチを押します。
- 逆光補正個所を設定しないときは、再度CAM (SET) キーを押してください。プリセット番号一覧に戻ります。

逆光補正個所設定画面



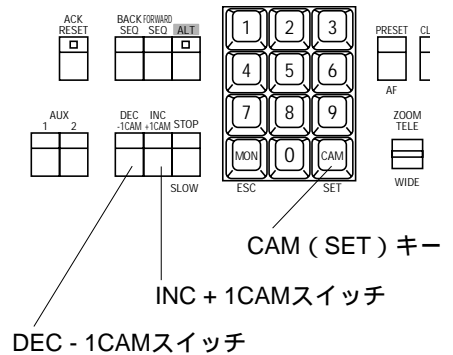
カーソル位置。
[INC+1CAM] キーを押すと白くなる。

⑤ 設定内容の確認

希望する位置の設定を終えたら、CAM (SET) キーを押します。プリセット番号一覧に戻ります。

⑥ プリセットプログラムメニューに戻る

MON (ESC) キーを押すと、プリセットプログラムメニューに戻ります。



プリセット情報の消去

- ① プリセット番号一覧画面を呼び出します。
- ② 既に設定してあるプリセット番号のうち消去したいものにカーソルをあわせ、CAM (SET) キーを押します。
プリセット位置設定画面に切り換わります。
- ③ [F1] キーを押すと該当プリセット番号のプリセット情報が消去されます。
逆行補正個所の設定のみを消去したい場合は、[F1] キーを押さずに再度CAM (SET) キーを押して逆行補正個所設定画面を呼び出してから [F2] キーを押します。

Preset/BLC Clear
Pre BLC

F1 F2 F3 F4

重要

消去を行うと、再度消去前のデータに戻すことはできません。よく確認してから操作してください。

設定した内容をテストする

設定したプリセット情報が正常に動作するかどうかテストします。

①プリセットテスト画面の呼び出し

プリセットプログラムメニューで「3 PRESET TEST」を選択し、プリセットテスト画面を呼び出します。

②テストを実行する

CAM (SET) キーを押してテストを実行します。テストを行うと、登録された位置にカメラが旋回します。2秒ごとに、プリセット位置が切り換わり、10分後に停止します。モニターで希望する位置にカメラが旋回しているかどうか確認してください。

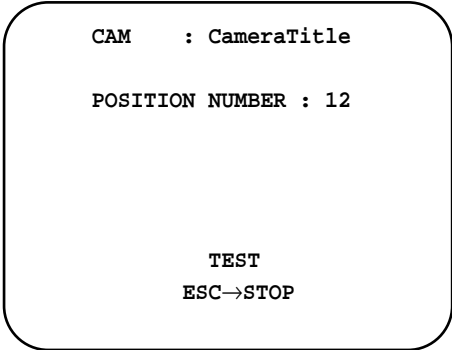
③テストの停止

テストを中止する場合、MON (ESC) キーを押します。

④プリセットプログラムメニューに戻る

テストの停止後に再度MON (ESC) キーを押すと、プリセットプログラムメニュー画面に戻ります。

プリセットテスト画面



```
CAM      : CameraTitle  
  
POSITION NUMBER : 12  
  
TEST  
ESC→STOP
```

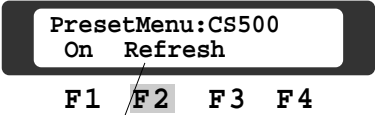
プリセット位置のリフレッシュ

装置が機械的位置の原点を再確認することで位置補正を行いません。

D3メニューを呼び出し、[F2] キーを押します。次の項目を登録内容に従って初期化します。

- パン、チルト
- ズーム
- フォーカス

D3



```
PresetMenu: CS500  
On Refresh  
F1  F2  F3  F4
```

[F2] キーを押すと初期化される

Chapter 9

カメラポジションの登録

カメラポジション番号に、カメラ番号とプリセット番号の対応を登録しておくことで、監視したい場所にすばやくカメラを向けることができます。

重要

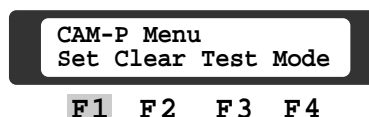
- この機能を使用するには、システムコントローラー背面のモードスイッチの設定が必要です。設定方法は「工事説明 3. 接続のしかた」の「システムコントローラーの接続」をお読みください。
- カメラポジション番号に、カメラのプリセット番号を対応付けするには、プリセット機能のあるカメラにあらかじめプリセット情報を登録しておく必要があります。プリセット情報の登録方法はカメラによって異なります。「8. カメラ機能の設定」及び各カメラの取扱説明書をお読みください。
- 複数のシステムコントローラーで、カメラポジション番号による操作を行うには、操作するシステムコントローラーごとにカメラポジション番号を登録する必要があります。

カメラポジション番号の登録

- ①カメラ及びプリセット位置を確認する
モニターを選択します。

- ②カーソルキーを操作して、D5メニューを液晶ディスプレイに呼び出し、[F1]キーを押します。

D5



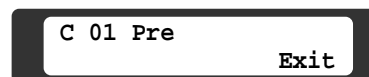
- ③液晶ディスプレイの表示が右図のように変わります。

テンキーでカメラ番号を入力し、CAM (SET) キーを押します。



- ④液晶ディスプレイの表示が右図のように変わります。

テンキーでプリセット番号を入力し、CAM (SET) キーを押します。

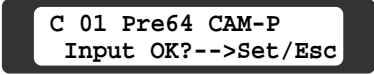


⑤モニターに選択したカメラ及びプリセット位置の映像が映し出され、液晶ディスプレイの表示が右図のように変わります。

- テンキーでカメラポジション番号を入力します。
- カメラポジション番号は0から9999までの間で入力してください。
- カメラポジション番号とカメラ番号、プリセット番号の対応に間違いがなければCAM (SET) キーを押します。番号を間違えたときにはMON (ESC) キーを押してキャンセルします。

⑥②から⑤を繰り返して全てのカメラポジション番号を入力します。

- 入力を終わったら [F4] キーを押し、登録します。データを登録するためにしばらく時間がかかります。(1000件のデータがある場合、1分程度かかります。)
- 登録が終了すると、液晶ディスプレイの表示はD5メニューに戻ります。



C 01 Pre64 CAM-P
Input OK?-->Set/Esc

重要

設定できるカメラポジション番号の数は、最大1000件です。

1000件を超えて入力した場合には“Data Full”が液晶ディスプレイに表示されます。



C Exit
F1 F2 F3 F4

重要

プリセット機能の無いカメラの番号や、カメラ側に設定されていないプリセット番号を入力すると、カメラ番号のみが登録されます。

カメラポジション番号の削除

重要

削除を行うと、再度削除前のデータに戻すことはできません。よく確認してから操作してください。

- ①削除するカメラポジション番号の映像を確認するモニターを選択します。

- ②カーソルキーを操作して、D5メニューを液晶ディスプレイに呼び出し、[F2] キーを押します。

- ③液晶ディスプレイの表示が右図のように変わります。

削除するカメラポジション番号をテンキーで入力し、CAM (SET) キーを押します。

- ④カメラポジション番号に、対応するカメラ及びプリセット位置の映像がモニターに映し出されます。

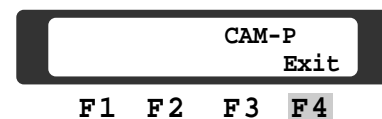
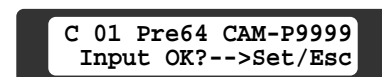
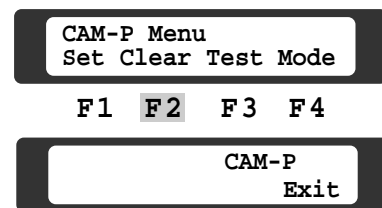
液晶ディスプレイの表示が右図のように変わります。

削除するカメラポジションに間違いがなければCAM (SET) キーを押します。間違えた場合はMON (ESC) キーを押してキャンセルします。

- ⑤ ③と④を繰り返し、削除するカメラポジション番号を入力します。

[F4] キーを押すと、入力したカメラポジション番号が削除されます。データの削除にはしばらく時間がかかります。削除が終了すると、液晶ディスプレイの表示はD5メニューに戻ります。

D5



カメラポジションのテスト

- ①映像を映し出すモニターを選択します。
- ②カーソルキーを操作して、D5メニューを液晶ディスプレイに呼び出し、
[F3] キーを押します。
- ③液晶ディスプレイの表示が右図のように変わります。
[F1] キーを押すと、カメラポジションの番号の小さい順に、対応する映像を選択したモニターに3秒ずつ映し出します。
[F1] キーを押す度に、Actの左が反転しテスト停止 / 再開を繰り返します。
: テスト中
: 停止中
- ④テストが終了すると液晶ディスプレイの表示が右図のようになります。
[F4] キーを押すと、液晶ディスプレイの表示はD5メニューに戻ります。

D5

```
CAM-P Menu
Set Clear Test Mode
F1 F2 F3 F4
```

```
Test1 CAM-P-----
■Act Exit
F1 F2 F3 F4
```

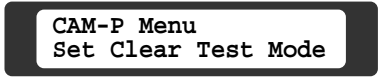
```
Test1 CAM-P9999 End
-Act Exit
F1 F2 F3 F4
```

カメラポジションモードの切り換え

カメラポジション番号による操作は、カメラポジションモードが「On」のときに可能になります。

- ①カーソルキーを操作して、D5メニューを液晶ディスプレイに呼び出し、[F4] キーを押します。

D5



CAM-P Menu
Set Clear Test Mode

F1 F2 F3 F4

- ②液晶ディスプレイの表示が右図のように変わります。

- カメラポジションモードを「On」にするときは、[F1] キーを押して「On」を上段に表示させます。
- [F1] キーを押す度に、カメラポジションモードのON / OFFが切り換わります。
- [F4] キーを押すと、液晶ディスプレイの表示はD5メニューに戻ります。



CAM-P Mode Off
On Exit

F1 F2 F3 F4

メモ

カメラポジションモードを「On」にすると、MON (ESC) キーはカメラポジション番号による操作用のキーになります。

このとき、モニターを変更するにはA1メニュー表示後モニター番号を入力し、[F1] キーを押します ([F1] キーをMON (ESC) キーの代わりに使用できます)。

システム情報の表示・印刷

セットアップ画面を使ってアラーム履歴を表示したり、システムの動作状態を監視したりできます。また、各種情報をシステムに接続されているプリンターに印刷することができます。

アラーム入力履歴の表示

システムにアラームが入力されると、その履歴情報を合計99回までシステム内に保存します。

アラーム設定の妥当性の評価やアラーム発生時期の傾向把握などを検討するデータとしてお役立てください。

アラーム履歴
表示画面

Set Up		AL REC					
Alarm Recall				Page 1 / 7			
NO.	Date	Alarm	Monitor				
53	06-14 23:09:11	1-009	01 02 03 04 05 06 07 08 >				
52	06-11 10:32:37	1-021	06				
51	05-05 01:12:08	0-062	10				
50	03-03 21:59:00	1-012	10 11 12				
49	03-03 12:00:00	1-026	04 16				
48	03-03 11:59:20	1-108	01				
47	02-26 23:59:00	0-008	09				
46	02-25 00:00:00	0-117	16				
45	02-02 12:47:32	0-047	11 15				
44	01-11 02:00:00	1-010	Mode 2				
43	01-01 00:00:01	1-063	Mode 2				
42	12-25 23:00:00	1-059	Mode 2				
41	11-11 08:28:59	1-042	Mode 1				
40	08-21 09:07:16	1-039	Mode 1				
39	08-11 21:09:37	1-011	Mode 1				
38	06-31 11:11:11	1-106	06				

F1: Next Page F2: Pre Page F3: -- F4: --

表示画面の表示方法

- ①セットアップメニューで「Alarm Recall」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにアラーム履歴が表示されます。

この画面で、最新のものから順に、最大99個の履歴（7ページ）を確認できます。画面には、発生番号、発生月日時分秒、アラーム種別・番号、モニター番号またはアラーム設定モードが表示されます。

NO.	アラーム入力番号
Date	アラーム信号が入力された日付・時刻
Alarm	アラーム種別・番号 カメラサイトからのアラームを“0”、アラームボードからのアラームを“1”で表し、対応するカメラ番号を表示。
Monitor	アラームモード1または2の場合Mode 1またはMode 2と表示。 アラームモード3の場合関連するモニター番号を表示。

操作のしかた

- ①次ページを表示するとき
[F1] キーを押します。
- ②前ページへ戻るとき
[F2] キーを押します。

システムの動作状態表示

この画面で、現時点でのシステムの動作状態を確認できます。
モニター番号、カメラ番号、モード番号、システムコントローラー番号、オペレーター番号、オペレーター優先順位とそれらの相互関係を画面に表示できます。

状態表示画面

Set Up		Status				
Status						
MONITOR	CAMERA	MODE	CTRLR	OPERATOR	PRIORITY	
01		T 01 F	1	01	05	
02	in	SPOT			00	
03		T 08 F			--	
04		G 2 S			--	
05		G 2 S			--	
06		G 2 S			--	
07		CAM	2	11	01	
08		SET	8	02	03	
09		T 64 F			00	
10		SPOT	4	26	10	
11		T 11 F			03	
12		G 1 B			02	
13		G 1 B			02	
14		G 1 B			02	
15		P	5	21	30	
16		P F			--	

F1:-- F2:-- F3:-- F4:--

システム情報の
表示・印刷

状態表示画面の表示方法

- ①セットアップメニューで「Status」を選択し、CAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにシステムの動作状態が表示されます。

画面表示の中で使われる略号の意味は次のとおりです。

- in : ビデオ出力ボードに入力した映像を表示中 (拡張映像入力中)。
- SPOT : スポットを実行中。
- P : プログラムシーケンスを実行中。
- T : ツアーシーケンスを実行中。右側にシーケンス番号を表示。
- G : グループシーケンスを実行中。右側にシーケンス番号を表示。
- CAM : プリセット設定中またはカメラ設定中。
- SET : セットアップ設定中
- F : シーケンスの進行方向 (前進) を表示。
- B : シーケンスの進行方向 (後退) を表示。
- S : シーケンス停止中。

メモ

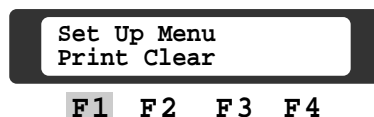
CPUボードにモニターを接続すれば、この画面を常に表示することができます。(「工事説明 3. 接続のしかた」を参照)

各種情報の印刷

システムにプリンターを接続している場合、モニターに表示している内容をプリンターに印刷できます。記録保存にお役立てください。

操作のしかた

- ①カーソルキーを操作して、右図のメニューを液晶ディスプレイに呼び出します。



- ②プリントするとき

- [F1] キーを押してポップアップウィンドウを開きます。ジョイスティックつまみを動かして印刷範囲を選択します。
- CAM (SET) キーを押すと印刷が開始されます。
- 印刷を中止するときはMON (ESC) キーを押します。

\ Set up \ System \ COM / VD				Compensation / VD2												Page 1of1				
S Short	M Middle	VD2 &Data	VD2	Data	#	On														
L Long					-	Off														
CAM	:	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	DATE 01.JAN '00		
COMP	:	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S			
VD2	:	#-	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##			
CAM	:	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32			
COMP	:	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S			
VD2	:	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##			
CAM	:	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48			
COMP	:	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S			
VD2	:	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##			
CAM	:	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64			
COMP	:	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S			
VD2	:	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##			

データの消去

モニターに表示した情報を消去できます。

重要

- データを消去すると、再度その内容を表示することはできません。よく確認してから操作してください。
- 消去する前にデータを印刷するなどして、データを保存することをおすすめします。

操作のしかた

- ①カーソルキーを操作して、右図のメニューを液晶ディスプレイに呼び出します。



Set Up Menu
Print Clear

F1 F2 F3 F4

- ② [F2] キーを押してポップアップウィンドウを呼び出します。

ジョイスティックつまみでカーソルを「Yes」に移動して、CAM (SET) キーを押します。

モニター上の一覧表の設定済データが消去されます。

Chapter 11

カメラクリーニング

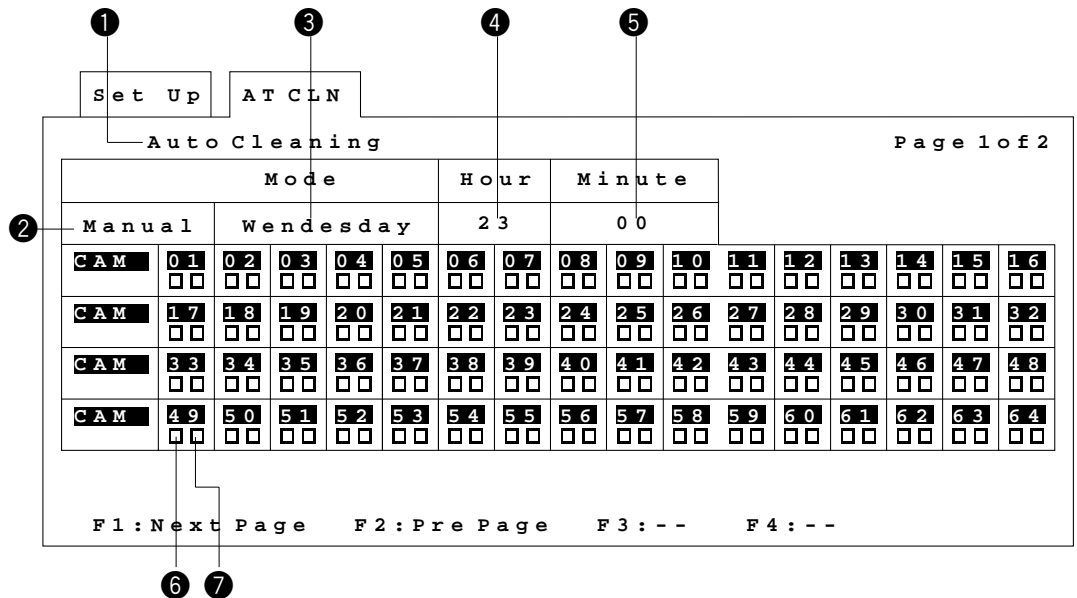
コンビネーションカメラを使用している場合、長期間使用しているとモニターにノイズが入ることがあります。このようなときは、コンビネーションカメラをクリーニングする必要があります。

コンビネーションカメラのクリーニングは、セットアップメニューのオートクリーニングメニューに設定した曜日・時間で自動的に行うことができます。必要に応じて手動でクリーニングすることもできます。

コンビネーションカメラのクリーニング

この画面で、コンビネーションカメラのクリーニングの曜日・時間を設定します。設定した時間になると、自動的にクリーニングを開始します。

オートクリーニング
メニュー画面



設定画面の表示方法

- ①セットアップメニューで、「Auto Cleaning」を選択しCAM (SET) キーを押します。
- ②モニターにオートクリーニング設定画面が表示されます。

この画面を使ってコンビネーションカメラを定期的にクリーニングするように設定できます

重要

- コンビネーションカメラのクリーニング中は映像を監視することはできません。クリーニングを実行するときは、営業終了後など映像の監視を中断しても良い時間帯を選んで設定してください。
- コンビネーションカメラのクリーニングはカメラ番号1から順に実行されます。ただし、次の条件に該当するカメラのクリーニングは実行されません。
 - ・映像監視に使用中のカメラ
 - ・アラーム発生中で、かつアラームによるシーケンスで使用されるカメラ
- クリーニングに要する時間は、カメラ1台あたり約30秒です。
- クリーニング中のカメラを選択すると、直ちにクリーニングを中断し、監視操作を行うことができます。MON (ESC) キーを押して、クリーニングを中断することもできます。
- クリーニングを実行してもノイズが解消されない場合は、機器の故障が考えられます。使用を中止し、販売店にご連絡ください。

設定のしかた

①モードの確定

カーソルを①「Auto Cleaning」に移動して、CAM (SET) キーを押します。

②オートクリーニングモードの設定

カーソルを②「Manual」または「Timer」に移動します。

[INC+1] または [DEC-1] キーを押し、「Manual」または「Timer」を切り換えます。その後、CAM (SET) キーを押して確定します。

- 「Manual」を選択した場合、CAM (SET) キーを押すとクリーニングを開始します。
- 「Timer」を選択した場合、③～⑥を設定してください。

③クリーニングを実行する曜日、または日付の設定

カーソルを③に移動します。[INC+1] または [DEC-1] キーを押してクリーニングを実行する曜日を選択します。その後、CAM (SET) キーを押して確定します。

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| Daily | : 毎日、クリーニングを実行します。 |
| Sunday-Saturday | : 毎週、選択した曜日にクリーニングを実行します。 |
| 01-31 | : 毎月、選択した日にクリーニングを実行します。 |

④クリーニングを実行時刻の設定

カーソルを④、⑤に移動して、開始時刻（時、分）を [INC+1] または [DEC-1] キーで入力します。時間は24時間制です。

④クリーニングを実行するカメラの選択

カーソルを⑥に移動して、クリーニングの実行する (ON) / 実行しない (OFF) を [INC+1] または [DEC-1] キーで入力します。

- : クリーニング設定ON
- : クリーニング設定OFF

⑤実行結果の確認

クリーニングの実行結果は、⑦で確認できます。

- : クリーニング実行待ち
- : クリーニング終了

重要

- カメラクリーニングを実行できないカメラに対して、カメラクリーニングの設定をONにすると、実行結果はクリーニング実行待ち () になります (システムの動作に、影響はありません)。この場合、約30秒経過すると、自動的に次のカメラのクリーニングを実行します。
- 実行結果がクリーニング実行待ちとなった場合、次のクリーニング実行時刻になると再度クリーニングを実行します。

第3編 工事

この編ではシステムとの設置のしかたについて説明します。
注意事項を守り、正しく設置してください。

警告

- 工事は必ず販売店に依頼してください。感電や火災の原因となります。
- 安全のため、安全上のご注意をに記載されている内容をお守りください。
- 工事を始める前に、必ず各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

はじめに（設置上のお願い）

工事を始める前に必ずお読みください。

1. ボードの設定

マトリクススイッチャーシステムに組み込むボードにある、各種スイッチの設定方法について説明しています。

2. 設置のしかた

ラックへの取り付けかたやボードの組み込みかたについて説明しています。

3. 接続のしかた



システムと周辺機器との接続のしかたについて説明しています。

安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

- 乾いた布で手をふいてください。

⚠ 警告

電源コードは、必ずプラグ 本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、 ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで 確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ケーブルを傷つけない



重い物を載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

禁止

配線は正しく行う



ショートや誤配線により火災の原因となります。

⚠ 注意

落とさない、強い衝撃を与えない



けがや火災の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所に設置しない



火災や感電の原因となります。

禁止

指定以外の装置を接続しない



けがなどの原因になることがあります。

禁止

周囲に物を置かない



非常時の操作の妨げになり、火災、災害の拡大の原因となります。

禁止

- 指定範囲は常に整理、整頓してください。

定期的に点検する

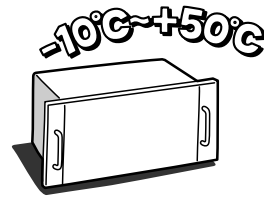


金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。

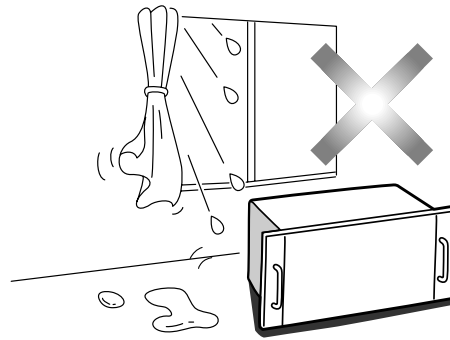
- 点検は販売店に依頼してください。

はじめに（設置上のお願い）

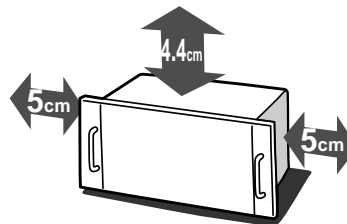
- 周囲温度は、-10 から +50 で、湿度は90%未満の場所に設置してください。
ラックに取り付けるときは、ラック内の温度が+45 以上にならないように他の機器と充分に間を空けてください。または、冷却ファンを取り付けてください。



- 故障の原因になりますので、雨や水などが入るところには設置しないでください。また、湿気の多いところには、設置しないでください。



- 機器の側面及び後面は、壁から5cm以上間隔を空けて設置してください。また、上面は4.4cm以上の空間を確保してください。



- 同軸ケーブルを電灯線などに近づけて引き回すと、映像が乱れることがあります。そのときは、配線の位置を変えてください。

- テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランスなどの強い電界、磁界の近くでお使いになると、影響を受けて雑音が入ったり映像が曲がったりすることがあります。このような場合、同軸ケーブルに専用の薄銅電線管をもうけて通線してください。

- ボードを扱う前に、マトリクススイッチャーの金属ケース部に手で触れて、人体の静電気を「放電」させてください。静電防止の「リストストラップ」(手首の輪)を装着すればより完全です。

- ラックについて

本機を取り付けるラックは次のいずれかをご使用ください。

スタンダードラック : WU-RS71 (収納ユニット数 29U)

ロングラック : WU-RL76 (収納ユニット数 41U)

EIA規格相当品 : EIA19型奥行き450mm以上

- ラックに取り付けるときは

- 車載用など、振動の激しい場所では使用しないでください。
- ラックの内部温度が +45 以上にならないよう、十分に換気をしてください。

- ていねいにお取り扱いください。

落としたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因になります。

- 電源スイッチについて

本機の電源スイッチは電源スイッチを「OFF」にしても、電源からは遮断されません。

電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、または電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

- 厨房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所での使用は避けてください。

- お手入れについて

電源プラグを電源コンセントから抜いてか乾いた布でふいてください。

ほこりがとれにくいときは、薄めた中性台所用洗剤を柔らかい布に染み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。ベンジン、シンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。

化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってご使用ください。

- 表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をお読みください。

Chapter 1

ボードの設定



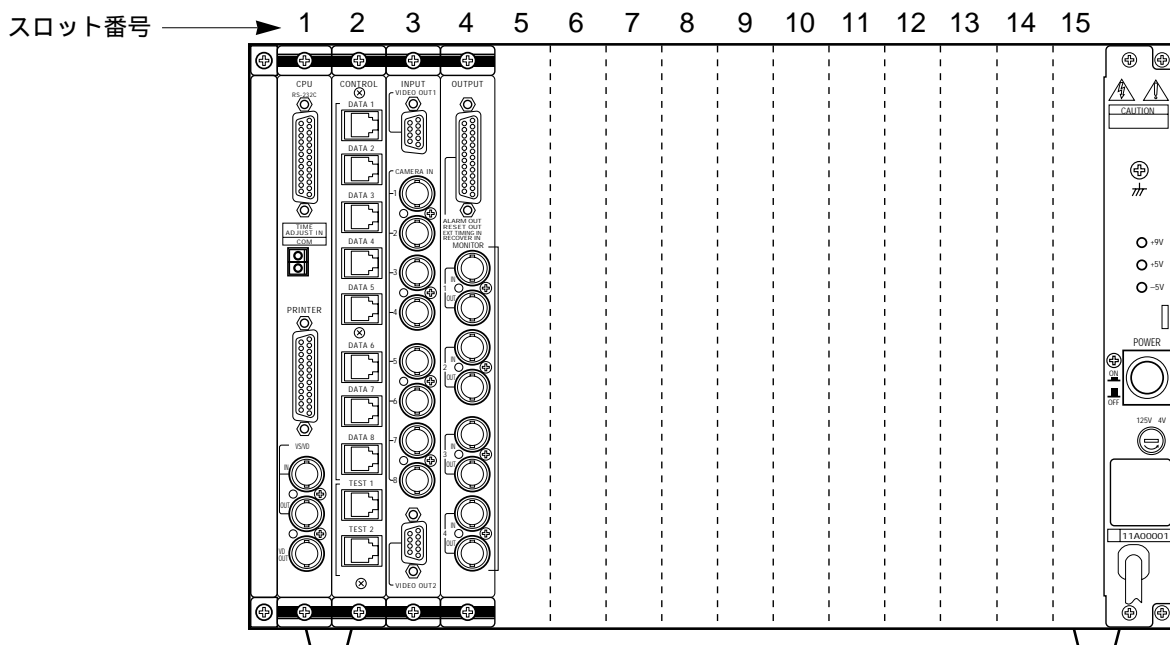
- 工事は必ず販売店に依頼してください。感電や火災の原因となります。
- 安全のため、安全上のご注意をに記載されている内容をお守りください。
- 工事を始める前に、必ず各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

増設ユニットとボード枚数の選択

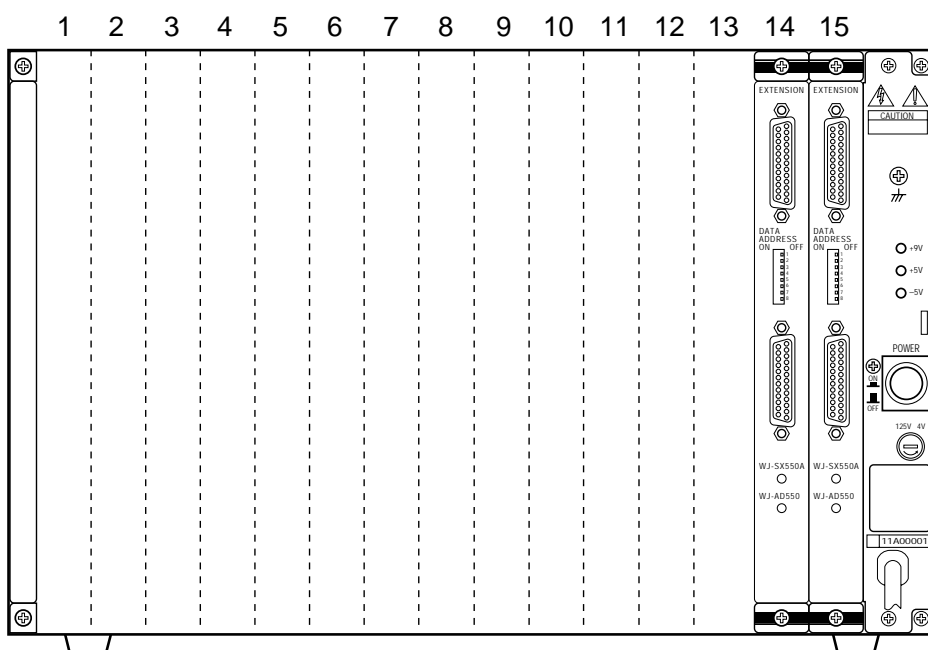
工場出荷時は図のようになっています。マトリクススイッチャーWJ-SX550Bには、左端からCPUボード、コントロールボード、ビデオ入力ボード、ビデオ出力ボードが、右端には電源部が実装されています。増設ユニットWJ-AD550には右端から電源部とエクステンションボードが2枚実装されています。

表にカメラ台数とモニター台数によって必要となるボードの数を示します。システムの機能と構成に合わせて、ボードを選択し、スロットに組み込んでください。

•WJ-SX550B



•WJ-AD550



カメラ台数	モニター台数	増設ユニット WJ-AD550	入力ボード数 WV-PB5508	出力ボード数 WV-PB5504A	使用 スロット数	残り スロット数
1 - 8	1 - 4	不要	1	1	4	11
9 - 16	1 - 4	不要	2	1	5	10
17 - 24	1 - 4	不要	3	1	6	9
25 - 32	1 - 4	不要	4	1	7	8
33 - 40	1 - 4	不要	5	1	8	7
41 - 48	1 - 4	不要	6	1	9	6
49 - 56	1 - 4	不要	7	1	10	5
57 - 64	1 - 4	不要	8	1	11	4
65 - 72	1 - 4	要	9	2	15	15
73 - 80	1 - 4	要	10	2	16	14
81 - 88	1 - 4	要	11	2	17	13
89 - 96	1 - 4	要	12	2	18	12
97 - 104	1 - 4	要	13	2	19	11
105 - 112	1 - 4	要	14	2	20	10
113 - 120	1 - 4	要	15	2	21	9
121 - 128	1 - 4	要	16	2	22	8

カメラ台数	モニター台数	増設ユニット WJ-AD550	入力ボード数 WV-PB5508	出力ボード数 WV-PB5504A	使用 スロット数	残り スロット数
1 - 8	5 - 8	不要	1	2	5	10
9 - 16	5 - 8	不要	2	2	6	9
17 - 24	5 - 8	不要	3	2	7	8
25 - 32	5 - 8	不要	4	2	8	7
33 - 40	5 - 8	不要	5	2	9	6
41 - 48	5 - 8	不要	6	2	10	5
49 - 56	5 - 8	不要	7	2	11	4
57 - 64	5 - 8	不要	8	2	12	3
65 - 72	5 - 8	要	9	4	17	13
73 - 80	5 - 8	要	10	4	18	12
81 - 88	5 - 8	要	11	4	19	11
89 - 96	5 - 8	要	12	4	20	10
97 - 104	5 - 8	要	13	4	21	9
105 - 112	5 - 8	要	14	4	22	8
113 - 120	5 - 8	要	15	4	23	7
121 - 128	5 - 8	要	16	4	24	6

カメラ台数	モニター台数	増設ユニット WJ-AD550	入力ボード数 WV-PB5508	出力ボード数 WV-PB5504A	使用 スロット数	残り スロット数
1 - 8	9 - 12	不要	1	3	6	9
9 - 16	9 - 12	不要	2	3	7	8
17 - 24	9 - 12	不要	3	3	8	7
25 - 32	9 - 12	不要	4	3	9	6
33 - 40	9 - 12	不要	5	3	10	5
41 - 48	9 - 12	不要	6	3	11	4
49 - 56	9 - 12	不要	7	3	12	3
57 - 64	9 - 12	不要	8	3	13	2
65 - 72	9 - 12	要	9	6	19	11
73 - 80	9 - 12	要	10	6	20	10
81 - 88	9 - 12	要	11	6	21	9
89 - 96	9 - 12	要	12	6	22	8
97 - 104	9 - 12	要	13	6	23	7
105 - 112	9 - 12	要	14	6	24	6
113 - 120	9 - 12	要	15	6	25	5
121 - 128	9 - 12	要	16	6	26	4

カメラ台数	モニター台数	増設ユニット WJ-AD550	入力ボード数 WV-PB5508	出力ボード数 WV-PB5504A	使用 スロット数	残り スロット数
1 - 8	13 - 16	不要	1	4	7	8
9 - 16	13 - 16	不要	2	4	8	7
17 - 24	13 - 16	不要	3	4	9	6
25 - 32	13 - 16	不要	4	4	10	5
33 - 40	13 - 16	不要	5	4	11	4
41 - 48	13 - 16	不要	6	4	12	3
49 - 56	13 - 16	不要	7	4	13	2
57 - 64	13 - 16	不要	8	4	14	1
65 - 72	13 - 16	要	9	8	21	9
73 - 80	13 - 16	要	10	8	22	8
81 - 88	13 - 16	要	11	8	23	7
89 - 96	13 - 16	要	12	8	24	6
97 - 104	13 - 16	要	13	8	25	5
105 - 112	13 - 16	要	14	8	26	4
113 - 120	13 - 16	要	15	8	27	3
121 - 128	13 - 16	要	16	8	28	2

重要

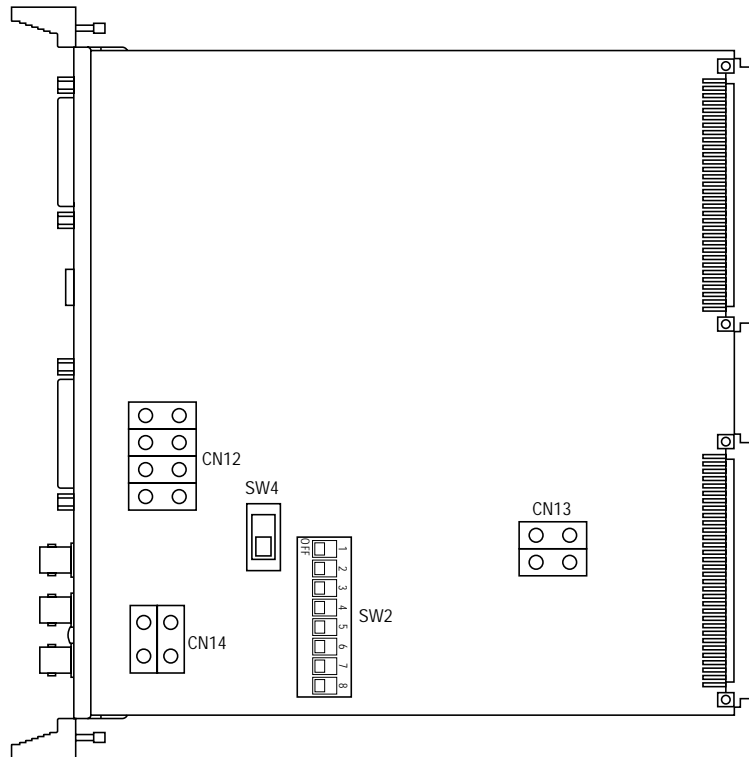
- 増設ユニットを接続する場合、エクステンションボードが2スロットを使用します。
- 残りスロットには、アラームボードを2枚まで実装することができます。

CPUボードのスイッチ設定

ここでは、各種ボード上にあるスイッチの設定方法について説明します。

重要

- システムとの対応をよく確認して、必要な場合だけ設定をしてください。
- 「工場調整用」となっているスイッチ類は動かさないでください。
- 増設ユニットWJ-AD550をご使用になる場合も、CPUボードは必ずマトリクススイッチャーWJ-SX550Bに組み込んでください。

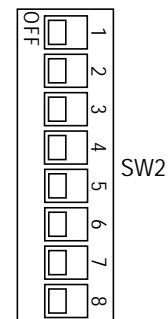


• SW2の設定

このスイッチは操作しないでください。

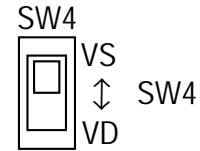
重要

このスイッチは工場調整用です。通常は全ビット「OFF」(工場出荷時)にしてください。



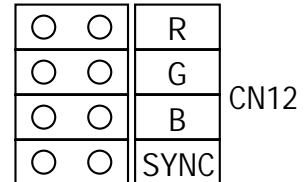
•SW4の設定

このスイッチは本基板のVD / VS入力コネクタの同期形式を選択します。工場出荷時はVSに設定されています。



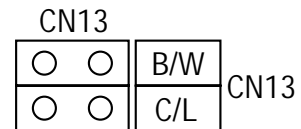
•CN12ジャンパーコネクタ

このコネクタで、プリンターポートへのRGB形式状態表示信号の入 / 切を設定します。プリンターが接続される場合オープン（切）に設定します。工場出荷時はクローズ（入）に設定されています。



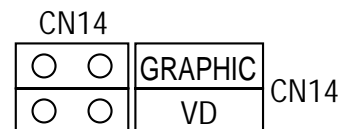
•CN13ジャンパーコネクタ

コネクタでセットアップメニューの映像出力を、カラー（C / L）か白黒（B / W）かを選択します。「C / L」に設定してセットアップの文字に色がついて見にくい場合は「B / W」に設定してください。工場出荷時は「B / W」になっています。



•CN14ジャンパーコネクタ

このコネクタでパネルにあるVD出力コネクタの出力を目的によって切り換えます。工場出荷時はVD側に設定されています。

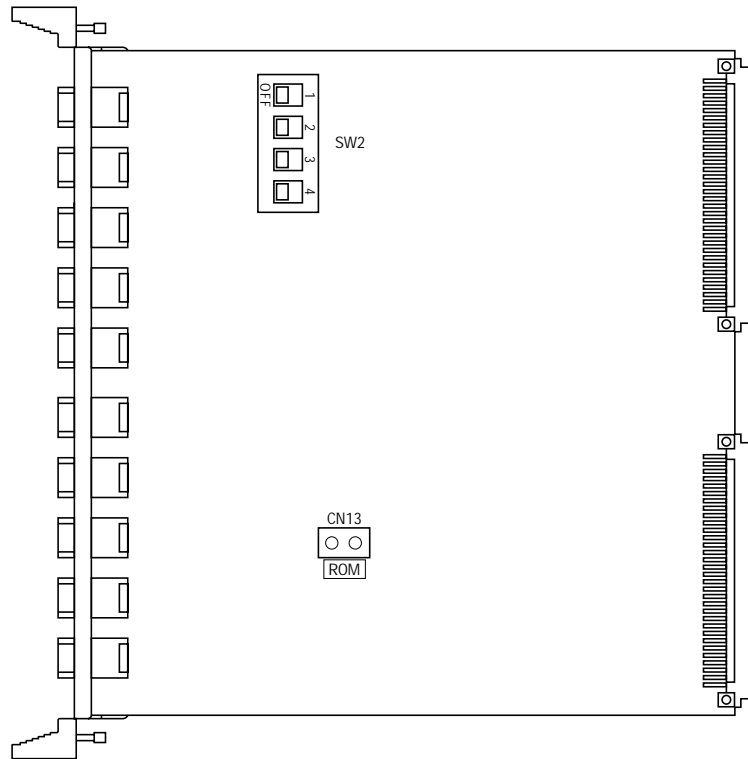


- GRAPHIC側に設定すると、状態表示モニターに状態表示画面（「設定編 10. システム情報の表示・印刷」参照）がVD出力コネクタから出力されます。
- 本機内部のVD出力を使用し他の機器と同期をとる場合、VD側にします。

コントロールボードのスイッチ設定

重要

増設ユニットWJ-AD550をご使用になる場合も、コントロールボードは必ずマトリクススイッチャーWJ-SX550Bに組み込んでください。



ボードの設定

•SW2の設定

このスイッチは操作しないでください。

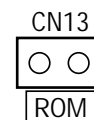
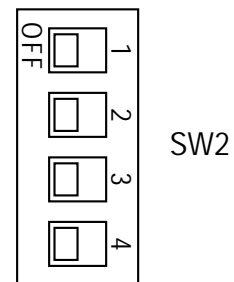
重要

このスイッチは工場調整用です。通常は全ビット「OFF」(工場出荷時)にしてください。

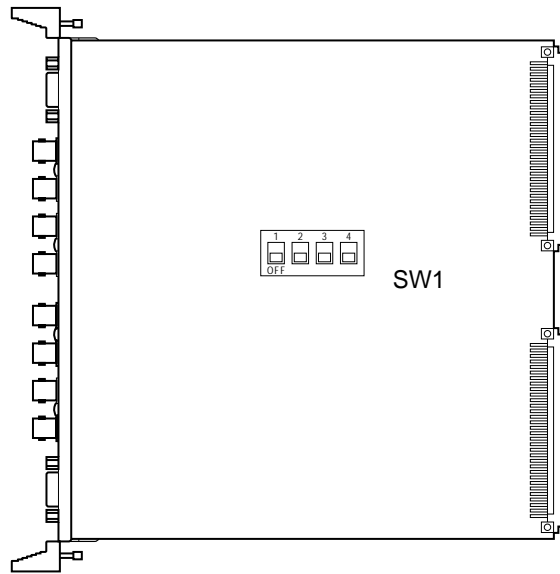
•CN13ジャンパーコネクタの設定

このコネクタでマトリクススイッチャーとシステムコントローラーとの通信モードを切り換えます。詳しくは、「第3編 3. 接続のしかた (システムコントローラーの接続)」をお読みください。

- OPENにする (工場出荷状態)
システムコントローラーを合計8台までホームラン接続 (1対1) できます。
- CLOSEにする
バス接続 (ディジーチェーン接続) で、システムコントローラーをマトリクススイッチャーに接続できるようになります。



ビデオ入力ボードのスイッチ設定



•SW1の設定

複数のビデオ入力ボードがある場合、各ボードごとに入力ボードの識別番号を設定します。

カメラ番号に対応して表のようにスイッチを設定してください。

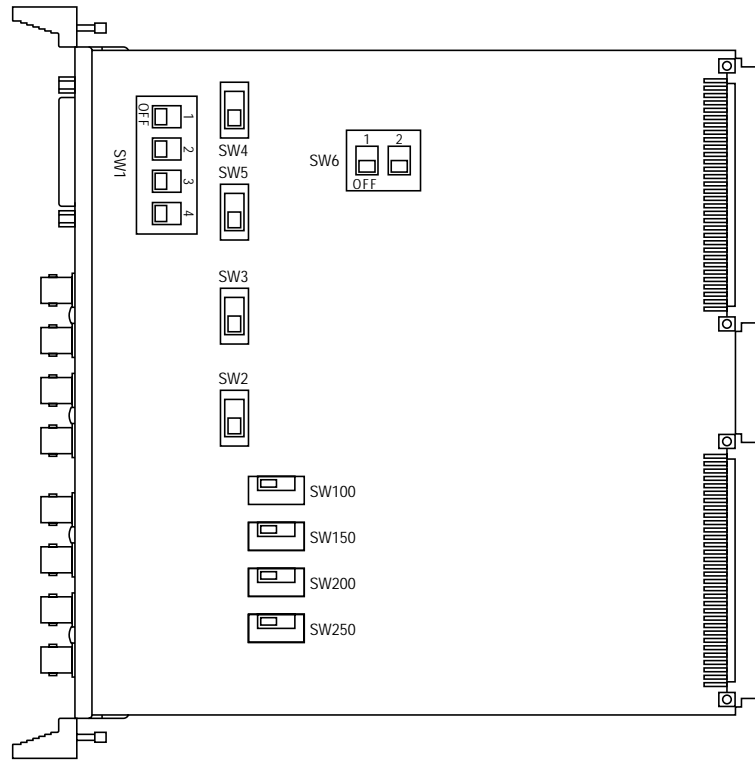
工場出荷時、ボード番号は1に設定されています。

ボード番号	CAMERA IN番号	SW1設定	ボード番号	CAMERA IN番号	SW1設定
1	1-8		9	65-72	
2	9-16		10	73-80	
3	17-24		11	81-88	
4	25-32		12	89-96	
5	33-40		13	97-104	
6	41-48		14	105-112	
7	49-56		15	113-120	
8	57-64		16	121-128	

重要

- ボード番号9～16は増設ユニットWJ-AD550をご使用になる場合のみ設定してください。ボード番号1～8の入力ボードはマトリクススイッチャーWJ-SX550Bに、ボード番号9～16の入力ボードは増設ユニットWJ-AD550に組み込んでください。
- マトリクススイッチャーWJ-SX550Bに9枚以上の入力ボードを組み込むことはできません。

ビデオ出力ボードのスイッチ設定



•SW1の設定

複数のビデオ出力ボードがある場合、各ボードごとに出力ボードの識別番号を設定します。

スイッチは4ビットありますが通常はビット2から4の3ビットだけ使用します。モニター番号に対応して表のようにスイッチを設定してください。工場出荷時はボード番号1に設定されています。

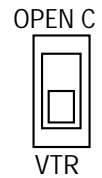
ボード番号	モニター番号	SW1設定
1	1-4	
2	5-8	
3	9-12	
4	13-16	
5	1-4	
6	5-8	
7	9-12	
8	13-16	

重要

- ボード番号5～8は増設ユニットWJ-AD550をご使用になる場合のみ設定してください。ボード番号1～4の出力ボードはマトリクススイッチャーWJ-SX550Bに、ボード番号5～8の出力ボードは増設ユニットWJ-AD550に組み込んでください。
- マトリクススイッチャーWJ-SX550Bに5枚以上の出力ボードを組み込むことはできません。

•SW2,SW3,SW4,SW5の設定

このスイッチで、4チャンネル分のアラームリセット出力信号の形式を設定します（オープンコレクタ「OPEN C」、+5Vパルス「VTR」のいずれか）。工場出荷時は「VTR」に設定されています。



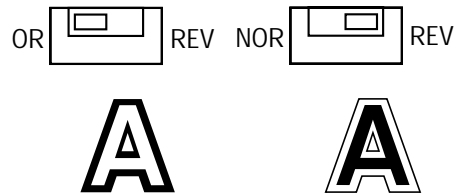
重要

スイッチ番号とチャンネル番号は対応していません。また、ボード上の配置が順不同ですのでご注意ください。

- SW2：リセット出力1
- SW3：リセット出力2
- SW4：リセット出力3
- SW5：リセット出力4

•SW100,SW150,SW200,SW250の設定

このスイッチで、モニター上に表示する文字形式を白文字黒縁「NOR」か黒文字白縁「REV」かを設定します。工場出荷時の設定は「NOR」になっています。各スイッチとモニター番号の関係は表のとおりです。



ボード 番号	モニター番号			
	SW100	SW150	SW200	SW250
1, 5	1	2	3	4
2, 6	5	6	7	8
3, 7	9	10	11	12
4, 8	13	14	15	16

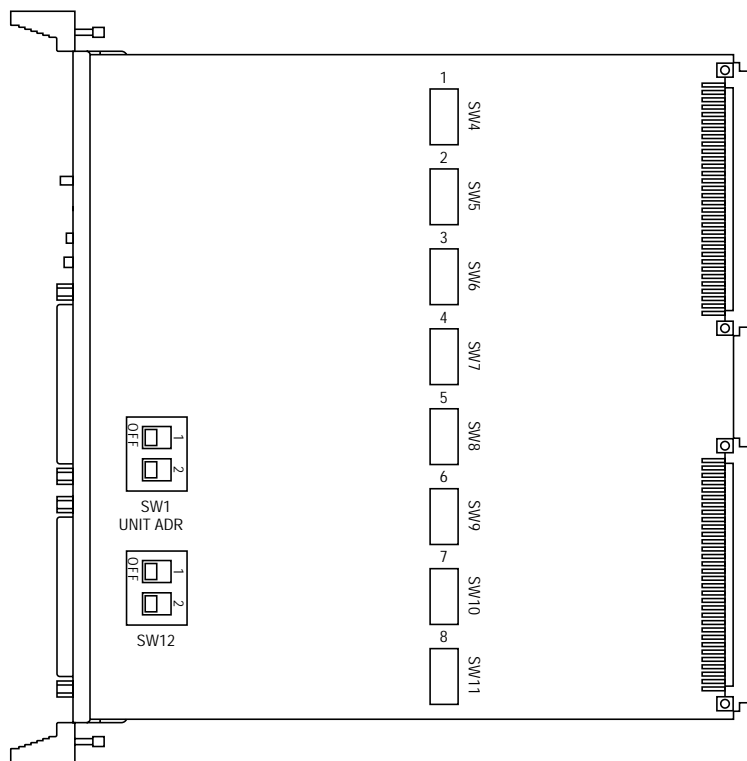
•SW6の設定

このスイッチは操作しないでください。

重要

このスイッチは工場調整用です。通常は全ビット「OFF」(工場出荷時)にしてください。

アラームボードのスイッチ設定



•SW1の設定

複数のアラームボードがある場合、各ボードごとにアラームボードの識別番号を設定します。

スイッチは2ビットありますが通常はビット2の1ビットだけ使用します。カメラ番号に対応して表のようにスイッチを設定してください。

工場出荷時はボード番号1に設定されています。

ボード番号	カメラ番号	SW1設定
1	1-64	
2	65-128	

重要

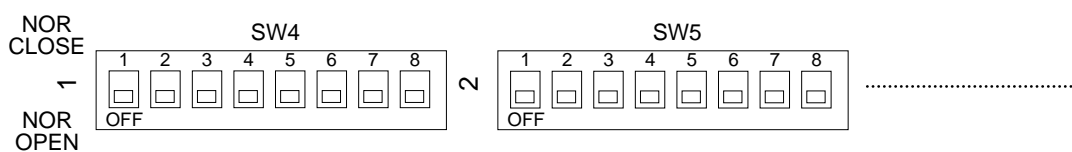
ボード番号2は増設ユニットWJ-AD550を使用して65台以上のカメラを接続する場合のみ設定してください。

アラームボードはマトリクススイッチャーWJ-SX550Bと増設ユニットWJ-AD550のどちらにでも組み込んでご使用になれます。

•SW4からSW11の設定

このスイッチで、アラーム入力形式をノーマルクローズ「NOR CLOSE」か、ノーマルオープン「NOR OPEN」のいずれかに設定します。
工場出荷時はノーマルオープン「NOR OPEN」に設定されています。

	スイッチ番号	アラーム入力番号	
		ボード番号1	ボード番号2
1	SW4	1 - 8	65 - 72
2	SW5	9 - 16	73 - 80
3	SW6	17 - 24	81 - 88
4	SW7	25 - 32	89 - 96
5	SW8	33 - 40	97 - 104
6	SW9	41 - 48	105 - 112
7	SW10	49 - 56	113 - 120
8	SW11	57 - 64	121 - 128

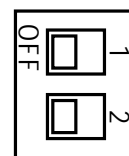


•SW12の設定

このスイッチは操作しないでください。

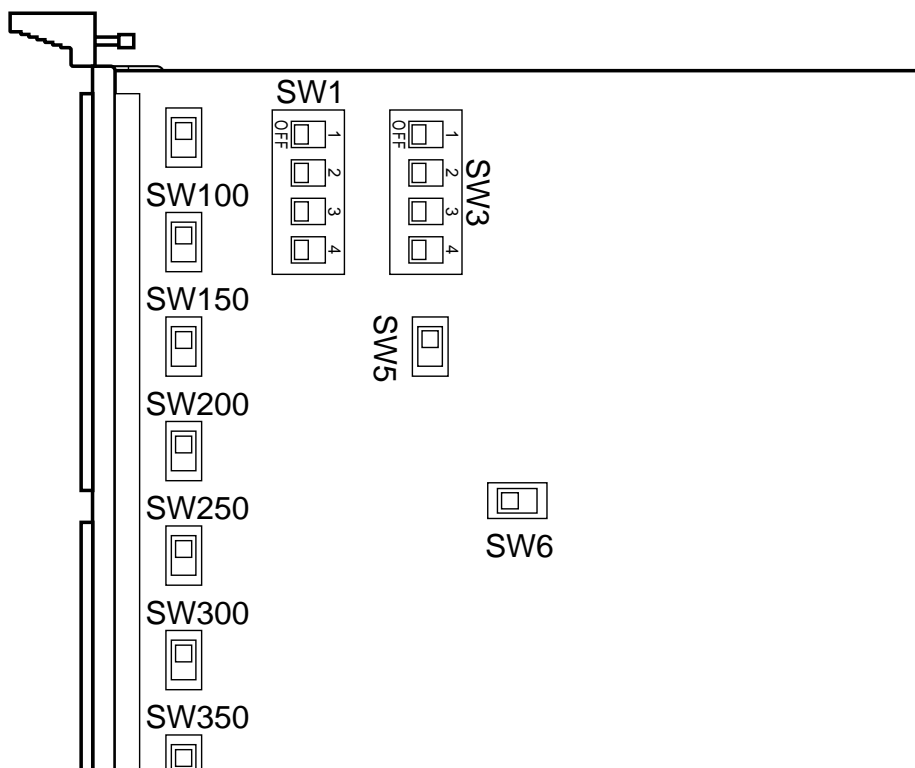
重要

このスイッチは工場調整用です。通常は全ビット「OFF」(工場出荷時)にしてください。



SW12

データボードのスイッチの設定



•SW1の設定

下表を参考にデータボードの番号を設定してください。工場出荷時は1番に設定されています。

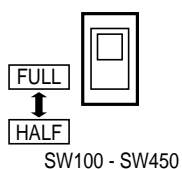
ボードの番号	ボードの番号	ボードの番号	ボードの番号
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	

•SW100 / SW150 / SW200 / SW250 / SW300 / SW350 / SW400 / SW450の設定

ポートごとに通信方式を設定します。お買い上げ時はFULLに設定されています。

FULL：全二重通信（4線式）で通信を行います。

HALF：半二重通信（2線式）で通信を行います。

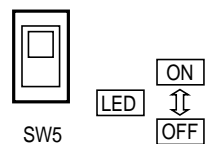


- SW5の設定

ボード上にある通信状態確認用LEDの点灯 / 消灯を選択します。お買いあげ時はONに設定されています。

ON : 点灯 (正常)

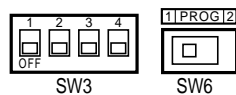
OFF : 消灯



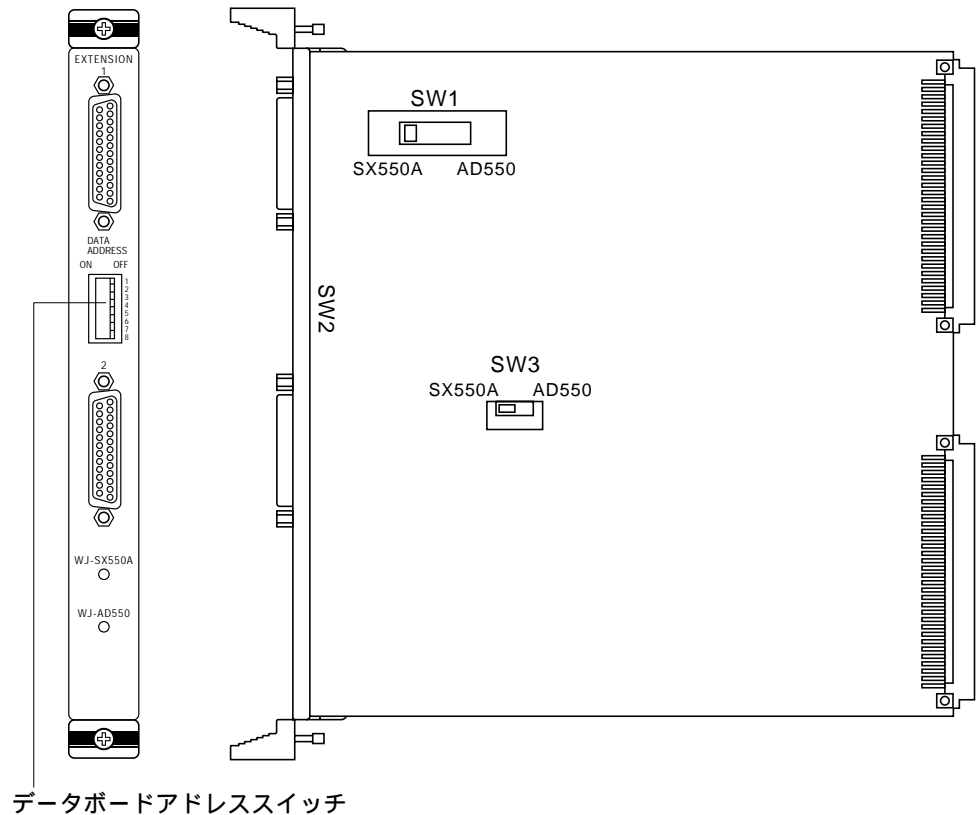
- SW3、SW6の設定

これらのスイッチは工場調整用です。操作しないでください。

お買いあげ時は、右図のように設定されています。



エクステンションボードのスイッチ設定



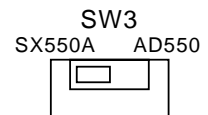
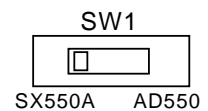
重要

増設ユニットWJ-AD550を使用するには、増設ユニットに組み込まれているエクステンションボード（2枚中1枚）のスイッチの設定を行い、マトリクススイッチャーWJ-SX550Bに組み込む必要があります。

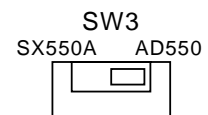
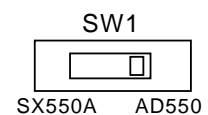
•SW1, SW3の設定

エクステンションボードをマトリクススイッチャー（WJ-SX550B）と増設ユニット（WJ-AD550）のどちらに組み込むかを設定します。工場出荷時は [AD550] 側に設定されています。

- エクステンションボードをマトリクススイッチャー（WJ-SX550B）に組み込む場合

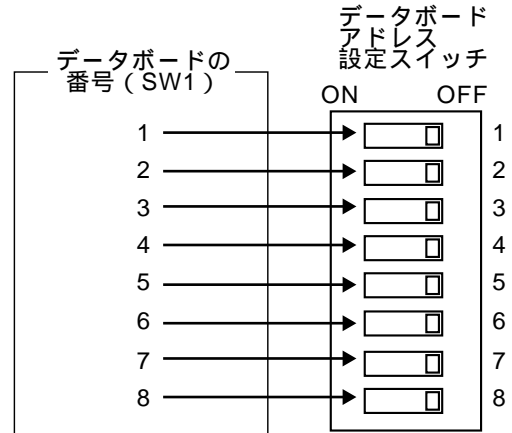


- エクステンションボードを増設ユニット（WJ-AD550）に組み込む場合



• データボードアドレススイッチの設定

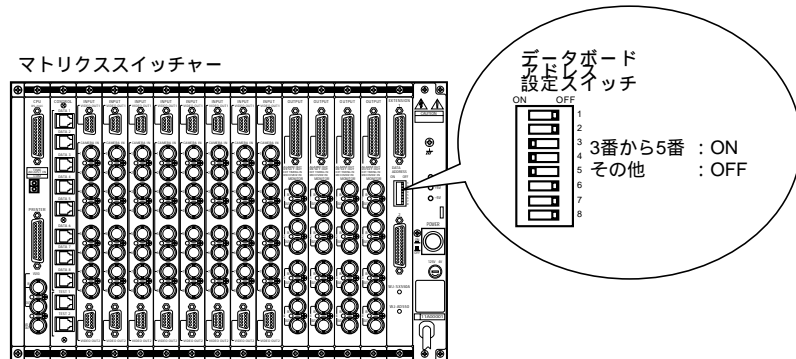
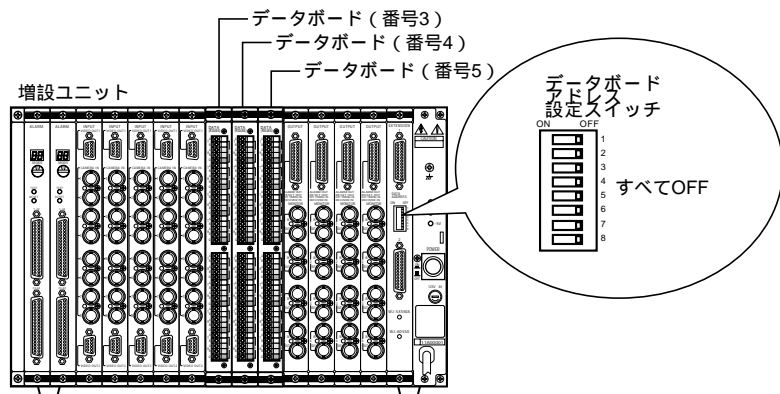
このスイッチは、データボード（WV-PB5548）を増設ユニットに組み込んで使用する場合に設定します。増設ユニットにデータボードを組み込まない場合は、全てのスイッチをOFFのままご使用ください。
設定方法は下表のとおりです。



「データボードの番号」と「データボードアドレス設定スイッチ」との対応

データボードの組み込み先	エクステンションボードのデータボードアドレススイッチの設定	
	マトリクススイッチャー側	増設ユニット側
増設ユニットにデータボードを組み込む場合	増設ユニットに組み込んだデータボードの番号に対応するスイッチだけをONにする。	すべてOFFにする。
マトリクススイッチャー、増設ユニットの両方にデータボードを組み込む場合		
データボードを使用しない場合	すべてOFFにする。	

設定例



Chapter 2

設置のしかた

警告

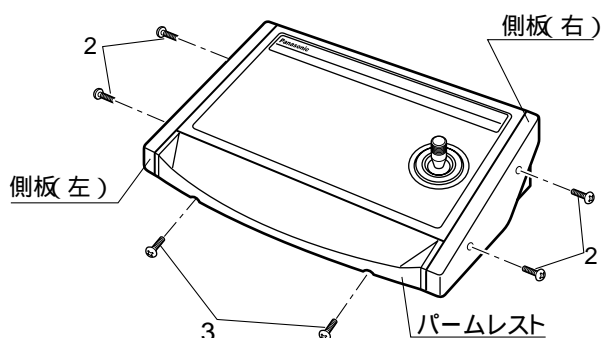
- 工事は必ず販売店に依頼してください。感電や火災の原因となります。
- 安全のため、安全上のご注意をに記載されている内容をお守りください。
- 工事を始める前に、必ず各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

ここでは、マトリクススイッチャーシステムの設置のしかたについて説明します。

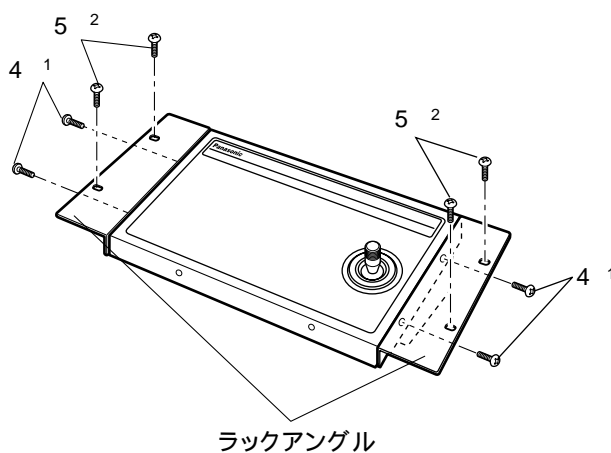
システムコントローラーのラック組み込み

システムコントローラーWV-CU550Bの側板を外して別売りのラックマウント金具（WV-Q62）を取り付けます。

- ①コントローラーの電源プラグをコンセントから外します。
- ②ねじ各2本を外し、左右の側板を外します。
- ③ねじ2本を外し、パームレストを外します。



- ④ねじ4本（付属）で左右両側にラックマウント金具を取り付けます。
ねじがゆるまないよう、しっかりと締め付けてください。
- ⑤システムコントローラーをラックマウント金具付属の取付ねじ4本でラックに取り付けます。



- 1: ラックマウント金具に付属されているねじを使用してください。
- 2: 取り付けるラックによって、使用するねじが異なります。
当社ラック使用時: タッピング呼び径5 (ラックマウント金具付属)
他社ラック使用時: 別売のラック取り付けねじ
(W2 - MSS/5008 (別売品) または
M5 × 12)

重要

日本語表示パネル（システムコントローラー付属）を使用するときは、両面テープなどで固定してください。

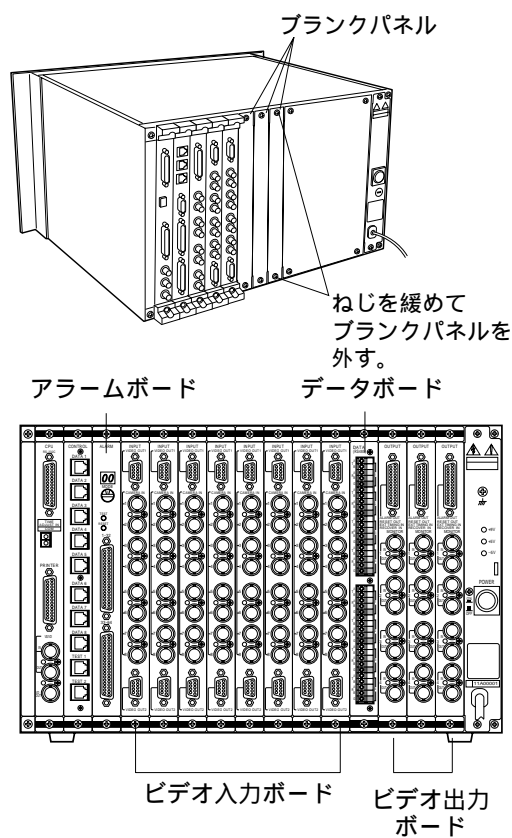
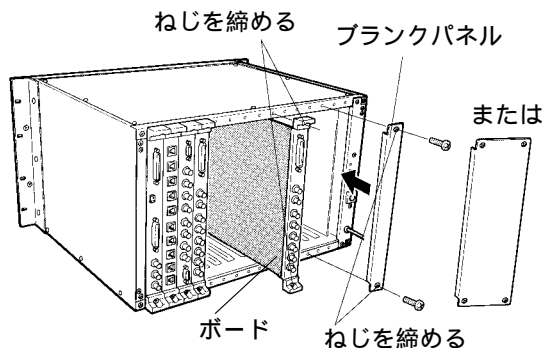
ボードの組み込み

重要

- ボードを組み込むときは、マトリクススイッチャー背面の電源スイッチを必ずOFFにしてください。増設ユニットをご使用になる場合は、増設ユニット背面の電源スイッチも必ずOFFにしてください。
- 人体の静電気
ボードを扱う前に、マトリクススイッチャーの金属ケース部に手で触れて、人体の静電気を「放電」させてください。
静電防止の「リストストラップ」(手首の輪)を装着すればより完全です。
- ボードの置場所
使用しないボードは「静電マット」の上に置いてください。また、ボードの金属部を他のボードの金属部に接触させないでください。
- ボードのコネクターピン
コネクターピンには手を触れないでください。
また挿入のときピンを曲げないでください。
- これらの注意事項は、該当する、設置工事、調整の全過程で守ってください。

増設ユニットを使用しない場合

- ① 背面のねじを緩めて、ブランクパネルを外します。
- ② データボード(オプション)を使用する場合、ビデオ入力ボードとビデオ出力ボードの間に挿入してください。
- ③ ボードを奥までしっかりと挿入します。
- ④ ボードの上下を2本のねじで枠に固定します。
- ⑤ ボードが入っていない部分にブランクパネルを取付けます。



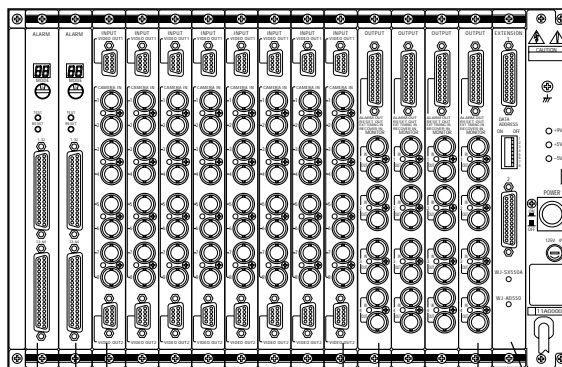
メモ

増設ユニットを使用しない場合は、各ボードをどこに組み込んでも問題ありませんが、工事や保守の容易さから図のようにされることをお奨めします。

増設ユニットを使用する場合

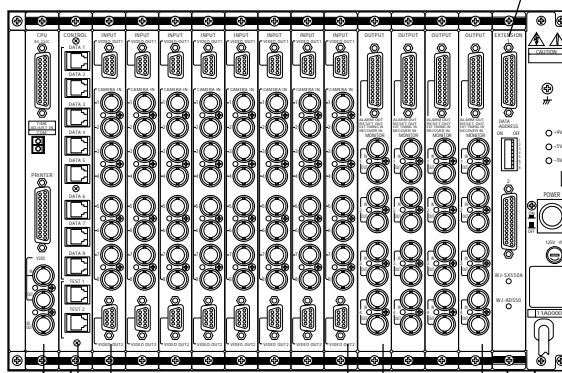
増設ユニットWJ-AD550をご使用になる場合、各ボードの位置は図のようにしてください。

増設ユニット



アラームボード ビデオ入力ボード (ボード番号9~16) ビデオ出力ボード (ボード番号5~8)
エクステンションボード

マトリクススイッチャー



CPUボード ビデオ入力ボード (ボード番号1~8) ビデオ出力ボード (ボード番号1~4)
コントロールボード

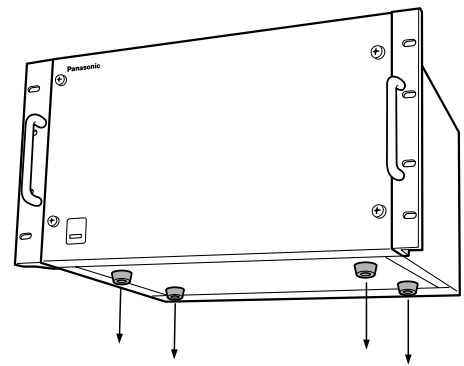
重要

増設ユニットを使用する場合は、各ボードを組み込む位置に制限があります。

- エクステンションボードは、ボード上のSW1, SW3を設定してから（207ページ参照）、マトリクススイッチャーと増設ユニットにそれぞれ1枚ずつ組み込んでください。
- ビデオ入力ボードWV-PB5508はボード番号1~8をマトリクススイッチャーに、ボード番号9~16を増設ユニットに組み込んでください。
- ビデオ出力ボードWV-PB5504Aはボード番号1~4をマトリクススイッチャーに、ボード番号5~8を増設ユニットに組み込んでください。
- アラームボードWV-PB5564は、最大で2枚（カメラ128台分）まで、マトリクススイッチャーと増設ユニットのどちらにでも組み込むことができます。
- データボードWV-PB5548は、1システム中に8枚まで組み込むことができます。また、マトリクススイッチャーと増設ユニットのどちらにでも組み込むことができます。

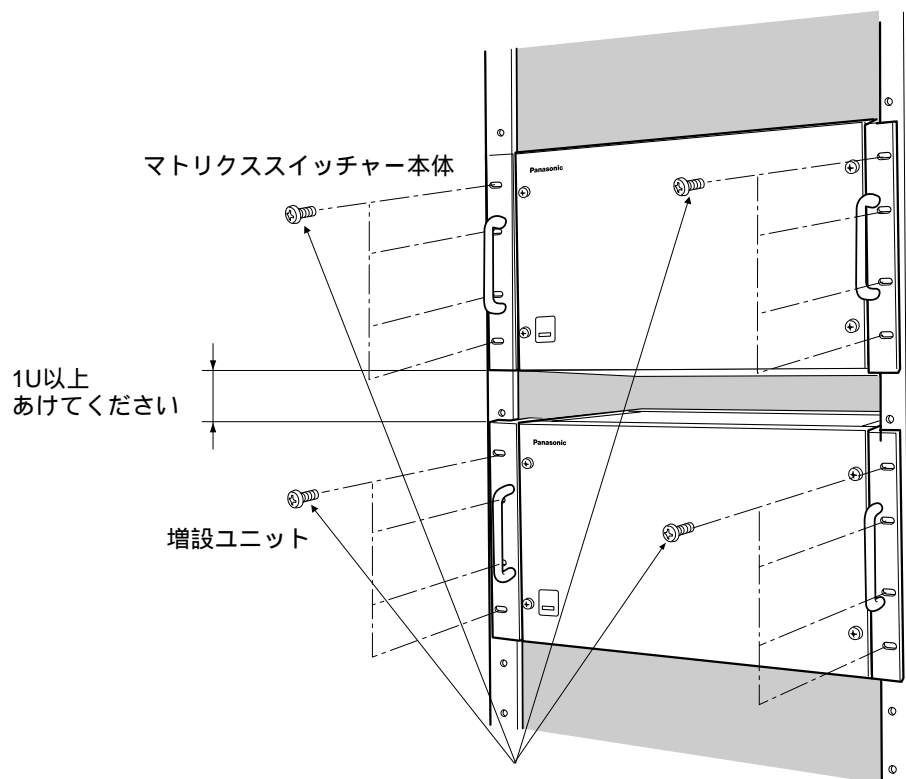
マトリクススイッチャーのラック組み込み

- ①電源スイッチをOFFにします。
- ②底面のゴム足を固定しているねじ4本を外して、ゴム足を取り外します。
- ③本機をEIA19型ラックにラック取付ねじ（別途調達：下図参照）8本で取り付けます。



ゴム足ははずす

EIA19型ラック



取り付けるラックによって、使用するねじ（別売品）が異なります。

当社ラック使用時：タッピング呼び径5（別途調達）
他社ラック使用時：別売のラック取付ねじ
（W2 - MSS / 5008（別売品）または
M5 × 12）

重要

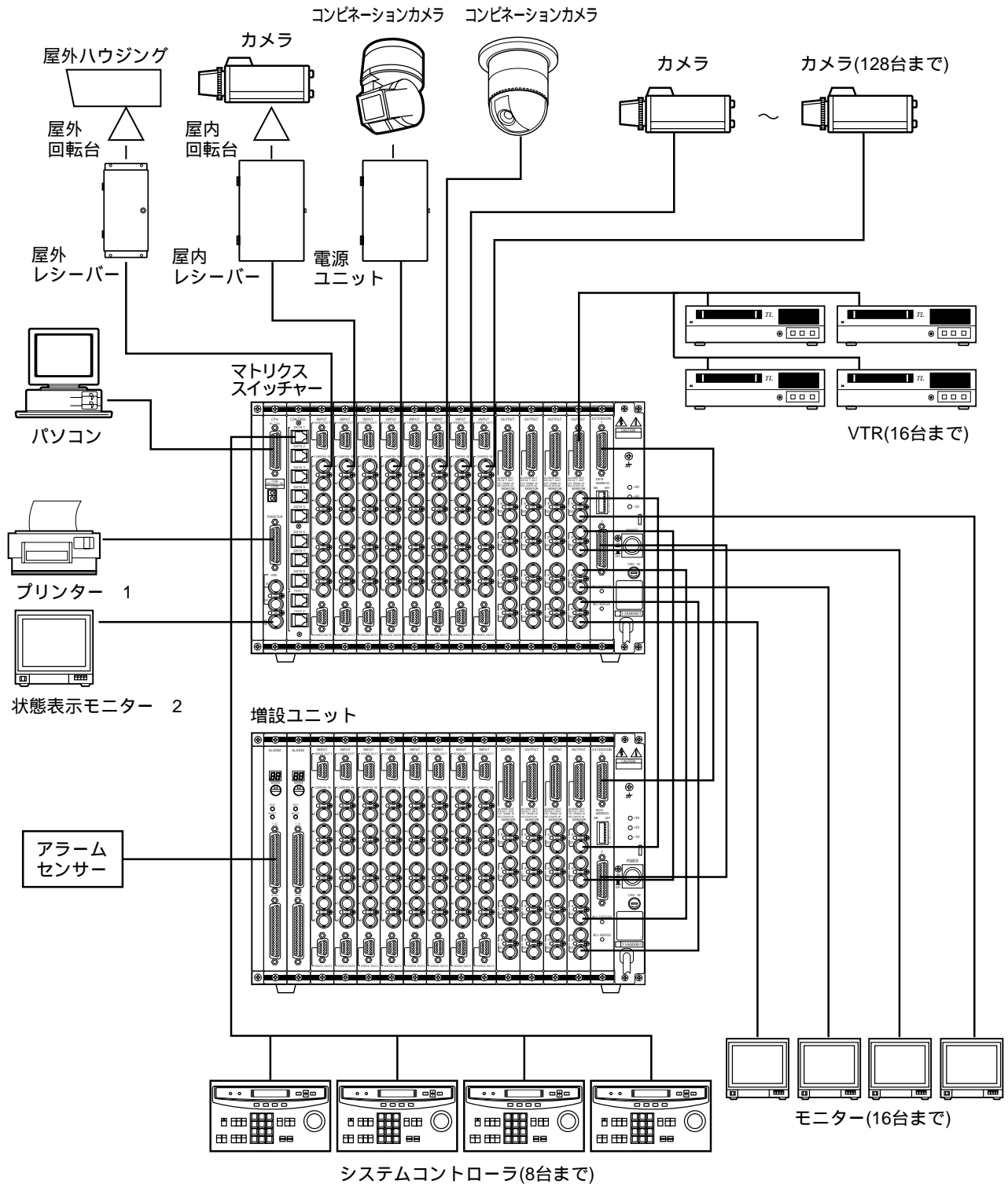
- 振動が多い場所に設置するときは本機の後部を補強アングルなど（現地製作）でラックに固定して使用してください。
- 取付ねじはゆるまないようにしっかりと締め付けてください。
- ラック内の温度が+45℃以上にならないように他の機器との間を十分に（1U以上）空けて取り付けてください。またはファンを取り付けてください。

Chapter 3

接続のしかた

システム接続例

下図は、増設ユニットを使用した監視システムの接続例です。データボードを使用する場合は、「データボードを使用する場合」をお読みください。



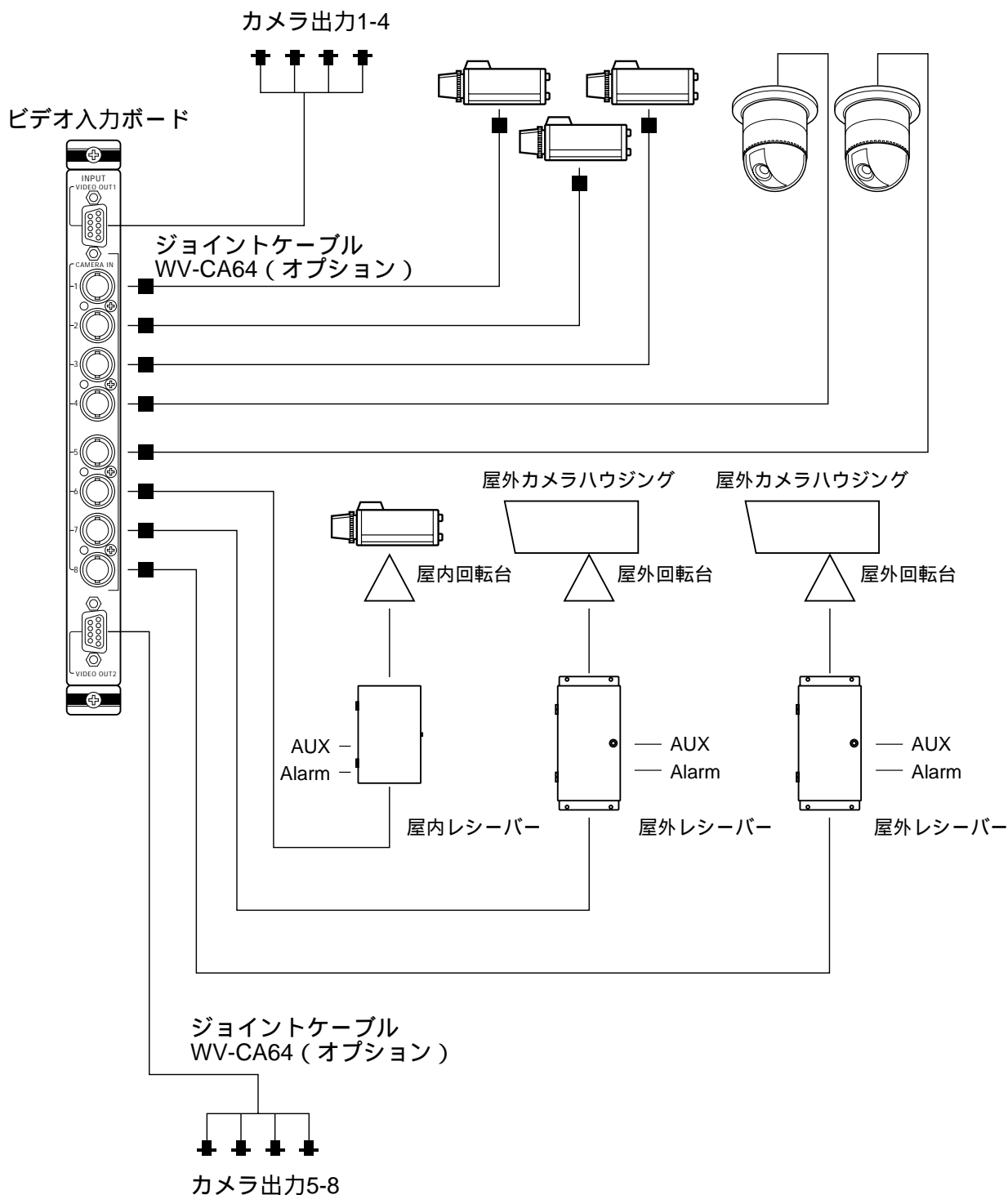
1. 使用できるプリンターはパナソニック漢字プリンター15CV-VPR457です。
2. 状態表示モニターを接続する場合、CPUボード上のCN14ジャンパーコネクターの設定をGRAPHIC側に変更する必要があります。「1. ボードの設定」をお読みください。

カメラの接続

カメラ側からのケーブルをビデオ入力ボードのコネクターに接続します。

重要

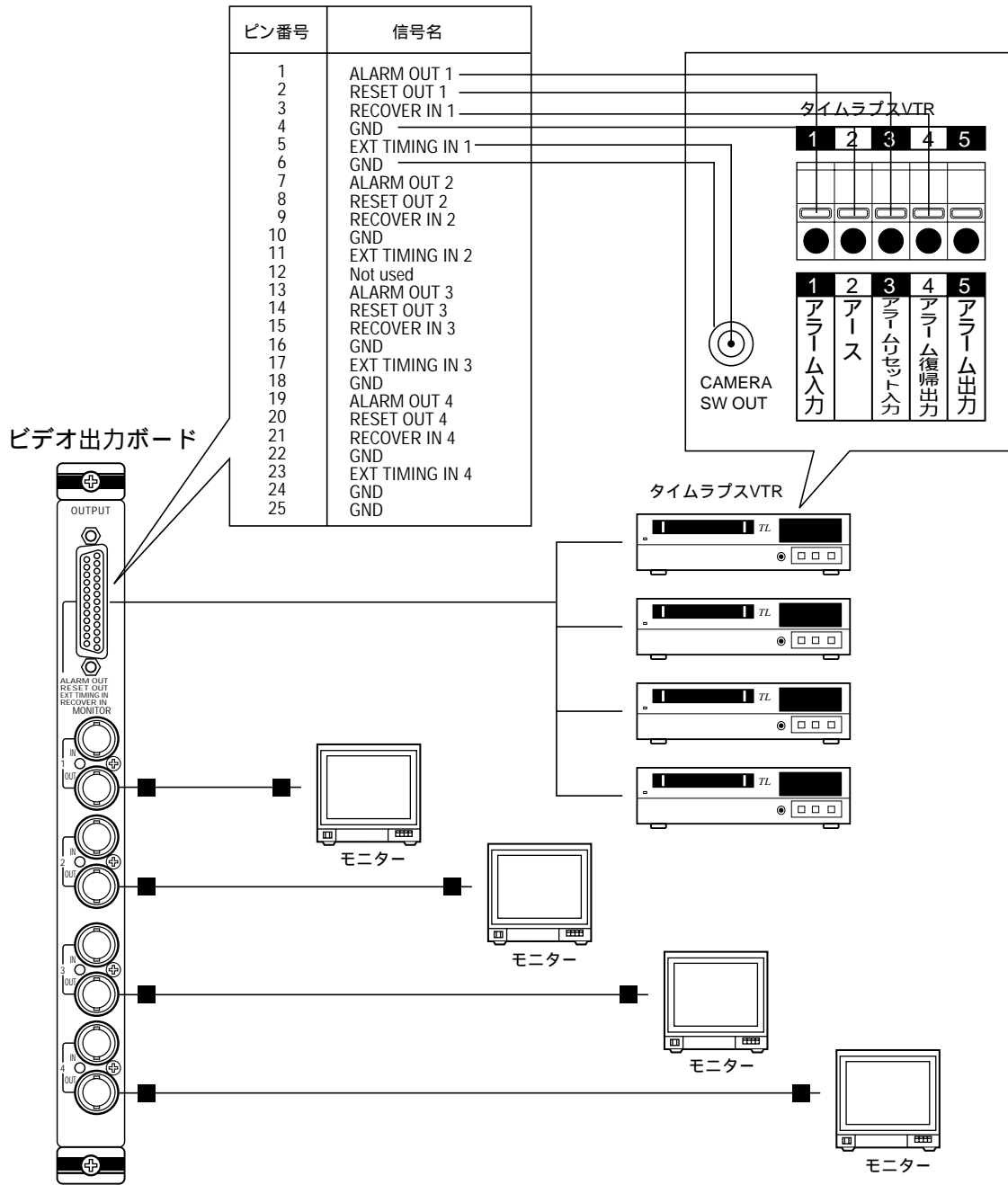
カメラ側とマトリクススイッチャーをつなぐケーブル長さは、5C-2Vのとき1200m以下にしてください。



接続のしかた

モニター及びタイムラプスVTRの接続

モニター及びタイムラプスVTRとビデオ出力ボードのコネクターを接続します。



重要

セットアップ画面の映像信号は、チラツキを抑えるため、ノンインターレス信号になっています。そのため、ビデオ出力ボードのMONITOR OUTをVTRや4画面分割ユニットに通すと文字が見えなくなったり、文字が上下に振動することがあります。

メモ

- タイムラプスVTRの映像出力を、ビデオ出力ボードのMONITOR INに接続すると、タイムラプスVTRの出力映像をモニターに表示することができます（拡張映像入力）。詳しくは「操作編 6. 映像の操作」をお読みください。
- 25ピンコネクタの配線処理方法は本章の「コネクタの組み立てかた」をお読みください。

システムコントローラーの接続

システムコントローラーは次の3つの方法で接続することができます。

1. ホームラン（1対1）接続
2. バス（ディジーチェーン）接続
3. 1と2の組み合わせ

機器の配置や運用方法に合わせて接続方式を選択します。

- バス接続、またはバス接続とホームラン接続を組み合わせる場合
コントロールボードのCN13をCLOSEに設定してください。
- ケーブルについて
データ伝送中にノイズが入ると、希望した操作ができないことがあります。ケーブルは、システムコントローラー付属のケーブルを使用してください。システムコントローラーに付属の6極6芯ケーブル(約3m)を使用しないとき、または延長するときは、223ページを参照してデータ伝送用のRS-485相当（2×ツイストペア/シールド）ケーブルを現地調達してください。
- システムコントローラーの台数について
コントロールボードに接続できるシステムコントローラーの台数は、接続方式にかかわらず合計8台までです。

モードスイッチの設定

重要

システムコントローラーのモード、ユニット番号は、システムコントローラーの電源をONにしたときに確定されますので、電源がOFFの状態を設定した後、電源をONにしてください。

すべてのシステムコントローラー後面にあるモードスイッチ [MODE] を図のように設定してください。



メモ

CAM-Pモードを使用しないときは右図のように設定することもできます（工場出荷時）。

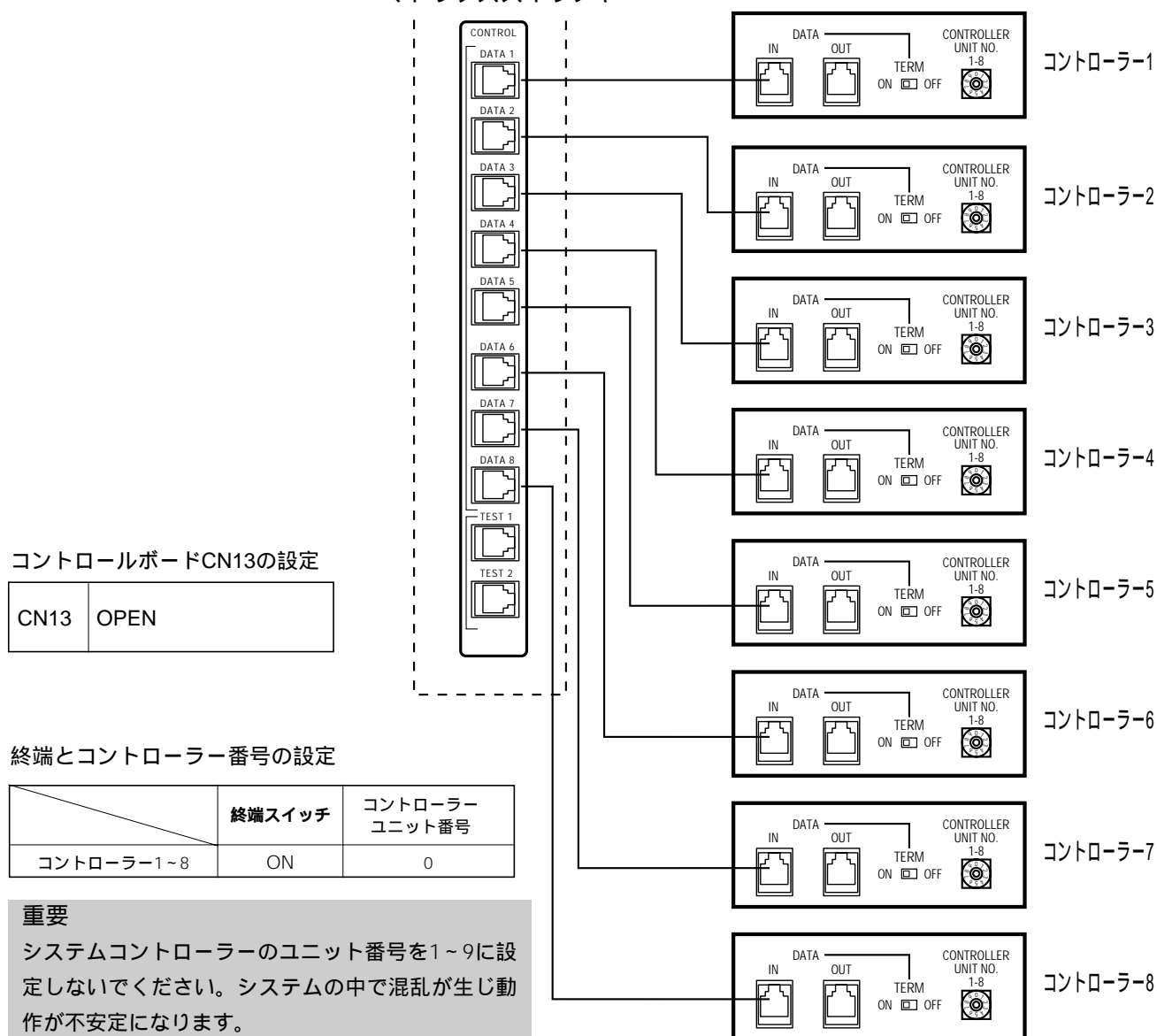


ホームラン接続（1対1接続）

- 図のようにコントロールボードとシステムコントローラーを1対1で接続します。
- コントロールボードの [DATA1] ~ [DATA8] コネクタとシステムコントローラー背面の [DATA IN] コネクタをケーブルで接続します。
- すべてのシステムコントローラーの終端スイッチ (TERM) を「ON」にします。
- システムコントローラーのユニット番号は、0 に設定してください。この番号とモニターに表示される番号は関係ありません。
- 状態表示モニター及びセットアップの状態表示画面には、[DATA1] に接続したシステムコントローラーは1, [DATA8] に接続したシステムコントローラーは8として表示されます。

ホームラン接続例

マトリクススイッチャー



バス接続（デージーチェーン接続）

- コネクター（系統）ごとにシステムコントローラーを4台まで接続できます。システム全体で、合計8台まで接続できます。
- 1台目のシステムコントローラーの [DATA OUT] と2台目の [DATA IN] を接続します。同様に3台目、4台目を接続します。
- 終端スイッチは同一系統上で最後尾に接続されているシステムコントローラだけ TERM「ON」にし、他はTERM「OFF」とします。ユニット番号は、コントロールボードのコネクターに近い順に1,2,3,4をそれぞれのスイッチで設定してください。

重要

- バス接続で接続できる台数は、1系統当たり4台までです。この数を超えて接続しないでください。5台以上接続すると、動作が不安定になります。
- システムコントローラーのユニット番号は、0や9に設定しないでください。システムの中で混乱が生じ動作が不安定になります。
- システムコントローラーのユニット番号は、同一系統内で同じ番号が重複しないように設定してください。
- バス接続では、状態表示モニター及びセットアップの状態表示画面のシステムコントローラー番号は、接続したコントロールボードのコネクター番号によって決まります。下図の場合コントローラー3はDATA1コネクターに接続されているため、表示は1になります。
- バス接続は、同じ室内で同じオペレーターが場所を変えて操作するような場合に適しています。同一系統に接続された複数のシステムコントローラーを同時に操作すると、レスポンスが悪化することがあります。

バス（デージーチェーン） 接続例

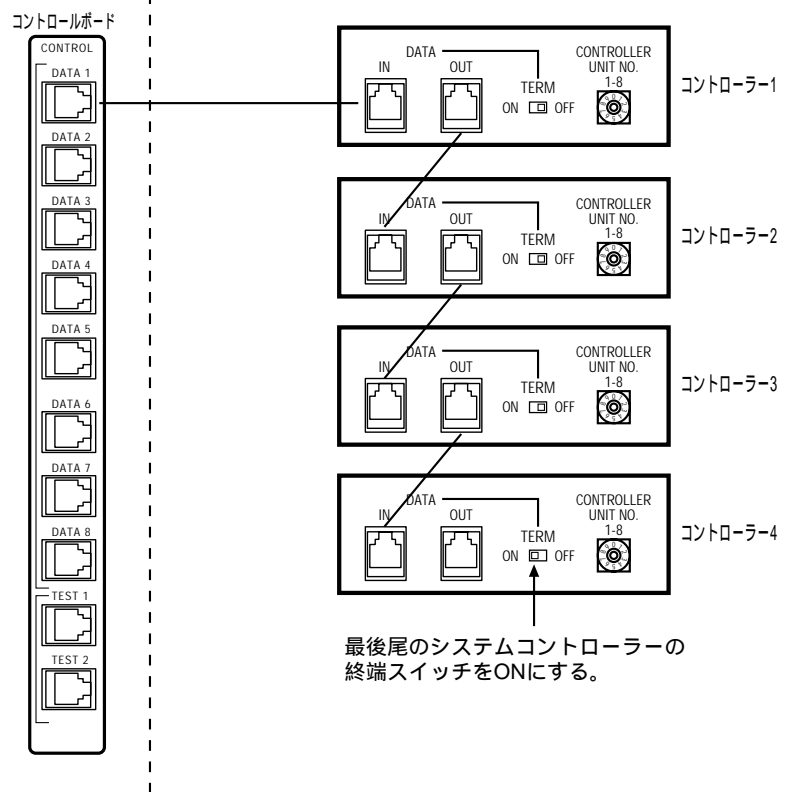
コントロールボードCN13の設定

CN13	CLOSE
------	-------

終端とコントローラー番号の設定

	終端スイッチ	コントローラー ユニット番号
コントローラー1	OFF	1
コントローラー2	OFF	2
コントローラー3	OFF	3
コントローラー4	ON	4

マトリクススイッチャー

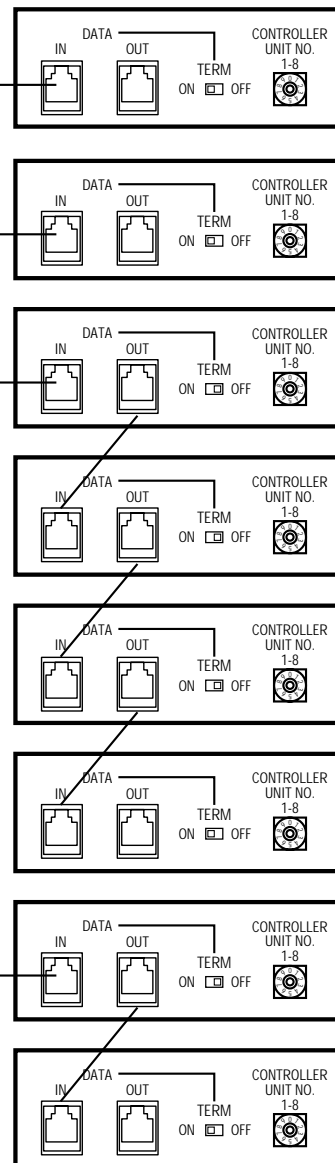
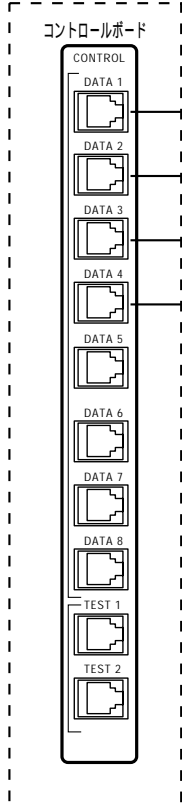


1対1とバス接続（デジチェーン）との複合接続

図のように1対1接続とバス（デジチェーン）接続を併用します。表にシステムコントローラーの終端スイッチ状態、ユニット番号の設定、また状態表示上のシステムコントローラー番号を示します。バス（デジチェーン）接続時における注意を前ページに記載しています。注意事項を読んでから接続してください。

1対1とバス（デジチェーン）接続との複合接続例

マトリクススイッチャー



コントローラー1

コントローラー2

コントローラー3

コントローラー4

コントローラー5

コントローラー6

コントローラー7

コントローラー8

コントロールボードCN13の設定

CN13	CLOSE
------	-------

終端とコントローラー番号の設定

	終端スイッチ	コントローラー ユニット番号	状態表示上の コントローラー番号
コントローラー1	ON	1から8のなかで任意	1
コントローラー2	ON	1から8のなかで任意	2
コントローラー3	OFF	1	3
コントローラー4	OFF	2	3
コントローラー5	OFF	3	3
コントローラー6	ON	4	3
コントローラー7	OFF	1	4
コントローラー8	ON	2	4

ケーブルの延長

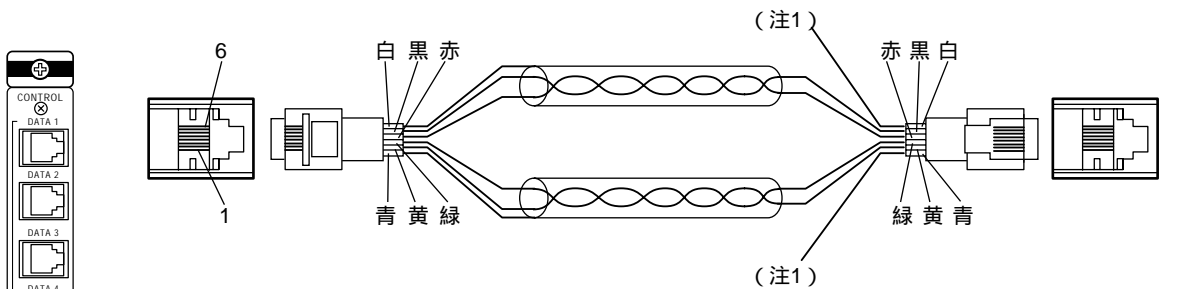
システムコントローラーの接続用に付属の6極6芯ケーブル（約3m）が短いときはデータ伝送用RS-485相当のケーブルを現地調達してください。

推奨ケーブル：2×ツイストペア/シールド線タイプ（AWG22）最大1200m

重要（注1）
 ケーブルを延長するとノイズが入りやすくなります。データ伝送中にノイズが入ると、希望した操作ができないことがあります。ノイズ対策として電氣的絶縁をとる場合、シールドの片側（例えばマトリクススイッチャー側）のみをGNDに接続するようになしてください。

マトリクススイッチャー側

システムコントローラー側

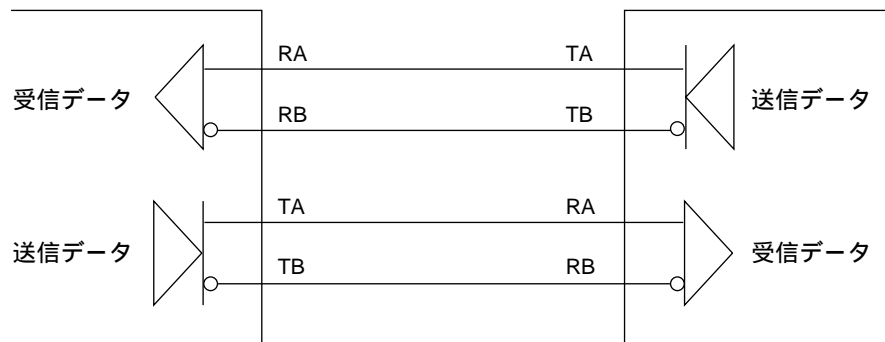


ピン番号	線色	機能名 2		信号方向
		1	2	
		コントロールポ	システムコントロー	
		ード側	ラー側	
1	青	GND	GND	
2	黄	RB	TB	スイッチャー → コントローラー
3	緑	RA	TA	スイッチャー → コントローラー
4	赤	TB	RB	スイッチャー → コントローラー
5	黒	TA	RA	スイッチャー → コントローラー
6	白	GND	GND	

- 1 線色は付属の6極6芯ケーブルの場合です。
- 2 内部ブロックは下図のようになっています。

マトリクススイッチャー

システムコントローラー



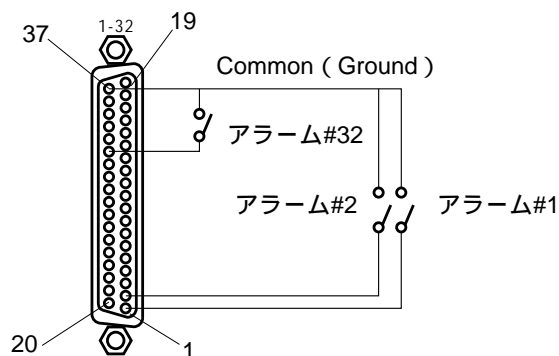
接続のしかた

アラーム（センサー）との接続

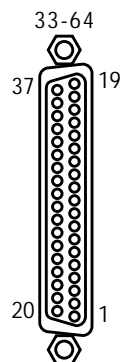
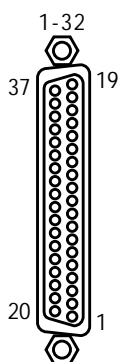
アラームボードの37P入力コネクタの接続は図のように行ってください。
ピン番号と機能の割り当ては下表のとおりです。

ノーマルオープンまたはノーマルクローズのアラームセンサーを使用してください

アラーム接続例



ピン番号と機能の割り当て



ピン番号	機能名		ピン番号	機能名	
	ボード番号1	ボード番号2		ボード番号1	ボード番号2
1	Alarm1	Alarm65	20	Alarm20	Alarm84
2	Alarm2	Alarm66	21	Alarm21	Alarm85
3	Alarm3	Alarm67	22	Alarm22	Alarm86
4	Alarm4	Alarm68	23	Alarm23	Alarm87
5	Alarm5	Alarm69	24	Alarm24	Alarm88
6	Alarm6	Alarm70	25	Alarm25	Alarm89
7	Alarm7	Alarm71	26	Alarm26	Alarm90
8	Alarm8	Alarm72	27	Alarm27	Alarm91
9	Alarm9	Alarm73	28	Alarm28	Alarm92
10	Alarm10	Alarm74	29	Alarm29	Alarm93
11	Alarm11	Alarm75	30	Alarm30	Alarm94
12	Alarm12	Alarm76	31	Alarm31	Alarm95
13	Alarm13	Alarm77	32	Alarm32	Alarm96
14	Alarm14	Alarm78	33	Not used	Not used
15	Alarm15	Alarm79	34	Not used	Not used
16	Alarm16	Alarm80	35	Not used	Not used
17	Alarm17	Alarm81	36	Ground	Ground
18	Alarm18	Alarm82	37	Ground	Ground
19	Alarm19	Alarm83			

ピン番号	機能名		ピン番号	機能名	
	ボード番号1	ボード番号2		ボード番号1	ボード番号2
1	Alarm33	Alarm97	20	Alarm52	Alarm116
2	Alarm34	Alarm98	21	Alarm53	Alarm117
3	Alarm35	Alarm99	22	Alarm54	Alarm118
4	Alarm36	Alarm100	23	Alarm55	Alarm119
5	Alarm37	Alarm101	24	Alarm56	Alarm120
6	Alarm38	Alarm102	25	Alarm57	Alarm121
7	Alarm39	Alarm103	26	Alarm58	Alarm122
8	Alarm40	Alarm104	27	Alarm59	Alarm123
9	Alarm41	Alarm105	28	Alarm60	Alarm124
10	Alarm42	Alarm106	29	Alarm61	Alarm125
11	Alarm43	Alarm107	30	Alarm62	Alarm126
12	Alarm44	Alarm108	31	Alarm63	Alarm127
13	Alarm45	Alarm109	32	Alarm64	Alarm128
14	Alarm46	Alarm110	33	Not used	Not used
15	Alarm47	Alarm111	34	Not used	Not used
16	Alarm48	Alarm112	35	Not used	Not used
17	Alarm49	Alarm113	36	Ground	Ground
18	Alarm50	Alarm114	37	Ground	Ground
19	Alarm51	Alarm115			

メモ

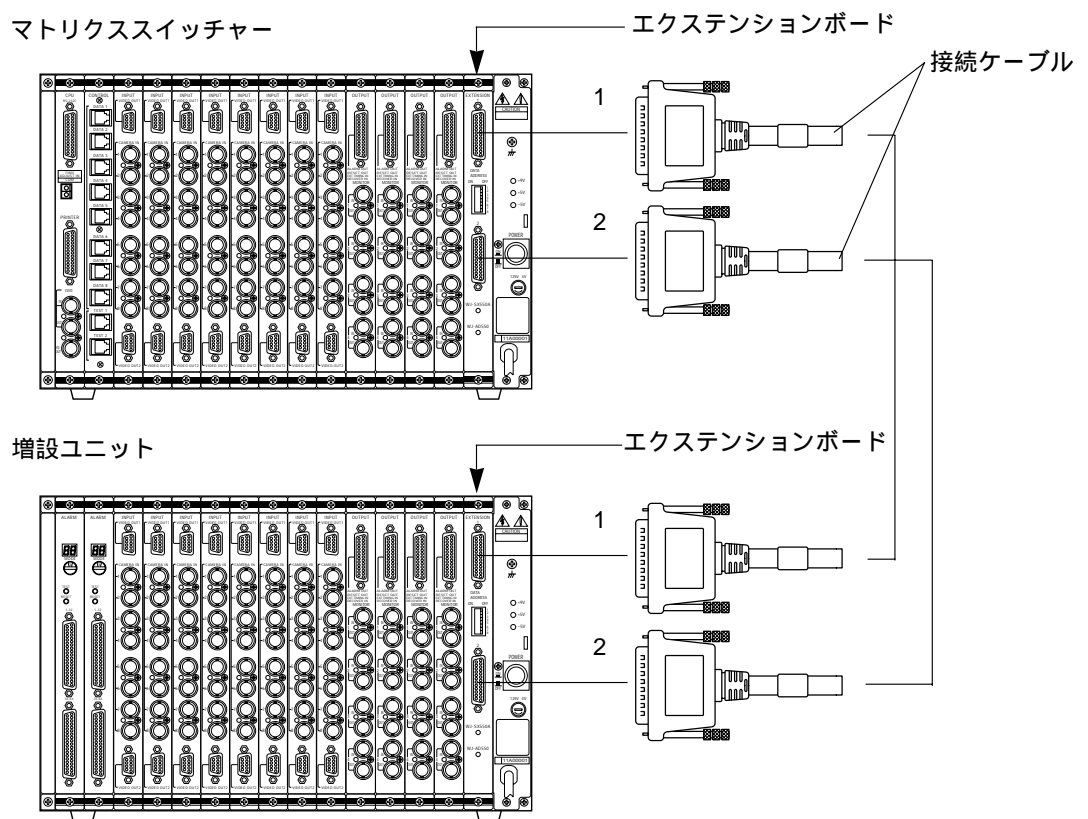
- ボード番号はアラームボード上のユニットアドレススイッチ（SW1）で設定します。設定のしかたは「1. ボードの設定」をご覧ください。
- 37ピンコネクタの配線処理方法はコネクタの組み立てかたをご覧ください。

増設ユニットとの接続

増設ユニット（WJ-AD550）をご使用になるときは以下のようにマトリクススイッチャー本体と接続します。あわせて増設ユニットの取扱説明書をお読みください。

エクステンションケーブルの接続

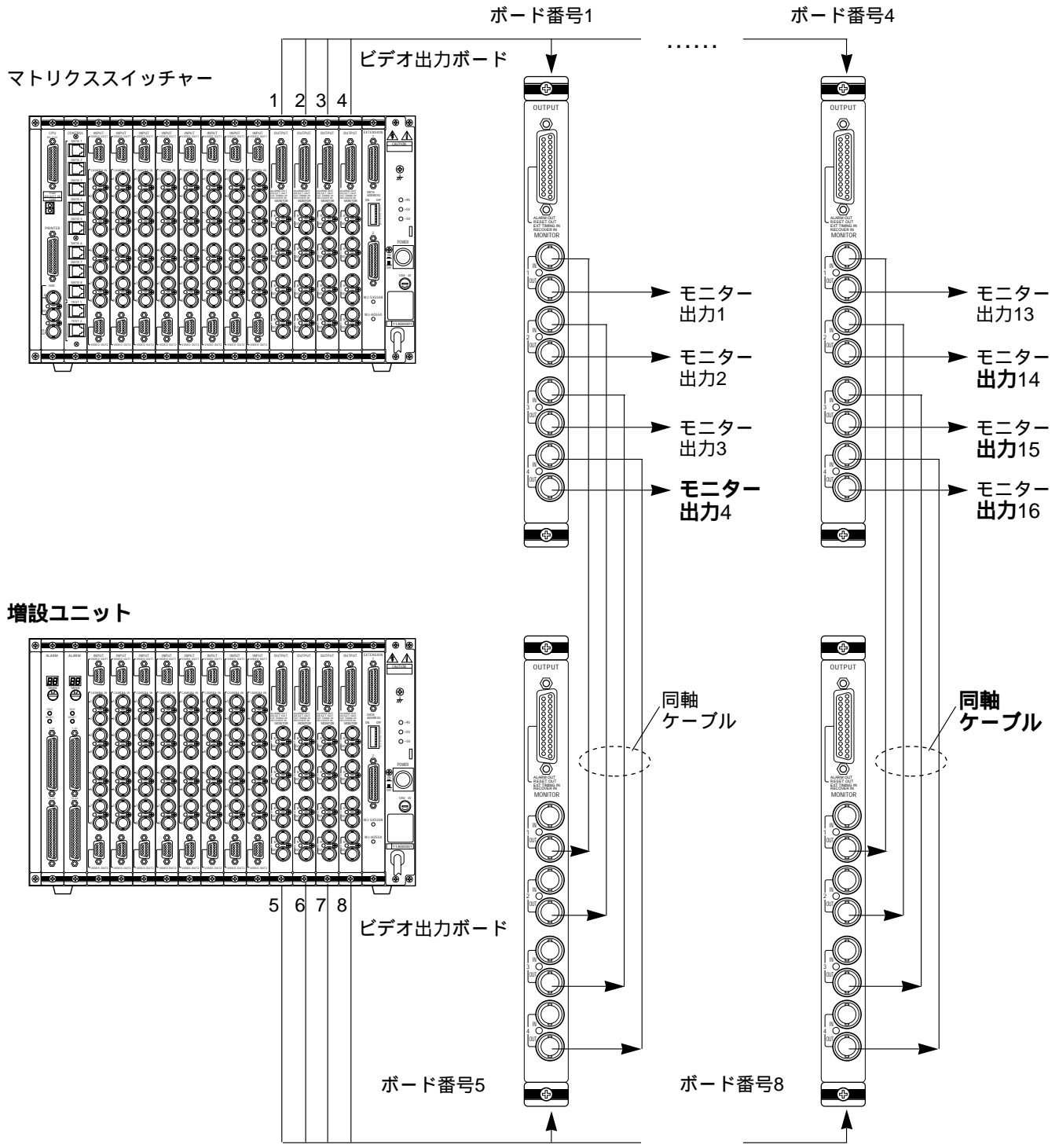
エクステンションボードのスイッチ設定を行ったうえで、マトリクススイッチャー本体、増設ユニットの双方にエクステンションボードを組み込みます。付属の接続ケーブル（エクステンションケーブル）で下図のように接続してください。



接続のしかた

ビデオ出力ボードの連結

映像出力は下図のようにマトリクススイッチャーと増設ユニットのビデオ出力ボード本体を同軸ケーブルで接続してください。



重要

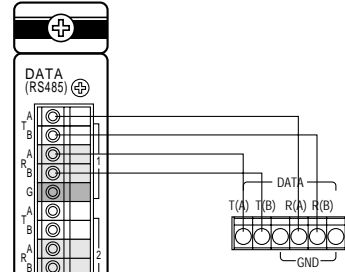
- ビデオ出力ボードはマトリクススイッチャー本体に組み込むボード数と同じボード数が増設ユニットに必要となります。
- モニター及びタイムラプスVTRはマトリクススイッチャー本体のビデオ出力ボードに接続します。増設ユニットのビデオ出力ボードには接続できません。
- 拡張映像入力が増設ユニットのビデオ出力ボードに接続してください。

データボードを使用する場合

重要

データボードを使用する場合、カメラ電源がOffの間、正しくカメラの状態を表示できません（「操作編 12. カメラの状態表示」）。

データボードとカメラコントローラーの接続例を右図に示します。RS-485 Site Communicationメニューで通信条件を設定します。



•マトリクススイッチャーの設定例

Daisy		Off							
Camera In Number	F/H	Duplex	Delay Time	Baud Rate	Wait Time	Data Bit	Parity Check	Stop Bit	
#1	02	Full	Off	19200	Off	8	None	1	
#2	04	Half	Off	9600	Off	8	None	1	
#3	06	Full	1.00	19200	Off	8	None	1	
#4		Full	Off	19200	Off	8	None	1	
#5	10	Full	Off	1200	Off	8	None	1	
#6		Full	Off	19200	Off	8	None	1	
#7		Full	Off	19200	Off	8	None	1	
#8		Full	Off	19200	Off	8	None	1	

When Daisy Mode is "on" only #1 will be available

F1: -- F2: -- F3: DEL F4: Pop Up

•カメラコントローラーの設定例

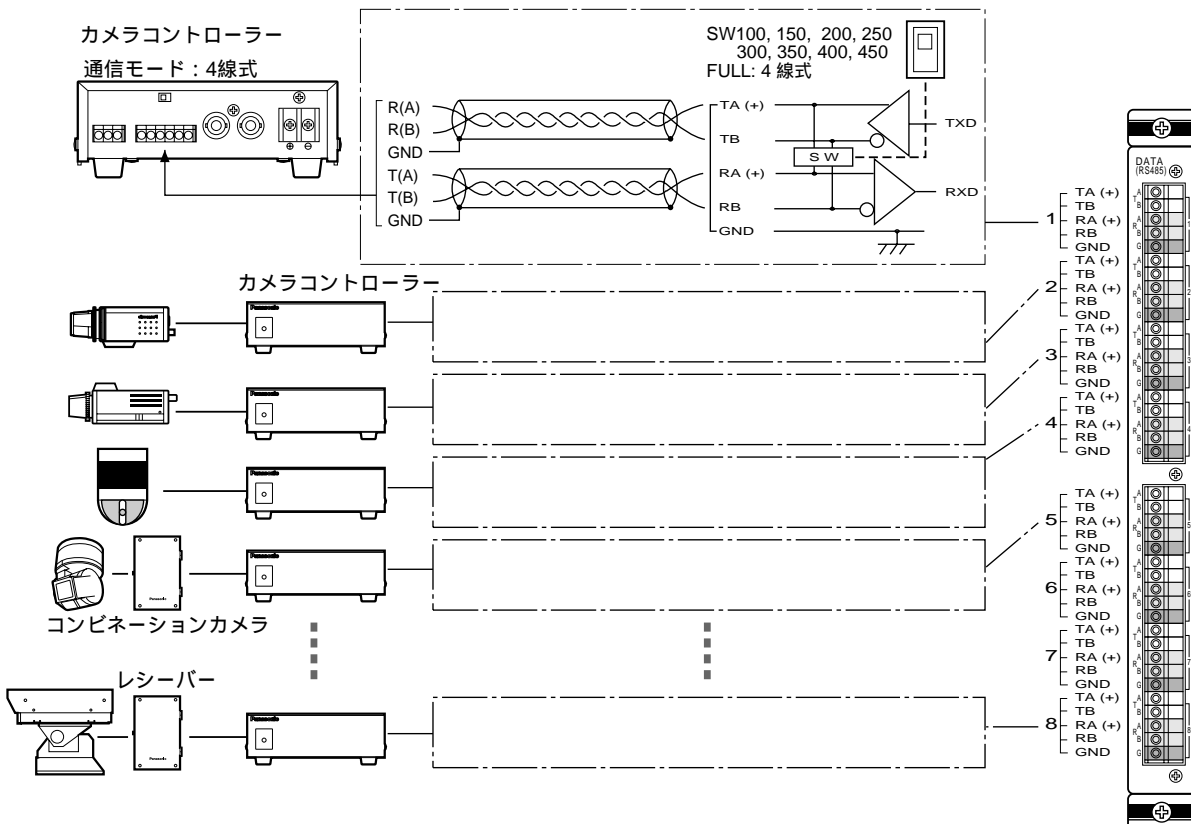
```

** Communication **
Unit Number      1
Baud Rate        19200
Data Bit          8
Parity Check      None
Stop Bit          1
Xon/Xoff          Not Use
Wait Time         Off
Delay Time         Off
Alarm Data        Off
Return
    
```

•1対1接続

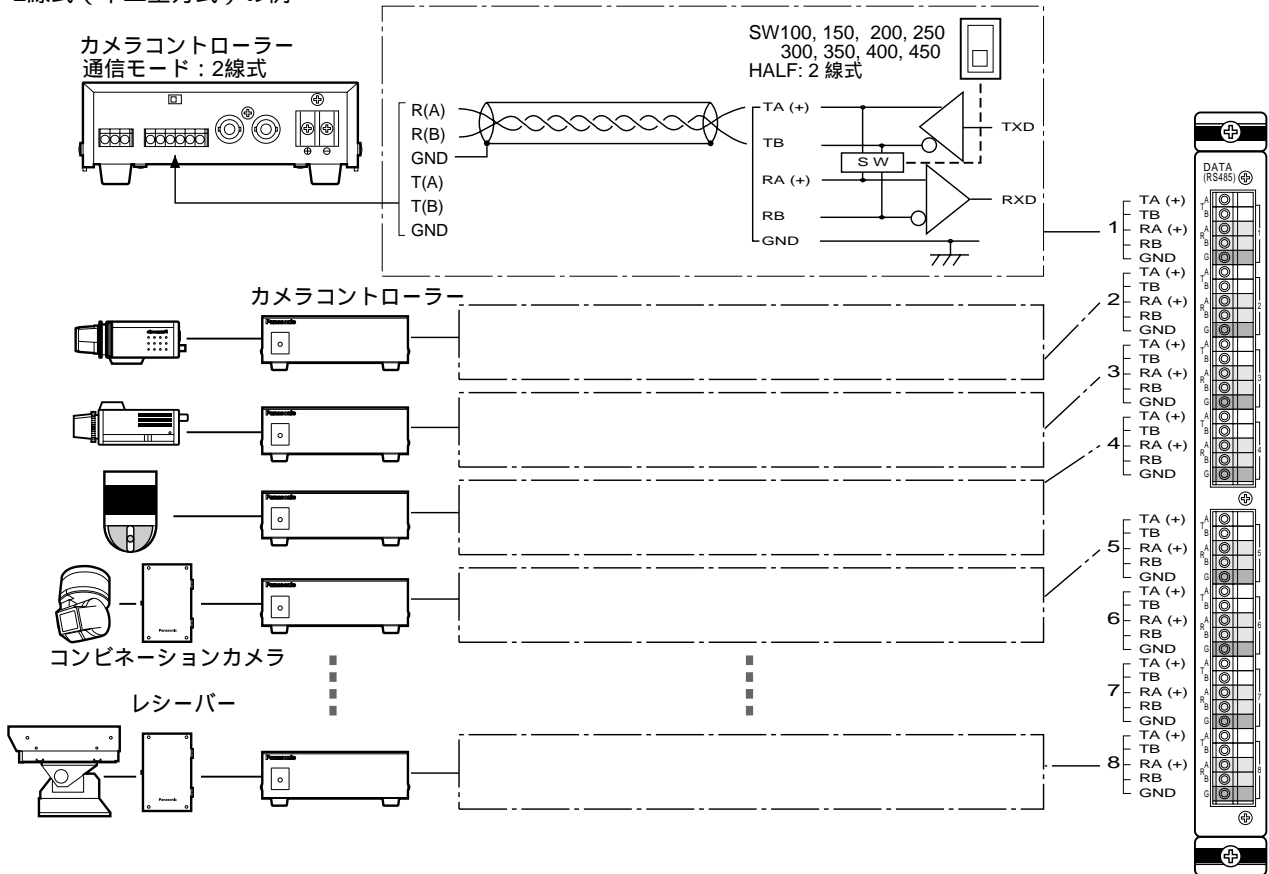
データボードのデータポートに、周辺機器を1台接続する例を下図に示します。

•4線式（全二重方式）の例



接続のしかた

• 2線式（半二重方式）の例



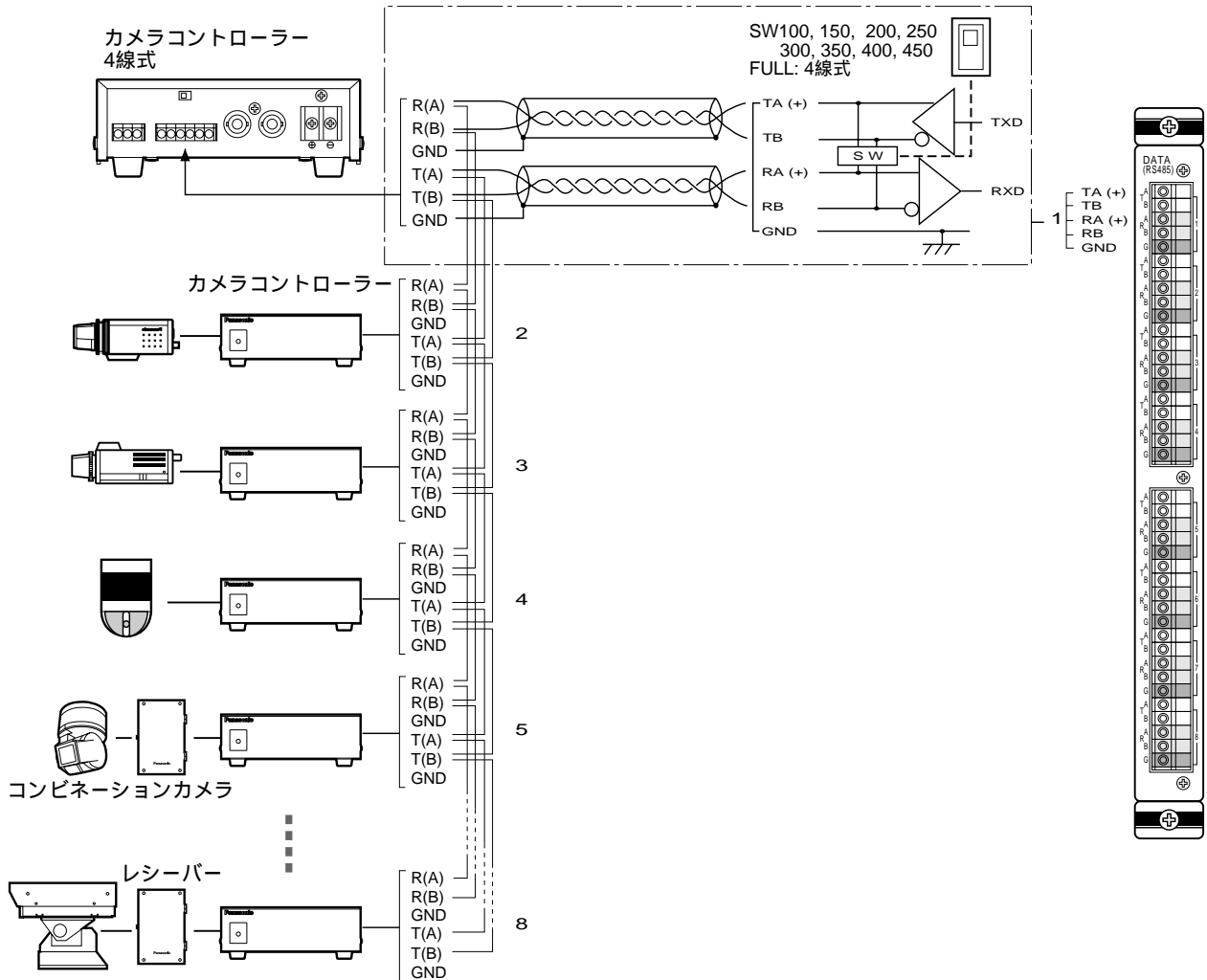
• 本機とカメラコントローラーのセットアップメニューは、下表のように設定してください。

設定項目	機種	本機 WJ-SX550B	カメラコントローラー WV-RM70
		F/H Duplex	Full or Half
Baud Rate		19200	19200
Data Bit		8	8
Parity Check		None	None
Stop Bit		1	1
Wait time		Off	Off
Delay Time		Off	Off
			Xon / Xoff : Not use
			Alarm Data : On
		Daisy : Off	Unit Number : Not use

• ディジーチェーン接続

データボードにディジーチェーン接続で周辺機器を接続する例を下図に示します。

• 4線式



接続のしかた

設定項目	機種	本機 WJ-SX550B	カメラコントローラー WV-RM70
Daisy : On		F/H Duplex : Full	
		Camera In Number #1 ---	Unit Number : 1
		Camera In Number #2 ---	Unit Number : 2
		Camera In Number #3 ---	Unit Number : 3
		Camera In Number #4 ---	Unit Number : 4
		Camera In Number #5 ---	Unit Number : 5
		Camera In Number #6 ---	Unit Number : 6
		Camera In Number #7 ---	Unit Number : 7
	Camera In Number #8 ---	Unit Number : 8	

重要

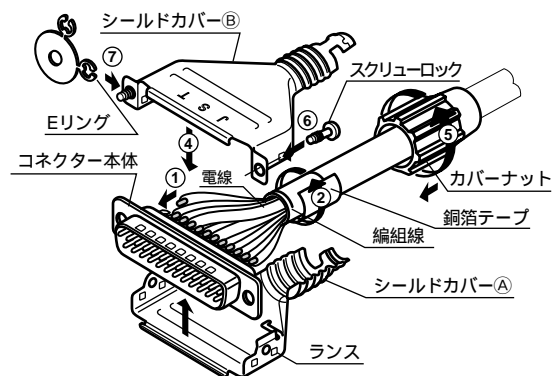
- 2線式（半二重）通信で、ディジーチェーンで各機器を接続することはできません。
- ディジーチェーン接続の場合、アラームデータだけ通信できます。カメラコントローラーのモードスイッチは、“NORMAL” に設定してください。また、“ALARM OFF” に設定してください。

コネクターの組み立てかた

次の手順で組み立ててください。

- ①コネクタ本体と電線をはんだ付けする。
- ②シールド編組線を外被に沿って折り返しその上に銅箔テープ（現地調達）を巻く。
- ③コネクタ本体をシールドカバーAに収納。
- ④シールドカバーBをシールドカバーAに沿って合せ、カバーのランスが掛かるまで押し込む。
- ⑤カバーナットを最後まで締めつける。
- ⑥スクリーロックを取り付ける。
- ⑦Eリングをセットする。

25ピンの例



37ピンコネクタも25ピンコネクタと同じ手順です。

付 録

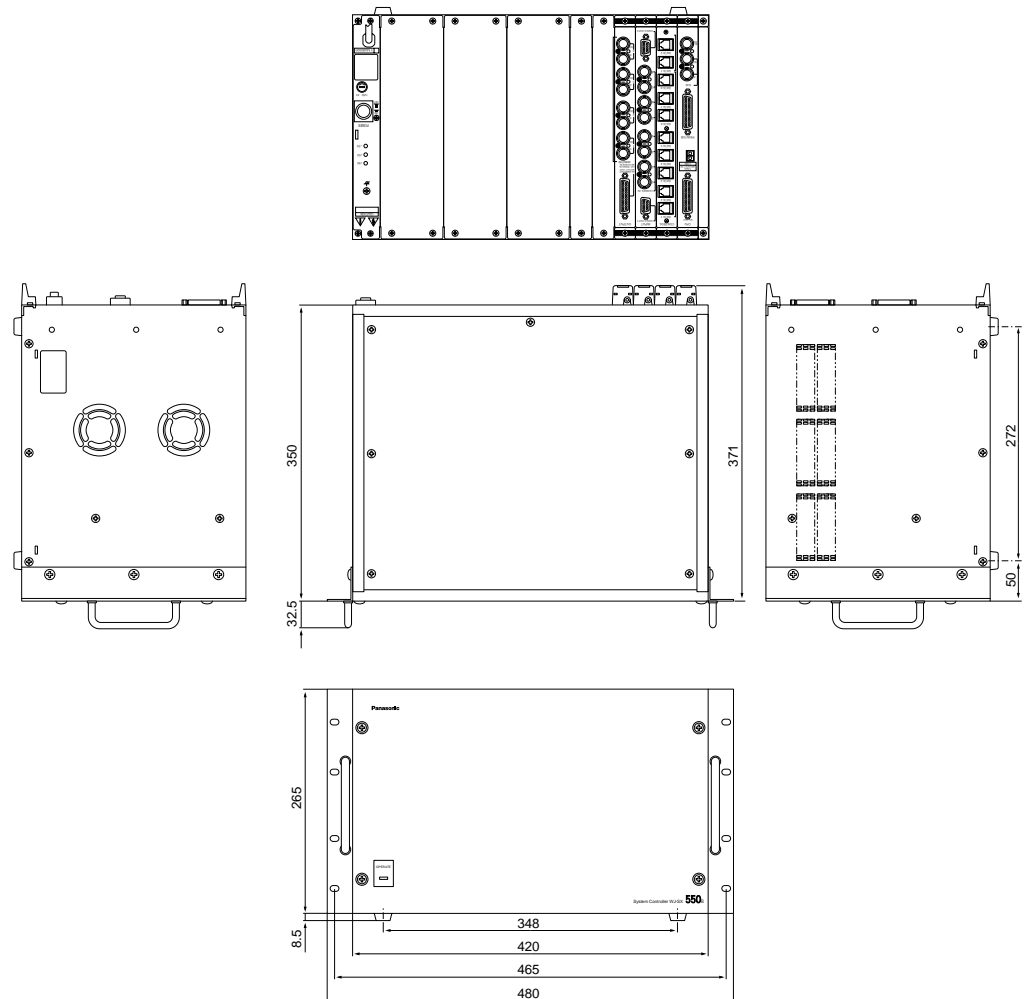
ここでは、マトリクススイッチャーシステムを構成する各機器の仕様や各種ボードの詳細について説明しています。

Appendix 1

仕 様

マトリクススイッチャー (WJ-SX550B)

外 観



付属品

コネクター (25ピン/ビデオ出力ボード用).....	1
取扱説明書 (本書).....	1
保証書.....	1

仕 様

使用温度範囲	: - 10 ~ + 50
使用湿度範囲	: 90 %未満
電 源	: AC100 V 50 / 60 Hz
消 費 電 力	: 約20 W (指定ボード組み込み時最大75 W)
ビデオ入力ボード (WV-PB5508)	: 最大8枚、標準装備1枚 (合計64入力、8入力/ボード)
ビデオ出力ボード (WV-PB5504A)	: 最大4枚、標準装備1枚 (合計16出力、4出力/ボード)
アラームボード (WV-PB5564)	: 最大1枚、標準装備なし (合計64入力、64入力/ボード)
データボード (WV-PB5548)	: 最大8枚、標準装備なし (合計64入出力、8入出力/ボード)
システムコントローラインターフェース数	: 8ポート
寸 法	: 幅480 mm 高さ265 mm 奥行き371 mm
質 量	: 約13.5 kg
仕 上 げ	: 前面パネル AVアイボリーエリオ鋼板、上カバー AVアイボリーエリオ鋼板、側面カバー AVアイボリー焼付塗装

• カメラ切り換え

表示時間設定	: 最小1秒 ~ 最大30秒、1秒単位
最大シーケンス数	: プログラムシーケンス16 (1プログラム1モニター) ツアーシーケンス32 (任意モニター) グループシーケンス8 (任意モニター)

• プログラミング

ステップ数	: 最大64
-------	--------

• タイマーイベントプログラム

イベント数	: 最大45イベント/日
イベントプログラム形式	: 曜日 + 指定の5特定日
特定日の設定数	: 最大48日

• アラームプログラム

アラーム入力	: 最大64 (増設ユニット使用時は最大128)
起動履歴呼出	: 最大99 (最新のものより99番目まで)
アラーム起動	: 3種類 (モード1、モード2、モード3)
イベント数	: 最大45イベント/日
イベントプログラム形式	: 曜日 + 指定の5特定日
特定日の設定数	: 最大48日

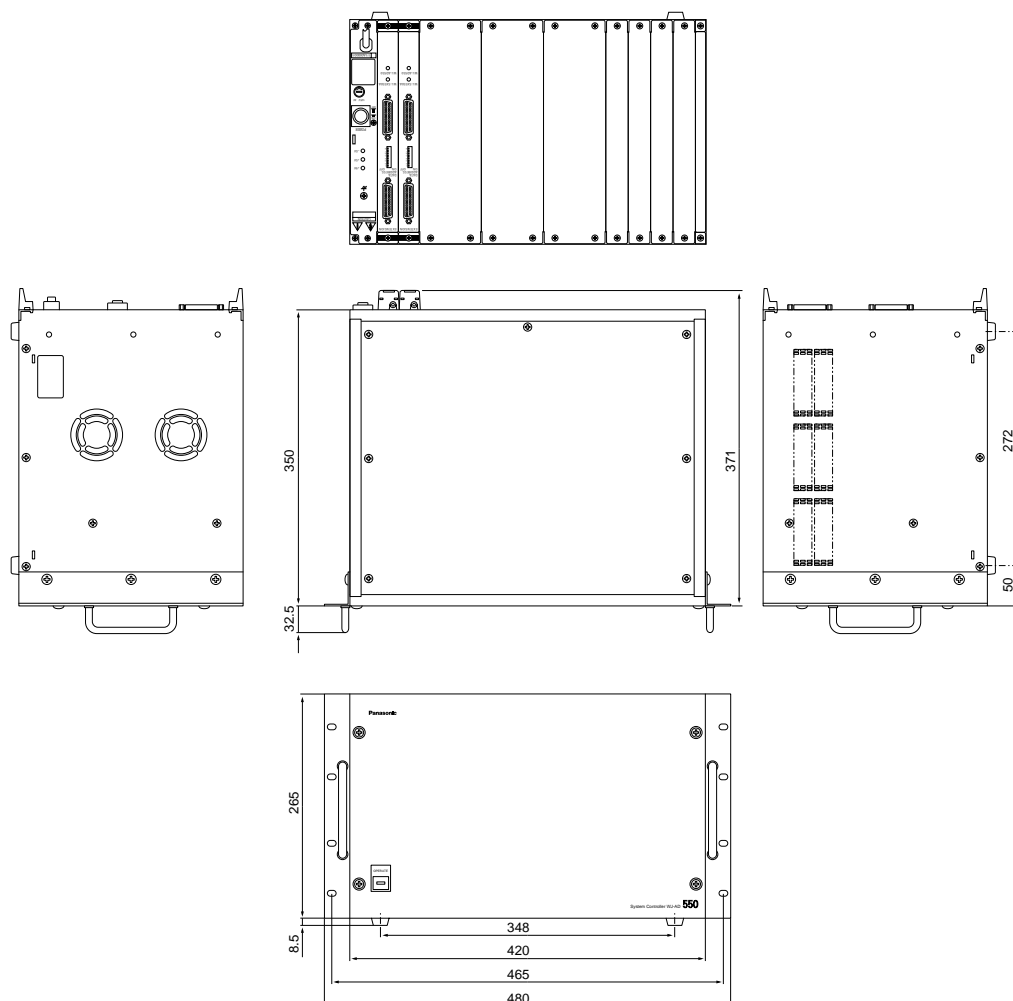
• オペレーターセットアップ

オペレーター登録数	: 最大30人
パスワード	: 5けた / オペレーター
優先権登録	: 1から30
操作許可レベル	: 5レベル

別売りの増設ユニットを使用する場合、1システムで8枚まで使用できます。

増設ユニット (WJ-AD550)

外 観



付属品

接続ケーブル (長さ1 m 25ピンD-Sub本体接続用).....	2
取扱説明書.....	1
保証書.....	1

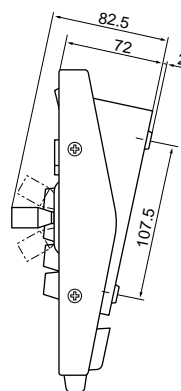
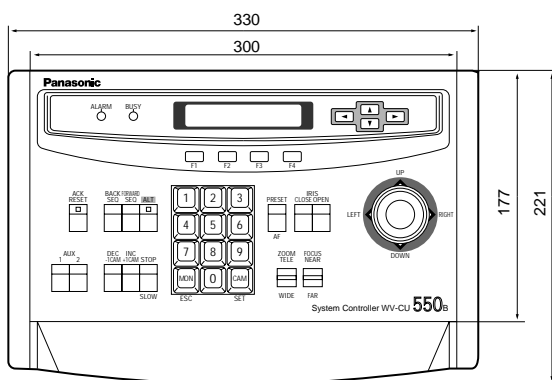
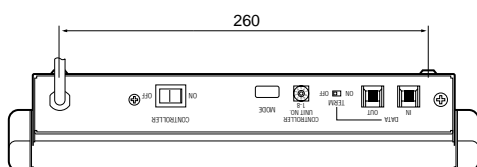
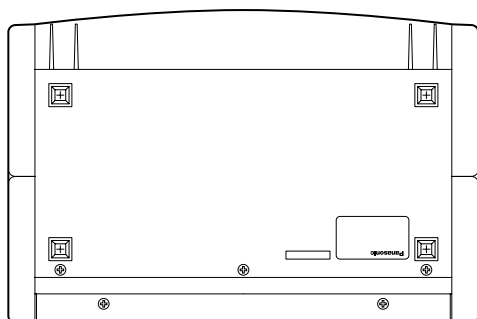
仕様

使用温度範囲	: - 10 ~ + 50
使用湿度範囲	: 90 %未満
電 源	: AC100 V 50 / 60 Hz
消 費 電 力	: 指定ボード組み込み時最大75 W
エクステンションボード数	: 2枚 (マトリクススイッチャー組み込み用1枚、WJ-AD550組み込み用1枚、内部スイッチで切り換え)
最大装着ボード数	: 14枚
装着可能なボード種類	
ビデオ入力ボード (WV-PB5508)	: 最大8枚、標準装備なし
ビデオ出力ボード (WV-PB5504A)	: 最大4枚、標準装備なし
アラームボード (WV-PB5564)	: 最大2枚、標準装備なし
データボード (WV-PB5564)	: 最大8枚、標準装備なし
寸 法	: 幅480 mm 高さ265 mm 奥行き371 mm
質 量	: 約12.5 kg
仕上げ	: 前面パネル...AVアイボリーエリオ鋼板 : 上カバー.....AVアイボリーエリオ鋼板 : 側面カバー...AVアイボリー焼付塗装

マトリクススイッチャー本体と合わせて、8枚まで使用できます。

システムコントローラー (WV-CU550B)

外 観



付属品

ラックマウント金具.....	1セット
日本語表示パネル.....	1
モジュラーケーブル (3m).....	1
取り付けねじ (M4 × 10).....	4
取扱説明書.....	1
保証書.....	1

仕 様

電 源	: AC100 V 50 / 60 Hz
消 費 電 力	: 約4 W
データ入出力	: 6極6芯 (RS-485 4線)
ユニット番号	: 0~8
使用温度範囲	: - 10 ~ + 50
使用湿度範囲	: 90 %未満
寸 法	: 幅330 mm 高さ74 mm 奥行き221 mm
質 量	: 約2.2 kg
仕上げ	: 前面パネル AVアイボリー焼き付け塗装 (マンセルN7.9Y6.8 / 0.8近似色) 底面カバー AVアイボリー焼き付け塗装 (マンセルN7.9Y6.8 / 0.8近似色)

リモートコントロール部

•システム操作

カメラ選択	: テンキー指定
モニター選択	: テンキー指定
シーケンス動作	: シーケンスの開始、停止、順送り、逆送り、+カメラ、-カメラ
アラーム	: 確認 / 復帰
文字タイトル	: 入 / 切
操作形態	: 通常操作 / セットアップ操作

•カメラ (該当機種のみ)

電子シャッター	: 入 / 切、シャッター速度設定
電子感度アップモード選択	: AUTO / MANUAL / OFF
電子ズーム	: 入 / 切
電子ズームアップ場所	: 領域設定
逆光補正	: AUTO / PRESET / OFF
絞 り	: 開 / 閉 / プリセット (直流電動ズームレンズのみ)

•レンズ (該当機種のみ)

焦 点	: 遠 / 近
ズ ー ム	: 望遠 / 広角
オートフォーカス	: 起動

•ハウジング (該当機種のみ)

ワイパー	: 入 / 切
デフロスター	: 入 / 切
カ メ ラ	: 入 / 切

•回転台制御 (該当機種のみ)

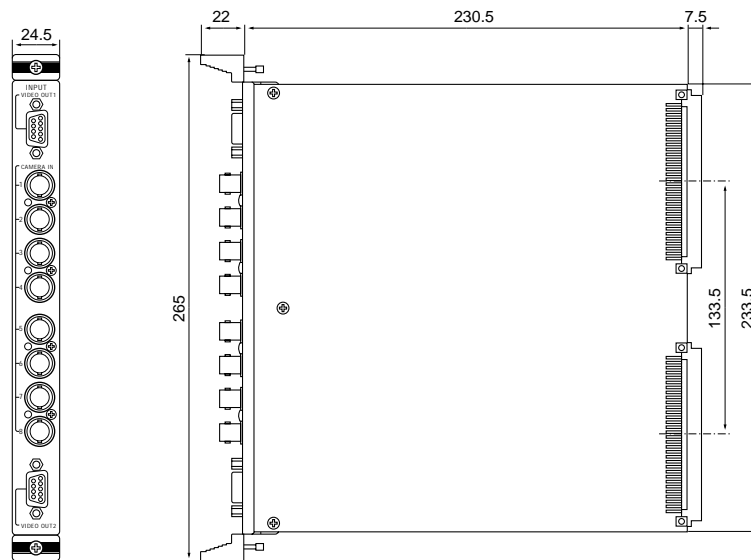
手動PAN	: 左 / 右
手動TILT	: 上 / 下
オートPAN	: 入 / 切
ランダムPAN	: 入 / 切
プリセット制御	: 可能

•外部機器制御

AUX1-2	: 入 / 切
--------	---------

ビデオ入力ボード (WV-PB5508)

外 観



付属品

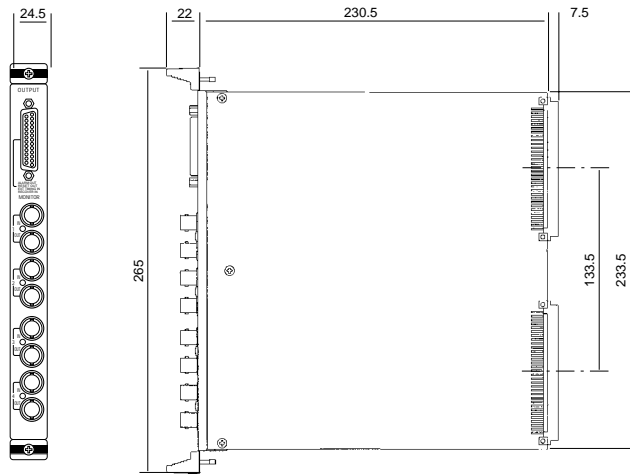
取扱説明書.....	1
保証書.....	1

仕 様

カメラ入力 (1-8)	: 1.0 V [p-p] / 75 コンボジット信号、0.5 V [p-p] / 75 データ (重畳) 2.5 V [p-p] / 75 垂直同期信号 (重畳)
映像出力 (1-2)	: 1.0 V [p-p] / 75 コンボジット信号、 D-Sub9ピンコネクター × 2
寸 法	: 幅24.5 mm 高さ265 mm 奥行き260 mm
質 量	: 約450 g

ビデオ出力ボード (WV-PB5504A)

外 観



付属品

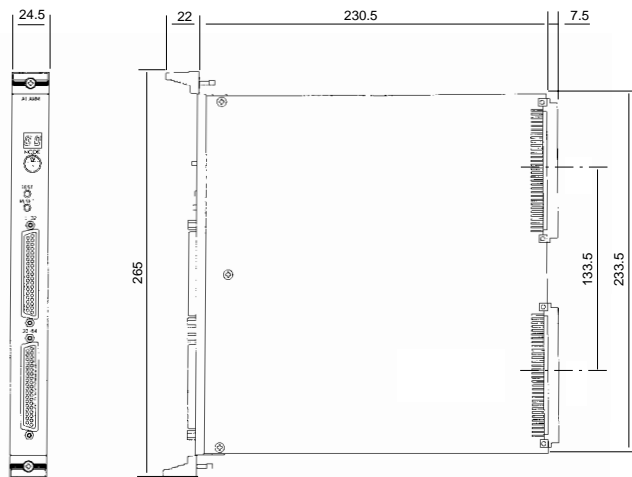
コネクター (25ピン).....	1
取扱説明書.....	1
保証書.....	1

仕 様

モニター出力 (1~4)	: 1.0 V [p-p] / 75 コンポジット信号 (文字信号多重映像出力)
モニター入力 (1~4)	: 1.0 V [p-p] / 75 コンポジット信号
アラーム出力 (1~4)	: オープンコレクター出力16 V、DC.100 mA 最大
リセット出力 (1~4)	: パルス (VTR) +5 V DC.500 ms またはオープンコレクター出力 16 V DC.100 mA 最大
外部タイミング入力 (1~4)	: パルス 5 V [p-p] 間隔1秒以上
リカバー入力 (1~4)	: メイク接点入力 (動作時間500ms以上) 間隔2秒以上
寸 法	: 幅24.5 mm 高さ265 mm 奥行き260 mm
質 量	: 約400 g

アラームボード (WV-PB5564)

外 観



付属品

コネクター (37ピン).....	2
取扱説明書.....	1
保証書.....	1

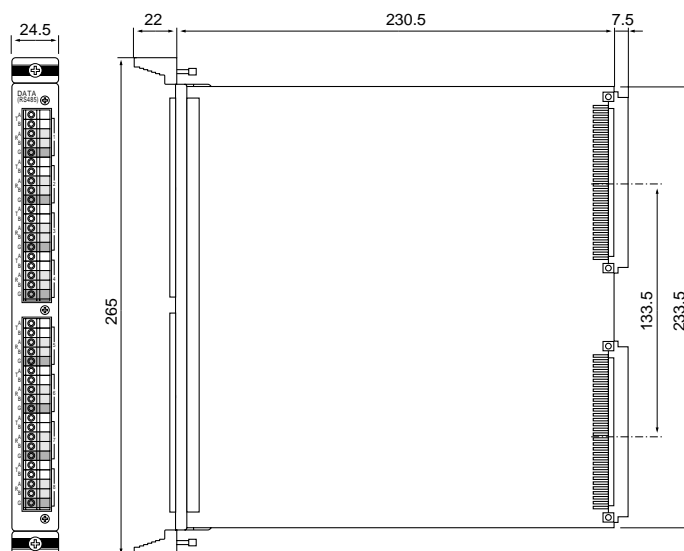
仕 様

アラーム入力 (1-64) : ノーマルオープン / ノーマルクローズ
選択可能、動作時間100 ms以上
D-Sub37ピンコネクター × 2

寸 法 : 幅24.5 mm 高さ265 mm 奥行き260 mm
質 量 : 約400 g

データボード (WV-PB5548)

外 観



付属品

取扱説明書.....	1
保証書.....	1

仕 様

RS485入力/出力 (1 - 8)	: RS-485 (全二重/半二重、選択スイッチで切り換え) [5-ピン T(A) T(B) R(A) R(B) GND] × 8
通信速度	: 1200 bps ~ 19200 bps (設定メニューで切り換え)
RS485ケーブル長	: 最大 1 200 m
ボードの番号	: 8 (1~8、合計1~64 入力/出力)
寸 法	: 幅24.5 mm 高さ265 mm 奥行き260 mm
質 量	: 400 g

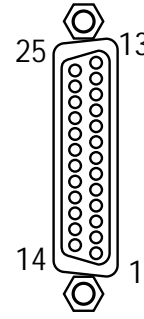
Appendix 2

ボードの詳細

CPUボード

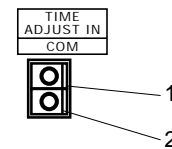
①RS-232Cポート [RS-232C]

- パソコンを使用する場合、パソコンのRS-232Cポートとこのポートとを接続します。接続の詳細は下表を参照してください。
- パソコンを使用する場合、制御用プログラムが必要となります。販売店にご相談ください。



ピン番号	機能名	方 向
1	(FG)	
2	SD	PC スイッチャー
3	RD	PC スイッチャー
4	RS	PC スイッチャー
5	CS	PC スイッチャー
6	DR	PC スイッチャー
7	SG	
8	CD	PC スイッチャー
20	ER	PC スイッチャー
他のピンは無接続		

ピン番号	機能名
1	信号
2	GND

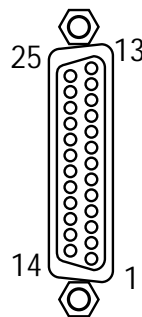


②時刻校正入力コネクタ [TIME ADJUST IN]

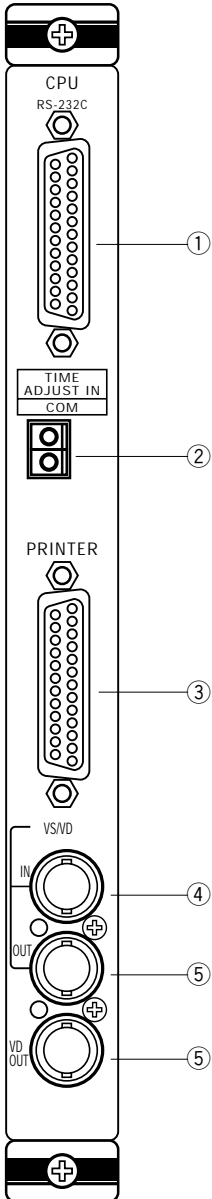
タイムラプスVTRからの時刻調整信号を入力します。マトリクススイッチャーとタイムラプスVTRとの時刻を合わせるためのコネクタです。

③プリンターポート [PRINTER]

プリンターを接続するためのポートです。プリンターを使用する場合、CPUボード内のCN14をオープンにしてください。



ピン番号	機能名	方 向
1	/STROBE	プリンター スイッチャー
2	DATA 0	プリンター スイッチャー
3	DATA 1	プリンター スイッチャー
4	DATA 2	プリンター スイッチャー
5	DATA 3	プリンター スイッチャー
6	DATA 4	プリンター スイッチャー
7	DATA 5	プリンター スイッチャー
8	DATA 6	プリンター スイッチャー
9	DATA 7	プリンター スイッチャー
10	/ACK	プリンター スイッチャー
11	BUSY	プリンター スイッチャー
12	(R)	モニター スイッチャー
13	(G)	モニター スイッチャー
14	(B)	モニター スイッチャー
15	(SYNC)	モニター スイッチャー
16	/PRIM	プリンター スイッチャー
17	無接続	
18	無接続	
19	GND	
20	GND	
21	GND	
22	GND	
23	GND	
24	GND	
25	GND	



メモ

- CPUボードのCN12が短絡状態のとき、ピン番号12から15にはRGB形式でシステム状態表示信号が出力されます。
- プリンタ使用時はCN12を開放にされることをおすすめします。

④VD/VS入力コネクタ [VD/VS IN]

VD (垂直同期信号) またはVS (ビデオ同期信号) を入力します。

重要

- このコネクタに入力された信号は、tVD/VS出力コネクタ [VD/VS OUT] へ、ループスルー出力されます。
- このコネクタにVD信号を入力するときは、基板内部のVD/VSスイッチSW4を「VD」に設定してください。なお工場出荷時には「VS」に設定されています。
- 外部同期信号に、VTR再生信号のようにジッター成分を含むものは使用しないでください。EIA RS-170規格に適合している外部同期信号を入力してください。

⑤VD/VS出力コネクタ [VD/VS OUT]

他の機器と同期を取るためにVD/VS同期信号を供給します。このコネクタには④VD/VS入力コネクタ [VD/VS IN] へ入力された信号がループスルーされて出力されます。

重要

このコネクタを使う場合、④VD/VS入力コネクタ [VD/VS IN] へVD/VS信号を入力する必要があります。

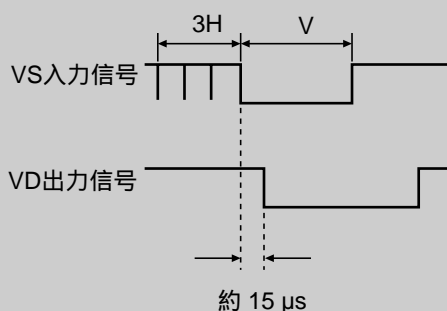
⑥VD出力コネクタ [VD OUT]

他の機器と同期を取るために、VD同期信号を供給します。

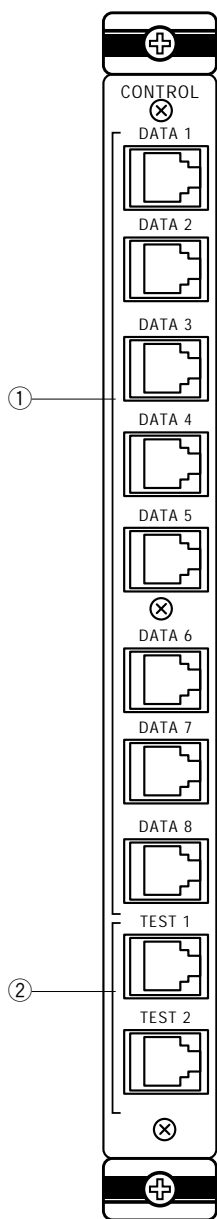
システム構成上同期出力信号を必要としない場合、このコネクタは基板内部の設定によって状態表示出力コネクタとして利用できます。この場合、ジャンパーコネクタCN14の設定をVD側 (工場出荷時) からGRAPHIC側に変更してください。

重要

- ④VD/VS入力コネクタ [VD/VS IN] に外部から入力がない場合、内部VD信号が出力されます。
- ④VD/VS入力コネクタ [VD/VS IN] にVD信号が入力される場合、VD信号が出力されます。
- ④VD/VS入力コネクタ [VD/VS IN] にVS信号が入力される場合、下図のようにVS信号の垂直同期に対して約15 μ s遅れたVD信号が出力されます。

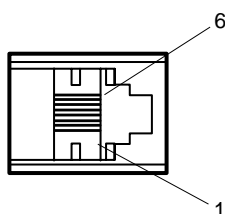


コントロールボード



①データポート [DATA 1-8]

システムコントローラ-WV-CU550Bとの間でデータの授受を行うためのコネクタで、合計8ポートあります。WV-CU550Bに付属のケーブルで、システムコントローラと接続します。ケーブルを最大1200mまで延長するときはRS-485仕様の2×シールド付ツイストペア線を使用します。



ピン番号	機能名	方 向
1	GND	
2	RB	スイッチャー コントローラー
3	RA	スイッチャー コントローラー
4	TB	スイッチャー コントローラー
5	TA	スイッチャー コントローラー
6	GND	

システムコントローラー側の名称です。

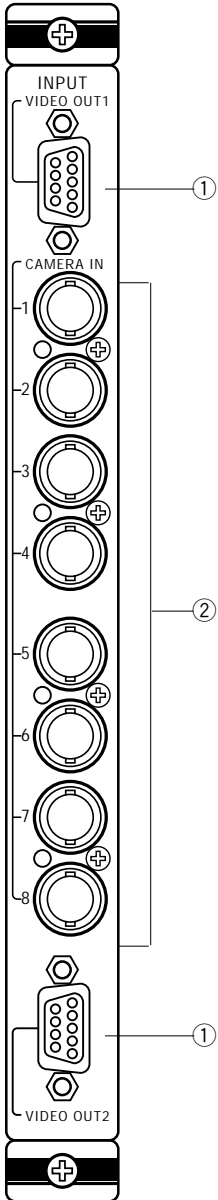
②テストポート [TEST 1-2]

使用しません。

重要

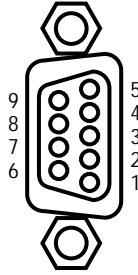
工場調整用です。使用しないでください。

ビデオ入力ボード



①ビデオ出力コネクタ [VIDEO OUT 1,2]

このコネクタからは、制御信号成分が取り除かれたビデオ信号が出力されます。マトリクススイッチャーの電源スイッチがOFFの場合このコネクタから信号は出力されません。別売のジョイントケーブルWV-CA64をお使いください。



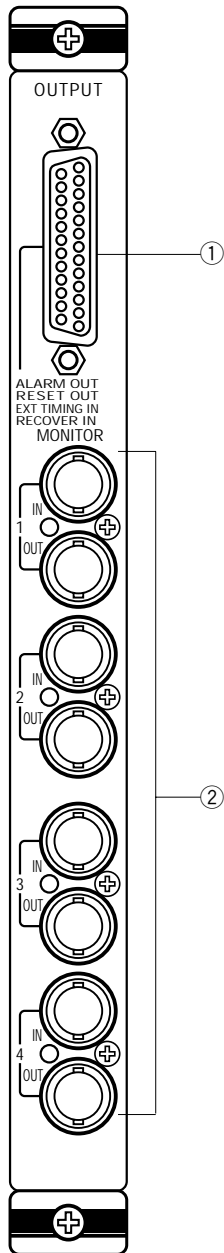
ピン番号	VIDEO OUT 1	VIDEO OUT 2
1	Not used	Not used
2	CH1	CH5
3	GND (CH1)	GND (CH5)
4	CH2	CH6
5	GND (CH2)	GND (CH6)
6	CH3	CH7
7	GND (CH3)	GND (CH7)
8	CH4	CH8
9	GND (CH4)	GND (CH8)

②カメラ入力コネクタ [CAMERA IN 1~8]

カラーや白黒のカメラ信号を入力します。システム構成によっては通常の映像信号に、同期を取るためのVD2信号、コンビネーションカメラやレシーバーなどカメラサイトの機器を制御するための命令や状態信号が重畳されて入力されます。

ビデオ出力ボード

①タイムラプスVTR接続用コネクタ



- このコネクタは、タイムラプスVTRを接続するときに使用します。
- アラーム出力、リセット出力、外部タイミング入力及びリカバー入力のコネクタです。
- このコネクタにタイムラプスVTRを合計4台接続できます。

アラーム出力
(ALARM OUT)

: マトリクススイッチャーにアラーム入力があったことを、タイムラプスVTRに知らせる出力信号です。どのピンに出力されるかは、セットアッププログラムで設定したアラームモード(モード1,モード2,モード3)に依存します。

リセット出力
(RESET OUT)

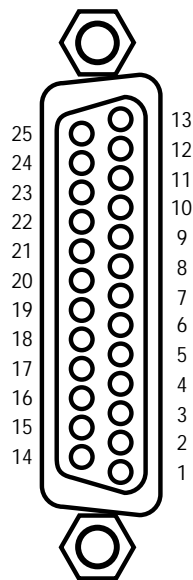
: 起動されたアラームが終了したことを知らせるリセット信号を、各チャンネルごとに出力します。信号形式は基板内部のスイッチSW2, SW3, SW4, SW5を設定することで、各チャンネルごとにオープンコレクタ出力または+5V出力のいずれかを選択できます。

外部タイミング入力
(EXT TIMING IN)

: タイムラプスVTRからこのコネクタに供給されるタイミング入力によりカメラ信号を切り換えます。一つのタイミング入力から次の入力までは最短1秒の間隔が必要です。設定された表示時間「Dwell」は無視されます。また、設定項目の「EXT Timing」は「On」にしてください。

リカバー入力
(RECOVER IN)

: 起動されたアラームを外部機器から強制的にリセットします。信号形式は0.5秒以上のメーク接点です。また、1回のリカバーから次のリカバーまでには最短2秒以上の間隔が必要です。



ピン番号	信号名
1	ALARM OUT 1
2	RESET OUT 1
3	RECOVER IN1
4	GND
5	EXT TIMING IN 1
6	GND
7	ALARM OUT 2
8	RESET OUT 2
9	RECOVER IN2
10	GND
11	EXT TIMING IN 2
12	Not used
13	ALARM OUT 3
14	RESET OUT 3
15	RECOVER IN3
16	GND
17	EXT TIMING IN 3
18	GND
19	ALARM OUT 4
20	RESET OUT 4
21	RECOVER IN4
22	GND
23	EXT TIMING IN 4
24	GND
25	GND

②モニター入力/出力コネクタ [MONITOR IN/OUT]

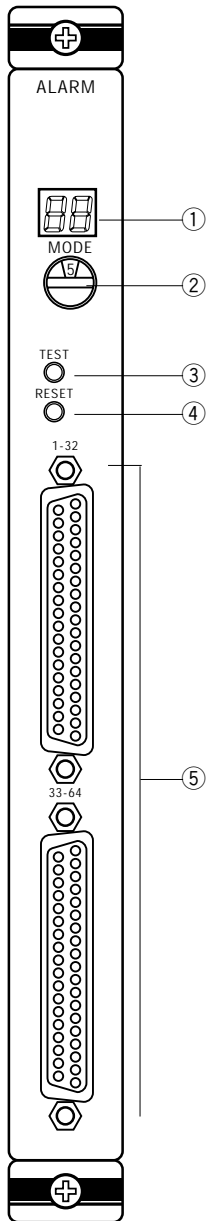
出力: マトリクススイッチャーが選択した映像出力信号をモニターに出力します。

入力: VTRなどの映像信号を入力します。

[ALT] スイッチ + MON (ESC) キーで入力した映像信号を同系統のモニター出力に出力できます。

例えばMONITOR IN1に入力した映像はMONITOR OUT1に接続したモニターに表示できます。

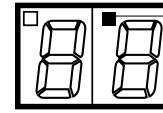
アラームボード



①アラーム番号表示

このボードにアラームが入力されたとき、そのアラーム番号を2けたの数字で表示します。

100番以上の番号のアラームが入力されたときは1の位の左上が点灯します。



100番以上の時に点灯

②アラームテストモード選択スイッチ [MODE]

アラームのテストモードを設定します。

このスイッチでアラームテストモードの番号 (0 - 2) を選択して、eテストスイッチ [TEST] を押すとテストが実行されます。

テストモードは次の3種類があります。工事後の確認時に利用してください。

テストモード0 : 内部メモリーに記憶されたアラーム起動の履歴を呼び出してqアラーム番号表示に表示します。

テストモード1 : ボード番号1のとき、アラーム入力1～64が1秒間隔で順に起動された状態を作り出します。(ボード番号2のときは65～128となります。)

テストモード2 : ボード番号1のとき、アラーム入力1～64が同時に起動された状態を作り出します。(ボード番号2のときは65～128となります。)

テストモード3～9 : 使用できません。

③テストスイッチ [TEST]

アラームテストを実行するとき押します。アラームテストを中止するときはこのスイッチを2秒以上押し続けます。

④リセットスイッチ [RESET]

アラームテストを終了するとき押します。

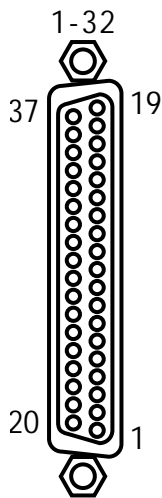
重要

テストモード以外のとき (通常の使用状態) にこのスイッチを押すと、内部にメモリーされているアラーム起動の履歴が消去されます。

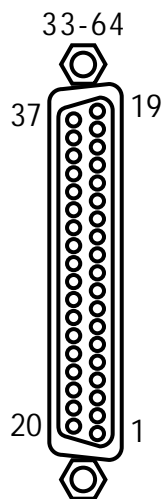
⑤ アラーム入力コネクタ [1 ~ 32 / 65 ~ 96、 33 ~ 64 / 97 ~ 128]

このコネクタに、ボード1枚につき合計64個のアラームセンサーを接続できます。
個別にノーマルオープンかノーマルクローズかを設定できます。

	平常時コンタクト	アラーム時コンタクト	アラーム時信号波形
ノーマルオープン形式 (NOR OPEN)	(開放) 	(短絡) 	
ノーマルクローズ形式 (NOR CLOSE)	(短絡) 	(開放) 	



ピン番号	機能名		ピン番号	機能名	
	ボード番号 1	ボード番号 2		ボード番号 1	ボード番号 2
1	Alarm 1	Alarm 65	20	Alarm 20	Alarm 84
2	Alarm 2	Alarm 66	21	Alarm 21	Alarm 85
3	Alarm 3	Alarm 67	22	Alarm 22	Alarm 86
4	Alarm 4	Alarm 68	23	Alarm 23	Alarm 87
5	Alarm 5	Alarm 69	24	Alarm 24	Alarm 88
6	Alarm 6	Alarm 70	25	Alarm 25	Alarm 89
7	Alarm 7	Alarm 71	26	Alarm 26	Alarm 90
8	Alarm 8	Alarm 72	27	Alarm 27	Alarm 91
9	Alarm 9	Alarm 73	28	Alarm 28	Alarm 92
10	Alarm 10	Alarm 74	29	Alarm 29	Alarm 93
11	Alarm 11	Alarm 75	30	Alarm 30	Alarm 94
12	Alarm 12	Alarm 76	31	Alarm 31	Alarm 95
13	Alarm 13	Alarm 77	32	Alarm 32	Alarm 96
14	Alarm 14	Alarm 78	33	Not used	Not used
15	Alarm 15	Alarm 79	34	Not used	Not used
16	Alarm 16	Alarm 80	35	Not used	Not used
17	Alarm 17	Alarm 81	36	Ground	Ground
18	Alarm 18	Alarm 82	37	Ground	Ground
19	Alarm 19	Alarm 83			



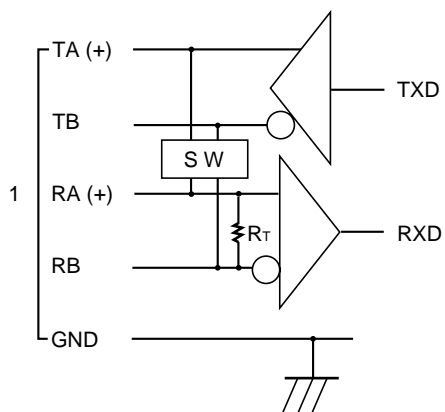
ピン番号	機能名		ピン番号	機能名	
	ボード番号 1	ボード番号 2		ボード番号 1	ボード番号 2
1	Alarm 33	Alarm 97	20	Alarm 52	Alarm 116
2	Alarm 34	Alarm 98	21	Alarm 53	Alarm 117
3	Alarm 35	Alarm 99	22	Alarm 54	Alarm 118
4	Alarm 36	Alarm 100	23	Alarm 55	Alarm 119
5	Alarm 37	Alarm 101	24	Alarm 56	Alarm 120
6	Alarm 38	Alarm 102	25	Alarm 57	Alarm 121
7	Alarm 39	Alarm 103	26	Alarm 58	Alarm 122
8	Alarm 40	Alarm 104	27	Alarm 59	Alarm 123
9	Alarm 41	Alarm 105	28	Alarm 60	Alarm 124
10	Alarm 42	Alarm 106	29	Alarm 61	Alarm 125
11	Alarm 43	Alarm 107	30	Alarm 62	Alarm 126
12	Alarm 44	Alarm 108	31	Alarm 63	Alarm 127
13	Alarm 45	Alarm 109	32	Alarm 64	Alarm 128
14	Alarm 46	Alarm 110	33	Not used	Not used
15	Alarm 47	Alarm 111	34	Not used	Not used
16	Alarm 48	Alarm 112	35	Not used	Not used
17	Alarm 49	Alarm 113	36	Ground	Ground
18	Alarm 50	Alarm 114	37	Ground	Ground
19	Alarm 51	Alarm 115			

データボード

①データポート [DATA(RS485) TA / TB , RA / RB , G]

マトリクススイッチャーで次の機器をRS485通信で制御する場合、各機器間をRS485ケーブルで接続します。

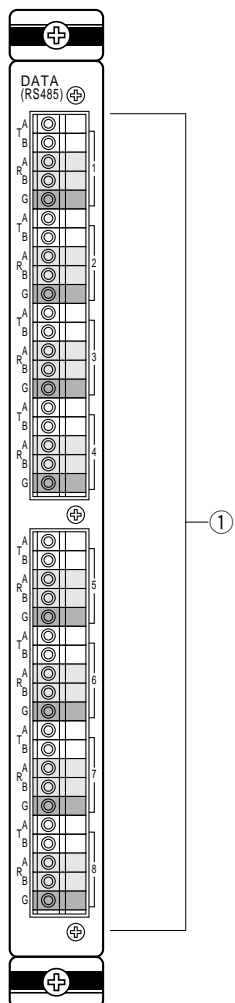
- コンビネーションカメラ
- システム機器



RT : 終端抵抗 (150 1/2W)

SW : 4線式 (全二重) / 2線式 (半二重) 選択スイッチ

GND : グラウンド



Appendix 3

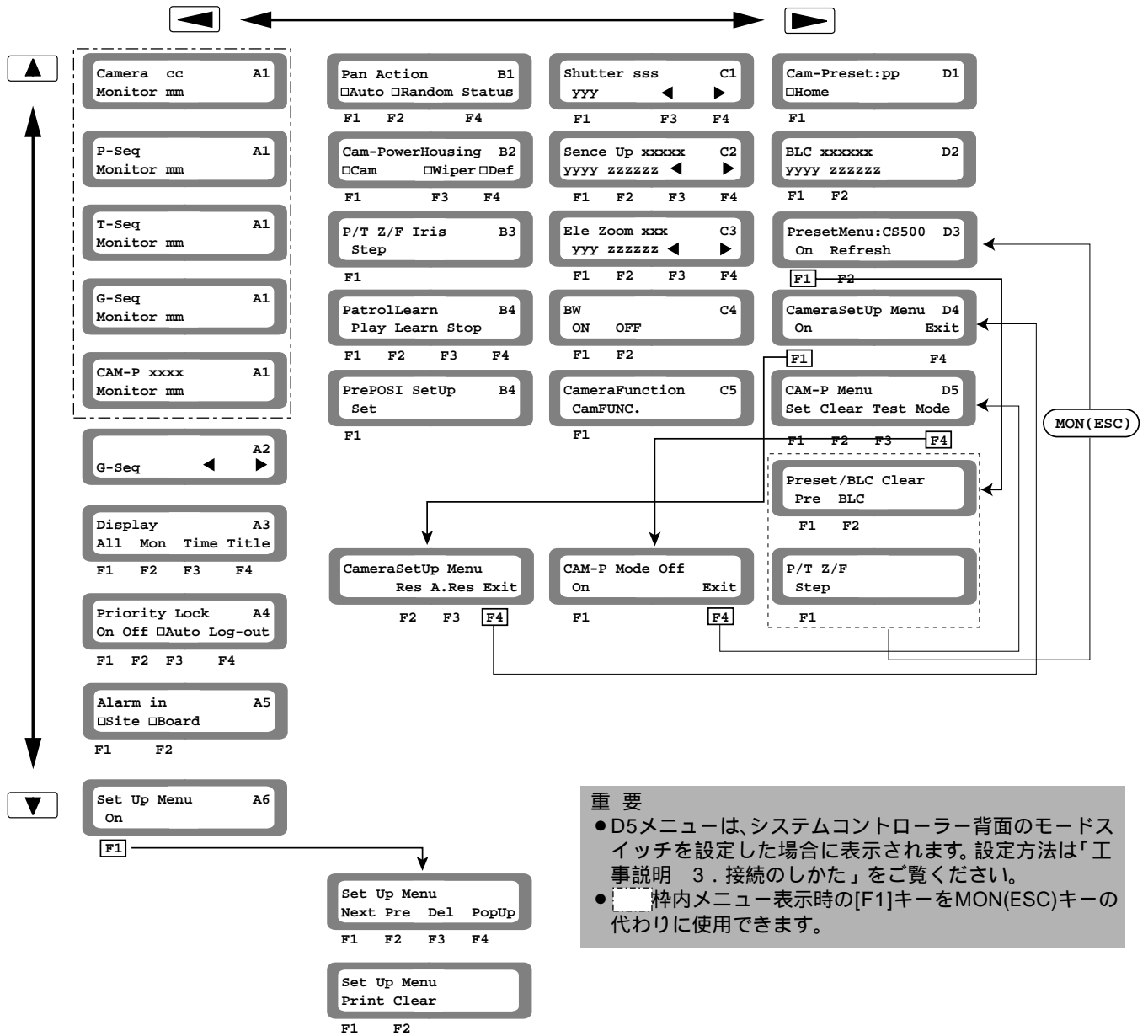
補足説明

起動状態とシステム動作内容

システムは、前回までのシステムの状態によって自動的に起動方法を選択し起動します。起動条件とシステムの状態を下表に示します。

起動状態	起動条件	SET UP 設定内容	カレンダー 時計	タイマー イベント機能	モニターの 状態	アラームの 状態
COLD START	<ul style="list-style-type: none"> 購入後初めて電源スイッチをONにしたとき。 設定内容が壊れたとき。 プログラムROMのバージョンアップを行ったとき。 	初期化される。	初期化される。	-	初期画面表示。 ROMバージョン表示。	キャンセルされる。
NORMAL START	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチを切ってから2回以上日付が変わったとき。 HOT STARTし、動作が完全に復元できない状態（初期画面が、終了しない状態）で、電源スイッチを切ったとき。 	保存される。	継続される。	電源スイッチ切りの間のイベントは実行されず に無視される。	同上	同上
HOT START	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチを切ってから日付変更が2回未満のとき。 	同上	同上	電源スイッチ切りの間のイベントは実行して起動する。	初期画面表示後、電源スイッチを切る前の動作を再生する。	同上

操作メニューの流れ



重要

- D5メニューは、システムコントローラー背面のモードスイッチを設定した場合に表示されます。設定方法は「工事説明 3. 接続のしかた」をご覧ください。
- [] 枠内メニュー表示時の[F1]キーをMON(ESC)キーの代わりに使用できます。

こんなときには

番号	現象	チェック内容
1	マトリクススイッチャーの電源が入らない。	①電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 ②マトリクススイッチャー背面のヒューズが切れていないことを確認してください。
2	システムコントローラーの電源が入らない。	①電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 ②システムコントローラー背面の電源スイッチがONになっていることを確認してください。
3	システムコントローラーが操作できない。 システムコントローラーの操作が不安定。	①マトリクススイッチャーとの接続を確認してください(219～223ページ) ②モジュラーケーブルの仕様を確認してください。 付属品以外を使う場合は、6極6芯タイプを使ってください。 (通常の電話用モジュラーケーブルは6極2芯タイプが多いのでご注意ください。)(223ページ) ③システムコントローラーのモードスイッチ、ユニット番号を確認してください。設定を変更する場合は、システムコントローラーの電源スイッチを一度OFFにしてから行ってください。(219ページ)
4	ログインできない。	①通信ケーブルが、正しく接続されていることを確認してください(TESTと表示しているコネクタに接続しないこと)。 ②現地でデータケーブルを調達する場合、ケーブル種類で決まる推奨の延長距離を超えていないことを確認してください。 合わせて正しく配線、組み立てられているかを確認してください。
5	オートログインできない。	①ログインを行い(29ページ)、オートログイン設定がONになっていることを確認してください。(90ページ) ②正常終了しないとオートログインしない場合があります。一度ログインを行うと、次回からオートログインします。
6	ログイン時、液晶ディスプレイに“ No Entry ” と表示される。	オペレーター番号またはパスワードに誤りがあります。正しい番号またはパスワードを入力してください。
7	ログイン時、液晶ディスプレイに“ Monitor Busy ” と表示される。	すべてのモニターが、優先の高いオペレーターまたはイベントによって使用されています。操作終了までログインできません。 必要ならば、登録レベルを変更してください(135ページ)。
8	どのモニターにも特定のカメラ映像が表示されない。	オペレーター属性設定画面(140ページ)でカメラの使用を許可されているかを確認してください。
9	特定のモニターでカメラ映像を表示できない。	①コントローラー定義画面(150ページ)で問題のモニターをそのコントローラーで制御できる設定になっているかを確認してください。 ②優先順位の高いオペレーターがそのモニターを制御している場合こうなります。

番号	現象	チェック内容
10	パン、チルト、ズームが効かない	システムコントローラーの液晶ディスプレイに"PROHIBITED"と表示されていないか確認してください。表示されているときは、その操作が許可されていないためです。オペレーター登録をやり直してください(135ページ)。
11	カメラポジション番号による操作ができない。	①カメラポジションモードが「On」になっていることを確認してください。(45ページ) ②カメラポジション番号を登録(171ページ)しているか確認してください。 ③カメラポジション番号に対応するプリセット番号が、プリセット機能を持つカメラに登録されているか確認してください。
12	液晶ディスプレイに"Monitor(#) Busy"と表示され、同時にBusy表示が点灯する。	優先の高い、または同順位のオペレーター(タイマー動作含む)が操作中です。 同順位のオペレーターに対しては、再操作で操作権を取り戻せます。
13	液晶ディスプレイに"Camera(#) Busy"と表示され、同時にBusy表示が点灯する。	優先の高い、または同順位のオペレーター(タイマー動作含む)が操作中です。 同順位のオペレーターに対しては、再操作で操作権を取り戻せます。
14	液晶ディスプレイに"PROHIBITED"と表示される	①オペレーター登録レベルで操作できないカメラまたはモニターを操作すると表示されます。 ②優先順位が高いオペレーターが既に操作しているカメラまたはモニターを選択すると表示されます。 ③MON(ESC)キーを押すと表示を消去できます。必要ならば、登録レベルを変更してください(116ページ)。
15	モニターに"WARNING! PROHIBITED!"と表示される	①禁止されている設定をしようとする则表示されます。 ②必要ならば、システムコントローラーとモニターの関係を再設定してください(150ページ)。
16	液晶ディスプレイに"NOT AVAILABLE"と表示される。	他のオペレーターが優先権をロックしています。他のモニターを選択してください。
17	モニターに文字が重なって表示される。	①時刻や監視モードなどと、カメラポジションタイトルが重なっている場合、時刻や監視モードなどの表示をOFFにするか、カメラ側の設定でカメラポジションタイトルを移動してください。 ②時刻や監視モードなどと、カメラセットアップメニューが重なっている場合、外的な要因などでマトリクススイッチャーとカメラの間で状態の不一致が起きている可能性があります。システムコントローラーの液晶ディスプレイにD4メニューを表示し[F1]キーまたは[F4]キーを押して不一致を解消してください。

番号	現象	チェック内容
18	シーケンスを選択して、[FORWARD SEQ] スイッチを押してもシーケンスが動作しない。	外部タイミングの設定が「On」で、VTRが停止状態のときはこうなります。VTRを録画状態にしてください。
19	プログラムシーケンスを実行できない。	①プログラムシーケンス実行権限が与えられているかをレベル設定画面(138ページ)で確認してください。 ②表示しようとしているモニターにプログラムシーケンスを表示するように設定されているかを確認してください(104ページ)
20	シーケンスでプリセットしているにもかかわらず、カメラがプリセット位置まで届かない、プリセット番号がモニターに表示されない。	表示時間が短すぎるためにプリセット位置まで届かない可能性があります。各シーケンス設定画面で表示時間(DwellTime)を長くしてください。
21	特定のモニターで表示時間の動作やシーケンスが正しく実行されない。	①外部タイミング設定画面(152ページ)で外部タイミングを「On」に設定していると、切り換えタイミングはタイムラプスVTRに依存します。 ②タイムラプスVTR側で時間設定が正しく設定されていることを確認してください。
22	アラームが動作しない。	①アラームモード設定画面でアラームモード(1~3, Timer)が設定されていることを確認してください(124~131ページ)。アラームモードが「Off」の場合は、動作しません。 ②アラームモードをタイマーで運用している場合、現在時刻に対するアラームモードが1~3のいずれかに設定されていることを確認してください(132ページ) ③アラーム入力先(SiteまたはBoard)が「On」になっているか確認してください(78、123ページ)
23	Alarm表示が点灯する。	アラームが起動されています。 ①AUTO RESETが設定されている場合、設定時間が経過すると自動解除されます。 ②AUTO RESETが設定されていない場合、[ACK RESET] スイッチを押しシステムに確認したことを知らせます。再度[ACK RESET] スイッチを押すと、アラームがリセットされます。 重要 AUTO RESETがOFFのときは、[ACK RESET] スイッチを必ず2回押してください。この操作をしない限りアラームはリセットされません。
24	アラームのACK RESETが効かない。	①オペレーターのレベル制限を確認してください。 ②アラーム状態のモニターを選択しているか確認してください。

番号	現象	チェック内容
25	タイマーイベントスケジュールが起動されない。	①タイマーより優先の高いオペレーターが操作している場合、状態表示モニター右上に/T03（ツアーシーケンス03実行中）のように表示されます。 ②指定曜日と特定日が重複した場合、特定日のスケジュールが優先されます。特定日は再設定しない限り、先に登録したスケジュールが優先されます。
26	コンビネーションカメラWV-CS500でプリセットテストが1分間しかできない。	設置されているカメラのコントロールサイトモードスイッチ（SW2）がマルチサイトモード（Multi-SiteMode）が「ON」になっていることを確認してください。
27	コンビネーションカメラWV-CS500でプリセットテスト中に、特定の場所で設定した時間より長く停止する。	WV-CS500自身で設定時間をプログラムしているためです。異常ではありません。
28	VTRのPAUSE、FF、REW映像がモニターに表示されない。	VTRをカメラ入力に接続しているときはこうなります。マトリクススイッチャーを通さずに、VTR出力を直接モニターに接続してください。
29	セットアップ画面の映像が乱れる。	セットアップ画面の映像信号は、チラツキを抑えるため、ノンインターレス信号になっています。そのため、ビデオ出力ボードのMONITOR OUTを4画面分割ユニットやVTRに通すと文字が見えなくなったり文字が上下に振動することがあります。
30	MON（ESC）キーを押してもプリンターが停止しない。	データが既にプリンターのバッファに格納されており、それを印字しています。印字が終了するまでお待ちください。
31	キャラクターにカラーノイズが見える。	カメラとの距離が長いと、ケーブル補正してもモニターによってはカラーノイズが見えることがあります。これは異常ではありません。
32	音が出ない。	音声機能はありません。レシーバーに音声ボード（WV-PB10）を装着していても機能しません。
33	アラーム動作がモニターやVTRで確認できない。	一度に多数のアラームが入力されると、一瞬にしてアラーム動作が切り換わり、モニター及びVTRで確認できないことがあります。この場合もアラーム入力情報はバッファに蓄えられアラーム入力履歴として保存されます。更にバッファの容量を超える大量のアラームが入力された場合には、その間のアラーム入力履歴は保存されません。

索引

(英字)

Alarm in	78	Thursday	113
Alarm Mode	123	Tuesday	113
Alarm Display	123	Wednesday	113
Alarm Input	123	EXT Timing Select (EXT.)	152
Alarm Input Board	123	Group Sequence	108
Alarm Input Site(Camera)	123	AUX1,2	109
Alarm Mode Select	120	CAM	109
Set Up Alarm Mode1-3	122	Dwell	109
Timer Alarm Schedule	135	PRE	109
Auto Cleaning (ATCLR)	184	Step	109
 		Housing	50
B/W 55		 	
BLC 57		Level Table	138
 		Log in	29
Camera Function	55	メニューの遷移	21
Camera Title(CAM)	144	Log-out	90
CAM-P Menu	45	 	
Cam-Power	50	Monitor	34
Cam-Preset (ホームポジション)	56	 	
Clock Set	160	OPE. 137	
Communication Speed	158	Level Table	138
Address Control	159	Operator Registration	140
Baud Rate	158	Operator No.	29
Data Bit	159	Operator (REG.)	140
Flow Control	159	 	
Parity Check	159	Pan Action	47
Stop Bit	159	カメラの状態表示	88
Wait Time	158	自動パンニング	74
Compensation/VD2(COM/VD)	154	Password	30
Controller (CTRLR)	150	PrePOSI SetUp	44
CPUボード		Priority Lock	84
各部の名前	7	PROG.	102
スイッチの設定	197	Alarm	120
ボードの詳細	246	Group Sequence	108
 		Program Sequence	104
Display	35	Timer	112
 		Tour Sequence	106
Ele Zoom	53	Program Sequence	104
Event 113		Auto Skip	105
Friday	113	CAM	105
Monday	113	Dwell	105
Saturday	113	MON	105
Special Day1-5	113	RS-485 Site Communication	156
Sunday	113		

Baud Rate	157	PRE	107
Board Addr.	156	VD2 (設定).....	154
Camera In Number	157		
Daisy	156	(ア行)	
Data Bit.....	157	アイリス.....	41
Delay Time	157	明るさ	41
F/H Duplex	157	アラーム.....	75
Parity Check	157	運用スケジュールの設定	132
Stop Bit.....	157	接続	224
Wait Time	157	入力先の変更.....	78
RS-485 (設定).....	156	動作の解除	79
		動作の設定	119
Sens Up	52	入力履歴	178
Set Up	99	マークの表示 / 非表示	123
Alarm Recall	178	モニターの映像	76
Auto Cleaning	184	アラームボード (WV - PB5564)	
Camera Title	144	外観	242
Operator	140	各部の名前	9
Program.....	102	仕様	242
Status	179	スイッチの設定	203
System	148	付属品.....	242
Set Up Alarm Mode1.....	124	ボードの詳細.....	251
Set Up Alarm Mode2.....	126	アラームメニュー (Alarm).....	120
Set Up Alarm Mode3.....	128	アラームモード1の設定 (Mode1).....	124
Shutter	51	アラームモード2の設定 (Mode2).....	126
Special Day Schedule.....	116	アラームモード3の設定 (Mode3).....	128
Speed.....	158	アラームモードの選択 (SEL.).....	122
System	148	映像監視機能の概要.....	14
Clock	160	映像の操作	37
Communication Speed	158	液晶ディスプレイ	86
Compensation/VD2	154	エクステンションボード	
Controller	150	各部の名前	9
RS485 Site Communication	156	スイッチの設定	207
SET Timing Select.....	152	オートクリーニングメニュー画面 (ATCLR).....	184
		オートシーケンス	47
Timer112		オートスキップ機能 (解説).....	62
Event	113	オートソート	47
Special Day Schedule	116	オートパンニング	47
Timer Alarm Schedule	132	オートログイン	31
Timer Event Schedule.....	114	オペレーター	
Tour Sequence	106	属性の設定 (REG.).....	140
Auto Skip	107	番号	28
“ AUX1,2 ”	107	登録	135
CAM	107	メニュー (OPE.).....	137
Dwell.....	107	レベル (Level).....	138

	(カ行)
回転台	
手動	42
プリセット	43
外部機器の操作	82
外部タイミングの設定	152
各種情報の印刷	180
拡張映像入力	58
カメラ	
状態表示	88
接続	217
選択	38
テスト	175
カメラ機能	
ショートカット	55
設定	164
操作	51
カメラクリーニング	183
カメラセットアップメニュー	164
カメラタイトル	
設定	143
設定メニュー (CAM)	144
表示	36
カメラポジション	
操作	45
番号の削除	174
番号の登録	172
モードの切り換え	176
カメラ電源 (操作)	50
画面の構成 (セットアップメニュー)	95
起動状態	256
逆光補正 (BLC)	57
クリーニング (コンビネーションカメラ)	59
グループシーケンス	
解説	64
使いかた	71
設定	108
クロスポイントスイッチの開閉	13
ケーブルの延長 (システムコントローラー)	223
ケーブル補正 (設定)	154
工事	187
コネクターの組み立てかた	230
コントラスト	86
コントローラー定義画面 (CTRLR)	150

コントロールボード	
各部の名前	7
スイッチの設定	199
ボードの詳細	248
こんなときには	258
コンビネーションカメラのクリーニング	184
	(サ行)
シーケンス	
種類	62
初期化	110
設定	101, 160
時刻 (表示)	36
システムコントローラー	
外観	238
各部の名前	6
仕様	239
接続	219
付属品	238
ラック組み込み	210
システム	
基本設定	147
しくみ	12
終了	89
情報の表示・印刷	177
接続例	216
操作の開始	27
動作状態	178
動作内容	256
システムメニュー	148
自動パンニング	46
オートシーケンス	47
オートソート	47
オートパンニング	47
ランダムパンニング	47
使用例	16
白黒切り換え	55
ズーム	40
スケジュールの設定	111
スポット (映像監視)	38
接続のしかた	215
設置のしかた	209
設定	91
使用する主なキー	95
操作の流れ	96

設定例	97	電源の切りかた	90
セットアップ		電子感度アップ	52
開始	98	電子シャッター	51
概要	17	電子ズーム	53
セットアップメニュー		電動ズームレンズの操作	40
Set Up	99	特定日の設定	116
構成	94		
セットアップを始める前に	93		(八行)
センサー (接続)	224	ハウジング (操作)	50
操作		バス接続 (システムコントローラー)	221
基本	23	パスワード	28
メニューの遷移	22	バックライト	86
メニューの流れ	21, 257	パトロールラン	47
始める前に	19	ビジー表示	39
増設ユニット		日付 表示	36
外観	236	ビデオ出力ボード	
各部の名前	5	外観	241
仕様	237	各部の名前	8
接続	225	仕様	241
付属品	236	スイッチの設定	201
ボード枚数の選択	194	入力映像の表示	58
		付属品	241
	(タ行)	ボードの詳細	250
タイマーイベントスケジュール	114	連結	226
タイマーイベントメニュー (Event)	113	ビデオ入力ボード	
タイマーメニュー (Timer)	112	外観	240
ツアーシーケンス		各部の名前	8
解説	63	仕様	240
使いかた	68	スイッチの設定	200
設定	106	付属品	240
通信ルールの設定 (Speed)	158	ボードの詳細	249
データ設定	154	表示時間 (解説)	62
データの消去	181	ピント	40
データボード		フォーカス	40
外観	243	プライオリティロック	84
各部の名前	10	回転台の操作	43
仕様	243	プリセット (操作中に設定)	44
スイッチの設定	205	プリセット (WV-CS500)	
接続	227	位置の登録	166
設定	156	情報の消去	169
付属品	243	情報の設定	168
ボードの詳細	253	テスト	170
データボード通信設定画面	156	メニューの表示方法	166
デフロスター	50	プログラムシーケンス	
電源の入れかた	20	解説	62

設定	104
使いかた	65
プログラムメニュー (PROG.)	102
ボードの組み込み	211
ホームポジション	
操作	56
設定 (WV-CS500)	167
ホームラン接続	
システムコントローラー	220

(マ行)

マトリクススイッチャー	
外観	234
各部の名前	4
機能	11
仕様	235
付属品	234
ラック組み込み	213
メニューの構成	21
モードスイッチの設定	
システムコントローラー	219
状態表示	36
モニター	
接続	218
選択	34
操作	33
表示される情報	24

(ヤ行)

優先権	83
-----------	----

(ラ行)

ランダムパンニング	47
レベル設定画面 (Level)	138
ログアウト	90
ロゲイン	
しかた	29
メニューの遷移	21

(ワ行)

ワイパー	50
------------	----

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読み
のあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
ただし、放熱ファンは消耗品です。

修理を依頼される時

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、マトリクススイッチャーシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 上 げ 年 月 日	年	月	日	品番	マトリクススイッチャーシステム
販 売 店 名	☎ () -				

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224 - 8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045)932-1231(大代表)

NM0400-0

V8QA5453AN